SONY

3-279-847-**04**(1)

デジタルハイビジョンチューナー内蔵ハードディスク搭載

ブルーレイディスクレコーダー

取扱説明書

BDZ-L70/BDZ-T70/BDZ-T50

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

2 ～ 3ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。18ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

1. 電源を切る
2. 電源プラグをコンセントから抜く
3. お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

指のケガに注意

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

禁止

- 製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源プラグを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

➡ 万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

本機の上に水が入ったものや、重たいものを置かない

感電や故障の原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場や加湿器のそばなどでは絶対に使用しないでください。

禁止

内部に水や異物を入れないようにする

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。本機の上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。また、本機を水滴のかかる場所に置かないでください。

禁止

➡ 万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

キャビネットを開けたり、分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となることがあります。

➡ 内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

分解禁止

雷が鳴り出したら、本体や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

接触禁止

本機は国内専用です

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。また、コンセントの定格を超えて使用しないでください。

指示

⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。

風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上、または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

大音量で長時間続けて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。

➡呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。

本体の前に物を置かない

ディスクトレイが開く際に、物が倒れて破損やけがの原因となることがあります。

幼児の手の届かない場所に置く

ディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

コード類は正しく配置する

電源コードやAVケーブルは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。

移動させるとき、長期間使わないときは、電源プラグを抜く

長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま、お手入れをすると、感電の原因となることがあります。

ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを再生しない

本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警告

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間が経ってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

指示

➡液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

➡液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

➡万一、飲み込んだときはただちに医師に相談してください。

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

⚠注意

指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

➡マンガン電池をお使いください。電池の品番を確かめ、お使いください。

＋とーの向きを正しく入れる

＋とーを逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

➡機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

リモコンのフタを開けて使用しない

リモコンのフタを開けたまま使用すると、漏液、発熱、発火、破裂などの原因となることがあります。

➡マンガン電池を使用し、フタを閉めて使用してください。

こんなことができます BDZ-L70

L ハイビジョンで撮った思い出をそのまま美しく残す

ハイビジョン番組をそのままの高画質で「録る・見る・残す」

- らくらくワンタッチボタン！を使って録画予約を「予約する」/録画した映像（タイトル）を「見る」
- ハイビジョンで長時間録画する

  たっぷりハイビジョン録画
- タイトルを再生する
- タイトルをBDに高速ダビングする
- タイトルをDVDにダビングする

ブルーレイディスクのソフト（BD-ROM）のハイビジョン映像を楽しむ

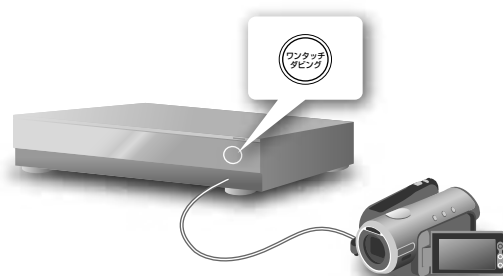
- BD-ROMを再生する
- BD-ROMを"プログレッシブ"ハイビジョンで楽しむ

  24p True Cinema

ハイビジョンで撮影した思い出の映像や写真を楽しむ

- デジタルビデオカメラで撮影したビデオや写真をワンタッチでハードディスク（HDD）に取り込む

  ワンタッチダビングボタン
- 取り込んだ写真をハイビジョンで楽しむ

  フルハイビジョンフォト再生
  x-Pict Story HD
  x-ScrapBook
  ブラビアプレミアムフォト

映像や写真を他の部屋で楽しむ

- 「ホームサーバー機能」を使って、他の部屋のテレビやパソコンで再生する

  ソニールームリンク

ブラビアのリモコンを使って操作する

ブラビアリンク

ブラビアリンクに対応しているソニー製テレビのリモコンで本機を操作できます

こんなことができます

BDZ-T70/ BDZ-T50

T ハイビジョン番組をたっぷり録れる・快適に楽しむ

ハイビジョン番組をそのままの高画質で「録る・見る・残す」

- らくらくワンタッチボタン！を使って録画予約を「予約する」/録画した映像（タイトル）を「見る」
- ハイビジョンで長時間録画する

たっぷりハイビジョン録画

- タイトルを再生する
- タイトルをBDに高速ダビングする
- タイトルをDVDにダビングする

ブルーレイディスクのソフト（BD-ROM）のハイビジョン映像を楽しむ

- BD-ROMを再生する
- BD-ROMを"プログレッシブ"ハイビジョンで楽しむ

24p True Cinema

ブラビアのリモコンを使って操作する

ブラビアリンク

ブラビアリンクに対応しているソニー製テレビのリモコンで本機を操作できます

ホームメニュー一覧

「ホームメニュー」から操作をはじめましょう
リモコンのを押すと、画面にホームメニューが表示されます。この画面から各種操作・設定画面に移動できます。

設定（177ページ）

- お問い合わせ（178ページ）
- お知らせ（178ページ）

- 放送受信設定（179ページ）
- ビデオ設定（184ページ）
- 映像設定（185ページ）
- 音声設定（187ページ）
- フォト設定（188ページ）
- 本体設定（189ページ）
- BD/DVD視聴設定（190ページ）
- 通信設定（191ページ）
- かんたん設定（40ページ）
- 設定初期化（195ページ）

フォト（124ページ）

- フォト切出し（BDZ-L70のみ）（156ページ）
- ディスク書出し（BDZ-L70のみ）（156ページ）
- x-Pict Story HD 作成（BDZ-L70のみ）（162ページ）

- データCD（124ページ）
- BD-RE/BD-R/データDVD（124ページ）
- USB機器（BDZ-L70のみ）（124ページ）
- デジタルカメラ（BDZ-L70のみ）（124ページ）
- PSP（BDZ-L70のみ）（124ページ）
- x-Pict Story HD（BDZ-L70のみ）（162ページ）
- x-ScrapBook（BDZ-L70のみ）（158ページ）
- サンプルアルバム（BDZ-L70のみ）（125ページ）
- アルバム（BDZ-L70のみ）（125ページ）

ミュージック（111ページ）

- 音楽CD（111ページ）

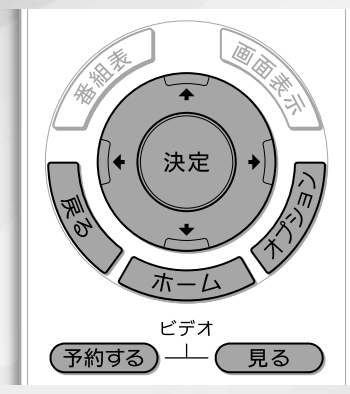
ビデオ（108ページ）

- ビデオカメラダビング（BDZ-L70のみ）（150ページ）
- ディスクダビング（168ページ）
- x-おまかせ・まる録（91ページ）
- 録画予約（73、87ページ）
- 予約確認（94、95ページ）

- BD/DVD（108ページ）
- （グループ）（121ページ）
- ジャンル
- 予約
- おまかせ
- マーク
- x-Pict Story（BDZ-L70のみ）
- ビデオカメラ映像
- プレイリスト
- または
- 録画した映像（タイトル）（108ページ）

ホームボタン
ホームメニューを表示します。

戻るボタン
ホームメニューや操作画面でひとつ前の画面に戻ります。

予約する
本機の録画予約画面を表示します。

↑↓←→、決定ボタン
上下左右に動かして項目を選び、押して決定します。

オプションボタン
そのときにできるオプション機能を画面右側に表示します。

見る
本機の録画リストを表示します。

リモコン操作ボタンの説明は229ページをご覧ください。

目次

接続と準備

「接続ガイド」ホームページ
http://www.sony.co.jp/im/

テレビを見る

録画・予約する

次のページにつづく⇨

再生する

消去・編集する

映像や写真を取り込んで楽しむ（BDZ-L70のみ）

次のページにつづく⇨

ディスクに残す（ダビング）

設定を変更する

困ったときは

「Q&A」ホームページ
http://www.sony.co.jp/faq/BD/

その他

本書の読みかた

- 取扱説明書（本書）では、BDZ-L70とBDZ-T70、BDZ-T50の3機種について説明しています。
  BDZ-L70、BDZ-T70、BDZ-T50では利用できる機能がそれぞれ異なります。
  各機種で利用できる機能の主な違いは下記になります。
  BDZ-L70で利用できる機能
  本書に記載されている全ての機能
  BDZ-T70で利用できる機能
  以下に記載されている以外の全ての機能
  –「別の部屋のテレビやパソコンなどで再生する」（128ページ）
  –「映像や写真を取り込んで楽しむ」（144ページ）
  BDZ-T50で利用できる機能
  以下に記載されている以外の全ての機能
  –「2番組同時に録画する」（101ページ）
  –「別の部屋のテレビやパソコンなどで再生する」（128ページ）
  –「映像や写真を取り込んで楽しむ」（144ページ）
- 本書で使われているイラストは、BDZ-L70のものです。本書で使われている画面イラストと、実際に表示される画面は異なることがあります。
- 本機で使われている画面イラスト内の番組名は一例であり、実際の放送局での放送内容や実際の人物、地名などと関係ありません。
- 本機の操作に関するご注意・制約事項は各章の最後にまとめて記載されています。
- 下線の項目はお買い上げ時の設定です。
- 本書中の[　]内の項目は画面上に表示される項目です。

本書での放送の表記について

放送の表記	説明
地上デジタル **地上デジタル放送**	2003年12月、関東・近畿・中京の3大広域圏で、地上波のUHF帯を使用して開始されたNHKや民放各局のデジタルテレビ放送です。
BS **BSデジタル放送**	2000年12月から始まった、放送衛星（BS）によってデジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。
CS **110度CSデジタル放送**	2002年3月から始まった、110度デジタル衛星N-SAT-110によってデジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。 取扱説明書では、「110度CS」と省略している場合もあります。
地上アナログ **地上アナログ放送**	従来のNHKや民放各局のテレビ放送（VHF/UHF）です。地上にある電波塔や中継塔から放送信号が送られるため地上波と呼びます。

本書で使用するディスクマークについて

本機で使えるディスクについて詳しくは、「本機で録画・再生できるディスク」（207ページ）をご覧ください。

ディスクの種類	本書内のマーク
HDD（本機内蔵ハードディスク）	HDD
BD-ROM	BD
BD-RE	BD-RE
BD-R	BD-R
DVDビデオ（DVD-ROM）	DVD
DVD+RW	+RW
DVD-RW （VRモード/ビデオモード）	-RWVR -RWVideo
DVD+R/DVD+R DL	+R
DVD-R/DVD-R DL （VRモード/ビデオモード）	-RVR -RVideo
データDVD	DATA DVD
音楽CD	CD
データCD	DATA CD
AVCHD	AVCHD

かんたん操作ガイド（別冊）について

別冊の「かんたん操作ガイド」で、本機の基本機能をわかりやすく説明しています。接続と準備が完了しましたら、「かんたん操作ガイド」をご覧いただくことをおすすめします。

本機の録画機能について

BDZ-L70、BDZ-T70とBDZ-T50では、同時に録画できる番組数に違いがあります。

機種名	同時に録画できる番組数
BDZ-L70	2番組
BDZ-T70	2番組
BDZ-T50	1番組のみ

2番組同時録画では、「録画1」と「録画2」と呼ばれる異なる録画機能を使って行われるため、本書の中でも「録画1」と「録画2」という表現を使っています。
「録画1」と「録画2」の表現が使われている記述はBDZ-L70とBDZ-T70のみ対象となりますので、ご注意ください。

必ずお読みください

内蔵ハードディスクについての重要なお願い

ハードディスクは記録密度が高いため、長時間録画やすばやい頭出し再生を楽しむことができます。その一方、ほこりや衝撃、振動に弱く磁気を帯びた物に近い場所での使用は避ける必要があります。大切なデータを失わないよう、次の点にご注意ください。

- 本機に振動、衝撃を与えない。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しない。
- ビデオやアンプなどの熱源となる機器の上に置かない。
- 急激な温度変化(毎時10℃以上の変化)のある場所では使用しない。結露(露つき)の原因となります(18ページ)。
- 電源プラグをコンセントにさしたまま本機を動かさない。
- 電源が入っているときは、電源プラグをコンセントから抜かない。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源を切ってハードディスクが動作していないこと(表示窓に時計が表示され、録画状態、ダビング状態、データ取得状態でないこと)を確認してから、電源プラグをコンセントから抜く。
- 本機を移動する場合、コンセントから電源プラグを抜いて1分以上待ってから、振動、衝撃を与えずに行う。
- 故障の原因となるため、お客様ご自身でハードディスクの交換や増設をしない。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合は、データの修復はできません。ハードディスクは性質上長期的な記録場所として適しておりませんので、一時的な記録場所としてご利用ください。

内蔵ハードディスクの修理について

- 修理・点検の際、不具合症状の発生・改善等の確認のために必要最小限の範囲でハードディスク上のデータを確認することがあります。ただし、タイトルなどのファイルを弊社で複製・保存することはありません。
- ハードディスクの初期化または交換が必要となる場合は、弊社の判断で初期化を行わせていただきます。ハードディスクの記録内容はすべて消去されますのでご了承ください(著作権法上の著作物に該当するデータが発見された場合も含みます)。
- 弊社にて交換したハードディスクの保管や処分につきましては、弊社の責任のもとで、事業協力会社に作業を委託する場合を含め、第三者がハードディスク内の情報に不当に触れることがないように、合理的な範囲内での厳重な管理体制のもとで作業を行います。

本機は、コンセントの近くでお使いください。本機をご使用中、異常な音やにおい、煙がでたときはすぐにコンセントから電源プラグを抜き、電源を遮断してください。

本機の起動と終了について

本機はシステム全体の最適化を図るため、電源入切時に電源ボタンを押してから、実際に起動するまでと実際に電源が切れるまでしばらく時間がかかります。

電源が切れる前やハードディスクが動作しているときにコンセントから電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

電源を「切」にしているときのご注意

- 本機は番組表データなどを取得するため、電源が「切」の状態でも、一時的に本機の内部のシステムが起動することがあります。これにより、本機のハードディスクや冷却ファンが動作することがありますが、故障ではありません。
- 次のようなときは、電源が「切」の状態でもファンが回り続けることがあります。
  – 番組表の番組データ取得中
  – [スタンバイモード]が[高速起動]に設定されているとき
  – 本機のホームサーバー機能(BDZ-L70のみ)やリモート録画予約、HDMIコントロール機能を利用しているとき
  – 本機に挿入したB-CASカードが契約切れになっているとき
  – ソフトウェアアップデートを行っているとき
  – 録画中のとき
  – ダビング中のとき
- [本体設定]の[スタンバイモード]の設定(189ページ)を[標準]にすると、ネットワーク経由で本機の映像を他機器で見たり(BDZ-L70のみ)、リモート録画予約やHDMIコントロール機能の利用ができません。

残像現象(画像の焼きつき)のご注意

本機のメニュー画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象を起こす場合があります。特にプラズマディスプレイパネルテレビまたは液晶テレビなどでは残像現象が起こりやすいのでご注意ください。

次のページにつづく⇨

個人情報の記録について

- 本製品内のハードディスク、メモリーには、各種機能の設定時に、IPアドレスなど、また、ご使用にあたってお知らせ(メール)、番組購入履歴等が記録されます。
- 本製品内のハードディスク、メモリーには、放送事業者の要求によりお客様が入力された個人情報や、データ放送のポイントなどが記録される場合があります。
- 本製品を廃棄、譲渡等するときは、本製品内のハードディスク、メモリーに記録されているデータを消去することを強くお勧めします。消去の方法については「個人情報の初期化」(195ページ)をご覧ください。
- MACアドレスは、リモート録画予約の初回登録時にサービス事業者のサーバーに送信されます。
- 本製品内のメモリーには、リモート録画予約の使用のためにお客様が設定された携帯電話の「ニックネーム」および「機器名」が記録されます。
- 本製品内に記録された録画予約およびタイトルなどに関わる情報は、リモート録画予約の利用時にサービス事業者のサーバーへ送信されます。

記録内容の補償に関する免責事項

本機の不具合など何らかの原因で本製品内または外部メディア・記録機器などに記録ができなかった場合、不具合・修理など何らかの原因で本製品内または外部メディア・記録機器などの記録内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、裏表紙に記載のお客様ご相談センターにお問い合わせいただき、混信回避のための処理など(たとえば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙に記載のお客様ご相談センターにお問い合わせください。

2.4DS1

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。
変調方式としてDS-SS方式を採用し、与干渉距離は10mです。

電波法に基づく認証について

本機内蔵の無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。証明表示は無線設備上に表示されています。
従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
但し、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。使用上の注意に反した機器の利用に起因して電波法に抵触する問題が発生した場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

- 本機内蔵の無線装置を分解/改造すること。
- 本機内蔵の無線装置に貼られている証明ラベルを剥がすこと。

著作権保護について

本機は著作権保護技術に対応しています。以下をよくお読みの上、ご使用には充分ご注意ください。

デジタル放送のコピー制御について

地上デジタル放送、BSデジタル放送、および、110度CSデジタル放送には、番組の著作権保護のために、コピー制御信号が組み込まれています。これらのデジタル放送の番組のほぼすべてが、「1回だけ録画可能」という制限で放送されています。「1回だけ録画可能」の番組は、ディスクによっては録画/ダビングできないものがありますので、ご注意ください。

デジタル放送の番組を録画/ダビングするときの制限

次のディスクにのみ録画できます。

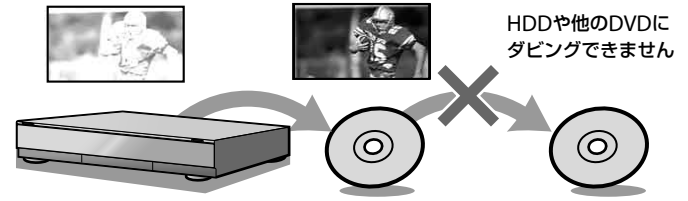
- HDD
- BD-RE*[1]
- BD-R*[2]

ダビングは次の場合にのみ行えます。

- HDDから、BD-RE*[1]またはBD-R*[2]へ
- HDDから、CPRM*[3]対応のDVD-RW（VRモード）またはDVD-R（VRモード）へ

DVDにダビングする場合は、「CPRM*[3]対応」と書かれたDVD-RWまたはDVD-Rをお使いください。
BD-RE、BD-Rはすべて、著作権保護技術（AACS）に対応しているため、デジタル放送の「1回だけ録画可能」の番組も録画/ダビングできます。

*[1] Ver.2.1のBD-REをお使いください。
*[2] Ver.1.1のBD-Rをお使いください。
*[3] CPRM（Content Protection for Recordable Media）とは、著作権を保護するために映像素材を暗号化・復号化する技術です。CPRM対応のDVD-RWおよびDVD-Rに録画した映像（タイトル）は、CPRMに対応した機器でのみ再生できます。

なお、「1回だけ録画可能」の番組をダビングすると、HDD内の番組は消去されます。これを「移動（ムーブ）」と呼びます。

デジタル放送の番組をホームサーバー機能に対応した他機器で視聴するときの制限（BDZ-L70のみ）

ホームネットワーク上の他の機器（テレビやパソコンなど）で、本機で録画した映像（タイトル）を視聴できます。
ただし、ホームネットワーク上の他の機器で「1回だけ録画可能」の番組を視聴するには、他の機器側がDTCP-IP*[4]規格に対応している必要があります。

*[4] DTCP-IP（Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol）とは、著作権保護を目的として開発されたネットワーク規格です。

次のページにつづく⇨

著作権に関するご注意

- あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本機は、録画防止機能（コピーガード）を搭載しており、著作権者等によって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。
- 別売りのチューナーを接続して番組を視聴する場合、番組にコピー制御信号が含まれている場合があります。この場合、番組によっては録画できないものがありますので、ご注意ください。
- 本機は、無許諾のBD/DVD（海賊版等）の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクを再生することはできません。
- 本機は、接続するテレビの画面に合わせて画郭サイズを選ぶモードがあります。設定項目によってはオリジナルの映像と見えかたに差が出ます。この点にご留意の上、本機の設定をお選びください。本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、画郭表示機能を利用して再生などを行いますと、著作権法上で保護されている著作権の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

この商品の価格には、「私的録画補償金」が含まれております。補償金は、著作権法で権利保護のため権利者に支払われることが定められています。

私的録画補償金の問い合わせ先
〒107-0052
東京都港区赤坂5丁目4番6号赤坂三辻ビル2F
社団法人　私的録画補償金管理協会
TEL　03-3560-3107（代）
FAX　03-5570-2560

使用上のご注意

設置場所について

次のような場所には置かないでください。

- 振動の多い所。
- 直射日光が当る所、湿度が高い所。
- 極端に寒い所。
- チューナーやテレビ、ビデオデッキから近い所。（チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナを使用しているときに起こりやすいので、屋外アンテナの使用をおすすめします。）

また、本機の上に花瓶など水の入った容器を置いたり、水のかかる場所で使用しないでください。本機に水がかかると故障の原因となります。

設置場所を変えるときは

BDやDVD、CDを入れたまま本機を動かさないでください。ディスクを傷めることがあります。

配線/接続作業を行うときは本機の電源を切り、本機の電源が切れていることを確認してから電源プラグをコンセントから必ず抜いてください。

結露（露つき）について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋で、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。

結露が起きた場合、結露がなくなるまで、そのまま放置してください。

- 電源プラグをコンセントに差し込んでいない場合
  電源プラグをコンセントに差し込まないで、そのまま放置してください。
- 電源を入れていない場合
  電源を入れないで、そのまま放置してください。
- 電源を入れている場合
  電源を入れたまま放置してください。

結露があるときにご使用になると、故障の原因になります。

本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

音量を調節するときは

再生を始める前には、音量を必ず小さくしておきましょう。始めから音量を上げていると思わぬ大きな音が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。

ステレオで聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

クリーニングディスクについて

レンズ用のクリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

BDやDVD、CDの取り扱い上のご注意

- 再生、録画面に手を触れないように持ちます。

- 直射日光が当る所など温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ケースに入れて保存してください。
- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で拭いた後、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。

- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
- 次のようなディスクを使用すると本機の故障の原因となることがあります。
  - 円形以外の特殊な形状（カード型、ハート型、星型など）をしたディスク
  - 紙やシールの貼られたディスク
  - セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡のあるディスク

ディスクに関するご注意

- DVDビデオカメラで作成したフォトムービーなどは本機で編集できません。
- DVD-RW/DVD-R/DVD+RW/DVD+R には録画や編集はできず、ダビングのみ可能です。
- 1枚のDVD-RWまたはDVD-RにVRモードとビデオモードを同時に設定することはできません。
  記録フォーマットを変更するときは、もう一度初期化してください（168ページ）。ただし、それまで録画した内容は消去されます。またDVD-R（VRモード/ビデオモード）は再度初期化することはできません。
- DVD-RW/DVD-R/DVD+RW/DVD+R は、単独で初期化はできず、ダビング時にのみ初期化が可能です。BD-RE は、オプションメニューから単独で初期化が可能です。
- 著作物を録画する場合は、パッケージに「録画用」、「ビデオ用」または「For Video」と記載されているBDやDVDを使用してください。
- 2層DVDを再生する場合、レイヤー（層）が切り換わるときに映像・音声が一瞬途切れることがあります。
- 本機で読み込みができないパソコンで記録したデータは消去されることがあります。
- 本機に取り込んだ写真をDVDに記録する場合は、未フォーマットのDVD-RやDVD+R、またはDVD-RW、DVD+RWを使用してください。ただしBD-RE、BD-Rにはフォーマットされていても記録できます。
- 他機で録画したBD-REやBD-Rは、録画や再生、編集ができないことがあります。
- 記録済みのBD-RE/BD-RまたはDVD+RW/DVD+R、DVD-RW/DVD-R、CD-RW/CD-Rは、傷や汚れ、また記録状態や記録機器、BD/DVD/CD記録ソフトの特性などにより再生できないことがあります。また、DVD-RW（VRモード）以外で、すべての記録終了時に終了情報を記録するファイナライズ処理を正しくしていないDVDは、再生できません。詳しくは、記録した機器の取扱説明書をお読みください。
- 他機で録画したディスクは、ディスク情報画面で正しく表示されない場合があります。
- 本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生できない場合があります。
- インターネット接続を必要とするBD-ROMコンテンツには対応していません。
- DRモード以外の録画モードでBD-RE、BD-Rに録画した場合、BD-RE2.1規格に対応したプレーヤーやレコーダーでのみ再生できます。

録画・再生について

- 大切な録画やダビングを行う場合には、BD-REなどの繰り返し録画可能なディスクやHDDでかならず事前にためし録りをして、正常に録画・録音されるか確認してください。
- Ver.1.0のBD-REは、再生のみ対応しています。
- Ver.2.1 のBD-RE、Ver.1.1、Ver.1.2のBD-R（LTH*は1層のみ対応）は、録画・再生・編集・ダビングが可能です。

* Low to High：有機色素系BD-Rに対応した記録方式。

DualDiscについてのご注意

DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。
なお、この音楽専用面はコンパクトディスク（CD）規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

接続と準備の流れ

準備1　付属品を確認する（23ページ）

箱に入っている付属品が、すべて揃っているか確認し、リモコンの準備をします。

準備2　アンテナをつなぐ（24ページ）

本機でテレビ番組を見たり、録画したりするために、アンテナを接続します。

準備3　テレビをつなぐ（30ページ）

本機の映像や音声をテレビで見るために、本機とテレビを接続します。

準備4　他機器をつなぐ（34ページ）

ビデオやチューナーからの映像を本機で録画したり、本機の音声をAVアンプ経由で楽しむために、本機と他機器を接続します。

準備5　デジタル放送用ICカード（B-CASカード）を入れる（38ページ）

デジタル放送を本機で受信するため、B-CASカードを本機に入れます。

準備6　電源コードをつなぐ（39ページ）

本機に電源コードを接続します。
本機に内蔵されているハードディスクを保護するため、電源コードの接続は必ず最後に行ってください。

準備7　かんたん設定をする（40ページ）

テレビ放送の受信設定など、本機を利用するために必要な基本的な設定を行います。

その他の設定について

その他にも以下の設定があります。使用する機能に合わせて設定してください。

放送受信設定　➡ 44ページ
テレビチャンネルの細かい設定ができます。

ビデオ設定　➡ 184ページ
録画や再生に関する設定ができます。

映像設定　➡ 185ページ
本機の映像の表示設定を変更することができます。

音声設定　➡ 187ページ
本機の音声出力方法などを設定することができます。

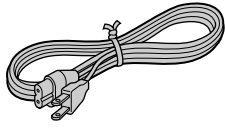
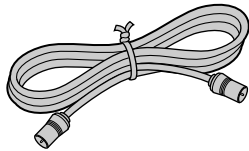
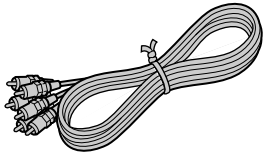
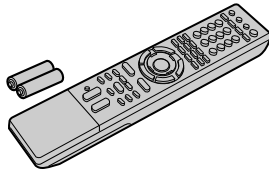
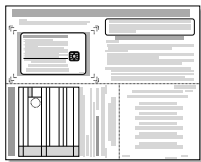
フォト設定　➡ 188ページ
本機で取り込んだ写真の表示方法を設定します。

本体設定　➡ 189ページ
本体に関する様々な設定ができます。

BD/DVD視聴設定　➡ 190ページ
BDやDVDを再生するときの設定ができます。

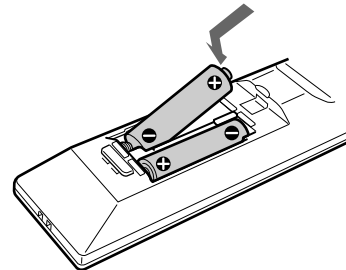
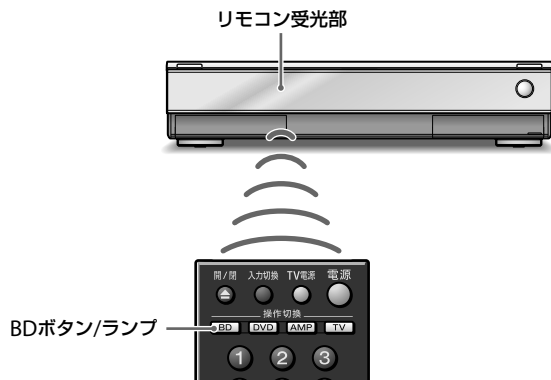
通信設定　➡ 191ページ
ホームサーバー機能を利用するためのネットワークの設定などができます。

［準備1］付属品を確認する

箱を開けたら、付属品が揃っているか確かめてください。

電源コード（1本）

アンテナケーブル（1本）

映像/音声コード（1本）

リモコン（1個）と
単3形（R6）乾電池（2個）

B-CASカード使用許諾契約約款（1部）
・B-CASカード（1）
・B-CAS用ユーザー登録はがき台紙（1）

取扱説明書（本書）
かんたん接続ガイド
かんたん操作ガイド
保証書
ソニーご相談窓口のご案内
（各1部）

リモコンを準備する

リモコンに単3形（R6）乾電池（付属）を2個入れます。⊕と⊖の向きをリモコンの表示に合わせます。

リモコンを使うときは、リモコンを本体のリモコン受光部 に向けて操作します。
お買い上げ時の設定では、BD以外の操作機器切換用ボタンが点灯している場合は本機を操作できません。
本機を操作する場合は、BD を押して操作できるようにしてください。BDのランプは他のボタンと違いすぐ消えます。

ご注意

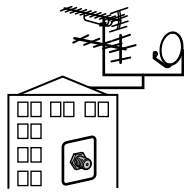
- リモコンを使うときは、リモコン受光部 に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにご注意ください。リモコンで操作できないことがあります。
- お買い上げ時の設定では、BD以外の操作機器切換用ボタンが点灯していると本機の操作はできません。詳しくは「本機のリモコンで他機器を操作する」（52ページ）をご覧ください。
- 本機のリモコンが他のBD機器を操作してしまう場合、リモコンモードを変更してください（53ページ）。

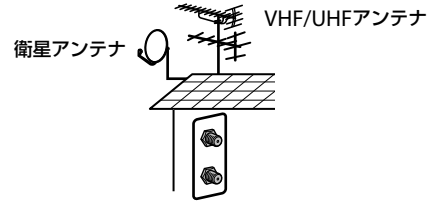
［準備2］アンテナをつなぐ

アンテナ端子と受信できる放送について

アンテナ端子の形状により接続方法が異なります。次の中から、お使いのアンテナ端子の形状に合った接続方法をご覧ください。該当する接続がないときは、お買い上げ店などにご相談ください。

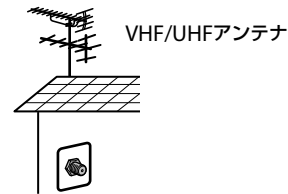
地上デジタル放送を受信するには、UHFアンテナが必要です。VHFアンテナでは受信できません。地上アナログ用のUHFアンテナをこれまで使っていた場合も、地域によっては方向の変更やブースター（増幅器）の追加が必要になることがあります。詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。

BS・110度CS/VHF/UHF混合のアンテナ端子（26ページ）

壁のアンテナ端子ひとつで地上波放送、BS/110度CSデジタル放送を受信できます。マンションなどの共同受信システムのときは、地上波放送、BS/110度CSデジタル放送を分波して接続してください。詳しくはお買い上げ店、マンション管理会社にお問い合わせください。

VHF/UHF混合または単独のアンテナ端子と衛星アンテナ端子（27ページ）

地上デジタルや地上アナログ放送、BS/110度CSデジタル放送を受信できます。すでにBSアナログで衛星アンテナをお使いのときは、そのままBSデジタルを受信できます。ただし、一部の衛星アンテナでは、性能の劣化やデジタル化に必要な性能が確保されていないこともあります。

110度CSデジタル放送を受信したいときは

110度CSデジタル放送に対応した衛星アンテナや分配器、ブースターを使用して接続を行ってください。詳しくはお買い上げ店などにお問い合わせください。

VHF/UHF混合または単独のアンテナ端子（27ページ）

地上デジタルと地上アナログ放送を受信できます。BS/110度CSデジタル放送を受信するには、BS/110度CS放送に対応した衛星アンテナを設置する必要があります。

⚠警告

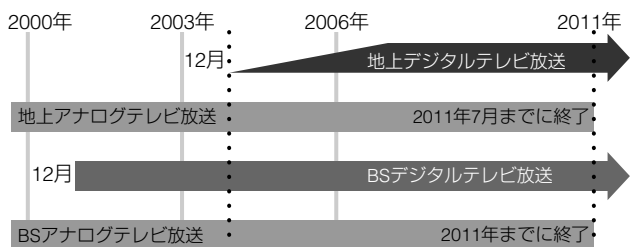
BS/110度CS IF入力端子には専用のケーブルをつないでください

サテライト（BS/110度CS）用同軸ケーブル以外のケーブルをBS/110度CS-IF入力端子に絶対につながないでください。BS/110度CS-IF入力端子からはBS/110度CSコンバーター用の電源が供給されているため、専用のケーブルをつながないとショートして火災などの事故の原因となることがあります。

推奨ケーブル

- **室内用**　EAC-DS15SS/DS30SS/DS50SSなど

アナログテレビ放送からデジタルテレビ放送への移行について

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに、BSアナログテレビ放送は2011年までに終了することが、国の法令によって定められています。

きれいな画像をお楽しみいただくために

次のようにアンテナの接続と設置を確実に行い、電波妨害を受けにくい安定した受信状態を確保してください。

- 本機後面の地上デジタル/VHF/UHF端子への接続は、VHF/UHF用アンテナ接続ケーブルを使ってください。
- アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。
- 室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。

すでにBSアナログをご覧いただいているときは

お使いの衛星アンテナの向きを変えることなく、そのままBSデジタルもBSアナログもそれぞれに対応したBSチューナーで受信できます。ただし、一部の衛星アンテナでは、性能の劣化やデジタル化に必要な性能が確保されていないこともあります。受信状況が悪い場合は、衛星アンテナ製造元のお客様窓口や、お買い上げ店などにお問い合わせください。

デジタルCS放送*を含めた共同受信システムのときは

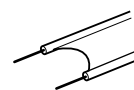
お住まいのマンションの共同受信システムによって、壁のアンテナ端子への接続のしかたが異なります。マンション管理会社（または管理人や管理組合など）に、共同受信システム方式を確認して、その指示にしたがって、接続（26ページ）を行ってください。

* SKY PerfecTV!のことです。110度CSデジタル放送ではありません。

ちょっと一言

- 電波が弱く画面にチラつきや斜めじまが入るときは、別売りのアンテナブースターを本機とアンテナの間につないでください。
- BS/110度CSデジタル放送の受信電波が弱くノイズが出るときは、市販のサテライトブースターを本機と壁のVHF/UHF/BS/110度CS-IF端子の間につないでください。
- マンションなどの共同受信システムで、BS/110度CSデジタル放送のアンテナレベルが低いときは、サテライトブースターをつなぐなど、信号の流れを見直す必要があります。マンション管理会社（または管理人や管理組合など）に確認してください。

ご注意

- 画像の乱れを防ぐため、本機の上にテレビを直接置かないでください。
- 画像の乱れを防ぐため、アンテナ線はなるべく短くし、本機から離してお使いください。特にフィーダー線は同軸ケーブルに比べて雑音電波などの影響を受けやすいため、本機からできる限り離してください。
- フィーダー線は同軸ケーブルよりも雑音電波などの影響を受けやすいため、信号が劣化します。お買い上げ店などにご相談ください。

フィーダー線

- これまでお使いのUHF用アンテナを地上デジタル用に使用する際に、うまく映らなかったり、画面が乱れたりするときは、お買い上げ店などにご相談ください。
- お住まいの地域や電波の状態によっては、地上デジタル放送を受信できない場合があります。
- 共同受信システムで地上デジタル放送が受信できない場合、マンション管理会社に確認してください。
- 次のようなときはBS/110度CSデジタル放送を受信できなかったり、受信状態が悪かったりしますが、故障ではありません。
  - お住まいの地域またはBS/110度CSデジタル放送を送信する放送衛星会社（51ページ）のある地域が雷雨、強風などの悪天候のとき
  - BS/110度CSアンテナにゴミや雪が付着しているとき
  - 強風などでアンテナの向きが変わったとき（BS/110度CSアンテナの向きを調整してください（180ページ）。）
- 本書記載の別売りアクセサリーは、2007年9月現在のものです。万一、品切れや生産完了の際はご容赦ください。

次のページにつづく⇨

BS・110度CS/VHF/UHF混合のアンテナにつなぐ

BS/110度CSデジタル放送と地上波を分波して接続します。
アンテナから本機のアンテナ入力へ、本機のアンテナ出力からテレビ(入力)につなぎます。

サテライト/
UV混合分波器

110度CSデジタル放送に対応した分波器を使用してください。

BS/110度CS

VHF/UHF

BS/110度CS/
UV混合

壁のアンテナ端子(BS/110度CS/UV混合)

BS/110度CS-IF
入力端子へ

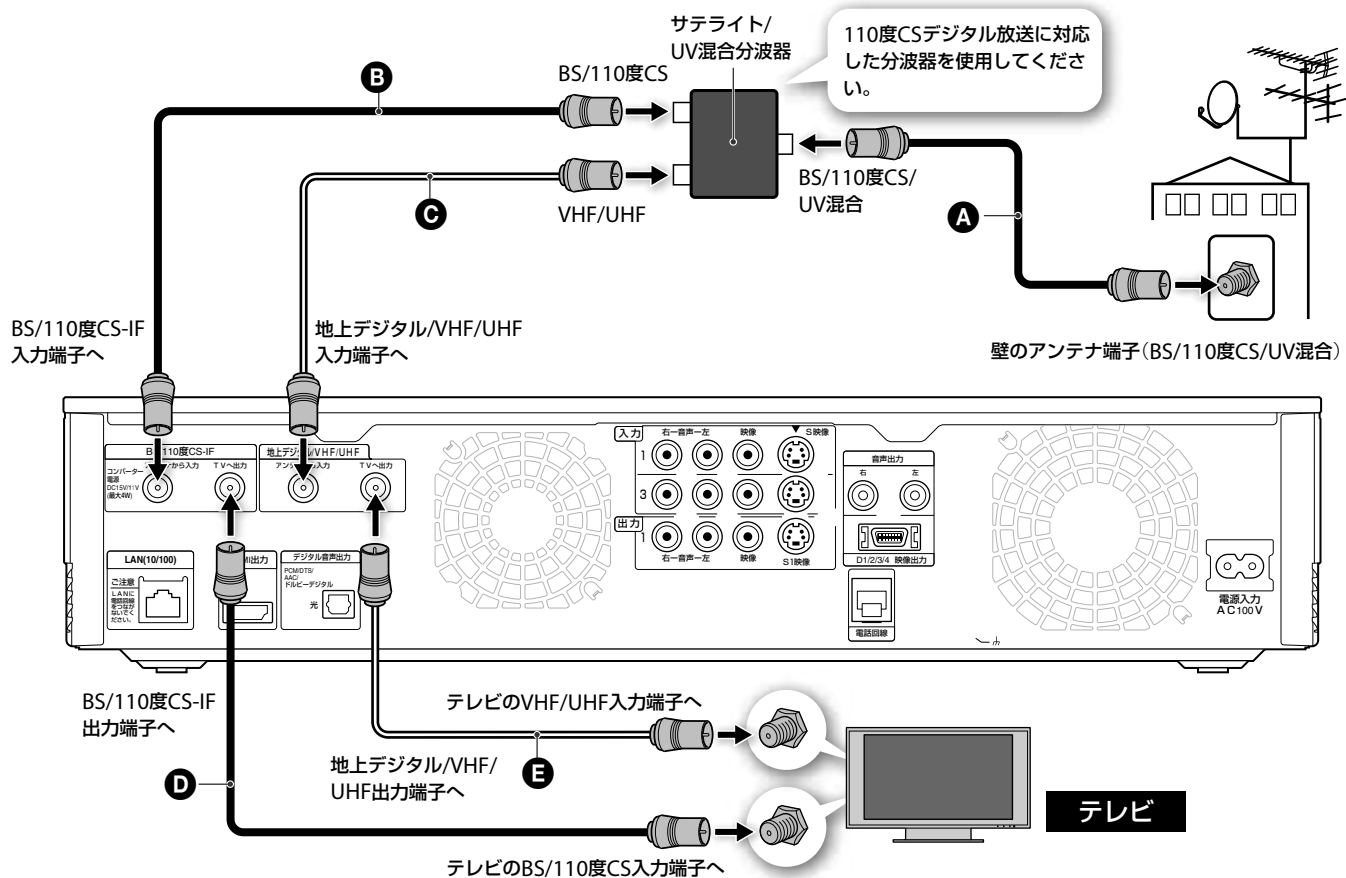
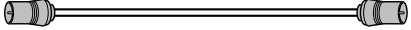
地上デジタル/VHF/UHF
入力端子へ

BS/110度CS-IF
出力端子へ

テレビのVHF/UHF入力端子へ

地上デジタル/VHF/
UHF出力端子へ

テレビのBS/110度CS入力端子へ

テレビ

接続手順

1 サテライト用同軸ケーブル(室内用) Ⓐでサテライト/UV混合分波器のBS/110度CS/UV混合端子*と壁の混合アンテナ端子をつなぐ。

* 分波器の端子名称は一般的な呼称で記述しています。詳しくは混合分波器の説明書をご覧ください。

2 サテライト用同軸ケーブル(室内用) Ⓑで本機のBS/110度CS-IF入力端子とサテライト/UV混合分波器のBS/110度CS端子をつなぐ。

3 アンテナケーブルⒸでサテライト/UV混合分波器のVHF/UHF端子と本機の地上デジタル/VHF/UHF入力端子をつなぐ。

4 サテライト用同軸ケーブル(室内用) Ⓓで本機のBS/110度CS-IF出力端子とテレビのBS/110度CS入力端子をつなぐ。

5 アンテナケーブルⒺで本機の地上デジタル/VHF/UHF出力端子とテレビのVHF/UHF入力端子をつなぐ。

接続に使用するケーブル類

付属品 アンテナケーブルⒺ 1本

別売品 アンテナケーブルⒸ 1本

サテライト用同軸ケーブル(室内用)
ⒶⒷⒹ 3本

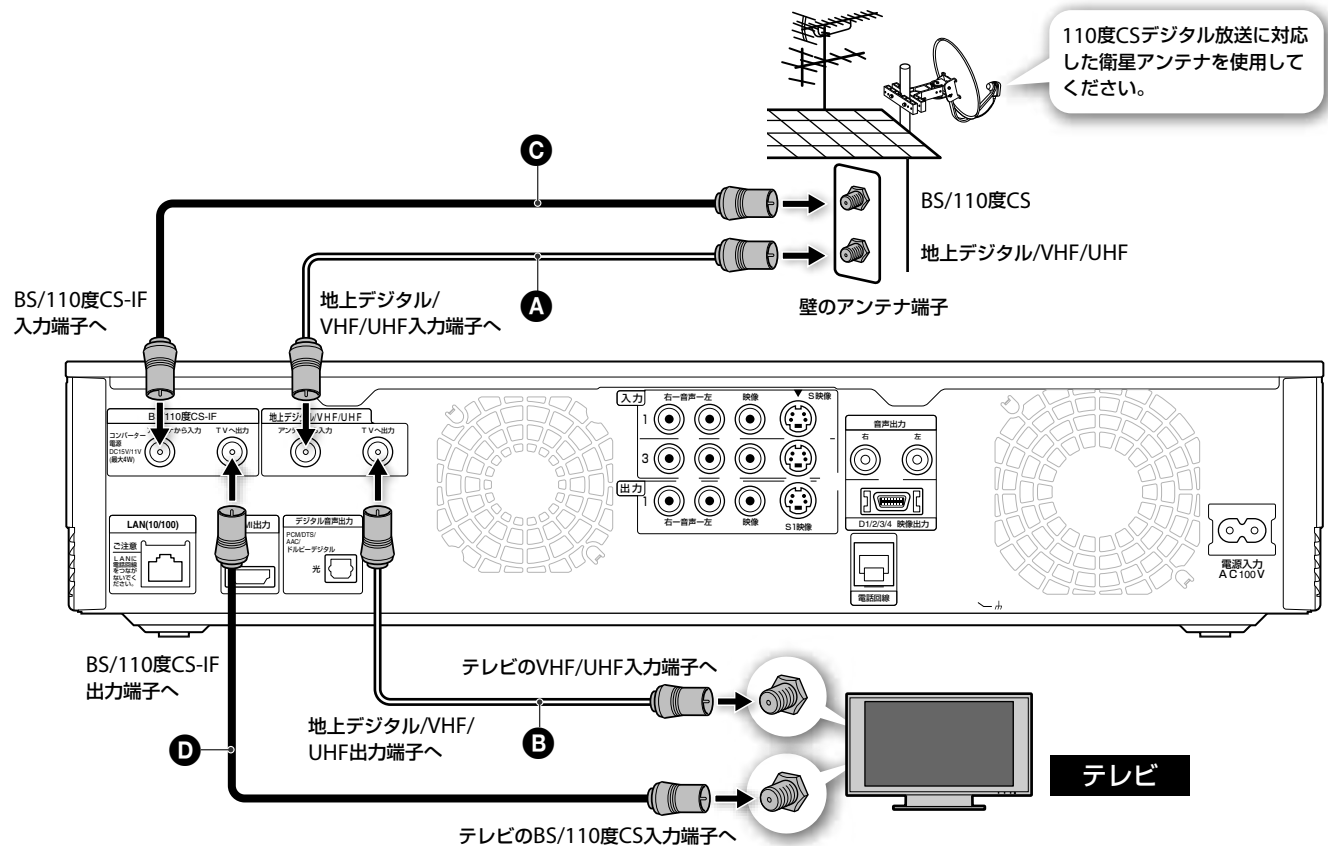
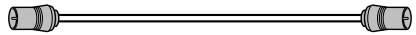
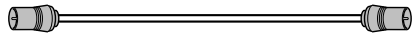
サテライト/UV混合分波器 1個
(EAC-DSSM2など)

VHF/UHF、BSなどが合成された信号を入力すると、それぞれの異なる信号に分けて出力します。

ご注意

- [放送受信設定]で[BS/CSデジタルアンテナ電源]を[切]に設定し(181ページ)、テレビのコンバーター用電源も「切」にしてください。
- 混合アンテナ端子と分配器をつなぐと映像が乱れることがあります。必ず分波器を使用してください。
- 110度CSデジタル放送に共同受信システムが対応していれば、110度CSデジタル放送を受信できます。対応していない場合もBSデジタル放送は受信できます。詳しくは、お買い上げ店、マンション管理会社にお問い合わせください。

VHF/UHF混合または単独のアンテナと衛星アンテナにつなぐ

アンテナから本機のアンテナ入力へ、本機のアンテナ出力からテレビ(入力)につなぎます。

接続手順

1. アンテナケーブルⒶで本機の地上デジタル/VHF/UHF入力端子と壁の地上デジタル/VHF/UHF端子をつなぐ。
2. アンテナケーブルⒷで本機の地上デジタル/VHF/UHF出力端子とテレビのVHF/UHF入力端子をつなぐ。
3. サテライト用同軸ケーブル(室内用) Ⓒで本機のBS/110度CS-IF入力端子と壁のBS/110度CS端子をつなぐ。
4. サテライト用同軸ケーブル(室内用) Ⓓで本機のBS/110度CS-IF出力端子とテレビのBS/110度CS入力端子をつなぐ。

接続に使用するケーブル

サテライト用同軸ケーブル(室内用)

ⒸⒹ 2本

ご注意

- テレビなどでBSアンテナに電源を供給しているときは、[放送受信設定]で[BS/CSデジタルアンテナ電源]を[自動]に設定してください(181ページ)、テレビのコンバーター用電源も「入」にしてください。
- 110度CSデジタル放送に衛星アンテナや分配器、ブースター(増幅器)、および、共同受信システムが対応していれば、110度CSデジタル放送を受信できます。詳しくは、お買い上げ店、マンション管理会社にお問い合わせください。

次のページにつづく⇨

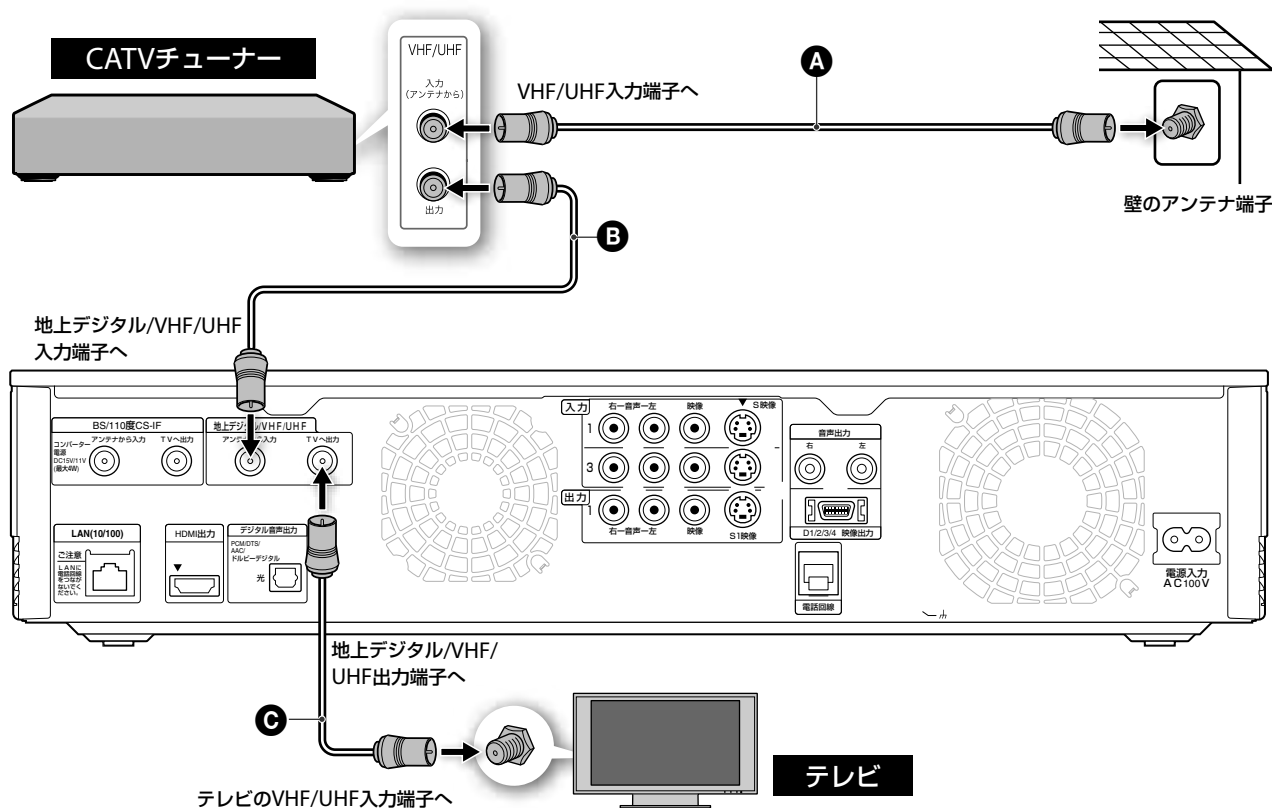
CATV（ケーブルテレビ）チューナーにつなぐ

ご契約のCATV局がパススルー方式の場合

CATVチューナーやセットトップボックスなどのアンテナ出力から本機のアンテナ入力に、本機のアンテナ出力からテレビ（入力）につなぎます。衛星アンテナの接続については、26ページをご覧ください。

パススルー方式とは

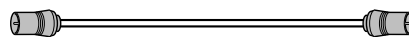
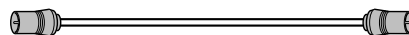
ケーブルテレビ事業者側で受信した地上デジタル放送を変調方式を変更せずに、ケーブルテレビへ再送信するものです。
本機は、同一周波数パススルーおよび周波数変換パススルーすべての周波数に対応しています。
ご契約のCATV局がパススルー方式の場合は、本機の地上デジタルチューナーを利用して、HDDやBDにハイビジョン画質での録画ができます。（分波器が必要となる場合があります。）詳しくはご契約のCATV局にお問い合わせください。

CATVチューナー
VHF/UHF
入力（アンテナから）
出力
VHF/UHF入力端子へ
Ⓐ
壁のアンテナ端子
Ⓑ
地上デジタル/VHF/UHF
入力端子へ
地上デジタル/VHF/
UHF出力端子へ
Ⓒ
テレビのVHF/UHF入力端子へ
テレビ

接続手順

1 アンテナケーブルⒶでCATVチューナーのVHF/UHF入力端子と壁のアンテナ端子をつなぐ。

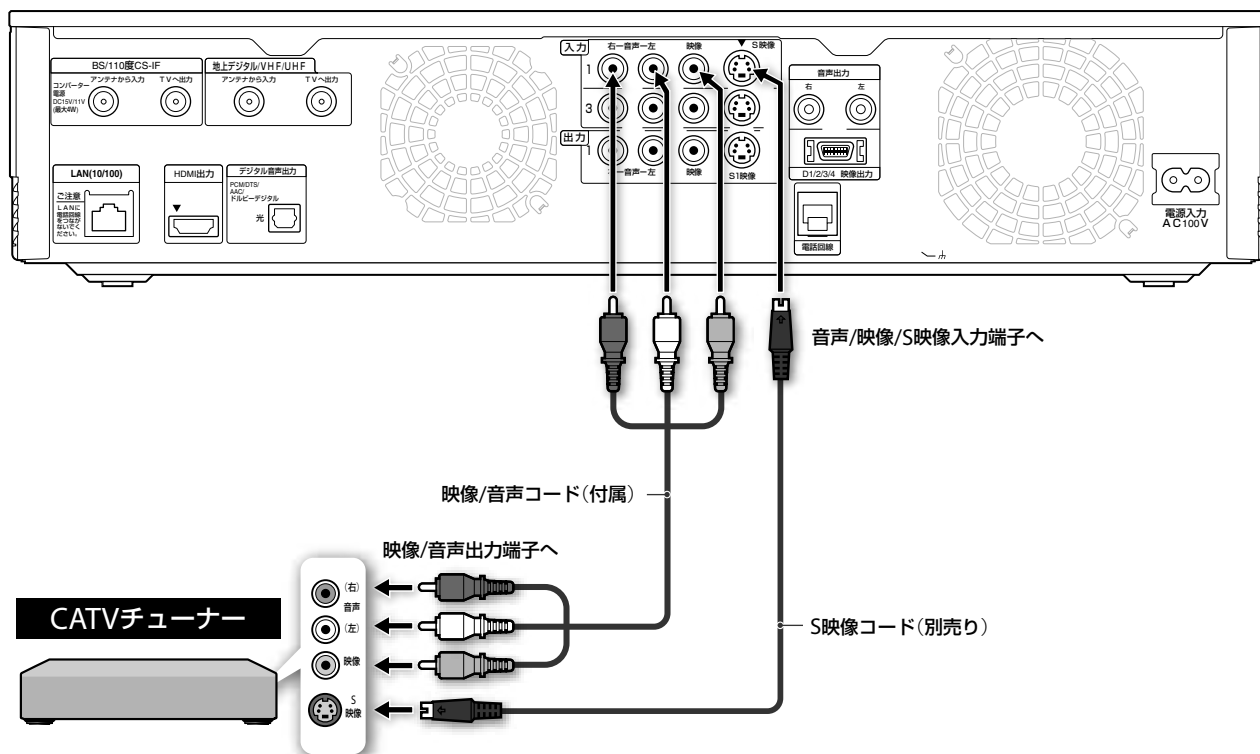
2 アンテナケーブルⒷでCATVチューナーのVHF/UHF出力端子と本機の地上デジタル/VHF/UHF入力端子をつなぐ。

3 アンテナケーブルⒸで本機の地上デジタル/VHF/UHF出力端子とテレビのVHF/UHF入力端子をつなぐ。

接続に使用するケーブル

ご契約のCATV局がパススルー方式でない場合（トランスモジュレーション方式）

ご契約のCATV局がパススルー方式でない場合には、CATVチューナーやセットトップボックスなどの映像/音声出力端子と本機の映像/音声入力端子をつなぎます。

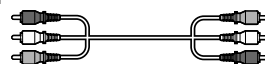
トランスモジュレーション方式とは

ケーブルテレビ事業者側で受信した地上デジタル放送を変調方式を変更して、ケーブルテレビへ再送信する方式です。
放送が変調されているため、放送を受信するためには、専用のチューナーが必要になります。

S映像コードを使うときは

映像コード（黄）をはずしてください。
次の設定を変更してください。

1. ホーム を押し、←→で 🧰 を選ぶ。
2. ↑↓で［映像設定］を選び、決定 を押す。
3. ［映像入力1］または［映像入力2］ *[1]、［映像入力3］ *[2]から接続している端子を選び、［S映像］にする。
   *[1] BDZ-T70/T50のみ
   *[2] BDZ-L70のみ

接続に使用するコード

付属品 映像/音声コード　1本

別売品 S映像コード　1本
（接続するチューナーにS映像端子がある場合、映像コード（黄）の代わりに使えます。）

CATVの映像を録画するには

CATVチューナーで、録画したいチャンネルを選びます。
本機リモコンの入力切換ボタンを押して、つないでいる端子に合わせて本機表示窓に「LINE1」または「LINE2」、「LINE3」（BDZ-L70のみ）を表示させます。

ちょっと一言

本機前面の入力2 S映像端子につないだ場合は、S映像入力を自動的に判別するため、［映像設定］の変更は不要です（BDZ-L70のみ）。

ご注意

- パススルー方式で接続しない場合、本機は525i（480i）の標準テレビ放送信号で映像が入力されます。このためハイビジョン画質では録画できません。
- 本機はMUSEデコーダーと接続できません。
- CATV局の提供するサービス、接続状況によっては動作しないことがあります。詳しくはご契約されているCATV局にお問い合わせください。
- 本機前面のi.LINK端子はHDV1080i/DVの入力専用端子です。ご利用のチューナーにデジタル出力用のi.LINK端子がある場合でも、本機のi.LINK端子と接続してデジタル放送を録画することはできません。（BDZ-L70のみ）

［準備3］テレビをつなぐ

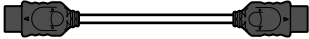
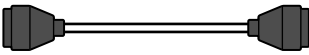
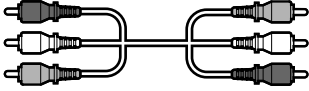
本機からの映像がテレビで映るように、本機とテレビをつなぎます。

画像方式について

テレビ放送や市販の映像ソフトなどには、高画質のデジタルハイビジョン画質 HD と、標準テレビ画質 SD の2種類があります。本機は次の画像方式に対応しています。

	プログレッシブ方式（順次走査） 走査線を順番どおりに描く画像方式。画面や文字のチラつきが少ないため、静止画放送に適しています。	**インターレース方式（飛び越し走査）** 走査線の奇数ラインと偶数ラインを約1/60秒ごとに交互に流す画像方式。
デジタルハイビジョン画質 HD	1125p（1080p）* 750p (720p)	1125i（1080i）
標準テレビ画質 SD	525p (480p)	525i（480i）

* BD-ROMの再生時のみ対応

ちょっと一言

画像方式名の数字は総走査線数、iはインターレース（飛び越し走査）、pはプログレッシブ（順次走査）の略。（　）内は有効走査線数で数えたときの別称です。
インターレース（飛び越し走査）、プログレッシブ（順次走査）の詳しい説明は、用語集（222、223ページ）をご覧ください。

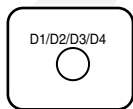
映像コードを選ぶ

本機には数種類の接続端子が用意されています。お手持ちのテレビの接続端子に合わせて、本機とテレビを接続してください。
デジタルハイビジョン機器をお持ちであれば、HDMI出力端子またはD映像出力端子に接続してください。

	画質と接続に使う映像コード	表示できる放送の種類	接続方法
高画質	HDMIケーブル（別売り）	HD SD	HDMIケーブルで接続する（32ページ）
	D映像コード（別売り）	HD SD	D映像コードで接続する（33ページ）
	S映像コード（別売り）	SD	S映像コードで接続する（33ページ）
標準	映像/音声コード（付属）の映像コード（黄）	SD	映像コードで接続する（33ページ）

D1/D2/D3/D4切換ボタンについて

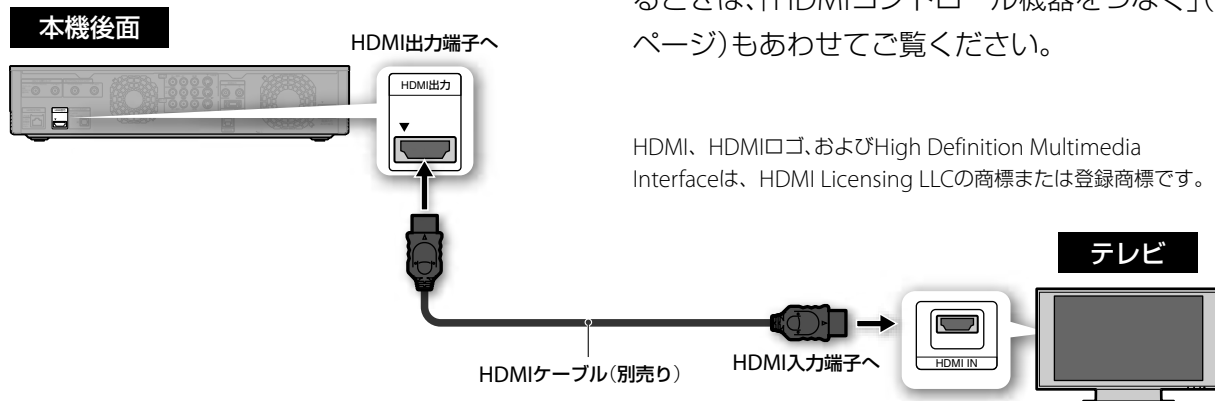
本機前面には、出力する映像信号の種類を切り換えるD1/D2/D3/D4切換ボタンがあります。本機とテレビを接続するケーブルや、お使いのテレビの種類によって出力する映像が異なります。D1/D2/D3/D4切換ボタンを使って、出力する映像の種類を切り換えてください。詳しくは33ページをご覧ください。

ボタンを操作するときは、本体の前扉を開けてください。

D1/D2/D3/D4切換ボタン

ご注意

- 本機をプログレッシブ（525p）方式に対応するテレビなどにつないでプログレッシブ出力したときに、画像の乱れなどの問題が生じた場合は、インターレース方式でご覧になることをおすすめします。詳しくは30、223ページをご覧ください。
- HDMIケーブルはHDMIロゴが入っているものを使用してください。
- 本機の音声/映像/S1映像出力端子を使ってテレビに接続している場合、D映像出力端子からの出力信号を[D2][D3][D4]に変更すると、映像が表示されません。本機前面のD1/D2/D3/D4切換ボタンを押して、[D1]に切り換えてください。
  D映像出力端子からの出力信号は、D1/D2/D3/D4切換ボタンを押したときに、本機前面の表示窓で確認できます。

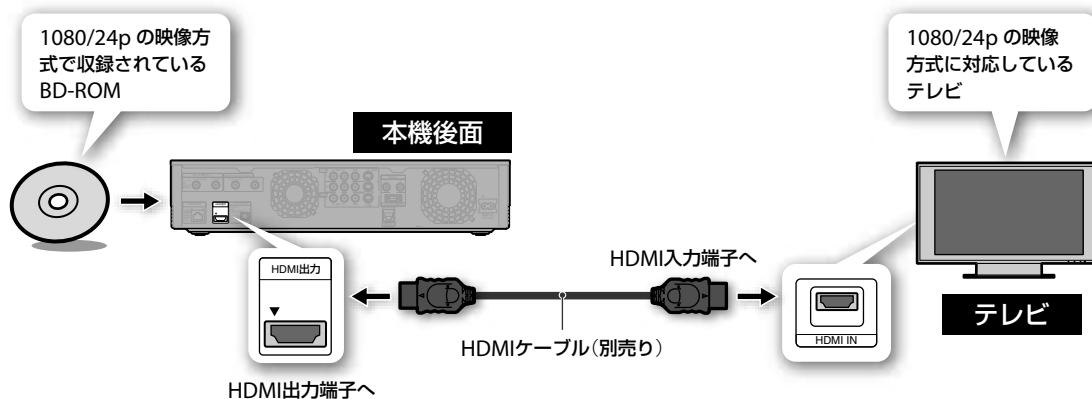
次のページにつづく⇨

HDMIケーブルでつなぐ HD SD

HDMIケーブル（別売り）1本で映像と音声を出力できます。デジタルで劣化の少ない高精細映像と音声が楽しめます。1080/24p（下記）の映像信号を出力できます。
HDMIコントロール対応のソニー製テレビと接続するときは、「HDMIコントロール機器をつなぐ」（37ページ）もあわせてご覧ください。

HDMI、HDMIロゴ、およびHigh Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

［映像設定］の［出力映像解像度設定］で［HDMI解像度優先］を選んでください（186ページ）。

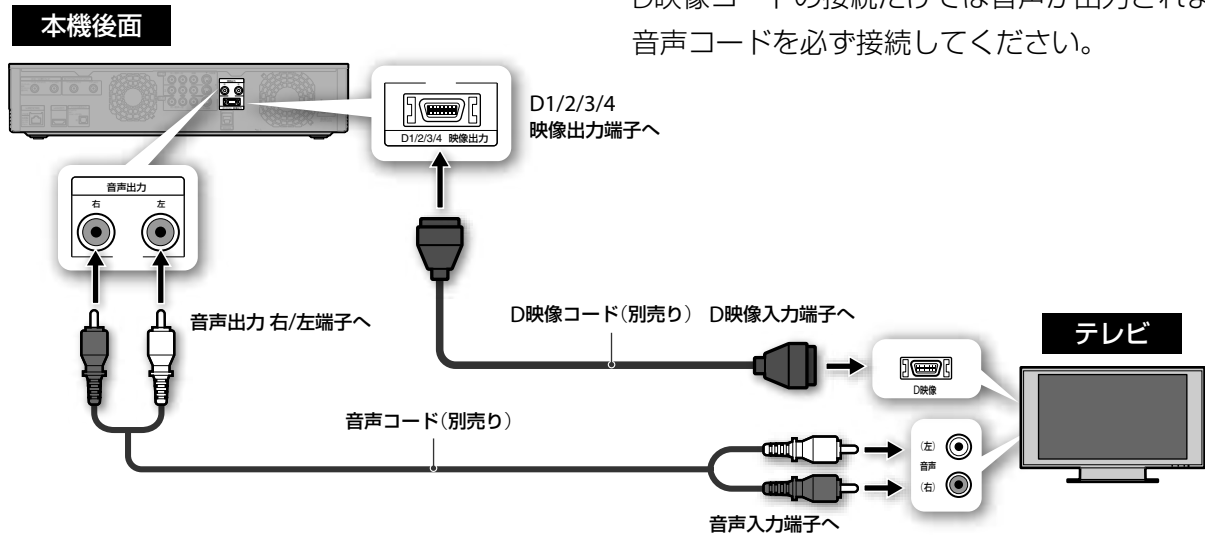
BD-ROMを1080/24p（24p True Cinema）で楽しみたいときは

市販のBD-ROMには、オリジナルのフィルムと同じ毎秒24コマのプログレッシブ映像として収録されているものがあります。
1080/24pの映像方式に対応したテレビとHDMIケーブル（別売り）で接続すれば、映画フィルムの質感そのままに楽しむことができます。

ちょっと一言

DVI機器への接続は保証いたしません。

ご注意

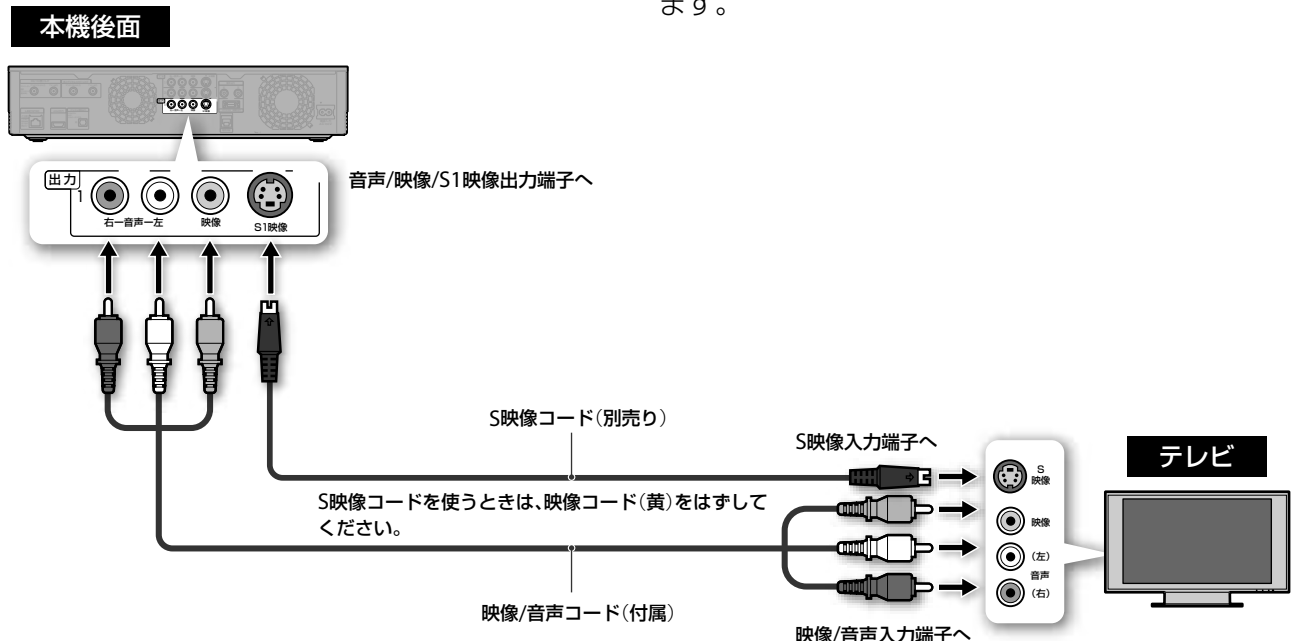
- HDMIの接続機器の認証には時間がかかるため、画像や音声が途切れる場合があります。
- BD-ROMを24p True Cinemaでお楽しみになる場合は、お使いのテレビやAVアンプが1080/24pの映像方式に対応している必要があります。詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
- BD-ROMを24p True Cinemaでお楽しみになる場合は、再生するBD-ROMが1080/24pの映像方式に対応している必要があります。一般的に、記録方式に「1080p」と表示されている市販のBD-ROMは、1080/24pで映像が収録されています。
- HDMIケーブルとD映像コードを両方つないで、［映像設定］の［出力映像解像度設定］を［HDMI解像度優先］に設定すると、以下の場合、D映像出力端子からは映像が表示されません。
  － DVDビデオ再生時（HDMI出力解像度が750p/1080iに設定されている場合のみ）
  － BD-ROM再生時（1080/24p対応テレビと接続している場合のみ）

D映像コードでつなぐ HD SD

D映像コード（別売り）1本でコンポーネント映像を出力でき、映像本来の色を忠実に再現します。
D映像コードの接続だけでは音声が出力されません。音声コードを必ず接続してください。

本機前面のD1/D2/D3/D4切換ボタンで出力映像の設定を切り換える

本機前面のD1/D2/D3/D4切換ボタンを押して、D映像出力端子からの出力信号を選びます。入力信号は次のようになります。テレビに映像が映らない場合は［D1］を選んでください。

D1: 525i（480i）
D2: 525p（480p）/525i（480i）
D3: 1125i（1080i）/525p（480p）/525i（480i）
D4: 1125i（1080i）/750p（720p）/525p（480p)/525i（480i）

S映像コードや映像コードでつなぐ SD

標準的な映像が楽しめます。S映像コード（別売り）を使うと、付属の映像コード（黄）よりきれいな映像が楽しめます。出力信号は525i（480i)固定となります。

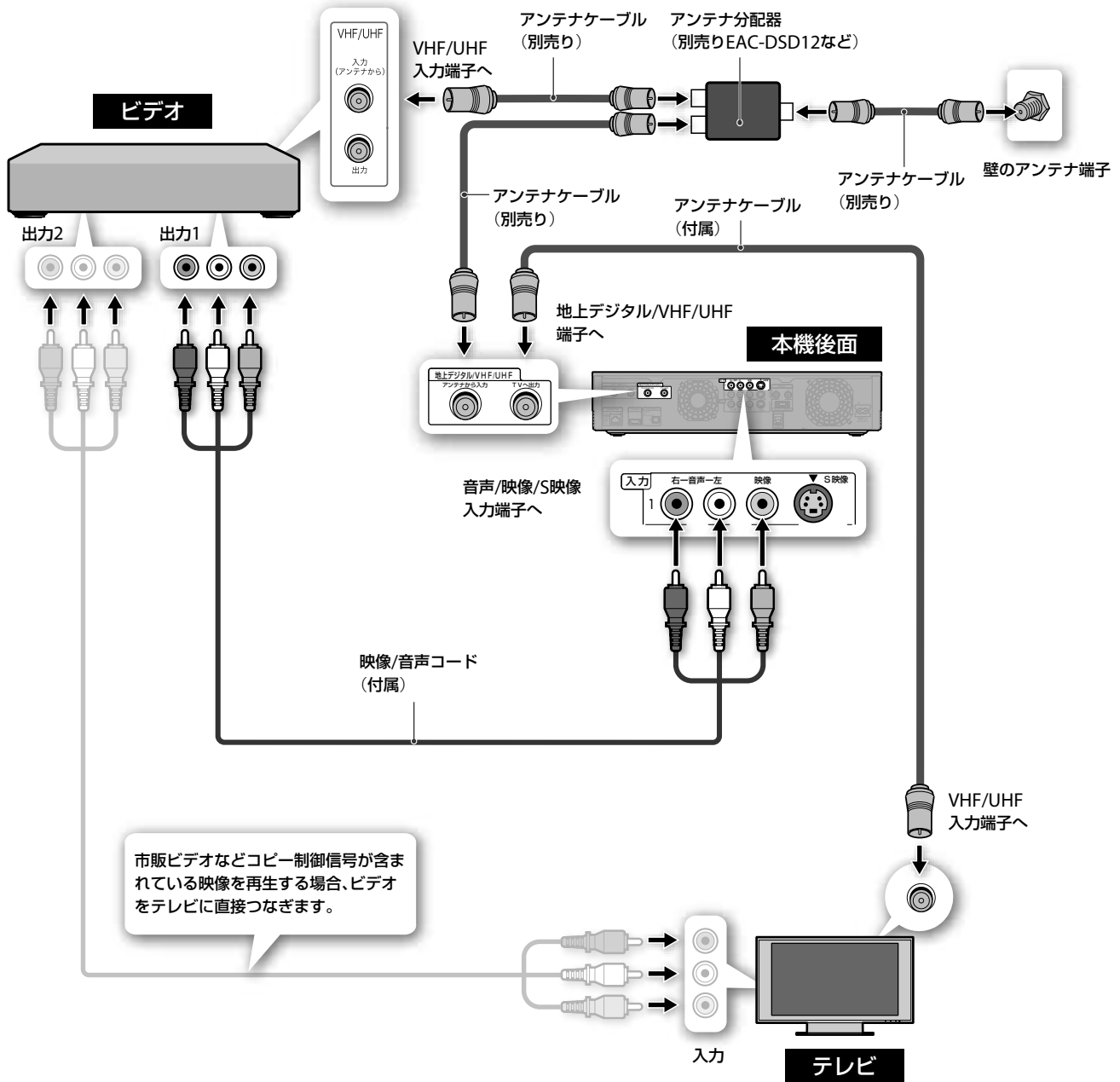
ご注意

- D映像コードで接続した場合は、［映像設定］の［出力映像解像度設定］を［D1/2/3/4設定優先］に設定してください（186ページ）。［HDMI解像度優先］になっているとD映像出力端子から出力されないことがあります。
- 本機の音声/映像/S1映像出力端子を使ってテレビに接続している場合、D映像出力端子からの出力信号を［D2］［D3］［D4］に変更すると、映像が表示されません。本機前面のD1/D2/D3/D4切換ボタンを押して、［D1］に切り換えてください。
  D映像出力端子からの出力信号は、D1/D2/D3/D4切換ボタンを押したときに、本機前面の表示窓で確認できます。

［準備4］他機器をつなぐ

ビデオやチューナー、AVアンプなどの外部機器を映像/音声端子につなげます。ビデオカメラやゲーム機などは前面の入力2端子につなぐと便利です（BDZ-L70のみ）。

ビデオデッキをつなぐ

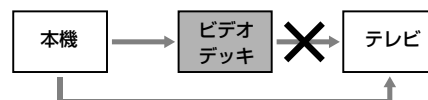
ビデオ
VHF/UHF
入力（アンテナから）
出力
VHF/UHF入力端子へ
アンテナケーブル（別売り）
アンテナ分配器（別売りEAC-DSD12など）
アンテナケーブル（別売り）
壁のアンテナ端子
アンテナケーブル（別売り）
アンテナケーブル（付属）
出力2
出力1
地上デジタル/VHF/UHF端子へ
本機後面
地上デジタル/VHF/UHF
アンテナから入力
TVへ出力
音声/映像/S映像入力端子へ
入力
1
右ー音声ー左
映像
S映像
映像/音声コード（付属）
VHF/UHF入力端子へ
市販ビデオなどコピー制御信号が含まれている映像を再生する場合、ビデオをテレビに直接つなぎます。
入力
テレビ

ビデオデッキの映像を録画するには

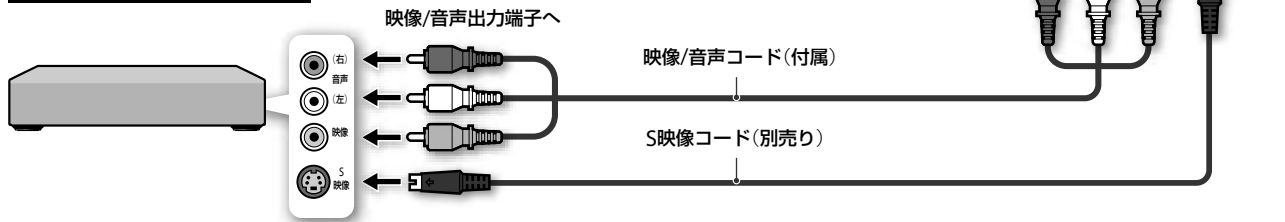
ビデオデッキで録画したいチャンネルを選びます。本機リモコンの入力切換ボタンを押して、つないでいる端子に合わせて本機表示窓に「LINE1」または「LINE2」、「LINE3」（BDZ-L70のみ）を表示します。

ちょっと一言

- 電波が弱く画面にチラつきや斜めじまが入るときは、別売りのアンテナブースターを本機とアンテナの間につないでください。
- 本機とテレビの接続方法については、32、33ページをご覧ください。
- 他機の出力がモノラルの場合は、音声（左）端子につないでください。

ご注意

- 他の機器（ビデオなど）を接続する場合は、アンテナ分配器（別売り）をお使いください。
- ビデオデッキなどの映像記録機器を経由してつなぐと、メニュー画面や映像が乱れることがあります。

チューナーをつなぐ

外部チューナーなどを本機の音声/映像入力端子につなぎます。
デジタルCS放送チューナーをつなぐと、本機でデジタルCS放送を録画できます。デジタルCS放送の受信には、デジタルCS放送局との受信契約が必要です。
外部チューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

S映像コードを使うときは

映像コード（黄）をはずしてください。
次の設定を変更してください。

1 ホーム を押し、⇔で 🧰 を選ぶ。

2 ⇕で［映像設定］を選び、決定 を押す。

3 ［映像入力1］または［映像入力3］（BDZ-L70のみ）から接続している端子を選び、［S映像］にする。

外部チューナーの映像を録画するには

外部チューナーで録画したいチャンネルを選びます。本機リモコンの入力切換ボタンを押して、つないでいる端子に合わせて本機表示窓に「LINE1」または「LINE2」、「LINE3」（BDZ-L70のみ）を表示させます。

本機は録画防止機能（コピーガード）に対応しています

番組によっては、録画できないことがあります。外部チューナーを本機に接続して番組を視聴する場合、番組によっては映像が乱れることがあります。この場合、外部チューナーを直接テレビにつないでください。

ちょっと一言

本機前面の入力2 S映像端子につないだ場合は、S映像入力を自動的に判別するため、［映像設定］の変更は不要です（BDZ-L70のみ）。

ご注意

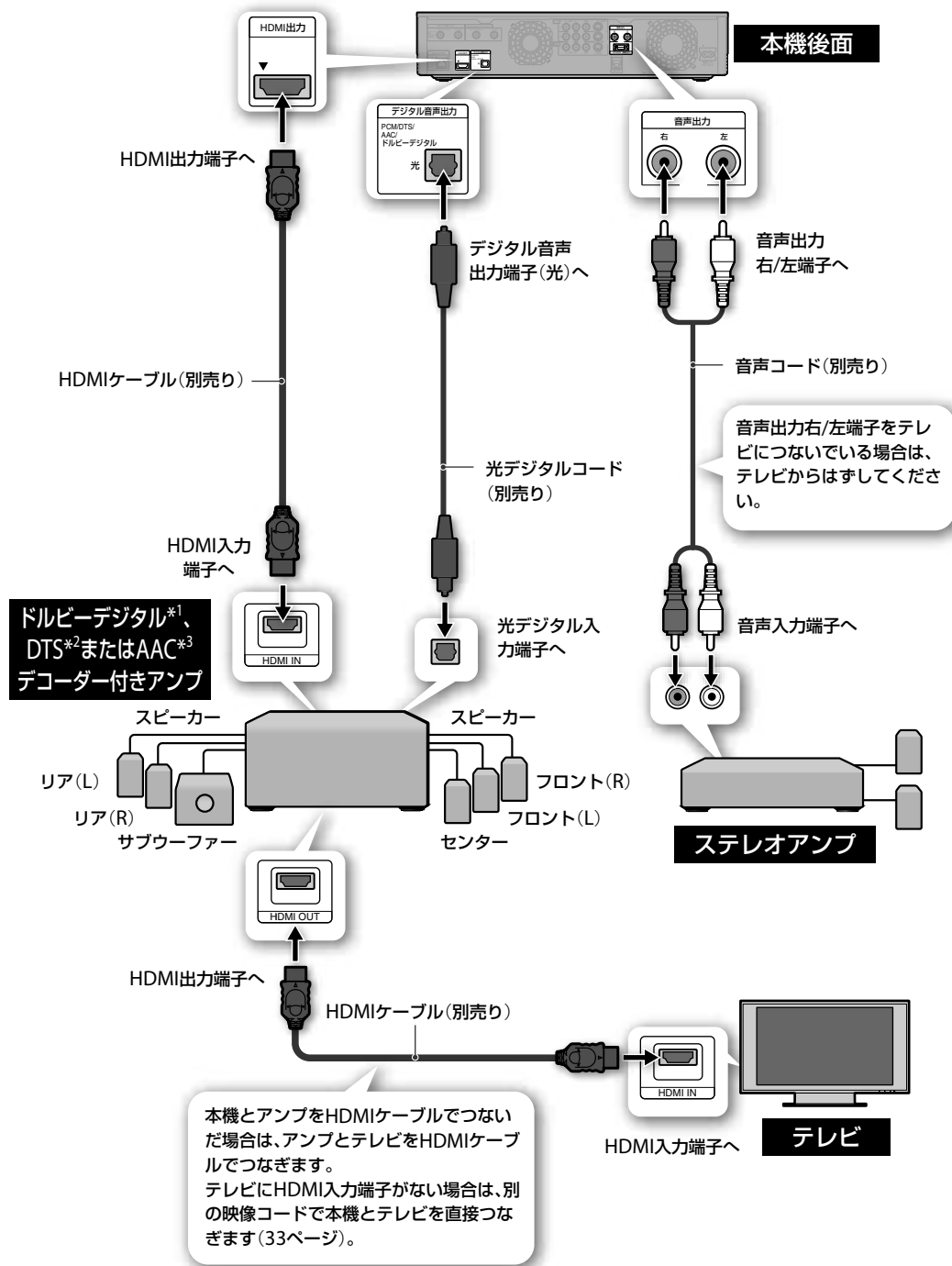
本機に外部チューナーを接続する場合、アナログ接続のみです。ご利用の外部チューナーにデジタル出力用のi.LINK端子がある場合でも、本機のi.LINK端子と接続してデジタル放送を録画することはできません（BDZ-L70のみ）。

次のページにつづく⇨

AVアンプをつなぐ

HDMI入力端子のあるAVアンプの場合、HDMIケーブルでつなぐと、より高音質な音声を楽しめます。
AVアンプのHDMI入力端子が音声のデジタル入力に対応していない場合や、HDMI入力端子がない場合は、光デジタルコード（別売り）でつなぎます。
音声入力端子が左（L）/右（R）のみのステレオアンプのときは、ステレオ音声コード（別売り）をつなぎます。

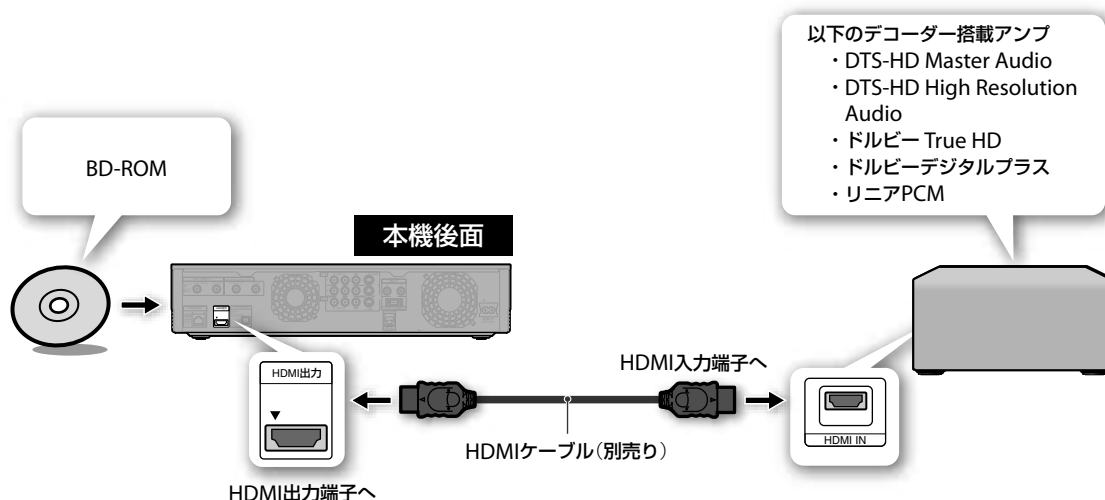
ドルビーデジタル*1、DTS*2またはAAC*3デコーダー付きアンプに光デジタルコードで接続している場合は、本機の[音声設定]の[ドルビーデジタル]、[DTS]、または[AAC]の設定を変更してください（187ページ）。

*1 ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
*2 DTSはDTS, Inc.の登録商標です。そして、DTS-HD Advanced Digital OutはDTS, Inc.の商標です。
*3 AAC（Advanced Audio Coding）は、Moving Picture Experts Group（MPEG）において規格化された音声圧縮方式で、BS/110度CSデジタル放送や地上デジタル放送で使用されています。

ちょっと一言

本機とHDMIストリーム入力に対応したアンプをHDMIケーブル（別売り）で接続すれば、リニアPCM 8chサラウンドや、ドルビー True HD、DTS-HDなどのHDオーディオを楽しめます（37ページ）。

BD-ROMの「リニアPCM」、「ドルビーTrue HD」や、「DTS-HD」のような高音質サラウンドを楽しむには

BD-ROMの中には、映画館のような迫力のある音場を生み出す非圧縮方式の「リニアPCM 8ch」サラウンドや、「ドルビー True HD」や「DTS-HD」といった、ロスレス(可逆型)音声が収録されているものがあります。

本機と、デコーダー搭載アンプをHDMIケーブル(別売り)で接続すれば、音の遠近感や位置までが感じられる立体的なサラウンドで、ハイビジョン映像の世界をリアルに体感できます。これまでの映像ソフトでは味わえなかった臨場感をリビングで満喫できます。

HDMIコントロール機器をつなぐ

HDMIコントロール対応のソニー製テレビと本機をHDMIケーブル(別売り)で接続すると、それぞれの機器間で連動した操作ができるようになります。

HDMIコントロール機能を利用するには

1 本機とテレビをHDMIケーブルで接続する。
接続方法について詳しくは、「HDMIケーブルでつなぐ」(32ページ)をご覧ください。

2 接続した機器でHDMIコントロールの設定をする。
手順**1**でHDMIコントロール設定連動に対応しているソニー製テレビに接続した場合は、本機の電源を入れてからテレビのHDMIコントロール設定を有効にしてください。テレビのHDMIコントロールを有効にすると、本機のHDMIコントロール設定も自動的に[入]になります。詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。
本機の設定については[本体設定]の[HDMIコントロール](189ページ)をご覧ください。
テレビ側の設定方法については、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

［準備5］デジタル放送用ICカード（B-CASカード）を入れる

デジタル放送用ICカード（B-CAS*カード）は、お客様と地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタルの放送局をつなぐカードです。

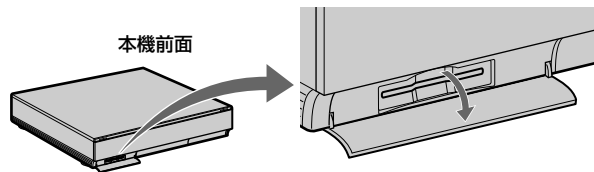
2004年4月より、番組の著作権保護のためデジタル放送は、B-CASカードを挿入していないと、スクランブルがかかって視聴することができません。デジタル放送を視聴するときは、必ず、B-CASカードを挿入してください。

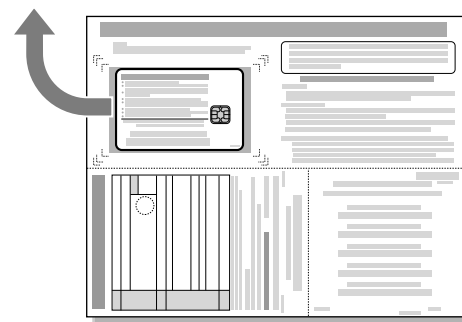
デジタル放送では、このカードを利用したCAS（限定受信システム）が採用されています。
また、有料番組やPPV番組（65ページ）を見たり、データ放送の双方向サービスを受けたりするときも、B-CASカードを使用します。

* B-CASは（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略称です。

接続と準備

次の手順は、電源を切った状態で行ってください。

1 B-CASカード挿入口のふたを開ける。

2 同梱の「B-CASカード使用許諾契約約款」の内容をお読みになり了解された上で、台紙からB-CASカードをはがす。

B-CAS用ユーザー登録はがき台紙の内容にご不明な点があるときは、B-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）へお問い合わせください。

3 B-CASカードを奥までしっかり挿入する。

B-CASと書かれた面を本機上面側に向けて、印刷された矢印の方向に挿入する。

4 カード挿入口のふたを閉める。

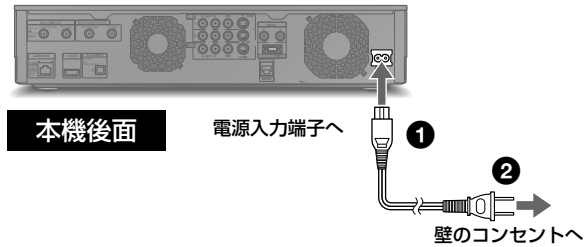
ちょっと一言

同梱のB-CAS用ユーザー登録はがきに必要事項を記入し、投函することをおすすめします。

ご注意

B-CASカードを取り出すときは、電源を切ってから取り出してください。

[準備6] 電源コードをつなぐ

電源コードは必ず、すべての接続が終わってからつないでください。
付属の電源コードを下図の❶、❷の順につなぎます。電源コードをつなぐと、本機が動作します。動作中に振動や衝撃を与えると、HDDが故障することがあります。必ず❶の接続を先に行い、設置が完了してから❷の接続を行ってください。

電源コードをつないだらそのまましばらくお待ちください。
電源コードを接続すると、本機の準備が始まり、しばらくすると自動的に電源が切れます。
表示窓に時計表示が点灯したら電源を入れてください。
表示窓が点灯しても本機を操作できるまで、しばらく時間がかかることがあります。

電源を入れる

電源を入れると、本体の表示窓は次のように表示されます。

を押して電源を「入」にすると

WELCOME

起動中

PLEASE WAIT

「PLEASE WAIT」は本機が起動するまで表示されます。
表示が消えるまで、お待ちください。
その他の表示については228ページをご覧ください。

ちょっと一言
(予約する)、(見る)、(番組表)、(ホーム)、再生(▷)を押した場合にも、本機が起動します。

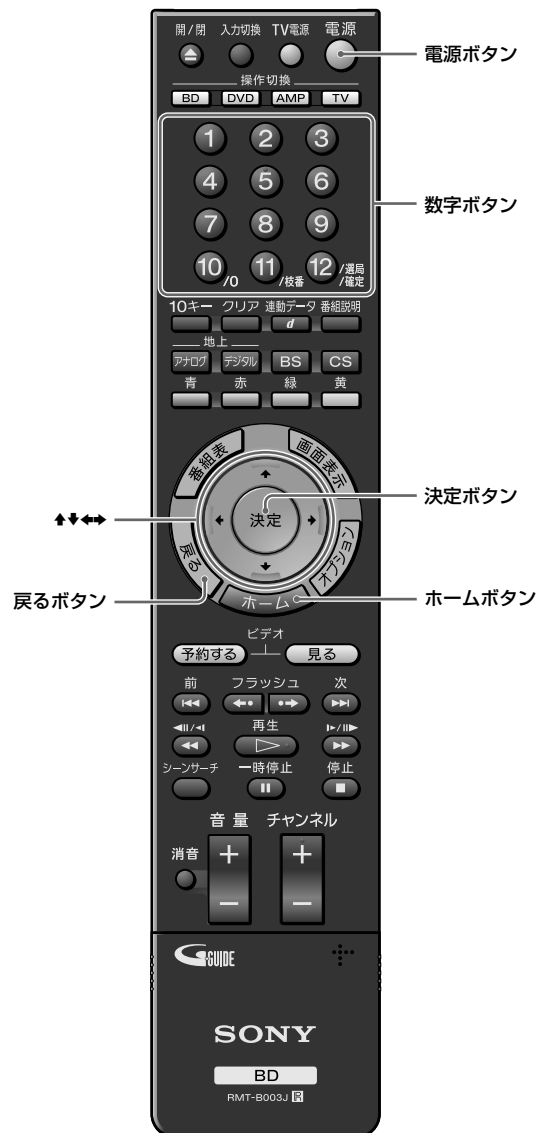
［準備7］かんたん設定をする

お買い上げ後、はじめて本機の電源を入れると、かんたん設定画面が表示されます。本機を使う前に必ず以下のかんたん設定を行ってください。

かんたん初期設定で設定する項目

項目	手順
テレビとの接続方法	手順4（41ページ）
テレビへの出力解像度 （HDMIまたはD映像端子使用時）	手順5、6
テレビの画面サイズ	手順7（42ページ）
4：3または16：9の画面モード	手順8
DVDワイド映像表示	手順9
受信放送波の選択	手順10
郵便番号/県域/地域番号	手順11
地上デジタル放送の自動チャンネル設定	手順12
本機の時計合わせ	手順13

かんたん機能設定で設定する項目

項目	手順
x-おまかせ・まる録、お気に入り番組表のジャンル	手順6～8（45ページ）
おすすめ自動録画	手順9（46ページ）
スタンバイモード	手順10
HDMIコントロール （HDMIコントロール対応機器接続時のみ）	手順11

ちょっと一言

- かんたん設定を正常に終了しないと、電源を入れるたびに、かんたん設定画面が表示されます。
- かんたん設定を正常に行うと、次に電源を入れたときにはかんたん設定画面が表示されません。再度設定し直すときは、（ホーム）を押して（ツールボックス）の［かんたん設定］から［かんたん初期設定］を選んでください。
- 画面上に◀、▶が表示されているときは、←→ボタンで、前の画面/次の画面に移動できます。
- 引越しなどによりお住まいの地域がかわったときやテレビを買い替えたときなども、かんたん設定を行ってください。

ご注意

接続状態や設定内容によっては、表示されない画面があります。

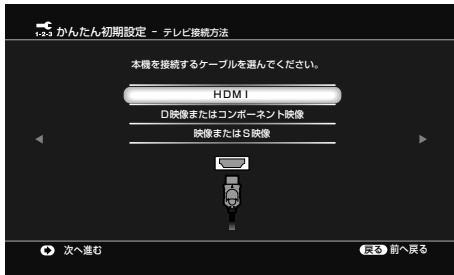
かんたん初期設定をする

本機を使用するうえで、もっとも基本となる設定をします。本機とテレビの接続方式、テレビの解像度や、見え方の調整、受信する放送波、地域の設定、時刻の設定などを行います。

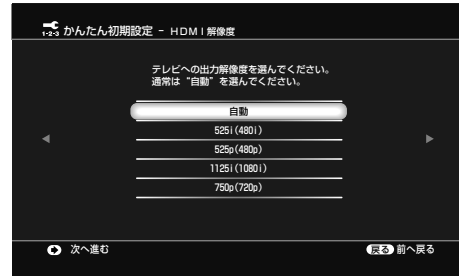
1 **テレビの電源を入れ、本機の画像が映るようにテレビの入力を「ビデオ」などに切り換える。**

2 **電源 を押す。**
かんたん初期設定画面が表示されます。
表示されないときは、ホーム を押して の[かんたん設定]から[かんたん初期設定]を選びます。

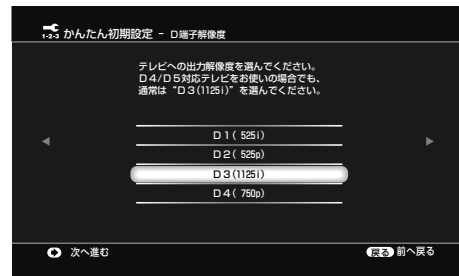
3 **決定 を押す。**
かんたん初期設定画面が表示されないときは、手順1に戻り、テレビの入力が正しい入力になっているか確認してください。

4 **本機とテレビを接続した端子を↑↓で選び、決定 を押す。**

HDMI：HDMI出力端子に接続したときに選びます。デジタル放送の視聴にもっとも適した端子です。
D映像：D映像出力端子で接続したときに選びます。
映像またはS映像：音声/映像出力端子またはS映像出力端子で接続したときに選びます。

[HDMI]の場合は手順5へ、[D映像]の場合は手順6へ、[映像またはS映像]の場合は手順7へ進んでください。

5 **テレビへの出力解像度を↑↓で選び、決定 を押す。**

自動：通常はこの設定にします。また[映像設定]の[出力映像解像度設定]で[D1/2/3/4設定優先]を選んだ場合はこの設定になります。
525i（**480i**）**：**525i（480i)の映像信号を出力します。
525p（**480p**）**：**525p（480p)の映像信号を出力します。
1125i（**1080i**）**：**1125i（1080i)の映像信号を出力します。
750p（**720p**）**：**750p（720p)の映像信号を出力します。

手順7へ進んでください。

6 **テレビへの出力解像度を↑↓で選び、決定 を押す。**

D1（**525i**）**：**D1（525i)の映像信号を出力します。
D2（**525p**）**：**D2（525p)の映像信号を出力します。
D3（1125i）：D3（1125i)の映像信号を出力します。
D4（**750p**）**：**D4（750p)の映像信号を出力します。
通常はD3（1125i)を選ぶようにします。

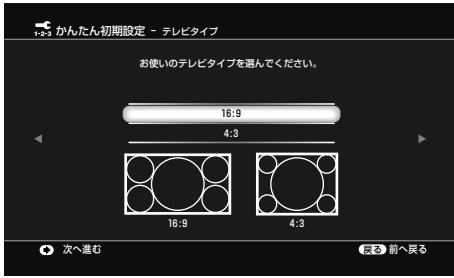
ちょっと一言

- 手順4では選択した端子ごとに端子のイラストが表示されるので、どの項目を選べばよいかがわかります。
- 映像が乱れたときや不自然なとき、お好みに合わないときは、ディスクやお持ちのテレビ/プロジェクターなどに合わせて手順5、6で他の設定を試してください。詳しくは、テレビ/プロジェクターなどの取扱説明書もご覧ください。
HDMIケーブルで接続されたテレビが表示可能な解像度の中から選択することができます。

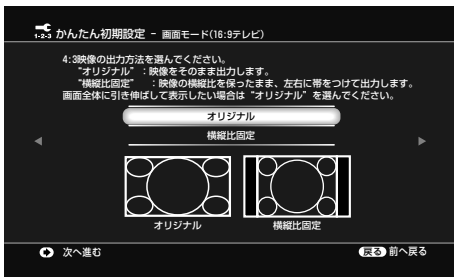
ご注意

本機の音声/映像/S1映像出力端子を使ってテレビに接続している場合、D映像出力端子からの出力信号を[D2][D3][D4]に変更すると、映像が表示されません。本機前面のD1/D2/D3/D4切換ボタンを押して、[D1]に切り換えてください。
D映像出力端子からの出力信号は、D1/D2/D3/D4切換ボタンを押したときに、本機前面の表示窓で確認できます。

次のページにつづく⇨

7 お使いのテレビの横縦比を⬆⬇で選び、(決定)を押す。

16：9：ワイドテレビとつなぐときに選びます。
4：3：4：3のテレビとつなぐときに選びます。

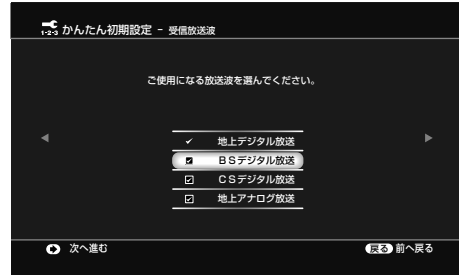
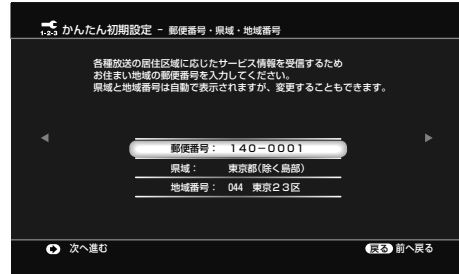
8 映像の出力方法を⬆⬇で選び、(決定)を押す。

例：手順7で［16：9］を選んだ場合

オリジナル：もとの画像どおり表示するので、画面の上下が切れることがあります。
横縦比固定：比率を固定したまま縮めるので、画面の左右に黒帯が表示されます。

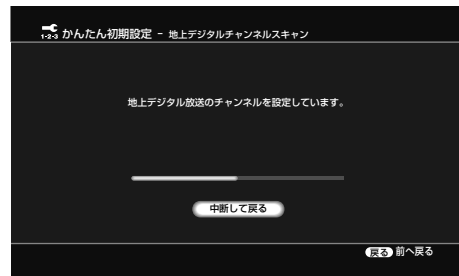
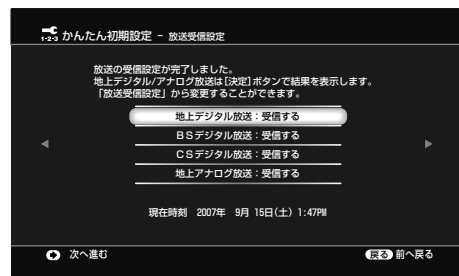
手順7で［4：3］選び、さらに手順8で［横縦比固定］を選んだ場合は手順9へ進んでください。それ以外の場合は手順10へ進んでください。

9 DVDワイド映像の出力方法を⬆⬇で選び、(決定)を押す。

レターボックス：ワイド映像を横長のまま、上下に黒い帯をつけて表示します。
パンスキャン：ワイド映像の左右をカットして、画面全体に表示します。

10 受信する放送波を⬆⬇で選び、➡を押す。

11 ⬆⬇で郵便番号・県域・地域番号を入力する。

同じ放送局でも地域によってチャンネルが異なります。その地域で番組や地上波の番組表を受信できるチャンネルを設定するために郵便番号を入力します。
お住まいの地域に近い地域を自動的に選択しますが、正しい地域が選ばれているか念のため確認してください。
地域番号の選択で迷ったときは、「Gガイド地域番号・放送局表」（47ページ）をご覧になり、お住まいの地域の放送局をより多く含んでいる地域番号を選んでください。

12 郵便番号を設定したら、➡を押す。

チャンネルスキャンの開始画面が表示されます。

13 放送の受信設定を確認する。

自動で時刻を取得できない場合、手動で時刻を設定します。

ちょっと一言

4：3の画面のテレビでワイドモードがあるかないかは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

手順11で地域番号が正しく設定されていないと、番組表を使った録画予約が正しく行えなくなります。

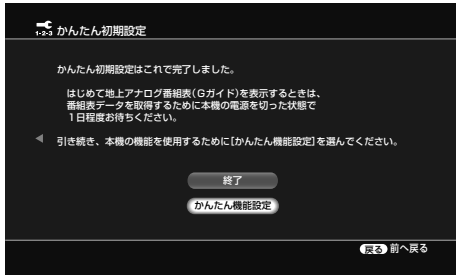
地上デジタルまたは地上アナログの項目を選んで (決定) を押すと、正しく設定されたチャンネル番号と放送局の一覧を見ることができます。

例：地上デジタルチャンネルが正しく設定された場合

ほとんどの[放送局名]の欄が[---]になっている場合など、正しく設定されていない場合は、「チャンネル設定を修正する（CATV経由で受信している場合など）」（44ページ）をご覧ください。

14 **[前へ戻る]を選んで (決定) を押す。**

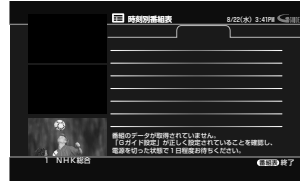
15 **➡を押す。**

16 **[終了]を選んで (決定) を押す。**

かんたん初期設定が終了します。
引き続きかんたん機能設定を行う場合は、[かんたん機能設定]を選んで (決定) を押し、45ページの手順**5**へ進んでください。

1つ前の手順に戻るには

設定中に、(戻る)を押します。

地上アナログ番組表のデータを受信するには

正しく接続と設定を行った後、本機の電源を切って、1日待ちます。本機は「Gガイド」を利用して、番組表データを配信する放送局（ホスト局）からデータを受信します。初めて地上アナログ番組表を受信・表示するまでには、約1日（24時間）程度かかります。番組表データはホスト局から1日に数回、決まった時刻に配信され更新されます。

電源を切り、1日待って
番組表を表示すると

地上アナログ番組表（例：時刻別）

ちょっと一言

- 1日待っても番組表データが受信できないときは、「故障かな？と思ったら」の番組表の項目（198ページ）をご覧ください。
- 設定を誤って変更し、元に戻せなくなったら、[設定初期化]の[出荷時の状態に設定]（195ページ）を選び、お買い上げ時の設定に戻します。その後、かんたん初期設定（41ページ）をやり直してください。
- チャンネル設定を変更すると、変更前の録画予約が正しく行われないことがあります。録画予約をやり直してください。

ご注意

デジタル放送の番組表（76ページ）が取得できていても、地上アナログ放送の番組表データを受信するには、電源を切ってから1日程度待つ必要があります。

次のページにつづく⇨

チャンネル設定を修正する(CATV経由で受信している場合など)

CATV経由で地上アナログ放送を受信している場合などは、次の手順でチャンネル設定を変更します。

1 かんたん初期設定の手順**13**で、[地上アナログ放送]を選び、(決定)を押す。

2 「地上アナログチャンネル設定」のチャンネル一覧画面で、↑↓で行を選び、(決定)を押す。

3 ←→で[放送局]の欄を選ぶ。

4 ↑↓で放送局名を選び、(決定)を押す。

画面の背景に映っている番組から、適切な放送局を選んでください。

一覧に放送局名がないときは

[番号入力]を選びます。数字ボタンでガイドチャンネルを入力し、(決定)を押します。CATVのガイドチャンネルについては、ご契約のCATV局にお問い合わせください。

5 手順**2**～**4**を繰り返し、受信できている放送局名をすべて入力する。

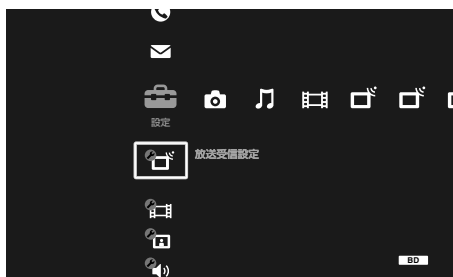
ここで、番組表データを送信している放送局(ホスト局)の[表示CH]の番号を控えておいてください。手順**13**で使います。ホスト局については、「番組表データを送信している放送局(ホスト局)について」(45ページ)をご覧ください。

6 →を押し、(決定)を押して、かんたん設定を終了する。

次にホームメニューの[放送受信設定]で番組表取得チャンネルの設定をします。

7 (ホーム)を押す。

8 ←→で(設定)を選ぶ。

9 ↑↓で[放送受信設定]を選び、(決定)を押す。

10 ↑↓で[Gガイド設定]を選び、(決定)を押す。

11 ↑↓で[番組表取得設定]を選び、(決定)を押す。

12 ↑↓で[取得チャンネル]を選び、(決定)を押す。

13 ↑↓でチャンネル番号をホスト局のチャンネルに合わせ、(決定)を押す。

手順**5**で控えていただいた番号を[取得チャンネル]に設定します。

ちょっと一言

以下のチャンネル設定については、[地上アナログチャンネル設定](181、182ページ)の各項目をご覧ください。

- 画面に表示されるチャンネル番号を変更する([表示CH])
- 不用なチャンネルをチャンネルボタンで選局できないようにする(番組表にも表示されません)([アップダウン選局])
- リモコン数字ボタンのチャンネル登録を変更・設定する([ワンタッチ選局])
- 受信状態を微調整する([微調整])

番組表データを送信している放送局（ホスト局）について

番組表データは、次の放送局より送信されています（2007年9月現在）。ホスト局は地上アナログチャンネル設定画面で、青色で表示されます。

- 北海道地域ー北海道放送（HBC）
- 東北地域ー青森テレビ（ATV）、秋田テレビ（AKT）、IBC岩手放送（IBC）、テレビユー山形（TUY）、東北放送（TBC）、テレビユー福島（TUF）
- 関東地域ー東京放送（TBS）
- 中部地域ー新潟放送（BSN）、信越放送（SBC）、静岡放送（SBS）、中部日本放送（CBC）、テレビ山梨（UTY）、チューリップテレビ（TUT）、北陸放送（MRO）、福井テレビ（FTB）
- 近畿地域ー毎日放送（MBS）
- 中国・四国地域ー山陽放送（RSK）、中国放送（RCC）、テレビ山口（TYS）、山陰放送（BSS）、あいテレビ（ITV）、テレビ高知（KUTV）
- 九州・沖縄地域ー RKB毎日放送（RKB）、長崎放送（NBC）、大分放送（OBS）、熊本放送（RKK）、宮崎放送（MRT）、南日本放送（MBC）、琉球放送（RBC）

かんたん機能設定をする

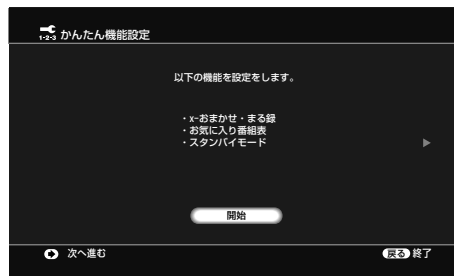
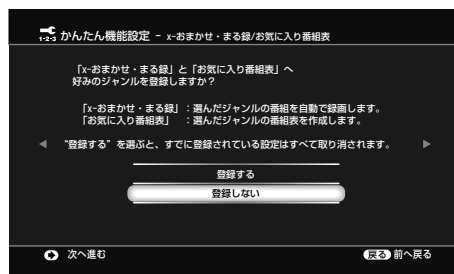
本機をさらに便利に使うための設定をします。x-おまかせ・まる録とお気に入り番組表に登録するジャンルの設定、おすすめ自動録画、スタンバイモード、HDMIコントロールの設定を行います。
かんたん初期設定の手順**16**から引き続き設定する場合は、「かんたん機能設定をする」の手順**4**から再開します。

1 ホーム を押す。

2 ←→で 🧰 を選ぶ。

3 ↑↓で［かんたん設定］を選び、決定 を押す。

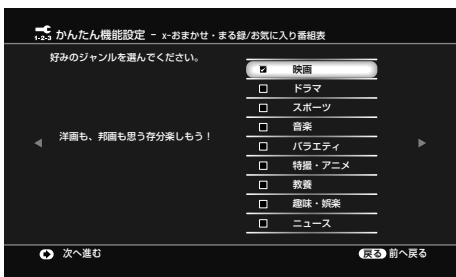
4 ↑↓で［かんたん機能設定］を選び、決定 を押す。

5 ［開始］を選んで決定 を押す。

6 お好みの番組ジャンルをx-おまかせ・まる録とお気に入り番組表に登録するかを↑↓で選び、決定 を押す。

登録する：お好みの番組ジャンルを選択し、x-おまかせ・まる録とお気に入り番組表へそれぞれ登録します。それまでに設定した内容がある場合は、ここで登録するとすべて消去されます。
すでに設定済みのジャンルがある場合、かんたん設定でx-おまかせ・まる録とお気に入りの設定を変更すると、登録済みのジャンルが全て消えてしまいます。
登録しない：お好みの番組ジャンルを登録しません。手順**9**へ進んでください。

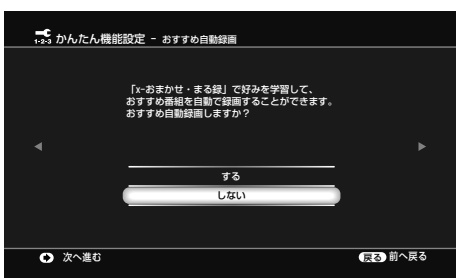
ご注意

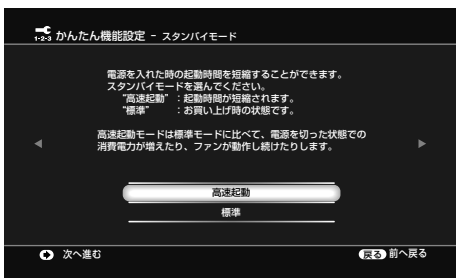
すでに機能設定を行っている場合に、かんたん機能設定を行うと、今までの設定はすべて取り消されます。

次のページにつづく⇨

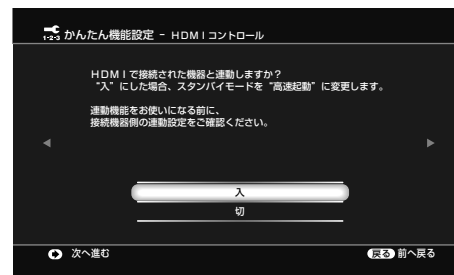
7 x-おまかせ・まる録とお気に入り番組表に登録するジャンルを↑↓で選び、決定 を押す。

チェックを入れたジャンルを、x-おまかせ・まる録とお気に入り番組表に登録します。

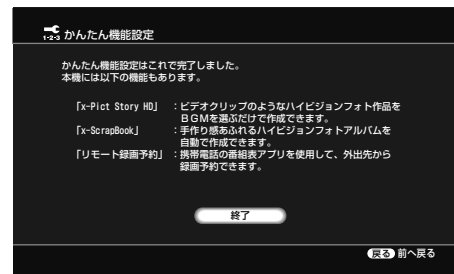
8 登録したいすべてのジャンルを選んだあと、→を押す。

9 おすすめ番組の自動録画設定をするかを↑↓で選び、決定 を押す。

する：お客様の好みを学習し、本機がおすすめする番組（93ページ）をSRモードで自動録画します。有料番組以外のすべてのチャンネルが対象です。
しない：本機がおすすめする番組を自動録画しません。

10 スタンバイモードの設定を↑↓で選び、決定 を押す。

電源「切」（待機状態）時からの起動時間を短縮する［高速起動］モードの設定をします。
ホームサーバー機能を利用して他機器で本機の映像や写真を再生したり（BDZ-L70のみ、128ページ）、リモート録画予約（89ページ）やHDMIコントロールを利用するときは（37ページ）、［高速起動］に設定されていることをご確認ください。

高速起動：電源「切」（待機状態）からの起動後、素早くチャンネル切換や入力切換えなどの操作ができます。ホームサーバー機能（BDZ-L70のみ）や、リモート録画予約、HDMIコントロール機能を利用するように設定すると、自動的に［高速起動］に設定されます。
標準：お買い上げ時に設定されているモードです。

11 HDMIケーブルでテレビと接続している場合は、HDMIコントロールを設定するかを↑↓で選び、決定 を押す。

入：HDMIコントロール機能を使ってHDMIコントロール対応の他機器と相互制御できます。［入］に設定すると、スタンバイモードの設定は［高速起動］になります。
ブラビアリンクに対応しているソニー製テレビと本機をHDMIケーブルで接続している場合、ブラビアに付属しているリモコンで本機を操作することができます。詳しくは、「ブラビアのリモコンで本機を簡単に操作する（ブラビアリンク）」（55ページ）をご覧ください。
切：HDMIコントロールによる相互制御ができません。

12 決定 を押す。

かんたん機能設定が終了します。

ご注意

- 手順10で［高速起動］モードに設定した場合、内部の制御部が電源「切」（待機状態）のときでも通電状態になるため、［標準］モードに比べて待機時消費電力が増えたり、ファンが動作し続けたりします。
- 手順10で［スタンバイモード］を［標準］に設定すると、ホームサーバー機能（BDZ-L70のみ）やリモート録画予約が正しく動作しません。HDMIコントロールは連動して「切」になります。

Gガイド地域番号・放送局表

● の付いている放送局(ホスト局)から番組表データが送信されています(2007年9月現在)。

選んだ地域名の欄にない放送局は、放送を受信できても番組表に表示されない場合があります。

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
北海道	札幌	001	HBC●	1	1	257
			NHK総合	3	3	336
			STV	5	5	261
			NHK教育	12	12	346
			TVh	17	17	273
			UHB	27	27	283
			HTB	35	35	291
	小樽	002	NHK教育	2	2	346
			HTB	4	4	291
			STV	7	7	261
			HBC●	9	9	257
			NHK総合	11	11	336
			TVh	24	24	273
			UHB	26	26	283
	旭川	003	NHK教育	2	2	346
			STV	7	7	261
			NHK総合	9	9	336
			HBC●	11	11	257
			TVh	33	33	273
			UHB	37	37	283
			HTB	39	39	291
	名寄	004	NHK総合	4	4	336
			STV	6	6	261
			HBC●	10	10	257
			NHK教育	12	12	346
			HTB	24	24	291
			UHB	26	26	283
			TVh	33	33	273
	稚内	005	HBC●	10	10	257
			STV	22	22	261
			HTB	24	24	291
			UHB	26	26	283
			NHK総合	28	28	336
			NHK教育	30	30	346
	室蘭	006	NHK教育	2	2	346
			STV	7	7	261
			NHK総合	9	9	336
			HBC●	11	11	257
			TVh	29	29	273
			UHB	37	37	283
			HTB	39	39	291
	苫小牧	007	TVh	47	47	273
			NHK教育	49	49	346
			NHK総合	51	51	336
			UHB	53	53	283
			HBC●	55	55	257
			STV	57	57	261
			HTB	61	61	291
	函館	008	NHK総合	4	4	336
			HBC●	6	6	257
			NHK教育	10	10	346
			STV	12	12	261
			TVh	21	21	273
			UHB	27	27	283
			HTB	35	35	291
	帯広	009	NHK総合	4	4	336
			HBC●	6	6	257
			STV	10	10	261
			NHK教育	12	12	346
			UHB	32	32	283
			HTB	34	34	291
	釧路	010	NHK教育	2	2	346
			STV	7	7	261
			NHK総合	9	9	336
			HBC●	11	11	257
			HTB	39	39	291
			UHB	41	41	283
	網走	011	HBC●	1	1	257
			NHK総合	3	3	336
			STV	5	5	261
			NHK教育	12	12	346
			UHB	27	27	283
			HTB	35	35	291
	北見	012	NHK教育	2	2	346
			STV	7	7	261
			NHK総合	9	9	336
			HBC●	53	53	257
			UHB	59	59	283
			HTB	61	61	291
青森	青森	013	青森放送	1	1	513
			NHK総合	3	3	592
			NHK教育	5	5	602
			青森朝日	34	34	290
			青森テレビ●	38	38	294
	八戸	014	NHK教育	7	7	602
			NHK総合	9	9	592
			青森放送	11	11	513
			青森朝日	31	31	290
			青森テレビ●	33	33	294
	むつ	015	NHK総合	4	4	592
			青森放送	10	10	513
			NHK教育	12	12	602
			青森朝日	56	56	290
			青森テレビ●	58	58	294
岩手	盛岡	016	NHK総合	4	4	848
			IBC●	6	6	262
			NHK教育	8	8	858
			IAT	31	31	276
			めんこい	33	33	289
			テレビ岩手	35	35	547
	釜石	017	NHK総合	2	2	848
			IBC●	10	10	262
			NHK教育	12	12	858
			テレビ岩手	58	58	547
			めんこい	60	60	289
			IAT	62	62	276
	二戸	018	IBC●	2	2	262
			NHK総合	5	5	848
			NHK教育	12	12	858
			IAT	27	27	276
			めんこい	29	29	289
			テレビ岩手	37	37	547
宮城	仙台	019	TBC●	1	1	769
			NHK総合	3	3	1104
			NHK教育	5	5	1114
			仙台放送	12	12	268
			東日本放送	32	32	288
			宮城テレビ	34	34	546
	石巻	020	TBC●	1	59	769
			NHK総合	3	51	1104
			NHK教育	5	49	1114
			仙台放送	12	57	268
			東日本放送	32	61	288
			宮城テレビ	34	55	546
	気仙沼	021	NHK総合	2	2	1104
			TBC●	4	4	769
			仙台放送	6	6	268
			NHK教育	10	10	1114
			宮城テレビ	37	37	546
			東日本放送	43	43	288
秋田	秋田	022	NHK教育	2	2	1370
			NHK総合	9	9	1360
			秋田放送	11	11	267
			秋田朝日	31	31	287
			秋田テレビ●	37	37	293
	大館	023	NHK総合	4	4	1360
			秋田放送	6	6	267
			NHK教育	8	8	1370
			秋田テレビ●	57	57	293
			秋田朝日	59	59	287
	大曲	024	秋田朝日	41	41	287
			NHK教育	43	43	1370
			NHK総合	45	45	1360
			秋田放送	47	47	267
			秋田テレビ●	51	51	293
山形	山形	025	NHK教育	4	4	1626
			NHK総合	8	8	1616
			山形放送	10	10	266
			SAY	30	30	286
			TUY●	36	36	292
			山形テレビ	38	38	550
	鶴岡	026	山形放送	1	1	266
			NHK総合	3	3	1616
			NHK教育	6	6	1626
			TUY●	22	22	292
			SAY	24	24	286
			山形テレビ	39	39	550
	米沢	027	NHK教育	50	50	1626
			NHK総合	52	52	1616
			山形放送	54	54	266
			TUY●	56	56	292
			山形テレビ	58	58	550
			SAY	60	60	286
福島	福島	028	NHK教育	2	2	1882
			NHK総合	9	9	1872
			福島テレビ	11	11	523
			TUF●	31	31	543
			福島中央TV	33	33	545
			福島放送	35	35	803
	いわき	029	NHK総合	4	4	1872
			福島テレビ	8	8	523
			NHK教育	10	10	1882
			TUF●	32	62	543
			福島中央TV	34	58	545
			福島放送	36	60	803
	いわき 勿来	030	NHK総合	4	4	1872
			福島テレビ	8	8	523
			NHK教育	10	10	1882
			TUF●	32	32	543
			福島中央TV	34	34	545
			福島放送	36	36	803
	会津若松	031	NHK総合	1	1	1872
			NHK教育	3	3	1882
			福島テレビ	6	6	523
			福島中央TV	37	37	545
			福島放送	41	41	803
			TUF●	47	47	543
茨城	水戸	032	NHK総合	1	44	2128
			NHK教育	3	46	2138
			日本テレビ	4	42	260
			TBS●	6	40	518
			フジテレビ	8	38	264
			テレビ朝日	10	36	522
			テレビ東京	12	32	524
	日立	033	NHK総合	1	52	2128
			NHK教育	3	50	2138
			日本テレビ	4	54	260
			TBS●	6	56	518
			フジテレビ	8	58	264
			テレビ朝日	10	60	522
			テレビ東京	12	62	524
			MXTV	14	14	270
			チバテレビ	39	39	302
栃木	宇都宮	034	NHK総合	1	51	2128
			NHK教育	3	49	2138
			日本テレビ	4	53	260
			TBS●	6	55	518
			フジテレビ	8	57	264
			テレビ朝日	10	41	522
			テレビ東京	12	44	524
			とちぎTV	31	31	535
	矢板	035	NHK総合	1	40	2128
			NHK教育	3	30	2138
			日本テレビ	4	36	260
			TBS●	6	42	518
			フジテレビ	8	45	264
			テレビ朝日	10	59	522
			テレビ東京	12	61	524
			MXTV	14	14	270
			とちぎTV	33	33	535
群馬	前橋	036	NHK総合	1	52	2128
			NHK教育	3	50	2138
			日本テレビ	4	54	260
			TBS●	6	56	518
			フジテレビ	8	58	264
			テレビ朝日	10	60	522
			テレビ東京	12	62	524
			群馬テレビ	48	48	304
	桐生	037	NHK総合	1	51	2128
			NHK教育	3	57	2138
			日本テレビ	4	53	260
			TBS●	6	55	518
			フジテレビ	8	35	264
			テレビ朝日	10	59	522
			テレビ東京	12	61	524
			群馬テレビ	48	41	304

次のページにつづく⇨

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
埼玉	さいたま	038	NHK総合	1	1	2128
			NHK教育	3	3	2138
			日本テレビ	4	4	260
			TBS●	6	6	518
			フジテレビ	8	8	264
			テレビ朝日	10	10	522
			テレビ東京	12	12	524
			MXTV	14	14	270
			テレ玉	38	38	806
			チバテレビ	46	46	302
			群馬テレビ	48	48	304
	熊谷	039	NHK総合	1	51	2128
			NHK教育	3	35	2138
			日本テレビ	4	53	260
			TBS●	6	55	518
			フジテレビ	8	57	264
			テレビ朝日	10	59	522
			テレビ東京	12	61	524
			テレ玉	38	30	806
			群馬テレビ	48	48	304
	秩父	040	NHK総合	14	14	2128
			日本テレビ	16	16	260
			TBS●	18	18	518
			フジテレビ	29	29	264
			テレビ朝日	38	38	522
			テレビ東京	44	44	524
			テレ玉	47	47	806
			NHK教育	49	49	2138
千葉	千葉	041	NHK総合	1	1	2128
			NHK教育	3	3	2138
			日本テレビ	4	4	260
			TBS●	6	6	518
			フジテレビ	8	8	264
			テレビ朝日	10	10	522
			テレビ東京	12	12	524
			MXTV	14	14	270
			テレ玉	38	38	806
			tvk	42	42	298
			チバテレビ	46	46	302
	東金	042	NHK総合	1	35	2128
			NHK教育	3	38	2138
			日本テレビ	4	4	260
			TBS●	6	6	518
			フジテレビ	8	8	264
			テレビ朝日	10	10	522
			テレビ東京	12	12	524
			チバテレビ	46	31	302
	銚子	043	NHK総合	1	51	2128
			NHK教育	3	49	2138
			日本テレビ	4	53	260
			TBS●	6	55	518
			フジテレビ	8	57	264
			テレビ朝日	10	59	522
			テレビ東京	12	61	524
			tvk	42	42	298
			チバテレビ	46	39	302
東京	東京23区	044	NHK総合	1	1	2128
			NHK教育	3	3	2138
			日本テレビ	4	4	260
			TBS●	6	6	518
			フジテレビ	8	8	264
			テレビ朝日	10	10	522
			テレビ東京	12	12	524
			MXTV	14	14	270
			テレ玉	38	38	806
			tvk	42	42	298
			チバテレビ	46	46	302

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
東京	八王子	045	NHK総合	1	33	2128
			NHK教育	3	29	2138
			日本テレビ	4	35	260
			TBS●	6	37	518
			フジテレビ	8	31	264
			テレビ朝日	10	45	522
			テレビ東京	12	62	524
			MXTV	14	40	270
			テレ玉	38	38	806
			tvk	42	42	298
			チバテレビ	46	46	302
	多摩	046	NHK総合	1	49	2128
			NHK教育	3	47	2138
			日本テレビ	4	51	260
			TBS●	6	53	518
			フジテレビ	8	55	264
			テレビ朝日	10	57	522
			テレビ東京	12	59	524
			MXTV	14	61	270
			テレ玉	38	38	806
			tvk	42	42	298
			チバテレビ	46	46	302
神奈川	横浜1	047	NHK総合	1	52	2128
			NHK教育	3	50	2138
			日本テレビ	4	54	260
			TBS●	6	56	518
			フジテレビ	8	58	264
			テレビ朝日	10	60	522
			テレビ東京	12	62	524
			MXTV	14	14	270
			tvk	42	48	298
	横浜2	048	NHK総合	1	1	2128
			NHK教育	3	3	2138
			日本テレビ	4	4	260
			TBS●	6	6	518
			フジテレビ	8	8	264
			テレビ朝日	10	10	522
			テレビ東京	12	12	524
			MXテレビ	14	14	270
			tvk	42	42	298

❺「横浜1」、「横浜2」について

NHK総合を**52**チャンネルでご覧の方は「横浜1」、それ以外の方は「横浜2」を選んでください。
わからない場合は「横浜2」を選び、受信状態を確認後、正しく受信できないときは「横浜1」を選び直してください。

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
神奈川	平塚	049	NHK総合	1	33	2128
			NHK教育	3	29	2138
			日本テレビ	4	35	260
			TBS●	6	37	518
			フジテレビ	8	39	264
			テレビ朝日	10	41	522
			テレビ東京	12	43	524
			MXTV	14	14	270
			tvk	42	31	298
	秦野	050	NHK総合	1	47	2128
			NHK教育	3	49	2138
			日本テレビ	4	51	260
			TBS●	6	53	518
			フジテレビ	8	55	264
			テレビ朝日	10	57	522
			テレビ東京	12	59	524
			MXTV	14	14	270
			tvk	42	61	298
	小田原	051	NHK総合	1	52	2128
			NHK教育	3	50	2138
			日本テレビ	4	54	260
			TBS●	6	56	518
			フジテレビ	8	58	264
			テレビ朝日	10	60	522
			テレビ東京	12	62	524
			MXTV	14	14	270
			tvk	42	46	298
山梨	甲府	052	NHK総合	1	1	2896
			NHK教育	3	3	2906
			山梨放送	5	5	773
			UTY●	37	37	549

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
長野	長野1	053	NHK総合	2	44	2640
			NHK教育	9	46	2650
			テレビ信州	40	40	542
			長野放送	42	42	1062
			SBC●	48	48	779
			長野朝日	50	50	532
	長野2	054	NHK総合	2	2	2640
			NHK教育	9	9	2650
			SBC●	11	11	779
			長野朝日	20	20	532
			テレビ信州	30	30	542
			長野放送	38	38	1062

❺「長野1」、「長野2」について

NHK総合を**44**チャンネルでご覧の方は「長野1」、それ以外の方は「長野2」を選んでください。
わからない場合は「長野2」を選び、受信状態を確認後、正しく受信できないときは「長野1」を選び直してください。

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
長野	松本	055	SBC●	40	40	779
			長野放送	42	42	1062
			NHK総合	44	44	2640
			NHK教育	46	46	2650
			テレビ信州	48	48	542
			長野朝日	50	50	532
	飯田	056	NHK教育	3	3	2650
			NHK総合	4	4	2640
			SBC●	6	6	779
			長野放送	40	40	1062
			テレビ信州	42	42	542
			長野朝日	44	44	532
	岡谷・諏訪	057	NHK総合	4	4	2640
			SBC●	6	6	779
			NHK教育	8	8	2650
			長野放送	47	47	1062
			テレビ信州	59	59	542
			長野朝日	61	61	532
新潟	新潟	058	BSN●	5	5	517
			NHK総合	8	8	2384
			NHK教育	12	12	2394
			テレビ21	21	21	277
			テレビ新潟	29	29	285
			新潟総合TV	35	35	1059
	上越	059	NHK教育	1	1	2394
			NHK総合	3	3	2384
			BSN●	10	10	517
			テレビ新潟	27	27	285
			新潟総合TV	33	33	1059
			テレビ21	37	37	277
富山	富山	060	北日本放送	1	1	1025
			NHK総合	3	3	3152
			NHK教育	10	10	3162
			チュリップ●	32	32	544
			富山テレビ	34	34	802
	高岡	061	チュリップ●	42	42	544
			富山テレビ	44	44	802
			NHK教育	46	46	3162
			NHK総合	48	48	3152
			北日本放送	50	50	1025
石川	金沢	062	NHK総合	4	4	3408
			北陸放送●	6	6	774
			NHK教育	8	8	3418
			北陸朝日	25	25	281
			テレビ金沢	33	33	801
			石川テレビ	37	37	805
	七尾	063	NHK教育	5	5	3418
			NHK総合	9	9	3408
			北陸放送●	11	11	774
			石川テレビ	55	55	805
			テレビ金沢	57	57	801
			北陸朝日	59	59	281
福井	福井	064	NHK教育	3	3	3674
			NHK総合	9	9	3664
			福井放送	11	11	1035
			福井テレビ●	39	39	295
	敦賀	065	NHK総合	6	6	3664
			福井放送	8	8	1035
			NHK教育	12	12	3674
			福井テレビ●	38	38	295

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
岐阜	岐阜	066	東海テレビ	1	1	1281
			NHK総合	3	39	4176
			CBC•	5	5	1029
			NHK教育	9	9	4186
			メ～テレ	11	11	1547
			テレビ愛知	25	25	537
			三重テレビ	33	33	1313
			中京テレビ	35	35	1571
			岐阜放送	37	37	1061
	各務原	067	東海テレビ	1	1	1281
			NHK総合	3	3	4176
			CBC•	5	5	1029
			NHK教育	9	9	4186
			メ～テレ	11	11	1547
			テレビ愛知	25	25	537
			中京テレビ	35	35	1571
			岐阜放送	41	41	1061
	高山	068	NHK教育	2	2	4186
			NHK総合	4	4	4176
			CBC•	6	6	1029
			東海テレビ	8	8	1281
			メ～テレ	12	12	1547
			中京テレビ	26	26	1571
			岐阜放送	38	38	1061
	中津川	069	NHK総合	4	4	4176
			メ～テレ	6	6	1547
			CBC•	8	8	1029
			東海テレビ	10	10	1281
			NHK教育	12	12	4186
			中京テレビ	26	26	1571
			岐阜放送	28	28	1061
静岡	静岡	070	NHK教育	2	2	3930
			NHK総合	9	9	3920
			静岡放送•	11	11	1291
			静岡第一	31	31	799
			朝日テレビ	33	33	1057
			テレビ静岡	35	35	1315
	浜松	071	NHK総合	4	4	3920
			静岡放送•	6	6	1291
			NHK教育	8	8	3930
			朝日テレビ	28	28	1057
			静岡第一	30	30	799
			テレビ静岡	34	34	1315
	富士	072	静岡第一	27	27	799
			朝日テレビ	29	29	1057
			テレビ静岡	39	39	1315
			静岡放送•	41	41	1291
			NHK総合	52	52	3920
			NHK教育	54	54	3930
	三島・沼津	073	NHK教育	51	51	3930
			NHK総合	53	53	3920
			静岡放送•	55	55	1291
			朝日テレビ	57	57	1057
			テレビ静岡	59	59	1315
			静岡第一	61	61	799
	島田	074	静岡第一	48	48	799
			朝日テレビ	50	50	1057
			NHK教育	54	54	3930
			NHK総合	56	56	3920
			テレビ静岡	58	58	1315
			静岡放送•	62	62	1291
	藤枝	075	静岡第一	24	24	799
			朝日テレビ	26	26	1057
			テレビ静岡	38	38	1315
			静岡放送•	40	40	1291
			NHK総合	42	42	3920
			NHK教育	44	44	3930
愛知	名古屋	076	東海テレビ	1	1	1281
			NHK総合	3	3	4176
			CBC•	5	5	1029
			NHK教育	9	9	4186
			メ～テレ	11	11	1547
			テレビ愛知	25	25	537
			三重テレビ	33	33	1313
			中京テレビ	35	35	1571
			岐阜放送	37	37	1061
	豊橋	077	三重テレビ	33	33	1313
			岐阜放送	37	37	1061
			NHK教育	50	50	4186
			テレビ愛知	52	52	537
			NHK総合	54	54	4176
			東海テレビ	56	56	1281
			中京テレビ	58	58	1571
			メ～テレ	60	60	1547
			CBC•	62	62	1029

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
愛知	豊田	078	三重テレビ	33	33	1313
			岐阜放送	37	37	1061
			テレビ愛知	49	49	537
			NHK教育	51	51	4186
			NHK総合	53	53	4176
			CBC•	55	55	1029
			東海テレビ	57	57	1281
			中京テレビ	59	59	1571
			メ～テレ	61	61	1547
三重	津	079	東海テレビ	1	1	1281
			CBC•	5	5	1029
			NHK教育	9	9	4186
			メ～テレ	11	11	1547
			テレビ愛知	25	25	537
			NHK総合	31	31	4176
			三重テレビ	33	33	1313
			中京テレビ	35	35	1571
	伊勢	080	東海テレビ	1	57	1281
			CBC•	5	55	1029
			NHK教育	9	49	4186
			メ～テレ	11	61	1547
			テレビ愛知	25	25	537
			NHK総合	31	53	4176
			三重テレビ	33	59	1313
			中京テレビ	35	47	1571
	名張	081	テレビ愛知	25	25	537
			NHK教育	50	50	4186
			NHK総合	52	52	4176
			中京テレビ	54	54	1571
			メ～テレ	56	56	1547
			三重テレビ	58	58	1313
			CBC•	60	60	1029
			東海テレビ	62	62	1281
滋賀	大津	082	NHK総合	2	28	4432
			毎日放送•	4	36	516
			朝日放送	6	38	1030
			関西テレビ	8	40	520
			読売テレビ	10	42	778
			NHK教育	12	46	4442
			びわ湖放送	30	30	798
			京都テレビ	34	34	1058
	彦根	083	NHK総合	2	52	4432
			毎日放送•	4	54	516
			朝日放送	6	58	1030
			関西テレビ	8	60	520
			読売テレビ	10	62	778
			NHK教育	12	50	4442
			京都テレビ	34	34	1058
			びわ湖放送	56	56	798
京都	京都	084	NHK総合	2	32	4432
			毎日放送•	4	4	516
			朝日放送	6	6	1030
			関西テレビ	8	8	520
			読売テレビ	10	10	778
			NHK教育	12	12	4442
			テレビ大阪	19	19	275
			京都テレビ	34	34	1058
	山科	085	NHK総合	2	38	4432
			毎日放送•	4	54	516
			朝日放送	6	56	1030
			関西テレビ	8	58	520
			読売テレビ	10	60	778
			NHK教育	12	50	4442
			テレビ大阪	19	19	275
			京都テレビ	34	40	1058
	舞鶴	086	NHK教育	49	49	4442
			NHK総合	51	51	4432
			毎日放送•	53	53	516
			朝日放送	55	55	1030
			京都テレビ	57	57	1058
			関西テレビ	59	59	520
			読売テレビ	61	61	778
	福知山	087	NHK総合	50	50	4432
			NHK教育	52	52	4442
			毎日放送•	54	54	516
			京都テレビ	56	56	1058
			朝日放送	58	58	1030
			関西テレビ	60	60	520
			読売テレビ	62	62	778
大阪	大阪	088	NHK総合	2	2	4432
			毎日放送•	4	4	516
			朝日放送	6	6	1030
			関西テレビ	8	8	520
			読売テレビ	10	10	778
			NHK教育	12	12	4442
			テレビ大阪	19	19	275
			京都テレビ	34	34	1058
			サンテレビ	36	36	548

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
兵庫	神戸	089	NHK総合	2	2	4432
			毎日放送•	4	4	516
			朝日放送	6	6	1030
			関西テレビ	8	8	520
			読売テレビ	10	10	778
			NHK教育	12	12	4442
			テレビ大阪	19	19	275
			サンテレビ	36	36	548
	神戸灘	090	テレビ大阪	19	19	275
			NHK教育	50	50	4442
			NHK総合	52	52	4432
			毎日放送•	54	54	516
			朝日放送	56	56	1030
			関西テレビ	58	58	520
			読売テレビ	60	60	778
			サンテレビ	62	62	548
	川西	091	NHK総合	2	29	4432
			サンテレビ	3	33	548
			毎日放送•	4	35	516
			朝日放送	6	37	1030
			関西テレビ	8	39	520
			読売テレビ	10	41	778
			NHK教育	12	31	4442
			テレビ大阪	19	19	275
	三木	092	NHK総合	2	44	4432
			サンテレビ	3	55	548
			毎日放送•	4	34	516
			朝日放送	6	38	1030
			関西テレビ	8	40	520
			読売テレビ	10	42	778
			NHK教育	12	46	4442
			テレビ大阪	19	19	275
	姫路	093	NHK総合	2	50	4432
			サンテレビ	3	56	548
			毎日放送•	4	54	516
			朝日放送	6	58	1030
			関西テレビ	8	60	520
			読売テレビ	10	62	778
			NHK教育	12	52	4442
			テレビ大阪	19	19	275
	明石	094	NHK総合	2	51	4432
			サンテレビ	3	55	548
			毎日放送•	4	53	516
			朝日放送	6	57	1030
			関西テレビ	8	59	520
			読売テレビ	10	61	778
			NHK教育	12	49	4442
	長田	095	NHK総合	2	44	4432
			サンテレビ	3	34	548
			毎日放送•	4	38	516
			朝日放送	6	40	1030
			関西テレビ	8	42	520
			読売テレビ	10	48	778
			NHK教育	12	46	4442
奈良	奈良	096	NHK総合	2	2	4432
			毎日放送•	4	4	516
			朝日放送	6	6	1030
			関西テレビ	8	8	520
			読売テレビ	10	10	778
			NHK教育	12	12	4442
			京都テレビ	34	34	1058
			奈良テレビ	55	55	311
	五條	097	毎日放送•	33	33	516
			朝日放送	35	35	1030
			関西テレビ	37	37	520
			読売テレビ	39	39	778
			奈良テレビ	41	41	311
			NHK総合	43	43	4432
			NHK教育	45	45	4442
和歌山	和歌山	098	NHK総合	2	32	4432
			毎日放送•	4	42	516
			朝日放送	6	44	1030
			関西テレビ	8	46	520
			読売テレビ	10	48	778
			NHK教育	12	25	4442
			TV和歌山	30	30	1054
	海南・田辺	099	NHK総合	2	50	4432
			毎日放送•	4	54	516
			朝日放送	6	58	1030
			関西テレビ	8	60	520
			読売テレビ	10	62	778
			NHK教育	12	52	4442
			TV和歌山	56	56	1054

次のページにつづく⇨

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
鳥取	鳥取	100	日本海TV	1	1	1537
			NHK総合	3	3	4688
			NHK教育	4	4	4698
			BSS●	22	22	1034
			山陰中央	24	24	1314
	米子	101	NHK総合(島根)	6	6	4944
			BSS●	10	10	1034
			NHK教育	12	12	4698
			日本海TV	30	30	1537
			NHK総合(鳥取)	32	32	4688
			山陰中央	34	34	1314
島根	松江	102	NHK総合	6	6	4944
			BSS●	10	10	1034
			NHK教育	12	12	4954
			日本海TV	30	30	1537
			山陰中央	34	34	1314
	浜田	103	NHK総合	2	2	4944
			BSS●	5	5	1034
			NHK教育	9	9	4954
			日本海TV	54	54	1537
			山陰中央	58	58	1314
岡山	岡山	104	NHK教育	3	3	5210
			NHK総合	5	5	5200
			西日本放送	9	9	265
			RSK●	11	11	1803
			TVせとうち	23	23	279
			KSB	25	25	1569
			OHK	35	35	1827
	津山	105	NHK総合	2	2	5200
			RSK●	7	7	1803
			NHK教育	12	12	5210
			TVせとうち	56	56	279
			西日本放送	58	58	265
			OHK	60	60	1827
			KSB	62	62	1569
	笠岡	106	NHK総合	2	2	5200
			NHK教育	4	4	5210
			RSK●	6	6	1803
			TVせとうち	22	22	279
			西日本放送	34	34	265
			KSB	55	55	1569
			OHK	60	60	1827
広島	広島	107	NHK総合	3	3	5456
			RCC●	4	4	772
			NHK教育	7	7	5466
			広島テレビ	12	12	780
			TSS	31	31	1055
			広島ホーム	35	35	2083
	福山	108	NHK教育	3	3	5466
			NHK総合	5	5	5456
			RCC●	7	7	772
			広島テレビ	11	11	780
			TSS	54	54	1055
			広島ホーム	57	57	2083
	尾道	109	NHK総合	1	1	5456
			NHK教育	7	7	5466
			RCC●	10	10	772
			広島テレビ	12	12	780
			広島ホーム	24	24	2083
			TSS	26	26	1055
	呉	110	NHK教育	1	1	5466
			広島テレビ	5	5	780
			RCC●	9	9	772
			NHK総合	11	11	5456
			広島ホーム	24	24	2083
			TSS	26	26	1055
山口	山口	111	NHK教育	1	1	5722
			NHK総合	9	9	5712
			山口放送	11	11	2059
			山口朝日	28	28	284
			テレビ山口●	38	38	1318
	下関	112	山口放送	4	4	2059
			山口朝日	21	21	284
			テレビ山口●	33	33	1318
			NHK総合	39	39	5712
			NHK教育	41	41	5722
	宇部	113	山口放送	4	61	2059
			NHK総合	6	58	5712
			NHK教育	12	55	5722
			山口朝日	21	24	284
			テレビ山口●	33	44	1318
	岩国	114	NHK教育	1	1	5722
			NHK総合	9	9	5712
			山口放送	11	11	2059
			テレビ山口●	22	62	1318
			山口朝日	28	28	284

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
徳島	徳島	115	四国放送	1	1	1793
			NHK総合	3	3	5968
			毎日放送●	4	4	516
			朝日放送	6	6	1030
			関西テレビ	8	8	520
			読売テレビ	10	10	778
			NHK教育	12	12	5978
			テレビ大阪	19	19	275
			サンテレビ	36	36	548
			TV和歌山	55	55	1054
香川	高松	116	西日本放送	9	41	265
			TVせとうち	19	19	279
			RSK●	29	29	1803
			OHK	31	31	1827
			KSB	33	33	1569
			NHK総合	37	37	6224
			NHK教育	39	39	6234
	丸亀	117	NHK教育	40	40	6234
			KSB	42	42	1569
			NHK総合	44	44	6224
			TVせとうち	46	46	279
			RSK●	48	48	1803
			西日本放送	50	50	265
			OHK	52	52	1827
愛媛	松山	118	NHK教育	2	2	6490
			NHK総合	6	6	6480
			南海放送	10	10	1290
			愛媛朝日	25	25	793
			あいテレビ●	29	29	541
			テレビ愛媛	37	37	1317
	新居浜	119	NHK総合	2	2	6480
			NHK教育	4	4	6490
			南海放送	6	6	1290
			愛媛朝日	14	14	793
			あいテレビ●	27	27	541
			テレビ愛媛	36	36	1317
	今治	120	愛媛朝日	17	17	793
			あいテレビ●	27	27	541
			NHK教育	30	30	6490
			NHK総合	32	32	6480
			南海放送	34	34	1290
			テレビ愛媛	36	36	1317
	宇和島	121	NHK教育	1	1	6490
			NHK総合	6	6	6480
			南海放送	10	10	1290
			愛媛朝日	16	16	793
			あいテレビ●	25	25	541
			テレビ愛媛	27	27	1317
高知	高知	122	NHK総合	4	4	6736
			NHK教育	6	6	6746
			高知放送	8	8	776
			KUTV●	38	38	1574
			KSS	40	40	296
福岡	福岡	123	KBC	1	1	2049
			NHK総合	3	3	6992
			RKB毎日●	4	4	1028
			NHK教育	6	6	7002
			TNC	9	9	521
			TVQ	19	19	531
			FBS	37	37	1573
	久留米	124	TVQ	14	14	531
			STS	36	36	804
			NHK総合	46	46	6992
			RKB毎日●	48	48	1028
			FBS	52	52	1573
			NHK教育	54	54	7002
			KBC	57	57	2049
			TNC	60	60	521
	大牟田	125	TVQ	19	19	531
			STS	36	36	804
			FBS	43	43	1573
			NHK教育	50	50	7002
			NHK総合	53	53	6992
			TNC	55	55	521
			KBC	58	58	2049
			RKB毎日●	61	61	1028
	北九州	126	KBC	2	2	2049
			NHK総合	6	6	6992
			RKB毎日●	8	8	1028
			TNC	10	10	521
			NHK教育	12	12	7002
			TVQ	23	23	531
			FBS	35	35	1573
	行橋	127	TVQ	19	19	531
			FBS	43	43	1573
			NHK教育	46	46	7002
			NHK総合	49	49	6992
			TNC	54	54	521
			KBC	57	57	2049
			RKB毎日●	60	60	1028

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
佐賀	佐賀	128	TVQ	14	14	531
			STS	36	36	804
			NHK総合	38	38	7760
			NHK教育	40	40	7770
			RKB毎日●	48	48	1028
			FBS	52	52	1573
			KBC	57	57	2049
			TNC	60	60	521
	RKB毎日放送が受信できる地域は「Gガイド設定」の[番組表取得設定](183ページ)で番組表取得チャンネルに「48」(RKB毎日)を、熊本放送が受信できる地域は「11」(熊本放送)を設定してください。					
長崎	長崎	129	NHK教育	1	1	7258
			NHK総合	3	3	7248
			NBC●	5	5	1285
			長崎国際	25	25	1049
			長崎文化	27	27	539
			テレビ長崎	37	37	1829
	佐世保	130	NHK教育	2	2	7258
			NHK総合	8	8	7248
			NBC●	10	10	1285
			長崎国際	17	17	1049
			長崎文化	31	31	539
			テレビ長崎	35	35	1829
	諫早	131	長崎国際	32	32	1049
			テレビ長崎	39	39	1829
			NHK教育	51	51	7258
			長崎文化	56	56	539
			NHK総合	59	59	7248
			NBC●	62	62	1285
熊本	熊本	132	KBC	1	1	2049
			NHK教育	2	2	7514
			NHK総合	9	9	7504
			熊本放送●	11	11	2315
			熊本朝日	16	16	528
			TVQ	19	19	531
			KKT	22	22	278
			TKU	34	34	1570
			STS	36	36	804
大分	大分	133	NHK総合	3	3	8016
			OBS●	5	5	1541
			NHK教育	12	12	8026
			OAB	24	24	280
			TOS	36	36	1060
	中津	134	OAB	17	17	280
			TOS	37	37	1060
			NHK教育	45	45	8026
			NHK総合	48	48	8016
			OBS●	51	51	1541
宮崎	宮崎	135	NHK総合	8	8	8272
			宮崎放送●	10	10	1546
			NHK教育	12	12	8282
			テレビ宮崎	35	35	2339
	延岡	136	NHK教育	2	2	8282
			NHK総合	4	4	8272
			宮崎放送●	6	6	1546
			テレビ宮崎	39	39	2339
鹿児島	鹿児島	137	MBC●	1	1	2305
			NHK総合	3	3	8528
			NHK教育	5	5	8538
			鹿児島読売	30	30	1310
			鹿児島放送	32	32	800
			KTS	38	38	1830
	阿久根	138	NHK総合	8	8	8528
			MBC●	10	10	2305
			NHK教育	12	12	8538
			鹿児島読売	17	17	1310
			鹿児島放送	23	23	800
			KTS	35	35	1830
	鹿屋	139	NHK教育	2	2	8538
			NHK総合	4	4	8528
			MBC●	6	6	2305
			鹿児島読売	25	25	1310
			鹿児島放送	31	31	800
			KTS	33	33	1830
沖縄	沖縄	140	NHK総合	2	2	8784
			OTV	8	8	1032
			RBC●	10	10	1802
			NHK教育	12	12	8794
			QAB	28	28	540

各放送局に視聴を申し込む

加入申し込みが必要な有料BSデジタル放送局と110度CSデジタル衛星サービス会社のカスタマーセンター（お問い合わせ先）一覧

BSデジタルの有料放送や110度CSデジタルを視聴するには、各局へ加入申し込みをして契約する必要があります。
加入申し込み方法はBSデジタル放送局や110度CSデジタル衛星サービス会社により異なります。詳しくは、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。
なお、無料放送でも登録が必要な場合があります。詳しくは、ご覧になりたい放送局へお問い合わせください。

2007年9月現在の電話番号とホームページアドレスです。

有料BS/110度CSデジタル放送局

放送局	お問い合わせ電話番号/ ホームページアドレス
WOWOW*[1]	フリーダイヤル 0120-580807 受付 9：00 ～ 20：00（年中無休） http://www.wowow.co.jp/
スター・チャンネル*[2]	スター・チャンネル総合案内窓口 0570-013-111 または 045-339-0399 受付10:00 ～ 18:00（年中無休） http://www.star-ch.jp/

*[1] テレビ放送のみが、視聴申し込みが必要な有料放送です。独立データ放送（WOWOW navi：791、792ch）は無料放送です。
*[2] テレビ放送のみが、視聴申し込みが必要な有料放送です。独立データ放送（800ch）は無料放送です。

110度CSデジタル衛星サービス会社

110度CSデジタル 衛星サービス	お問い合わせ電話番号/ ホームページアドレス
ｅ２ ｂｙ スカパー！ （CS1・CS2）	■ カスタマーセンター 「ｅ２ ｂｙ スカパー！カスタマーセンター」 0570-08-1212 PHS、IP電話のお客様は 045-276-7777 受付 10:00 ～ 20:00（年中無休） ■ ホームページ 「ｅ２ ｂｙ スカパー！ホームページ」 http://www.e2sptv.jp

e2 by スカパー!

16日間無料体験サービス実施中
- http://e2e2.jp/so3
- ナビダイヤル　0570-022-100
  受付時間：10:00 ～ 20:00（年中無休）
  （2007年11月現在）

リモコンの設定を変更する

本機のリモコンで他機器を操作する

リモコンの機器モードを切り換えることで、一時的にテレビやビデオ、アンプなどの操作ができるようになります。
本機のリモコンには、本機の操作を行うBDモードと、あらかじめ登録した他機器の操作を行う他機器モードがあります。

操作機器切換用ボタンのDVDまたはAMP、TV を押して、操作したい他機器の機器モードに切り換える。
選んだ操作機器切換用ボタンのランプが30秒間点灯します。
ランプ点灯中は、本機のリモコンで他機器の操作ができます。
30秒経過すると、自動的に機器モードがBDモードに戻ります。

操作する機器を登録するには

本機では、操作機器切換用ボタンに対して各メーカーの機器を登録することができます。
操作機器切換用ボタンによって登録できる機器が異なります。

登録できる機器の一覧

ボタン	お買い上げ時の設定	登録できる機器
BD	503	ソニー製BD機器（53ページ）
DVD	103	各社のビデオ機器やその他ソニー製機器（53ページ）、ソニー製BD機器（53ページ）
AMP	651	各社のビデオ機器やその他ソニー製機器（53ページ）、ソニー製BD機器（53ページ）
TV	901	各社のテレビ（52ページ）

1 DVD または AMP、TV を押しながら、（画面表示）を押す。

2 操作機器切換用ボタンのランプが点滅している間に、登録したい機器のメーカー番号（3桁）（52、53ページ）を押す。
例：「901」を入力するときは、リモコンの 9、10、1 を順番に押します。

3 決定 を押す。
登録されると、操作機器切換用ボタンが2回点滅します。
登録できなかったときは、操作機器切換用ボタンが5回素早く点滅します。

TV に登録できるテレビのメーカー番号

メーカー	メーカー番号	
ソニー	901*	912
アイワ	917	
松下	902	913
東芝	903	
日立	904	
三菱	905	
ビクター	906	
サンヨー	907	915
シャープ	908	916
NEC	909	
パイオニア	910	
富士通ゼネラル	911	
フナイ	914	
三星電子（SAMSUNG）	918	919

* お買い上げ時の設定

ちょっと一言
- 電源、チャンネル +/−、音量 +/−、入力切換 などのボタンが使用できます。機器によって、一部のボタンが使用できないことがあります。
- ソニー製、アイワ製テレビでは、機種によって 1～12 の数字ボタンでチャンネルを切り換えることができます。
- メーカー番号901のソニー製テレビには、R マークが付いています。

ご注意
- メーカー番号が複数あるときは、順に試して操作できる番号をお選びください。
- 10秒以内に次の操作を始めなかったときは、手順1からやり直してください。
- アイワのリモコンコードを設定しても操作できないときは、ソニーのリモコンコードで登録してください。

テレビのメーカー番号を「901」で登録すると

“XMB”(クロスメディアバー)搭載のソニー製テレビを操作することができます。2007年9月現在、次の“XMB”(クロスメディアバー)搭載のソニー製テレビに対応しています。

プラズマテレビ：KDE-P50HVX、KDE-P42HVX、KDE-P37HVX
液晶テレビ：X1000シリーズ、X7000/5050/5000シリーズ、W5000シリーズ、J5000/3000シリーズ、V5000/3000シリーズ、KDL-L40HVX、KDL-L32HVX、KDL-L26HVX
QUALIA：KDX-46Q005、KDX-40Q005、KDS-70Q006

DVD と AMP に登録できるその他ソニー製機器のメーカー番号

機種	メーカー番号			
DVDレコーダー/プレーヤー	101*[1]	102	103*[2]	
HDDレコーダー	301 308	302	303	304
ビデオ	001 005	002 006	003 201*[3]	004
フォトストレージ	351			
ホームシアターシステム	601	602	603	604
AVアンプ	651*[4]	652	653	
デジタルCS放送チューナー	701			
PSX	801	802	803	

*[1] DVDプレーヤーは「101」に設定してください。
*[2] DVD のお買い上げ時の設定
*[3] DVD一体型ビデオ
*[4] AMP のお買い上げ時の設定

DVD と AMP に登録できるVHSビデオカセットレコーダーのメーカー番号

メーカー	メーカー番号			
アイワ	037 049	038	039	040
松下	010* 014	011*	012*	013
東芝	015*	016*	017	018
日立	019	020	021	022*
三菱	023*	024*	025	026
ビクター	027* 031	028* 032	029*	030*
サンヨー	033*	034	035	036
シャープ	041*	042	043	
NEC	045	046	047	048
フナイ	044*			

* DVD一体型ビデオ

複数のソニー製BD機器を操作できるようにする

本機のリモコンでは、BD に対して3つのリモコンモードのうち1つを設定できます。(お買い上げ時は「BD3」に設定されています。)
また、DVD、AMP を押したときに、ソニー製BD機器が操作できるようにも設定できます。

1. ホーム を押す。
2. ←→で 🧰 を選ぶ。
3. ↑↓で[本体設定]を選び、決定 を押す。
4. ↑↓で[リモコンモード]を選び、決定 を押す。
5. リモコンモード(BD1/BD2/BD3)を選び、決定 を押す。
6. BD または DVD、AMP を押しながら 画面表示 (画面表示)を押す。
7. 操作機器切換用ボタンのランプが点滅している間に、登録したいリモコンモードの登録番号(3桁)を押す。
   例：「501」を入力するときは、リモコンの 5、10/0、1 を順番に押します。

リモコンモード	登録番号
BD1	501
BD2	502
BD3	503

8. 決定 を押す。

本機とリモコンのリモコンモードの設定が異なるときは

本機とリモコンのリモコンモードの設定が異なっている状態でリモコンのボタンを押すと、本機の表示窓に現在本機で設定されているリモコンモードが次のように表示されます。

BD3

本体側のリモコンモードとリモコンのリモコンモードは、同じ番号に合わせてお使い下さい。本体のリモコンモードを変更せずにリモコンのリモコンモードを変更すると、本機の操作ができなくなります。

ご注意

- 本機のリモコンでは、機器の基本的な操作ができますが、機器によっては操作できないことがあります。そのような場合には機器に付属のリモコンで操作してください。
- 本機のリモコンのボタンに対応する機能が機器にない場合は、そのボタンは働きません。

次のページにつづく⇨

BD機器の操作とアンプやテレビの音量調節を一つのリモコンで行いたいときは

BD に専用のアンプやテレビのメーカー番号を登録することにより、BD 、DVD 、AMP での操作時にアンプやテレビの音量を調整することができます。ただし、AMP にAVアンプのメーカー番号(651〜653)が設定されているときは、AMP 操作時のみAVアンプの音量を調整することができます。

1 **BDを押しながら、(画面表示)を押す。**

2 **操作機器切換用ボタンのランプが点滅している間に、登録したい機器のメーカー番号(3桁)を押す。**
例:「552」を入力するときは、リモコンの ⑤、⑤、② を順番に押します。
「0」を入力する場合は、⑩/0 を押します。

テレビの音量を調整したいときは

本機に設定されているリモコンモードに合った「501」「502」「503」のいずれかを入力してください。TV モードに登録されているメーカーのテレビの音量を調整することができます。

アンプの音量を調整したいときは

音量を調整したいアンプのメーカー番号(本機に設定されているリモコンモードに合った、登録できるBD機器のメーカー番号)を入力してください。

3 **決定 を押す。**

登録できるアンプのメーカー番号

(本機リモコンモードを「BD1」に設定している場合)

メーカー	メーカー番号			
ソニー	511	512	513	514
オンキョー	515	516	517	
デノン	518	519	520	
サンスイ	521			
ケンウッド	522	523		
ヤマハ	524	525	526	
松下	527	528		
パイオニア	529			

(本機リモコンモードを「BD2」に設定している場合)

メーカー	メーカー番号			
ソニー	531	532	533	534
オンキョー	535	536	537	
デノン	538	539	540	
サンスイ	541			
ケンウッド	542	543		
ヤマハ	544	545	546	
松下	547	548		
パイオニア	549			

(本機リモコンモードを「BD3」に設定している場合)

メーカー	メーカー番号			
ソニー	551	552	553	554
オンキョー	555	556	557	
デノン	558	559	560	
サンスイ	561			
ケンウッド	562	563		
ヤマハ	564	565	566	
松下	567	568		
パイオニア	569			

自動でBDモードに戻らないようにするには

お買い上げ時の設定では、操作機器切換用ボタンを押すと、30秒後に自動的にBDモードに戻ります。次の設定を行うと、操作機器切換用ボタンで選択した機器の設定に固定することができます。

TV電源 を押しながら、音量の −、チャンネルの − の順番で3つのボタンを同時に押す。
4つの操作機器切換用ボタンがすべて点灯します。
手を離してランプが消灯すれば設定は完了です。
もう一度上記手順を行えば30秒後に自動的にBDモードに戻るようになります。

リモコンの設定をお買い上げ時の設定に戻すには

リモコンのふたを開け 時間表示 (時間表示)を押しながら、TV電源、決定 の順番で3つのボタンを同時に押す。
4つの操作機器切換用ボタンがすべて点灯します。
手を離してランプが消灯すれば設定が戻ります。

ブラビアのリモコンで本機を簡単に操作する（ブラビアリンク）

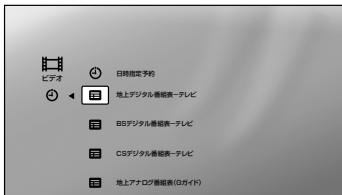
ブラビアリンクに対応しているソニー製のテレビと本機をHDMIケーブルで接続すると、テレビのリモコンにある以下のボタンを押すだけで簡単に本機を操作することができます。

●見て録

テレビを見ているときに押すと、見ている番組を録画（地上アナログは録画できません）。

見る

録画したタイトルを一覧で表示。タイトルを選べば再生開始。テレビの↑↓←→で操作可能。

予約する

さまざまな予約方法を表示。予約方法を選べば予約設定画面へ。テレビの↑↓←→で操作可能。

シアター

「ブラビア」の［シネマ］モードに適した画質で映像を出力。

本機で「見て録」を利用するときのご注意

- ブラビアリンクは以下のブラビアリンク対応ソニー製テレビをお使いのときに利用できます。
  <ブラビア> X7000/5050/5000シリーズ、W5000シリーズ、V5000/3000シリーズ
- 地上アナログ放送には対応していません。
- 地上デジタル放送のラジオ放送やデータ放送には対応していません。
- 「カードエラー」と表示されたときはB-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。
- コピー制御信号により録画できない番組や本機で受信できない番組、未購入の番組、視聴年齢制限を越えた番組では利用できません。
- 本機のHDDに録画した映像（タイトル）が298以上あるときは利用できません。HDDに録画したタイトルを削除してから利用してください。
- 「見て録」開始時に本機のHDDの残量を算出します。HDDの残量が不足しているときは「見て録」を開始できません。HDDに録画したタイトルを削除してください。
- 本機の録画予約と「見て録」が重複した場合、「見て録」は実行されません。「見て録」を実行したいときは重複している録画予約を取り消してください。
- テレビの入力が本機を接続している入力になっているときは、「見て録」は実行されません。
- 番組情報が入手できない場合、利用できません。アンテナの接続を確認してください。
- 本機の以下の機能を利用しているときは、利用できません。
  - 録画中のとき（BDZ-T50のみ）
  - 「録画1」で録画中のとき（BDZ-L70/BDZ-T70のみ）
  - ダビング中のとき
  - HDV/DVダビング中のとき（BDZ-L70のみ）
  - x-Pict Story HD作成中のとき（BDZ-L70のみ）
  - x-ScrapBook書き出し中のとき（BDZ-L70のみ）
  - まるごとディスクコピーの書き込みを利用中のとき
- 本機の以下の機能を利用しているとき「見て録」を行うと、利用中の機能は停止します。
  - まるごとディスクコピーの読み込み
  - タイトルの再生
  - タイトルの編集
- 「見て録」中に番組情報が変化しても、番組を追跡することはできません。

次のページにつづく⇨

ブラビアリンクを利用するための準備

ブラビアリンクを利用するには、以下の準備が必要です。

1 **本機とブラビアリンクに対応しているテレビをHDMIケーブル(別売り)で接続する。**
接続方法について詳しくは、「HDMIケーブルでつなぐ」(32ページ)をご覧ください。

2 **本機の電源を入れる。**

3 **テレビ側でHDMIコントロールの設定をする。**
本機はHDMIコントロール設定連動に対応しています。これにより、テレビ側のHDMIコントロールを設定するだけで、本機のHDMIコントロール機能も有効になります。
HDMIコントロール設定連動について詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。
マルチリモコンをお使いの場合、手順**3**を終えてから、5分以内に手順**4**を行ってください。

4 **テレビのマルチリモコンに本機を登録する。**
テレビのマルチリモコンの 録画機器 に本機(ブルーレイディスクレコーダー)を登録してください。登録方法はお使いのテレビによって異なります。詳しくはお使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。
また、登録するブルーレイディスクレコーダーのリモコンモードは、本機の[本体設定]－[リモコンモード]から変更可能です。本機のリモコンモードについて詳しくは「複数のソニー製BD機器を操作できるようにする」(53ページ)をご覧ください。また、テレビのマルチリモコンのリモコンモードの変更方法は、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- マルチリモコンの登録は本機の電源を入れてから5分以内に行ってください。
- リモコンの登録がうまくいかない場合は、本機のHDMIコントロールの設定が[入]になっているかご確認ください。
- テレビのリモコンの電池を取り出したり、交換したりすると、設定した内容が消えることがあります。そのようなときは、もう一度設定し直してください。
- [本体設定]の[HDMIコントロール](189ページ)の設定を[切]にすると、ブラビアリンクに対応しているソニー製テレビの一部の機種に付属するマルチリモコンを使って本機を操作することができなくなります。
- [設定初期化]の[出荷時の状態に設定](195ページ)で、[本体設定]または[すべての設定の内容]を選ぶと、[HDMI コントロール]の設定が[切]に戻り、ブラビアリンクに対応しているソニー製テレビの一部の機種に付属しているマルチリモコンの登録情報も消去されるため、利用できなくなります。もう一度「ブラビアリンクを利用するための準備」を行ってください。

電話回線/ネットワークにつなぐ

本機のデータ放送の一部サービス（アンケートなどの双方向通信）やB-CASカードの通信を行うためには、電話回線への接続が必要になります。
またネットワーク接続を行うと、本機の映像（タイトル）を他機器で再生したり*[1]、携帯電話で録画予約できるようになるなど、より多くの機能が利用できるようになります。

- ペイパービュー（PPV)の番組を購入したい。
- データ放送を見ているときに、放送局と通信したい。*[2]

必要な準備

1 **電話回線を接続する**（58ページ）。

2 **電話回線の設定を行う。**
➡「**電話回線設定**」（191ページ）

- インターネット経由で、放送局から配信されるデータ放送のコンテンツを楽しみたい。
- 放送局との双方向によるサービスを楽しみたい。
- リモート録画予約を行いたい。
- ホームネットワークを利用して、本機の映像（タイトル）を他機器で再生したい。*[1]

必要な準備

1 **ネットワーク接続を行う**（59ページ）。

2 **データ放送への接続方法を設定する。**
➡「**データ放送通信設定**」（191ページ）

*[1] ネットワーク経由で本機の映像を他機器で再生できるのは、BDZ-L70のみです。
*[2] 通信中は、本体表示窓の通信表示が点滅します（228ページ）。

ちょっと一言

- 本機が放送局と購入情報などを送受信しているときは、本体表示窓の通信表示（228ページ）が点滅し、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器は使えません。
  その際、一部の通信機器で呼び出し音が鳴ることがあります。この場合は、モジュラーテレホンコードカプラーのかわりに、別売りの自動転換機TL-P20C（スタンダードモデル）をお使いください。なお、パソコンなどをお使いの場合は、高速データ通信用自動転換器TL-P21（高速通信対応モデル）をお使いください。
- BS/110度CSデジタルの放送局へ登録などができないときは、NTTに問い合わせて、「回線ごと非通知設定」を解除してください。

ご注意

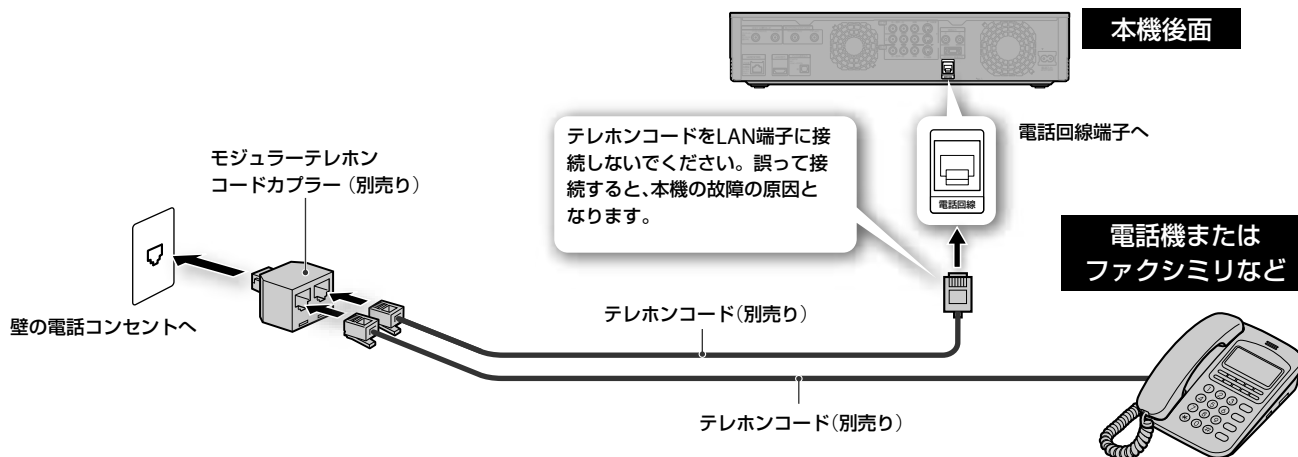
- 次の電話回線にはつなげません。
  – 公衆電話および共同電話、地域集合電話
  – 携帯電話およびPHS、自動車電話
  – 外線に電話するときに、電話番号の頭に「0」または「9」以外の数字を付けるとき
  – IP電話
- ホームテレホンのときは、壁の電話コンセントがモジュラージャック式でも専門業者による工事が必要です。電話回線の使用料、回線接続料がかかります。
- LAN端子に電話回線をつながないでください。誤って接続すると、本機の故障の原因となります。
- この接続を使って、放送局などのサーバーからインターネット経由でデータ放送のコンテンツ*[3]を楽しむためには、別途プロバイダー*[4]との契約が必要です。

*[3] 地上デジタル/BSデジタル/110度CSデジタルで運用されています。
*[4] インターネットサービスプロバイダー（ISP)とも言います。インターネットへの接続サービスなどを提供する事業者です。

次のページにつづく⇨

電話回線にのみつなぐ

B-CASカードに記録された番組購入・契約状況などの情報を、電話回線を通じて定期的に本機から放送局へ自動送信できるようになります。

壁の電話コンセントから電話を直接つないでいるとき

ISDN回線を使ってつないでいるとき（アナログ接続）

本機後面

電話回線端子へ

テレホンコードをLAN端子に接続しないでください。誤って接続すると、本機の故障の原因となります。

ターミナルアダプター

テレホンコード（別売り）

アナログポート

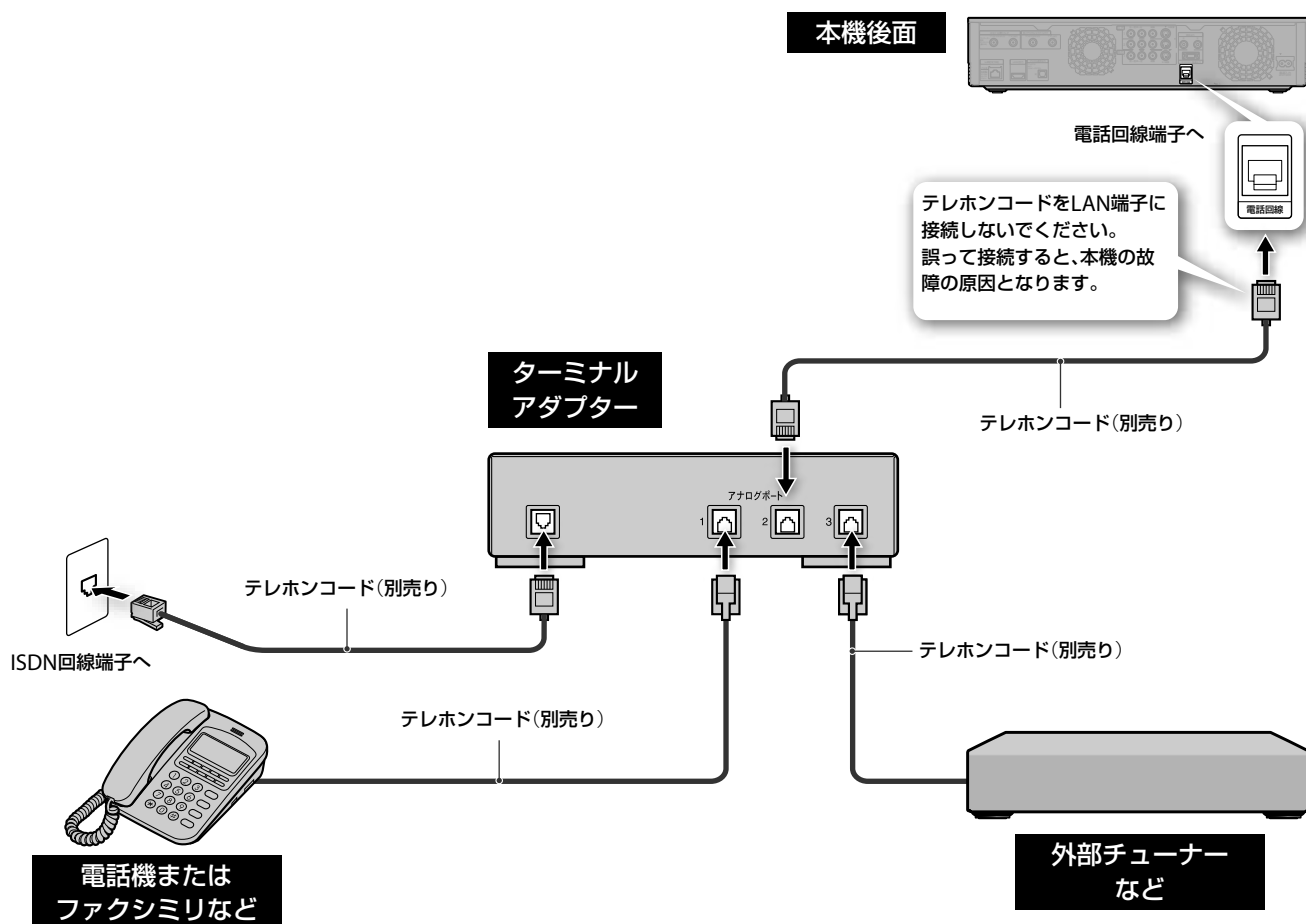
テレホンコード（別売り）

ISDN回線端子へ

テレホンコード（別売り）

テレホンコード（別売り）

電話機またはファクシミリなど

外部チューナーなど

ちょっと一言

ターミナルアダプターにつないだ場合は、[ツールボックスのアイコン]から[通信設定]の[電話回線設定]で[回線]を[トーン]に設定してください（191ページ）。

ご注意

ISDN回線端子にモジュラーテレホンコードカプラーをつながないでください。無理に押し込むと破損することがあります。

電話回線もネットワークもつなぐ

ケーブルモデムやFTTH（光回線）をつないでいるとき

マンションなどで共同インターネット回線をご使用の場合（直接お部屋までイーサネット回線の配線が敷設されている場合など）、ONU（回線終端装置）は必要ありません。LANケーブルや接続のご注意については、60ページをご覧ください。

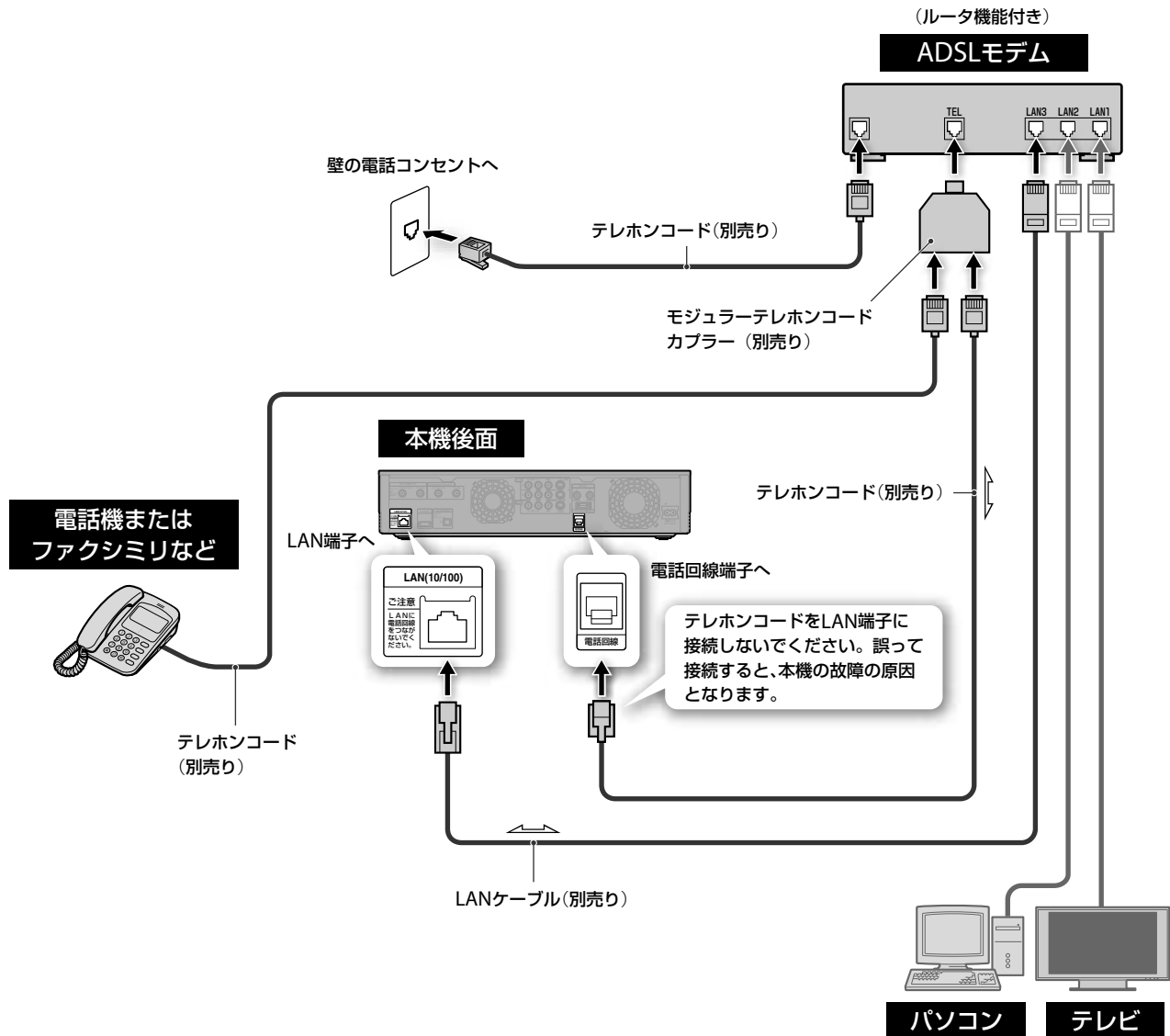
ご注意

- 本機のみをインターネットに接続する場合は、本機とケーブルモデムを直接接続してください。
- CATV（ケーブルテレビ）会社によっては、ブロードバンドルータの接続を許可していない場合があります。
  あらかじめCATV（ケーブルテレビ）会社にご確認ください。

次のページにつづく⇨

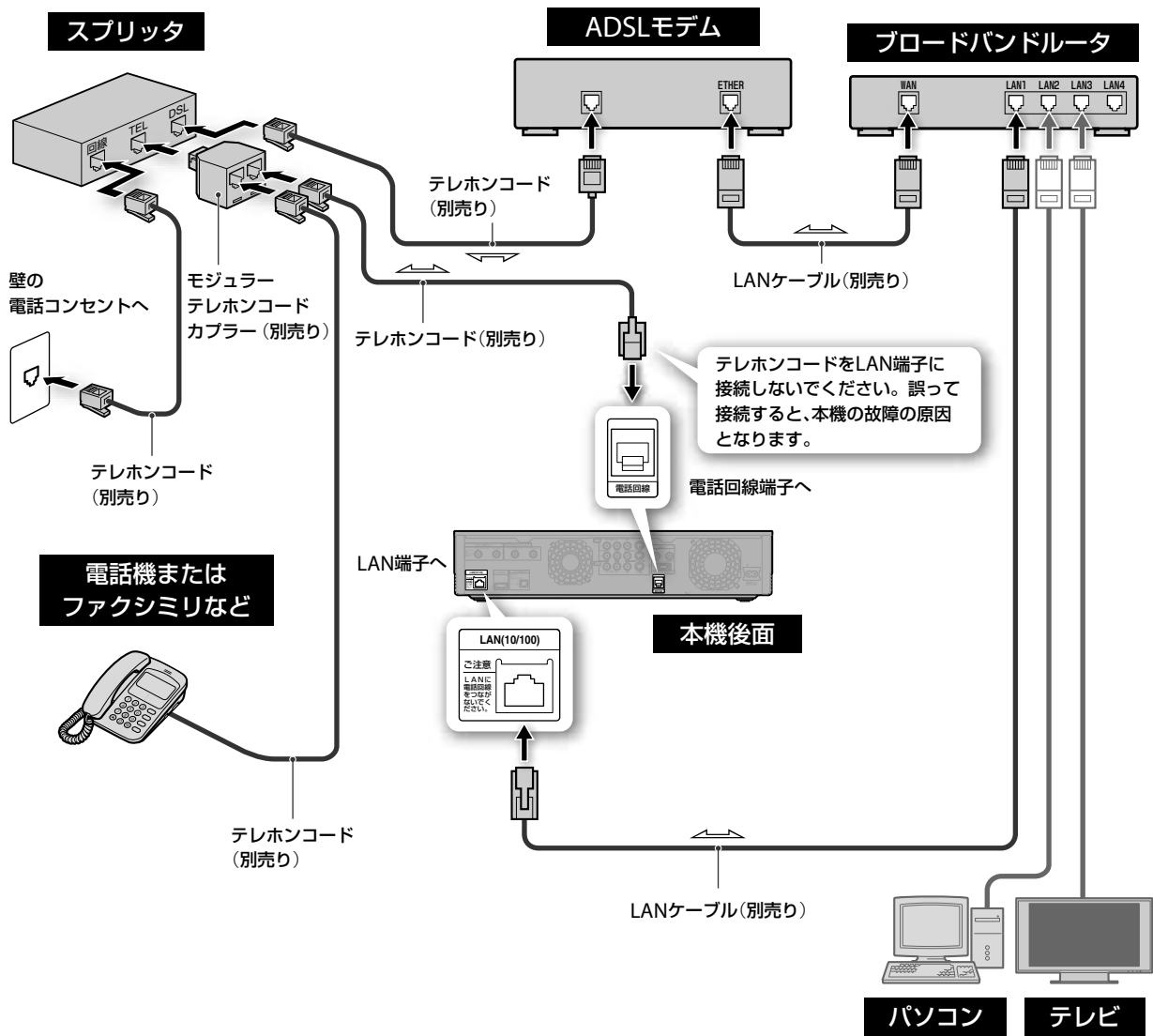
ADSL回線をつないでいるとき

ADSLモデムを使い、インターネットに接続する方法です。
ADSLモデムがルータ機能付きの場合は下図を、ADSLモデムがルータ機能付きでない場合は次のページの図をご覧ください。

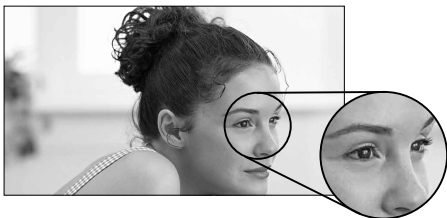
ADSLモデム（ルータ機能付き）を利用しているとき

- 接続方法が不明な場合、ご契約先のインターネットサービスプロバイダーへお問い合せください。
- ADSLモデムがルータ機能付きかどうかご不明の場合は、ご契約先のインターネットサービスプロバイダーへお問い合わせください。

ご注意

- 契約によっては、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できないことがあります。ご利用の回線事業者へご確認ください。
- ご契約のインターネットサービスプロバイダーによっては、PPPoE方式を採用している場合があります。この場合、PPPoE方式に対応したルータが必要になります。詳しくは、インターネットサービスプロバイダーにご確認ください。
- 本機にはウェブブラウザ機能が搭載されていないため、モデムやルータなどの設定を本機から行うことはできません。
  モデムやルータなどの設定にはパソコンなどが必要になりますのでご注意ください。
- リモート録画予約を利用するときは、常時接続となるようルータを設定してください。常時接続の設定方法はご利用のプロバイダーにお問い合わせください。
- モデムなどに装備されているLAN端子の数が接続する端末数より少ない場合は、ハブが必要となります。

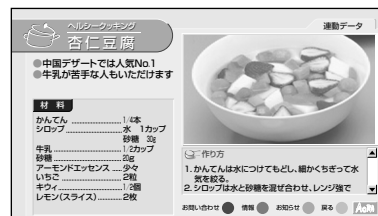
ADSLモデム(ルータ機能なし)を利用しているとき

ネットワーク(LAN)ケーブルを使うときは

- ネットワーク(LAN)ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があります。
  モデムやルータなどの種類により、使用するケーブルの種類が異なります。詳しくは、モデムやルータの取扱説明書をご覧ください。
- 100BASE-TX/10BASE-Tタイプのネットワーク(LAN)ケーブルをお使いください。
  詳しくは、モデムやルータの取扱説明書をご覧ください。

テレビを見るでできること

デジタル放送

Page 64

デジタル放送の高画質・高音質で多彩な番組をご覧いただけます。デジタルハイビジョン放送やサラウンド音声のある番組では、臨場感あふれる映像・音声をお楽しみいただけます。
本機では、番組表や検索機能を使って、デジタル放送のたくさんのチャンネルの中からかんたんにお好みの番組が選べ、番組説明で各番組の詳しい情報も見ることができます。

データ放送

Page 66

デジタル放送のデータ放送をご覧いただけます。
テレビ番組を見るだけでなく、かんたんなリモコン操作でクイズやアンケートに参加して双方向で楽しめます。また、テレビ番組に連動したデータ放送（連動データ放送）では番組に関連した情報や地域の情報などもご覧いただけます。他に、データ放送のみを専門にしている独立データ放送があります。

ラジオ放送

☞ Page 66

衛星放送のラジオ放送が楽しめます。
本機では、通常のステレオ音声の番組でも、サラウンド機能を使って、クリアで臨場感と迫力のある音声に再現してお聞きになれます。また消画機能を使って、映像を消して音声のみを楽しむこともできます。

字幕放送

☞ Page 65

映画やニュースなど、デジタル放送の番組を字幕付きで楽しめます。

テレビ番組を見る

1 本機を接続しているテレビの電源を入れる。

2 テレビの入力切り換えボタンで、本機を接続した入力に切り換える。

3 ホーム を押す。

4 ◆◆で見たい放送の種類を選ぶ。

地上アナログ　地上デジタル　BS　CS

5 ◆◆で見たいチャンネルを選び、決定 を押す。

リモコンの数字ボタンを使って選局するには

1 アナログ、デジタル、BS または CS で放送の種類を選ぶ。

2 10キー を押す。

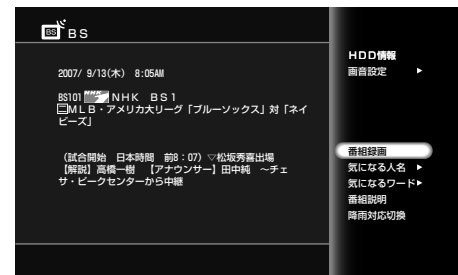
3 ①～⑩/0でチャンネル入力し、⑫/選局/確定 を押す。

枝番が付いているチャンネルを10キー選局するには

お住まいの地域で枝番の放送があるときは、本機のホームメニューの （地上デジタル）の列に表示されます。

例：101_2CH
10キー → ① → ⑩/0 → ① → ⑪/枝番 → ② → ⑫/選局/確定

視聴中にオプションボタンでできること

テレビ番組視聴中にオプションボタンを押すと、次の操作ができます。

枝番とは
お住まいの地域によっては、他地域の電波も受信できてしまう場合があります。このような場合、チャンネル番号が重複してしまう可能性があるため、4桁目の番号を加えて放送局を区別する処理を行います。この4桁目の番号を枝番と呼びます。リモコンなどで枝番を選局するときは、4桁の番号すべてを入力してください。

ご注意

- はじめて選局するときは、あらかじめチャンネルを自動設定しておいてください（40、179ページ）。
- 本機の映像が正しい比率でテレビに表示されないときは、「テレビ画面での画像の見えかたについて」（205ページ）をご覧になり、本機のテレビタイプやテレビのワイドモードの設定を確認してください。
- ワンセグ放送は本機で受信できません。
- 録画中（BDZ-L70/BDZ-T70は「録画1」で録画中）のときは、録画中のチャンネルのみ見ることができます。

項目		できること
HDD情報		HDDの情報を表示します(140ページ)。
BD情報		BDの情報を表示します(140ページ)。
DVD情報		DVDの情報を表示します(140ページ)。
画音設定		画質·音質を調整します(100、119ページ)。
番組録画	HDD録画	見ている番組をHDDへ録画します。
	BD録画	見ている番組をBDへ録画します。
気になる人名		見ている番組の情報に含まれる人名が表示されます。表示されている人名を使って番組を検索できます。
気になるワード		見ている番組の情報に含まれるキーワードが表示されます。表示されているキーワードを使って番組を検索できます。
番組説明		見ている番組の詳しい情報を表示します(77、81ページ)。
降雨対応切換		降雨対応放送時に降雨対応放送に切り換えます。

見ている放送や使用状況によって表示されるオプションが異なります。

映像や音声、字幕を切り換える

地上アナログ 地上デジタル BS CS

映像切換(映像切換)や音声切換(音声切換)、字幕(字幕)を押す。

押すたびに映像信号や音声信号、字幕の言語が切り換わります。

切り換えた信号や字幕表示の内容が画面に表示されます。

地上アナログは「音声切換」にのみ対応しています。

チャンネルを切り換えたときは、第1音声に切り換わります。

例：第1音声を選んでいるとき

音声信号

有料番組や視聴年齢制限つき番組を見る

BS CS

有料番組には、番組表(76ページ)と番組説明画面(77ページ)に ¥ がついています。

購入すると番組を見たり、録画することができます。

有料番組を見る前に

- デジタル放送用ICカード(B-CASカード)を本体のB-CASカード挿入口に入れてください。
- B-CAS用ユーザー登録はがきを投函してください(38ページ)。
- 必ず電話回線をつないでください(57ページ)。
- 加入申し込みが別途必要になる放送局もあります(51ページ)。

1 **「テレビ番組を見る」(64ページ)の手順に従って、有料番組を選局する。**

2 **有料番組画面が表示されたら、[視聴購入手続き]または[録画購入手続き]を選び、決定 を押す。**

[視聴購入手続き]と[録画購入手続き]がある場合、視聴のみのときは[視聴購入手続き]を、録画をするときは[録画購入手続き]を選びます。

有料番組によっては、購入前にプレビュー(番組の一部を短時間表示すること)がメッセージ画面の後ろに表示されることがあります。

3 **購入確認(番組購入)画面が表示されたら、番組内容と番組の購入金額を確認のうえ、[はい]を選び、決定 を押す。**

「購入完了」と表示されます。

プレビューについて

- 有料番組によって見られる回数、時間が異なります。プレビューが終了しても、購入手続きは引き続き行えます。
- プレビューを見た後、購入しない場合は、違うチャンネルに切り換えてください。

字幕放送とは

デジタル放送の映画やドラマの字幕のことです。

ご注意

BS/110度CSデジタル放送の視聴年齢制限を解除するには

- ↑↓←→で数字を入力した後に 1～10 を使うと、↑↓←→を使って入力した数字は 1～10 で入力した数字に変わります。
- 暗証番号の設定のしかたについて詳しくは、190ページをご覧ください。
- 暗証番号を忘れたときは、設定初期化で出荷時の状態に戻してから設定し直してください(195ページ)。

次のページにつづく⇨

録画防止機能について

本機は、録画防止機能（コピーガード）が付いています。そのため、番組によっては、正常な映像で録画できなかったり、録画したものを正常な映像で再生できなかったりするものがあります。
また、音声に関しても、本機のデジタル音声出力 光端子からの信号を、正しく録音できない番組があります。ご注意ください。
また、本機は著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社とその他の著作権利者が保有する米国特許、およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョン社の許可が必要です。また、その使用にはマクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部の視聴サービスでの使用に制限されています。本機を分解したり改造することは禁じられています。

追加信号について

番組によって、複数の映像や音声を切り換えられます（65ページ）。なお、¥ の付いた映像、音声、データなどを選ぶと、選んだ分の追加料金が発生します。

BS/110度CSデジタル放送の視聴年齢制限を解除するには

の［暗証番号設定］で視聴年齢制限つき番組を見るための暗証番号を設定した場合（190ページ）、その設定に該当する番組を見たり、録画したりするには、暗証番号を入力して視聴年齢制限を解除します。

1 **「テレビ番組を見る」（64ページ）の手順に従って、有料番組を選局する。**

2 **視聴年齢制限番組画面が表示されたら、［暗証入力手続き］を選び、決定 を押す。**

3 **暗証番号入力画面が表示されたら、1～10 を押して、4桁の暗証番号を入力する。**
1～10 を使って入力すると、画面上に＊が表示され、カーソルが右に移動します。次の番号を入力します。
番号を間違えたときは、←で入力した数字を消去できます。

4 **↑↓←→で［確定］を選び、決定 を押す。**
暗証番号を確認するメッセージが表示されます。

5 **番組を視聴したり、録画や録画予約をする。**

ラジオ/データ放送を楽しむ

画像や連動したデータを楽しめるラジオ放送と、音声のみのラジオ放送があり、番組によっては、音楽CD並みの高音質で楽しめます（BSデジタル/110度CSデジタルのみ）。
データ放送では、様々なニュースや情報を見たり、クイズやゲームなど双方向サービスを楽しめます。
なお、ラジオ放送/データ放送は録画できません。

1 **ホーム を押す。**

2 **←→で見たい放送の種類を選ぶ。**

地上デジタル　BS　CS

3 **↑↓で視聴したいラジオまたは独立データのチャンネルを選び、決定 を押す。**

連動データを見る

デジタル放送のテレビやラジオの番組に連動して見ることができる放送サービスです。なお、連動データは録画できません。

番組視聴中に 連動データ d を押す。

連動データ放送が表示されます。（視聴中の番組に連動データ放送がない場合は何も表示されません。）

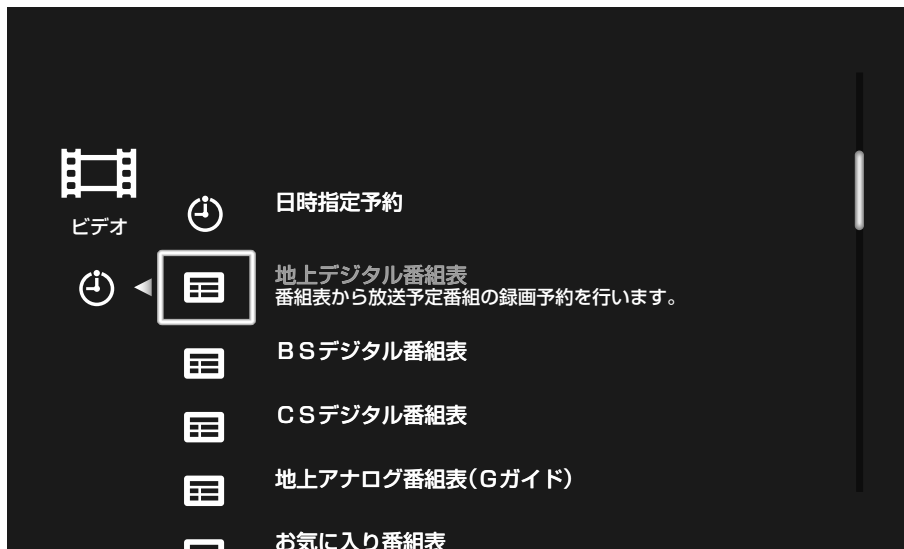
文字スーパーを表示する

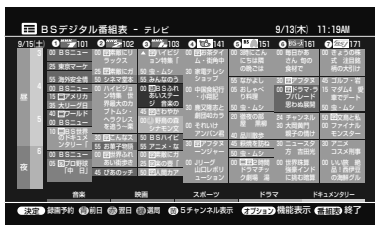
デジタル放送では、地域情報や速報など、映像に連動しない文字情報（文字スーパー）を見ることができます。
文字スーパーを見たいときは、「放送受信設定」の「文字スーパー表示」で設定してください（181ページ）。

ちょっと一言

- デジタル放送のデータ番組では、本機につないだ電話回線を使って通信を行う場合があります。通信中（通信表示が点灯）は、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器は使えません。また、電話料金がかかる場合があります。
- 電話回線やネットワークを使用するデータ放送をご覧になる場合は、あらかじめ電話回線やネットワークの接続の設定を行ってください（57ページ）。

録画・予約する

録画・予約するでできること

番組表で予約

☞ Page 73

１週間先のテレビ番組の情報を確認することができる番組表を使って、テレビ番組の録画予約ができます。本機にはお気に入り番組表と番組表の2種類の番組表があります。

2番組同時録画（BDZ-L70/T70のみ）

☞ Page 101

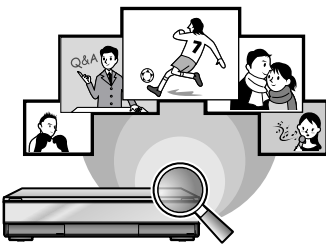
時間帯が重なるデジタル放送2番組を、両方ともハイビジョンで録画できます。もちろんデジタル放送とアナログ放送の同時録画も可能です。

x-おまかせ・まる録

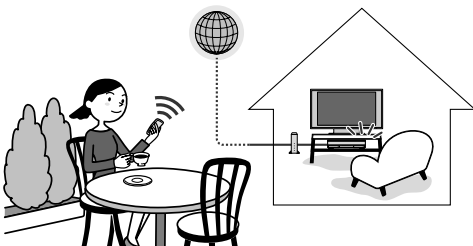
☞ Page 91

本機がおすすめする番組や、あらかじめ設定したキーワードをもとに抽出された番組を自動的に録画することができます。番組を1つずつ録画予約しなくても、見たい番組が録画できる便利な機能です。

番組検索

☞ Page 82

ジャンルやキーワードを入力して番組を検索したり、見ている番組の出演者や、番組内容のキーワードを使って、興味のある番組を検索することができます（気になる検索）。

リモート録画予約

☞ Page 89

携帯電話を使って本機の録画予約設定ができます。外出先などから、本機の録画予約を設定したいときなどに便利です。

録画を始める前に

- 字幕付きのデジタル放送をDRモード（209ページ）でHDDやBDに録画する場合は、字幕データも記録します。なお、DRモード以外の録画モードでHDDやBDに録画する場合は、[字幕焼きこみ]を[入]にすると映像の中に字幕を焼きこむことができます（185ページ）。
- 1タイトルの連続録画最長時間は、HDD、BDともに約8時間です。
- 1タイトル中に入れられるチャプターマークは、HDDとBD-RE/BD-Rでは最大98個です。
- HDDに録画できる最大番組数は300です。BDに録画できる最大番組数は200です。ただし、使いかたによっては、最大数まで録画できないことがあります。
- HDDやBDに空きがあるかを確認してください（140ページ）。空きが足りない場合、HDD、BD-REではタイトルを消去して空きをつくることができます（132ページ）。
- DRモードで録画するときは、二か国語放送の両音声（主・副）を記録できます。
- 録画の画質を調整してください（100ページ）。
- AVマウス付きテレビ/チューナーと本機の録画予約を同時に設定すると、正しく録画されないことがあります。
- 本機では電源の入/切にかかわらず録画予約した録画開始時刻になると録画が始まります。また録画中に電源を入/切しても、録画に影響はありません。
- 本機が予約待機になっていても、本機を使うことができます。
- 本機では、録画時の録画モードにより、記録できる映像や音声が異なります。

DRモード

映像：必ず第一映像の映像を記録します。
音声：すべての音声を記録します。

DRモード以外

映像：[詳細設定]で選択した映像を記録します。
音声：[詳細設定]で選択した音声を記録します。

次のページにつづく⇨

他の機能を実行中の録画について

他の機能が実行されている場合、録画されない場合があります。また、[録画1]と[録画2]では、録画できる条件が異なります。[録画1]と[録画2]の違いについては、次の表をご覧ください。

実行中の機能		BDZ-L70/BDZ-T70		BDZ-T50
		録画1	録画2	
HDD⇔BDダビング（高速のみ）		○*6	×	○*6
HDD⇔BD/DVDダビング（録画モード変換ダビングを含む）		×	×	×
HDDやBDに記録した映像の再生*3		○	○	○
BD-ROMの再生		○*1*10	○	○*9*11
AVCHDで記録したディスクの再生		○*1*10	○	○*9*11
DVDに記録した映像の再生		○	○	○
ホームサーバー映像出力*8		○	○	−
フォト取り込み*4*8		○	×	−
フォト書出し*8		○	×	−
フォト切出し*8		○	○*2	−
HDD内のフォト再生*8		○	○	−
HDD内でのフォトコピー *8		○	×	−
x-ScrapBook*8	ScrapBook再生	○*13	○*13	−
	ビデオ、フォト再生	○*13	○*13	−
	書き出し	×	×	−
まるごとDVDコピー		×	×	×
HDV/DVダビング*7*8		×	○	−
AVCHDダビング*7*8		×	○	−
x-Pict Story HD*8	再生	○*12*13	○*12*13	−
	作成	×	×	−
サムネイル設定		○	○*2	○
編集*5	A-B消去	○	○*2	○
	タイトル結合	○	○	○
	タイトル分割	○	○*2	○
	チャプター編集	○	○*2	○
	チャプター消去	○*12*13	○*12*13	○*12*13
	プレイリスト作成	○*12*13	○*12*13	○*12*13
	チャプターマーク設定	○	○	○

*1 [録画1]で録画が始まると、この実行中の機能は止まります。
*2 [録画2]で録画が始まると、この実行中の機能は止まります。
*3 BDへの録画中は、BDの再生はできません。
*4 BDへの録画中は、BDからの取り込みはできません。
*5 BDへの録画中は、BDのタイトルの編集はできません。
*6 BD⇔HDDダビング中はBDへの録画はできません。
*7 ワンタッチダビングを含みます（BDZ-L70のみ）。
*8 BDZ-L70のみ
*9 DR以外の録画モードで録画したときは、再生が停止します。
*10 [録画1]のおまかせ・まる録は実行されません。
*11 DR以外の録画モードのおまかせ・まる録は実行されません。
*12 おまかせ・まる録は実行されません。
*13 録画が始まると、この実行中の機能は止まります。

視聴中の番組を録画する

HDD 地上アナログ 地上デジタル BS CS

本機で受信している放送を視聴中に録画できます。

1 本機でテレビ番組を視聴中に 録画モード （録画モード）を繰り返し押して、録画モードを選び、決定 を押す。

録画モードが、画面上と本体表示窓に表示されます。
録画モードについて詳しくは、209ページをご覧ください。

2 録画 （録画）を押す。

録画が開始されると、画面上と本体表示窓に●が表示され、本体前面のHDD録画ランプが点灯します。
録画中は本体の表示窓に録画経過時間が表示されます。
BDZ-L70/BDZ-T70では録画1に録画します。

自動的に録画が停止するように録画時間を設定する（クイックタイマー）

録画 （録画）を繰り返し押すと、録画を終了させたい時刻を30分単位で最長6時間まで設定できます。

→ 30分→1時間→…→5時間30分→6時間→（通常の録画）

録画モードについて

記録可能時間の短い録画モードを選ぶと、高画質で録画できます。記録可能時間の長い録画モードを選ぶと、長時間録画できます。
録画モードの設定については、209ページの「録画モード一覧」をご覧ください。

ちょっと一言

- 録画した後に、画質は落ちますがデータ量を減らしてダビングできます（「録画モードを変えてダビングする（録画モード変換ダビング）」172ページ）。
- 録画モードは、録画先や録画時間によって異なります。
- 通常録画と予約録画の録画モードは連動していません。
- クイックタイマーで録画中は、電源を切っても、終了時間まで録画できます。

ご注意

- 視聴中の番組を録画ボタンを押して、直接BDやDVDへ録画することはできません。
- 録画ボタンを押してもすぐに録画が始まらないことがあります。
- 視聴中の番組を録画するときは「録画1」を使って録画します。録画中のチャンネル以外には切り換えられません（BDZ-L70/BDZ-T70のみ）。

次のページにつづく⇨

録画を停止するには

1 ホーム を押す。

2 ←→で録画中の放送の種類を選ぶ。

地上アナログ　地上デジタル　BS　CS

3 ↑↓で録画中の番組を選び、オプション を押す。

4 [録画停止]を選び 決定 を押し、録画停止確認画面で[はい]を選び 決定 を押す。

録画が停止するまでに十数秒かかることがあります。

録画の状態によっては通常よりも時間がかかる場合があります。

録画中の番組を選局しているときに、録画停止（録画停止）を押しても録画を停止することができます。

録画中の番組を視聴中にオプションボタンでできること

項目	できること
HDD情報	HDDの情報を表示します（140ページ）。
BD情報	BDの情報を表示します（140ページ）。
DVD情報	DVDの情報を表示します（140ページ）。
画音設定	画質・音質を調整します（100ページ）。
追いかけ再生	録画中の番組を再生します（116ページ）。
録画延長	録画予約で設定した録画の録画時間を延長します（75ページ）。
録画停止	録画を停止します。
気になる人名	デジタル放送のみ 視聴中の番組の情報に含まれる人名が表示されます。表示されている人名を使って番組を検索できます。
気になるワード	デジタル放送のみ 視聴中の番組の情報に含まれるキーワードが表示されます。表示されているキーワードを使って番組を検索できます。
番組説明	見ている番組の詳しい情報を表示します（77、81ページ）。

使用状況によって表示されるオプションが異なります。

番組表を表示中にできることについては、77、80ページをご覧ください。

二か国語放送（二重音声放送）を録画する

二か国語放送などの番組を録画するときは、録画モードにより音声の記録方法が次のように異なります。

外部入力の音声設定については、「外部チューナーやビデオデッキから録画する」（104ページ）をご覧ください。

録画モード	記録される音声
DRモード	「主音声＋副音声」
DRモード以外	「二重音声記録」で設定した音声が記録されます。

録画の制限について

「録画禁止」のコピー制御信号が入っていると、録画されません。

コピー制御信号	録画できるディスク
録画制限なし 地上アナログ放送など（コピー制御信号なし）	HDD　BD-RE　BD-R
1回だけ録画可能 地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル放送など	HDD　BD-RE*　BD-R*
録画禁止 DVDビデオ、110度CSデジタル放送のペイパービュー（PPV）など	×

* 外部入力から「1回だけ録画可能」の番組を録画する場合、BD-REとBD-Rには録画できません。

ちょっと一言

デジタル放送では、音声信号が複数ある番組があり、これらの音声信号を第1音声、第2音声と呼びます。第1音声信号に主＋副音声が送られたり、第1音声（日本語）、第2音声（英語）などのように送られる場合があります。上記のように複数の音声信号がある番組をDRモード以外で録画する場合でかつ、第2音声を録画したい場合は、74ページの[詳細設定]で録画する信号を選んでください。

番組表で予約する（番組表（EPG））

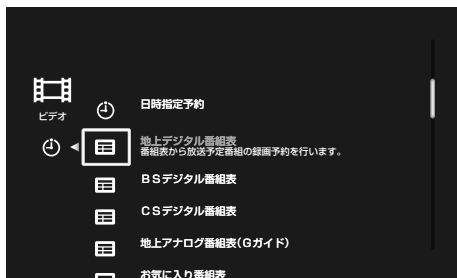
HDD BD-RE BD-R 地上アナログ 地上デジタル BS CS

番組表から録画したい番組を選ぶだけで、録画予約を設定できます。

1 **本機を接続しているテレビの電源を入れる。**

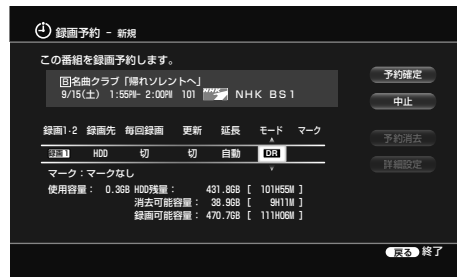
2 **テレビの入力切り換えボタンで、本機を接続した入力に切り換える。**

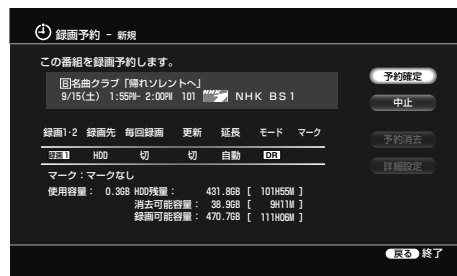
3 **予約する（予約する）を押す。**

4 **↑↓で録画したい放送の番組表を選び 決定 を押す。**

5 **↑↓←→で録画したい番組を選び、決定 を押す。**

チャンネル軸

時間軸

6 **←→で各設定項目を選び、↑↓で設定する。**

HDDに録画したいときは［録画先］を［HDD］に、BDに録画したいときは［録画先］を［BD］に設定してください。

7 **←→で［予約確定］を選び、決定 を押す。**

予約設定完了画面が表示されて、自動的に番組表に戻ります。
予約した番組は、番組表に ⏻ が表示されます。
本体の録画予約ランプが点灯し、本機が予約待機になります。
本機の電源を切っていても、録画開始時刻になると、録画を行います。

ちょっと一言

- 日時指定予約と合わせて40番組まで予約できます。番組表の見かたについては「デジタル放送の番組表について」（76ページ）または「地上アナログ放送の番組表(Gガイド)について」（80ページ）をご覧ください。
- リモコンの番組表ボタンを押した後、アナログ、デジタル、BS、CS を押しても番組表を表示できます。

ご注意

- テレビ番組を見ているときに、録画予約で設定した録画が開始されると、録画するチャンネルに切り換わることがあります。
- 録画した後のディスク取り出し時に、ディスクが出てくるまで数分かかることがあります。
- BDに多くの番組や映像が記録されている場合、録画が始まるまで数分かかることがあります。
- 録画可能時間は目安としてご覧ください。実際の録画可能時間は、放送や映像により異なります。
- 次のようなときに録画可能時間が異なることがあります。
  － 受信状態の悪いテレビ放送など画質が悪い番組を録画する場合
  － 編集されたBDに追加して録画する場合
  － 静止画像や音声のみを録画し続けた場合
- 停電があった場合は録画されません。自己メールを確認してください（178ページ）。

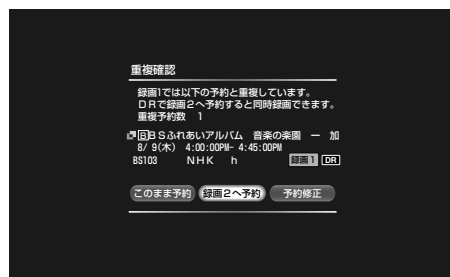
次のページにつづく⇨

録画設定画面でできること

項目	設定
録画1・2（BDZ-L70/BDZ-T70のみ）	[録画1]か[録画2]どちらかを選びます。アナログ放送は[録画1]のみ選べます（101ページ）。同じ時間帯のアナログ放送を録画する予定があるときは、デジタル放送の録画予約は[録画2]を選んでください。
録画先	HDD、BDが選べます。
更新（HDDのみ）	毎回録画を設定したときに、[入]に設定すると前回録画したものを消して、毎回更新しながら録画します（99ページ）。
毎回録画	毎日放送される番組などを毎回録画する（毎日、月ー金など）。[番組名]を選ぶと番組名を検索して自動で録画予約できます（81ページ）。毎回録画は設定した日の番組から実行されます。
延長	録画予約の終了時間を遅らせます。10分ごとに最長60分まで延長できます。スポーツ延長対応（98ページ）の延長時間と合わせると最長180分になります。デジタル放送の予約の場合は、放送の延長に合わせて本機が自動的に録画の終了時間を延長するため、[自動]に設定することをおすすめします。
モード	録画モードを変更します（209ページ）。 [録画2]を選ぶと録画モードは[DR]に設定されます（BDZ-L70/BDZ-T70のみ）。
マーク（HDDのみ）	お好みのマークを付けることができます（122ページ）。
詳細設定	記録する信号を選択します（録画モードがDR以外でデジタル放送のみ）。

録画モード（録画モード）で録画モードを変更できます。

同じ時間に予約が重なったときは（BDZ-L70/BDZ-T70のみ）

予約が重複している番組の一部またはすべてを録画できないことがあります。

上記画面で[録画1]→[録画2] へ、または[録画2]→[録画1] に切り換えると、録画できるようになることがあります。

- [このまま予約]を選ぶと、予約をそのまま設定します。予約の優先順位にしたがって録画します（97ページ）。
- [録画2]の予約が重複していて[録画1]に重複する予約がない場合、[録画1へ予約]が表示されます。[録画1へ予約]を選ぶと録画できます。
- [録画1]の予約が重複していて[録画2]に重複する予約がない場合、[録画2へ予約]が表示されます。録画モードを「DR」以外に設定していた場合、「DR」に変更して録画します。
- [予約修正]を選ぶと、予約設定画面に戻り、予約の修正ができます。予約を取り消したい場合は、予約設定画面で[中止]を選び 決定 を押します。

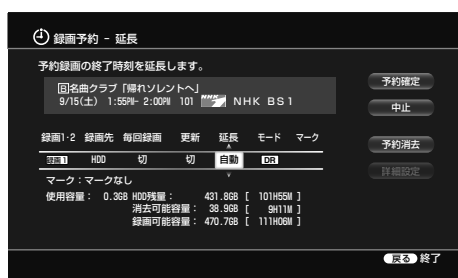
ちょっと一言

- 番組表に表示されない先の日時の番組は、日時指定で予約できます（87ページ）。
- キーワードやジャンルなどを指定して番組を検索、録画予約することができます（82ページ）。また、番組名を検索して自動で録画予約できます（81ページ）。
- スポーツ中継などの時間延長に合わせ、録画を自動的に延長することができます（「スポーツ番組の放送延長に合わせて録画時間を延長する（スポーツ延長対応）」98ページ）。
- 「見て録」で設定した予約は延長できません。
- [消去可能容量]は、HDDの残量が不足したときに、自動消去機能により確保できる最大容量の目安です。
- [録画1]と[録画2]では、できることが異なります（70ページ）（BDZ-L70/BDZ-T70のみ）。

現在放送中の番組を録画するには

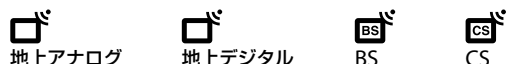
番組表から現在放送中の番組を選んで、「番組表で予約する（番組表（EPG））」（73ページ）の手順**5**～**7**の操作を行うとすぐに録画が始まります。番組が終了すると自動的に録画が停止します。

録画予約した番組を録画しているときに録画時間を延ばすには

録画中の番組を表示中に（オプション）を押して、[録画延長]を選びます。
番組表で録画中の番組を選んで（決定）を押しても録画延長できます。ただし、番組表から録画していない番組などはこの操作ができない場合があります。
↑↓で時間を設定します。

10分ごとに最長60分まで録画時間を延ばすことができます。
[予約確定]を選び、（決定）を押します。

録画予約した番組を録画しているときに録画を停止するには

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で録画中の放送の種類を選ぶ。

3 ↑↓で録画中の番組を選び、（オプション）を押す。
録画中の番組には●（赤）が表示されています。

4 [録画停止]を選び（決定）を押し、録画停止確認画面で[はい]を選び（決定）を押す。
録画が停止するまでに十数秒かかることがあります。
録画の状態によっては通常よりも時間がかかる場合があります。

設定した録画予約が実行されない場合について

次の場合、録画予約で設定した番組の録画は実行されません。

- タイトルの高速ダビング中（HDD ⇔ BD、AVCHD規格で記録されたDVD → HDD）
  ただし、「録画1」で設定した録画予約の録画は可能（BDZ-L70/BDZ-T70）
- タイトルの録画モード変換ダビング中（HDD → BD・DVD、DVD → HDD）
- チャンネルスキャン中
- x-Pict Story HD作成中（BDZ-L70のみ）
- まるごとDVDコピー中
- x-ScrapBook書き出し中（BDZ-L70のみ）

次のページにつづく⇨

デジタル放送の番組表について

デジタル放送は各放送のサービスごとに番組表が用意されています。番組表では、8日分のテレビ番組(ラジオ放送は3日分、データ放送は2日分)を確認できます。

デジタル放送の番組表の見かた

1 **放送日**
現在見ている番組表の日付を表示します。

2 **放送局名、放送開始時刻、番組名**
放送予定の番組を表示します。↑↓←→で選択箇所を移動することができます。

3 **マーク**
❙:これ以上録画予約が設定できない時間帯に表示されます。

4 **マーク**
●(赤):録画中の番組
⏻(赤):録画予約されている番組
⏻(灰):予約の一部が録画できない番組

マークの意味
¥ :ペイパービュー(PPV)など有料番組
他に放送局から、番組の種類を表すマークが付いてくる場合があります。以下はその一例です。
二 :二か国語放送(72ページ)
S :ステレオ放送
字 :字幕放送(65ページ)
B :圧縮Bモードステレオ放送
N :ニュース番組

5 **ジャンル**
番組のジャンル情報を色分けで表示します。ジャンルの設定方法については、「デジタル放送の番組表を表示中にオプションボタンでできること」(77ページ)をご覧ください。

6 **現在日時**
現在の日時を表示します。

7 **操作ガイド**
画面で行う操作に使うボタンを表示します。
青:現在表示している番組表の前日の番組表を表示します。
赤:現在表示している番組表の翌日の番組表を表示します。
緑:番組表で選んでいる番組のチャンネルに画面を切り換えます。
黄:番組表の表示を5チャンネル表示、3チャンネル表示、7チャンネル表示に切り換えます。

ちょっと一言
- 地上デジタル放送の番組表データは、各放送局から送信されます。番組表が表示されない場合は、チャンネルを切り換えて各放送局をひととおり選局してから、番組表を表示してください。
また、電源を入れたあと、数分間は番組説明の情報が一部表示されないことがあります。しばらく待ってから再度表示してください。
- 番組表を表示しているときに アナログ、デジタル、BS、CS を押すと、それぞれの放送の番組表に切り換えられます。また、数字キーを押すと、数字キーに割り当てられている放送局に選択が切り換わります。
- 番組視聴中にリモコンの 番組表 を押しても番組表を表示できます。
- 見ない放送局の番組表を非表示にしたり、チャンネル+/−で選局しないようにできます。[放送受信設定]の該当するチャンネル設定で[アップダウン選局]を[選局しない](179、180ページ)にしてください。
番組を共有しているチャンネルは、[選局する]に設定していても、番組表に表示されないことがあります。また、チャンネル番号の下一桁が「1」のチャンネルは[選局しない]を選ぶことができません。
- 番組表では、フラッシュ ←/→ボタンでページ戻し・送りができます。

ご注意
- 休止中のチャンネルは番組表に表示されません。
- 電源が入っている時に、停電が発生したり、再起動(リセット)させたりすると、デジタル放送の番組表データは一度すべて失われます。
- 番組連動データは録画されません。
- 地上デジタルのデータ放送や、BS/110度CSデジタルのラジオ放送とデータ放送は録画できません。

番組表の表示を変更するには

デジタル放送の番組表は、リモコンの 黄（黄）を押すことで、5チャンネル表示、3チャンネル表示、7チャンネル表示の３段階で表示できます。
番組表を拡大すると、放送時間の短い番組（5分間の番組など）なども確認できるようになります。

デジタル放送の番組表を表示中にオプションボタンでできること

項目		できること
ジャンル色設定		番組表で表示される色にお好みのジャンルを割り当てられます。
全チャンネル表示/設定チャンネル表示		全チャンネル表示⇔設定チャンネル表示を切り換えます。
サービス切換	テレビ	テレビ番組のチャンネルを表示します。
	ラジオ	ラジオ番組のチャンネルを表示します。
	データ	データ放送のチャンネルを表示します。
番組検索	ジャンル検索	ジャンルを設定して番組を検索します。
	キーワード検索	キーワードを設定して番組を検索します。
	詳細条件検索	詳細条件を設定して番組を検索します。
日付指定		日付を選び、選んだ日の番組表を表示します。
録画予約		番組表で選んでいる番組の録画予約をします（73ページ）。
予約修正*		録画予約情報を修正します（95ページ）。
予約消去*		録画予約を取り消します（95ページ）。
録画延長*		録画を延長します。
録画停止*		録画を停止します。
気になる人名		選んだ番組の情報に含まれる人名が表示されます。表示されている人名を使って番組を検索できます。
気になるワード		選んだ番組の情報に含まれるキーワードが表示されます。表示されているキーワードを使って番組を検索できます。
番組説明		番組に関する詳しい情報を表示します（77、81ページ）。
選局		番組表で選んでいる番組のチャンネルに画面を切り換えます。
重複確認*		時間が重なっている録画予約を確認します（96ページ）。

* 「録画1」と「録画2」で同じ番組を予約している場合は、「録画1」の操作になります（BDZ-L70/BDZ-T70のみ）。

番組説明画面の見かた

1 **放送日・放送時間・番組名**

2 **放送局名**
チャンネル番号や放送局名、放送局ロゴマーク

3 **マーク**
放送サービスの種類（テレビ、ラジオ、データ）などがマークで表示されます。
コピー制限：コピー制御信号により、HDD、BD-RE、BD-R、にのみ1回だけ録画できる番組
録画不可：コピー制御信号により、録画できない番組
¥：有料番組
R：視聴年齢制限付き番組（181ページ）
…：字幕放送（65ページ）
d：テレビやラジオと連動しているデータ放送や、独立データ放送（66ページ）
HD：デジタルハイビジョン信号
SD：標準テレビ信号
ラジオ：ラジオ放送

4 **番組の情報**
出演者や、映像情報（65ページ）、音声情報（65ページ）、ジャンル（82ページ）、データ情報など番組の詳しい内容が表示されます。

5 **閉じる**
詳細画面を終了し、元の番組表に戻ります。

6 **操作ガイド**
画面で行う操作に使うボタンを表示します。
赤：次のページを表示します。
青：前のページを表示します。

ちょっと一言
- リモコンの 番組説明（番組説明）を押しても番組説明を見ることができます。
- 電源を入れたあと、数分は番組説明の情報が表示されないことがあります。しばらく待ってから再度表示してください。

ご注意
次の番組は番組表に表示されません。
－チャンネルをとばす設定（182ページ）をした放送局の番組
－CATV独自の番組*
* CATVのVHF/UHF放送の番組は表示できることがあります。ご利用のCATV局にお問い合わせください。

録画・予約する

次のページにつづく⇨

7 **録画予約/予約修正/録画延長**
予約設定画面を表示します。既に予約しているときは、予約の修正ができます。録画予約した録画の実行中は録画の延長ができます。

8 **語句登録**
表示されている詳細の内容から、キーワードを選んで登録することができます。

お気に入り番組表について（お気に入り番組表）

デジタル放送の番組の中から、あらかじめ設定しておいたジャンルや、キーワードの条件にあった番組を一覧表示します。「気になる検索」で選択した人名や、キーワード、または番組検索を使った条件を登録すれば、いつでも好きなときに、お気に入りの番組を探し予約することができます。

お気に入り番組表の見かた

1 **ジャンル/キーワード**
←→で設定条件ごとの番組表を切り換えます。

2 **放送日、放送時間、番組名**

3 **マーク**
▎: これ以上録画予約が設定できない時間帯に表示されます。
●（赤）： 録画中の番組
◷（赤）： 録画予約されている番組
◷（灰）： 予約の一部が録画できない番組

4 **番組説明**

5 **操作ガイド**
画面で行う操作に使うボタンを表示します。

お気に入り番組表を表示中にオプションボタンでできること

項目	できること
おまかせへ登録	お気に入り設定を、x-おまかせ・まる録に登録すると、自動で録画します（91ページ）。
設定取消	設定した条件を取り消します。
お気に入り設定	お気に入り設定画面に切り替えます。
日付指定	日付を選び、選んだ日の番組表を表示します。
録画予約	番組表で選んでいる番組の録画予約をします（73ページ）。
予約修正	録画予約情報を修正します（95ページ）。
予約消去	録画予約を取り消します（95ページ）。
録画延長	録画を延長します。
録画停止	録画を停止します。
重複確認	時間が重なっている録画予約を確認します（96ページ）。
気になる人名	選んだ番組の情報に含まれる人名が表示されます。表示されている人名を使って番組を検索できます。
気になるワード	選んだ番組の情報に含まれるキーワードが表示されます。表示されているキーワードを使って番組を検索できます。
番組説明	番組に関する詳しい情報を表示します（77、81ページ）。
選局	番組表で選んでいる番組のチャンネルに画面を切り換えます。

お気に入り番組表の設定をするには

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で設定したいデジタル放送を選ぶ。
地上デジタル　BS　CS

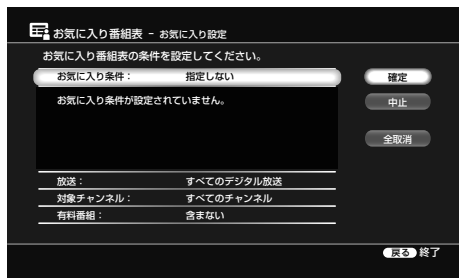
3 ↑↓で［お気に入り番組表］を選び、（決定）を押す。

4 ↑↓で のお気に入りの条件が設定されていない行を選び、（オプション）を押す。

ちょっと一言
- お気に入り条件設定で、ジャンル、キーワード、除外ワードは合わせて7つまで設定できます。組み合わせは変更できます（84ページ）。
- 番組検索結果画面から、オプションの［お気に入りへ登録］を選ぶと、検索条件をお気に入り番組表に登録できます。
- 番組検索結果画面から、オプションの［おまかせへ登録］を選ぶと、検索条件をx-おまかせ・まる録に登録できます。
- 番組表では、フラッシュ ←/→ボタンでページ戻し・送りができます。

ご注意
本体を起動して数分間は、お気に入り番組表の表示に時間がかかることがあります。

5 ↑↓で[お気に入り設定]を選び、決定を押す。

お気に入り設定画面が表示されます。

6 ↑↓で[お気に入り条件]を選び、決定を押す。

お好みの番組を表示するためのジャンルやキーワードを設定します。自分で設定するには[詳細設定]を選びます。あらかじめ設定されたものから選ぶこともできます(手順7へ進む)。

7 ↑↓で[詳細設定]を選び、決定を押す。

8 ↑↓で[時間帯]や[ジャンル]、[キーワード]、[除外ワード]、[キーワード検索方法]を選び、それぞれ設定する。

9 ↑↓←→で[確定]を選び、決定を押す。

10 ↑↓で[放送]、[対象チャンネル]、[有料番組]をそれぞれ設定する。

[対象チャンネル]で[チャンネル選択]を選ぶと、お好みのチャンネルに限定できます。

11 ↑↓←→で[確定]を選び、決定を押す。

設定した条件にあったお気に入り番組表を表示します。

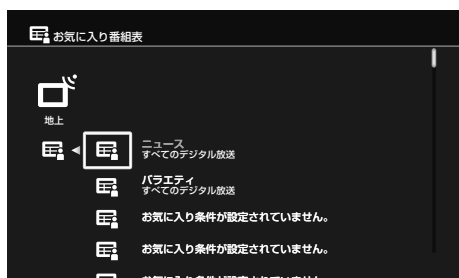
お気に入り番組表を見るには

1 ホームを押す。

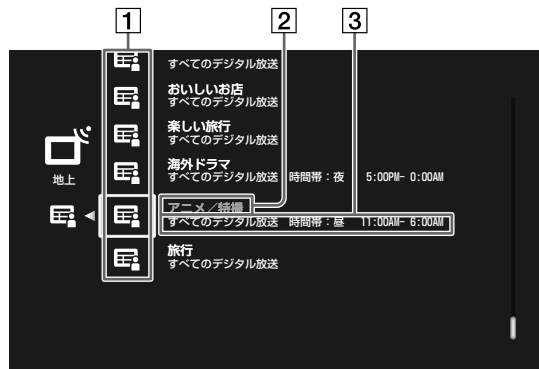
2 ←→で見たいデジタル放送を選ぶ。

地上デジタル　BS　CS

3 ↑↓で[お気に入り番組表]を選び、決定を押す。

設定されているお気に入り番組表が一覧で表示されます。

4 ↑↓で見たいお気に入り番組表を選び、決定を押す。

選んだお気に入り番組表が表示されます。

お気に入り番組表一覧画面の見かた

1 **お気に入りアイコン**

(灰)：お気に入りの条件が設定されていないもの。

(白)：自分で設定した条件で登録されたもの。

(青)：あらかじめ本機に登録してあるキーワードを使って登録されたもの。

2 **お気に入り条件/キーワード**

[お気に入り設定]で設定した条件やキーワードを表示します。

3 **放送の種類/時間帯**

[お気に入り設定]で設定した放送の種類や時間帯を表示します。

お気に入り番組表の一覧を表示中にオプションボタンでできること

項目	できること
番組表を表示	選んだお気に入り番組表を表示します。
お気に入り設定	お気に入り条件の設定画面に切り換えます。
設定取消	設定した条件を取り消すことができます。

お気に入り番組表の設定をx-おまかせ・まる録に登録するには

お気に入りの条件をx-おまかせ・まる録に登録すると、自動で録画することができます。

1 お気に入り番組表を表示中にオプションを押す。

2 ↑↓で[おまかせへ登録]を選び、決定を押す。

3 ↑↓でおまかせ条件の登録先を選び、決定を押す。

次のページにつづく⇨

地上アナログ放送の番組表（Gガイド）について

地上アナログ放送の番組表や番組説明は、Gガイド（214ページ）を利用しています。番組表には、約8日分の番組が表示されます。

アナログ放送の番組表の見かた

例：チャンネル別番組表

1 **パネル広告**
広告が表示されます。パネル広告を選ぶと、その広告に関する説明が表示されるものもあります。

2 **マーク**
▌：これ以上録画予約が設定できない時間帯に表示されます。
●（赤）：　録画中の番組
◴（赤）：　録画予約されている番組
◴（灰）：　予約の一部が録画できない番組

3 **番組表の種類**

4 **放送局名**

5 **現在日時**

6 **番組画面**
現在受信している放送局の画面です。

7 **放送開始時刻・番組名**
放送予定の番組を表示します。広告が表示される場合もあります。

8 **番組説明**
カーソルで選んでいる番組の説明が表示されます。

9 **操作ガイド**
画面で行う操作に使うボタンを表示します。

アナログ放送の番組表を表示中にオプションボタンでできること

項目		できること
パネル広告		選択対象を番組からパネル広告に移動します。
番組検索	ジャンル検索	ジャンルを設定して番組を検索します。
	キーワード検索	キーワードを設定して番組を検索します。
	詳細条件検索	詳細条件を設定して番組を検索します。
日付指定		日付を選び、選んだ日の番組表を表示します。
番組表切換		時刻別、チャンネル別、ジャンル別番組表やトピックスに切り換えます（80ページ）。
録画予約		番組表で選んでいる番組の録画予約をします（73ページ）。
予約修正		録画予約情報を修正します（95ページ）。
予約消去		録画予約を取り消します（95ページ）。
録画延長		録画を延長します。
録画停止		録画を停止します。
重複確認		時間が重なっている録画予約を確認します（96ページ）。
番組説明		番組に関する詳しい情報を表示します（77、81ページ）。
選局		番組表で選んでいる番組のチャンネルに画面を切り換えます。

番組表の種類を切り換えるには

地上アナログの番組表には、「時刻別番組表」・「チャンネル別番組表」・「ジャンル別番組表」の3種類の番組表と、放送局からのお知らせなど便利な情報を表示する「トピックス」があります。
リモコンの 黄 （黄）を押すことで、切り換えることができます。

ちょっと一言

- 見ない放送局の番組表を非表示にしたり、チャンネル＋/－で選局しないようにできます。［地上アナログチャンネル設定］の［アップダウン選局］（182ページ）を［しない］にしてください。
- リモコンの 番組説明 （番組説明）を押しても番組説明を見ることができます。
- 番組表では、フラッシュ ◆/◆ボタンでページ戻し・送りができます。

ご注意

次の番組は番組表に表示されません。
－チャンネルをとばす設定（179、180ページ）をした放送局の番組
－放送大学の番組（地上アナログ放送）

番組説明画面の見かた

1 **放送日・放送時間・番組名**

2 **放送局名**

3 **番組の情報**
出演者やあらすじなどが表示されます。

4 **閉じる**
詳細画面を終了し、元の番組表画面に戻ります。

5 **録画予約/予約修正/録画延長**
予約設定画面を表示します。既に予約しているときは、予約の修正ができます。録画予約した録画の実行中は録画の延長ができます。

6 **語句登録**
表示されている番組名と番組の情報から、キーワードを選んで登録できます。

番組表から予約を変更する・取り消す

番組表で設定した予約は、番組表から予約の変更や消去ができます。

1 **番組表を表示する。**

2 **番組表から予約した番組を選び、決定 を押す。**
録画予約ー修正画面が表示されます。設定項目を変更することができます。

項目	できること
予約消去	予約を取り消します。録画予約消去画面で[はい]を選び、決定 を押します。
詳細設定	記録する信号を選択します(録画モードがDR以外でデジタル放送のみ)。

3 **予約を変更したら、[予約確定]を選び、決定 を押す。**

番組名で自動予約する

同一チャンネルの同じ名前の番組を番組表に表示される8日分の番組から検索し、自動で録画予約を行います。不定期に放送される番組を録画したいときに便利です。

1 **「番組表で予約する」(73ページ)の手順6で[毎回録画]を選ぶ。**

2 **↑↓で[番組名]を選び、[予約確定]を選んで 決定 を押す。**
条件に合った番組には、番組表で ⏻ が表示されます(最大8番組)。

検索する番組名を変更するには

選んだ番組名でうまく予約されないときは、検索する名前が検索されやすいように変更してください。
例:ドラマ「ABC」→ABC

1 **ホーム を押す。**

2 **←→で を選ぶ。**

3 **↑↓で[予約確認]を選び、決定 を押す。**

4 **↑↓で[予約リスト]を選び、決定 を押す。**

5 **予約リストで番組を選び、オプション を押す。**

6 **↑↓で[番組名検索情報]を選び、決定 を押す。**
番組名検索画面が表示されます。

7 **[番組名変更]を選んで 決定 を押す。**
番組名を変更します。
指定した番組の録画中は、表示されません。

ちょっと一言

- デジタル放送の番組表データが、番組開始直前に変更になった場合は検索が間に合わないことがあります。
- 本機は、予約録画を実行するのに残量が足りない場合や、予約の時間帯が重複した場合は画面でお知らせします。ただし、1つの番組名で表示されるお知らせは8件までです。8件を超える予約については、残量の不足や予約の重複はお知らせできません。残量や予約重複は、こまめに確認してください。
- 番組の類似度を判定しているため、思いどおりの番組が録画できない場合があります。検索する番組名を変更する(81ページ)か、確実に録画したいときは、番組表からの録画予約をおすすめします。
- 検索し、録画実行される番組は、番組表上の予約アイコンから確認できます。
- 携帯電話から登録した予約を、予約修正によって「番組名」予約する場合、手動による延長はできません。
- 検索結果が見つからなかった場合は、予約リスト上で灰色表示されます。

番組を検索して予約する（番組検索）

HDD BD-RE BD-R 地上アナログ 地上デジタル BS CS

本機ではキーワードや人名、ジャンルなど、様々な方法で番組を検索できます。

気になる単語で検索して予約する（気になる検索）

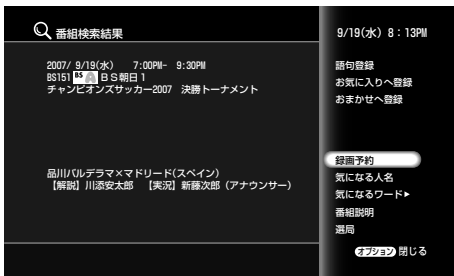
録画番組の再生中や、デジタル放送の視聴中に、気になる出演者や話題を見つけたら、該当する人名やキーワードを選択するだけで、気になる番組を素早く検索してかんたんに録画予約できます。

1 **デジタル放送の番組を視聴しているときや、タイトルを再生しているときに、オプション を押す。**

2 **↑↓で［気になる人名］または［気になるワード］を選び 決定 を押す。**

3 **↑↓で検索したい人名またはキーワードを選び、決定 を押す。**
選んだ人名またはキーワードで検索した番組が表示されます。

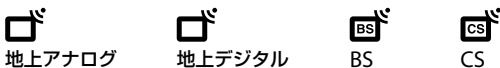
4 **↑↓で番組を選び オプション を押す。**

5 **↑↓で［録画予約］を選び 決定 を押す。**

6 **［予約確認］を選び、決定 を押す。**

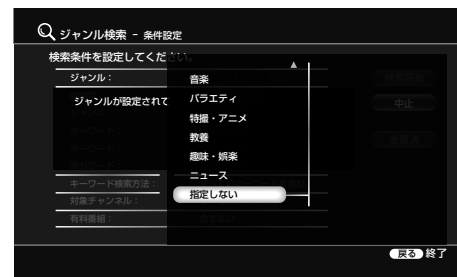
ジャンルから番組を検索して予約する

ジャンルの内容に沿ってあらかじめ設定されている様々な条件を使い番組を検索します。

1 **ホーム を押す。**

2 **←→で見たい放送の種類を選ぶ。**

3 **↑↓で 🔍（番組検索）を選び、決定 を押す。**
3つの検索方法が表示されます。

4 **↑↓で、［ジャンル検索］を選び、決定 を押す。**

5 **［ジャンル］を選び、決定 を押す。**
ジャンル一覧画面が表示されます。

ジャンルを選択して、→を押すと、そのジャンルに含まれる詳細なジャンルを選択することができます。

6 **↑↓で検索したいジャンルを選び、決定 を押す。**

7 **［放送］、［対象チャンネル］、［有料番組］を選び、それぞれ設定する。**
手順**2**で、地上アナログ放送を選んでいる場合は、［放送］、［有料番組］は選べません。

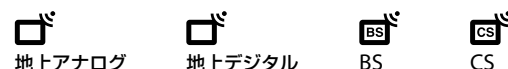
8 **↑↓←→で［検索開始］を選び、決定 を押す。**
検索結果画面が表示されます。

キーワード検索で番組を検索して予約する（キーワード検索）

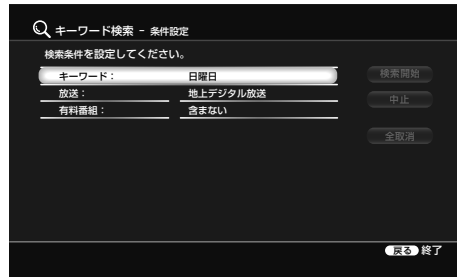
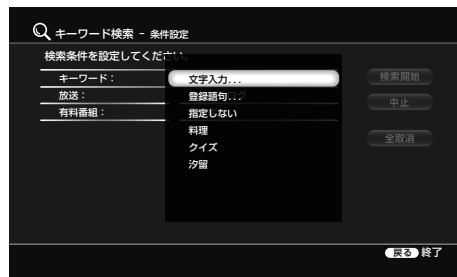
キーワードで番組を検索できます。

1 **ホーム を押す。**

2 **←→で見たい放送の種類を選ぶ。**

地上アナログ　地上デジタル　BS　CS

3 ↑↓で 🔍（番組検索）を選び、決定 を押す。
3つの検索方法が表示されます。

4 ↑↓で、［キーワード検索］を選び、決定 を押す。

5 ［キーワード］を選び、決定 を押す。

6 ［文字入力］を選び、決定 を押す。

文字入力画面で語句を入力します（84ページ）。
あらかじめ語句を登録してある場合は、［登録語句］から語句を選べます。

7 ［放送］、［有料番組］を選び、それぞれ設定する。
手順**2**で、地上アナログ放送を選んでいる場合は、選べません。

8 ↑↓←→で［検索開始］を選び、決定 を押す。
検索結果画面が表示されます。

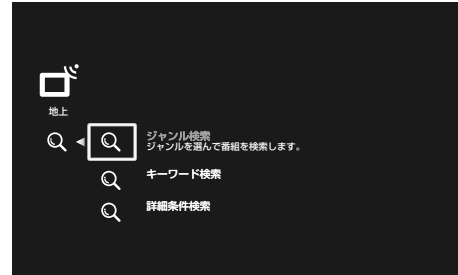
詳細な条件で番組を検索して予約する

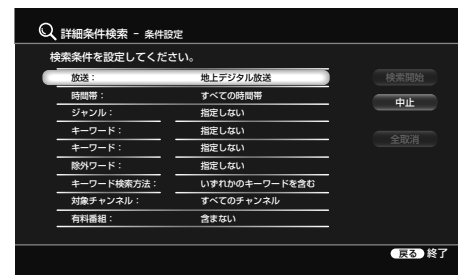
番組のジャンルやキーワードなどを組み合わせて番組を検索できます。

1 ホーム を押す。

2 ←→で見たい放送の種類を選ぶ。

地上アナログ　地上デジタル　BS　CS

3 ↑↓で 🔍（番組検索）を選び、決定 を押す。
3つの検索方法が表示されます。

4 ↑↓で、［詳細条件検索］を選び、決定 を押す。
検索条件設定画面が表示されます。

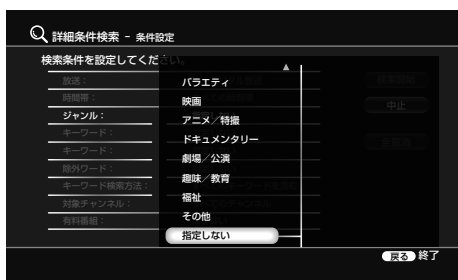
5 ［放送］、［時間帯］、［対象チャンネル］、［有料番組］を選び、それぞれ設定する。

6 ↑↓で［ジャンル］の設定欄を選び、決定 を押す。
ジャンルを選択して→を押すと、そのジャンルに含まれる詳細なジャンルを選択することができます。

録画・予約する

ご注意

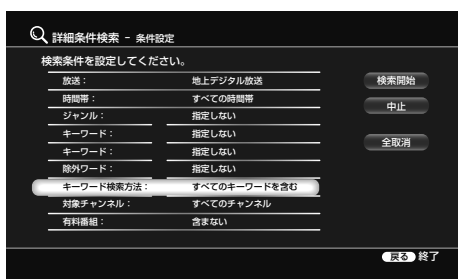
- 番組表のデータを受信していないときは検索はできません。
- 番組表で非表示にしている放送局の番組は検索できません。
- 詳しい情報のない番組もあります。
- キーワードには、カナと漢字の違いがあります。例えば、「野球」という名称の番組を検索するとき、「やきゅう」（ひらがな）では検索されません。また、長音「ー」とダッシュ「—」は異なる文字として認識されます。例えば、「サッカー」（長音）と「サッカ—」（ダッシュ）では検索結果が異なりますのでご注意ください。
- 本機を起動して数分間は、番組の検索に時間がかかることがあります。
- 検索で表示できる番組数は最大200番組までです。
- 検索のタイミングによっては番組表にない番組が検索されたり、番組表にあっても検索結果に表示されないことがあります。
- 詳細条件検索で設定するジャンルとジャンル検索で設定するジャンルでは内容が異なります。詳細条件で設定するジャンルには、番組のジャンル情報しか含まれていませんが、ジャンル検索のジャンルには、番組のジャンル情報以外にも様々な条件を含んでいます。

次のページにつづく⇨

7 ↑↓で設定したいジャンルを選び、決定 を押す。

8 ↑↓で［キーワード］の設定欄を選び、決定 を押す。
キーワードの一覧が表示されます。

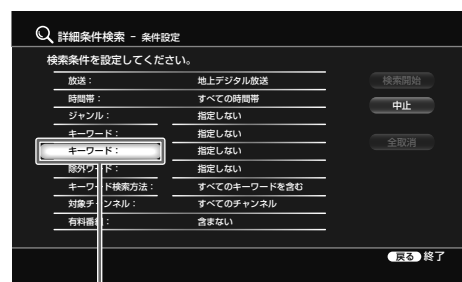
9 ［文字入力］を選び、決定 を押す。
文字入力画面で語句を入力します（84ページ）。
あらかじめ語句を登録してある場合は、［登録語句］から語句を選べます。

10 文字を入力したら［入力終了］を選び、決定 を押す。

11 ［キーワード検索方法］を選び、決定 を押す。

12 ↑↓で設定を選び、決定 を押す。

13 ↑↓←→で［検索開始］を選び、決定 を押す。
検索結果画面が表示されます。

キーワードとジャンルの組み合わせを変更するには

番組検索のジャンルとキーワードは合わせて4つまで設定できます。検索したい番組の内容にあわせて、次の手順でキーワードとジャンルの組み合わせを変えられます。除外ワードを組み合わせることもできます。

［ジャンル］、［キーワード］、［除外ワード］のいずれかに設定できる

検索条件を変更するには

1 検索結果画面表示中に戻るボタンを押す。

2 ［ジャンル検索］（82ページ）、［キーワード検索］（82ページ）、［詳細条件検索］（83ページ）のいずれかを選び、手順に従って変更する。

すべての項目を変更して検索したいときは、［全取消］を選び、決定 を押します。

設定した録画予約が実行されない場合について

次の場合、録画予約で設定した番組の録画は実行されません。

- タイトルの高速ダビング中（HDD ⇔ BD、AVCHD規格で記録されたDVD → HDD）
  ただし、「録画1」で設定した録画予約の録画は可能（BDZ-L70/BDZ-T70）
- タイトルの録画モード変換ダビング中（HDD → BD・DVD、DVD → HDD）
- チャンネルスキャン中
- x-Pict Story HD作成中（BDZ-L70のみ）
- まるごとDVDコピー中
- x-ScrapBook書き出し中（BDZ-L70のみ）
- HDV/DVダビング中（BDZ-L70のみ）
- BDやDVDへのフォト書き出し中（BDZ-L70のみ）
- HDDへのフォト取り込み中（BDZ-L70のみ）
- HDD内でのフォトコピー中（BDZ-L70のみ）

文字を入力する

文字入力画面は、文字を入力する項目を選択すると表示されます。文字入力はキーワードで番組を検索したり、録画した映像（タイトル）の名前を変えるときに使います。

リモコンの数字ボタンで文字を入力する

携帯電話のように ① ～ ⑫/選局/確定 の数字ボタンで文字を入力できます。
カラーボタンは次のように使います。

青：押すごとに入力モードを「かな/漢字」→「カタカナ」→「英字」→「数字」→「かな/漢字」の順で切り換えます。

赤：漢字やカタカナに変換したり、英字や数字を全角または半角に変換します。

緑：かな漢字入力モードの時に、予測候補を表示します。英字入力モードでは、大文字、小文字を切り換えます。

黄：入力されている文字を確定して、キーボード画面を終了します。

クリア（クリア）：カーソルの後の1文字を削除します。後に文字がないときは、前の文字を削除します。長押しで、文字をすべて削除します。

例として、「お父さんのDisc」と入力してみます。

1 ① を5回押し、[お]を選ぶ。

入力文字表示エリアに「お」が表示されます。

2 ④ を5回押して、[と]を選ぶ。

同様にして「う」、「さ」、「ん」、「の」と入力します。

3 赤 [変換]を押す。

変換候補が表示されます。

4 ⬆⬇で変換候補から入力したい文字を選び、決定 を押す。

漢字変換された文節が決定されます。

5 青 を押し、入力モードを英字に切り換える。

英字入力モードに切り換わります。

6 赤 を押し、半角モードに切り換える。

全角から半角モードに切り換わります。

7 ③ を1回押し、[D]を選ぶ。

「D」が表示されます。

8 緑 を押し、小文字入力モードに切り換える。

大文字入力から小文字入力モードに切り換わります。

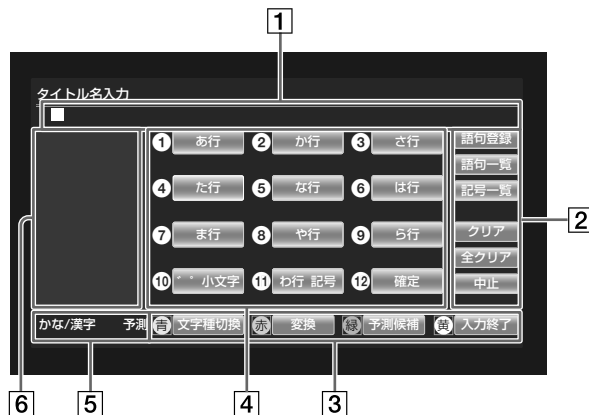
9 ④ を3回押し、[i]を選ぶ。

同様に[s]、[c]を選んで、入力します。

10 黄 [入力終了]を押す。

文字入力が終了し、元の画面に戻ります。

文字入力画面の見かた

例：かな/漢字モードの文字入力画面

1 **入力文字表示エリア**

入力できる最大文字数は次のとおりです。

HDD、BDに録画したタイトルのタイトル名：
　全角40文字（半角80文字）

DVDに録画したタイトルのタイトル名：
　全角32文字（半角64文字）

BDディスク名：全角69文字（半角138文字）

DVDディスク名：全角32文字（半角64文字）

キーワード入力：全角10文字（半角20文字）

マークの名前：全角20文字（半角40文字）

次のページにつづく⇨

2 画面内操作ボタン

項目	できること
語句登録	入力文字表示エリアに表示されている語句を登録します。
語句一覧	登録してある語句の一覧を表示します。
記号一覧	記号の一覧を表示します。
クリア	カーソルの後の1文字を消します。後に文字がないときは、前の1文字を消します。
全クリア	入力した文字をすべて消します。
中止	文字入力を中止して元の画面に戻ります。入力文字表示エリアに入力した文字は記録されません。

3 機能ボタンエリア

4 文字選択/変換/確定操作欄
リモコンの数字ボタン(1～12)に対応していて、携帯電話のように数字ボタンで選択できます。

5 入力文字/変換モード
入力文字種を表示し、候補パネルの表示が予測候補文字か変換文字かを表示します。

6 候補パネル
予測変換候補を表示します。変換時は、変換文字を表示します。

予測変換機能を使うには

文字入力中、変換された語句が画面左の候補パネルエリアに表示されます。その中から正しい語句を選んで、入力できます。

緑[予測候補]を押し、↑↓で語句を選んで決定を押します。

↑↓←→で文字を入力する

例：[お]を入力する場合

1 [あ行]を選び、決定を押す。

2 →で[お]を選び、決定を押す。

→で[お]を選ぶ

連文節の漢字変換について

連文節の文章を漢字変換すると、まず最初の1文節だけ漢字変換されます。文節の区切りを変更するときは、次のように操作します。

1 連文節の文章を入力する。
文字の入力のしかたについては「文字を入力する」(84ページ)をご覧ください。

2 [変換]を選び、決定を押す(または 赤 (赤)を押す)。

3 ←→で、文節の長さを調節する。

4 変換候補から入力したい文字を選び、決定を押して選んだ文節の変換を確定する。
次の文節が自動的に漢字変換されます。

文字を挿入するには

↑↓←→で入力文字表示エリアにカーソルを動かし、←→で挿入したい箇所の右側の文字にカーソルを動かします。数字ボタンまたは↑↓←→を使って文字を入力します。入力時に文字が挿入されます。

文字入力を中止するには

[中止]を選んで決定を押します。
入力文字表示エリア内の文字は入力されずに、元の画面に戻ります。

よく利用する語句を登録する

あらかじめよく利用する語句を登録することができます。

1 「文字を入力する」(84ページ)の手順1 ～ 4にしたがって登録したい語句を入力する。

2 [語句登録]を選び、決定を押す。

ちょっと一言

- 登録できる語句は20語までです。
- [語句一覧]で[語句削除]を選び、削除したい語句を選んで決定を押し、確認画面で[はい]を選び決定を押すと、登録した語句を削除できます。

ご注意

電源コードを抜き差ししたり、再起動(リセット)させたりすると、変換に関する学習データが消去されます。

日時を指定して予約する

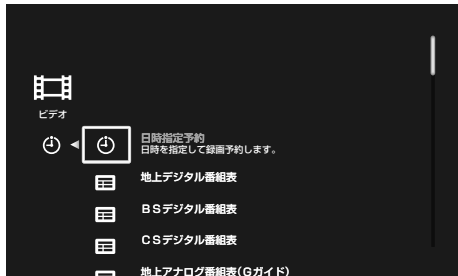
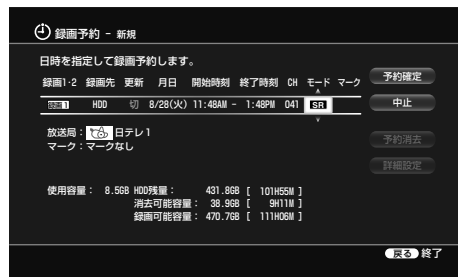
HDD BD-RE BD-R 地上アナログ 地上デジタル BS CS

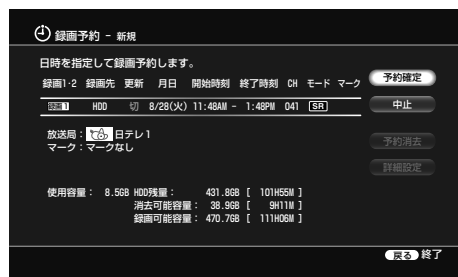
1ヵ月先までの番組や、毎日または毎週の番組を予約できます。番組表予約と合わせて、40番組まで予約できます。

1 **本機を接続しているテレビの電源を入れる。**

2 **テレビの入力切り換えボタンで、本機を接続した入力に切り換える。**

3 **(予約する)を押す。**

4 **↑↓で (日時指定予約)を選び、(決定)を押す。**
録画予約設定画面が表示されます。

5 **←→で各設定項目を選び、↑↓で設定する。**

HDDに録画したいときは[録画先]を[HDD]に、BDに録画したいときは[録画先]を[BD]に設定してください。

6 **[予約確定]を選び、(決定)を押す。**

本体の録画予約ランプが点灯し、本機が予約待機状態になります。
BS/110度CSデジタル放送のときは、[詳細設定]で指定時間内の視聴年齢制限番組を録画するかどうかを設定できます。
本機の電源を切っていても、録画開始時刻になると、録画を行います。

録画予約設定画面でできること

項目	設定
録画1・2（BDZ-L70/BDZ-T70のみ）	[録画1]か[録画2]どちらかを選びます（アナログ放送は[録画1]のみ）。
録画先	HDD、BDが選べます。
更新（HDDのみ）	毎回録画を設定したときに、[入]に設定すると前回録画したものを消して、毎回更新しながら録画します（99ページ）。
月日	録画の日付を選びます。 次の順で選べます。 今日 → 明日 →………（1ヵ月後）→ 毎(日) →……… → 毎(土) → 月-金 → 月-土 → 毎日 → 今日
開始時刻	開始時刻を設定します。
終了時刻	終了時刻を設定します。
CH	チャンネルを選びます。 次の順で選べます。 地上アナログ*1 → 地上デジタル → BSデジタル → CSデジタル → 入力1*1 → 入力2*1 → 入力3*1*2 アナログ、デジタル、BS、CSで放送の種類を、入力切換(入力切換)で外部入力の種類を選ぶこともできます。
モード	録画モードを選びます（209ページ）。 録画モード(録画モード)でも録画モードを変更できます。 「録画先」で「録画2」を選ぶと録画モードは「DR」に設定されます（BDZ-L70/BDZ-T70のみ）。
マーク（HDDのみ）	録画したいタイトルに付けるユーザーマークを選びます（122ページ）。

*1 BDZ-L70/BDZ-T70の場合、「録画1」のみ
*2 BDZ-L70のみ

ちょっと一言

- 次の日にまたがる番組は、開始する日付はそのままで終了時刻を合わせます。終了時刻は次の日付に設定されます。
- [消去可能容量]は、HDDの残量が不足したときに、自動消去機能により確保できる最大容量の目安です。

録画・予約する

次のページにつづく⇨

設定した録画予約が実行されない場合について

次の場合、録画予約で設定した番組の録画は実行されません。

- タイトルの高速ダビング中（HDD ⇔ BD、AVCHD規格で記録されたDVD → HDD）
  ただし、「録画1」で設定した録画予約の録画は可能（BDZ-L70/BDZ-T70）
- タイトルの録画モード変換ダビング中（HDD → BD・DVD、DVD → HDD）
- チャンネルスキャン中
- x-Pict Story HD作成中（BDZ-L70のみ）
- まるごとDVDコピー中
- x-ScrapBook書き出し中（BDZ-L70のみ）
- HDV/DVダビング中（BDZ-L70のみ）
- BDやDVDへのフォト書き出し中（BDZ-L70のみ）
- HDDへのフォト取り込み中（BDZ-L70のみ）
- HDD内でのフォトコピー中（BDZ-L70のみ）

2番組同時録画時の録画制約事項については、「他の機能を実行中の録画について」（70ページ）をご覧ください（BDZ-L70/BDZ-T70のみ）。

録画した番組の次回の予約をする（次回予約）

録画した番組（タイトル）の次回に放映される番組を検索し、録画予約をかんたんに行うことができます。

1 ホーム を押す。

2 ←→で を選ぶ。

3 ↑↓で次回予約したいタイトルを選び、オプション を押す。

4 ［次回予約］を選び、決定 を押す。
番組が見つかった場合は、録画予約設定画面が表示されます（73ページ）。

5 ［予約確定］を選び、決定 を押す。
本機の電源を切っていても、録画開始時刻になると、録画を行います。

ちょっと一言

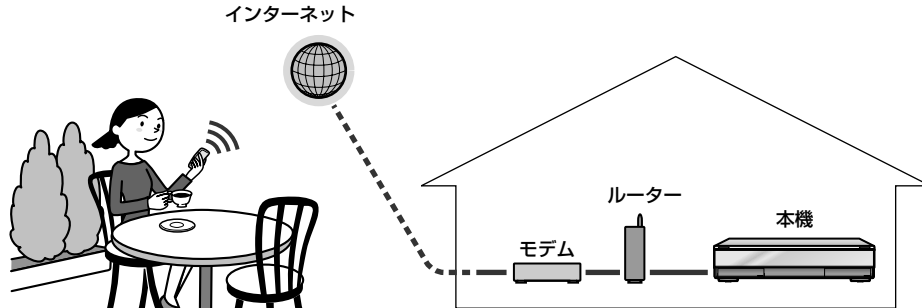
- 次回予約の番組の検索はタイトル名をキーワードにして行います。
- 次回予約の番組の検索はタイトルの開始時刻1時間前から終了時刻1時間後の間で行います。
- タイトル名を変更して次回予約の番組を検索すると、番組が見つからなかったり、番組名が似ているほかの番組が検索されることがあります。
- タイトルが放送中または録画中のときは、現在放送中の番組が検索されます。
- 次回予約の番組の検索は現在日から1週間後までの範囲で行います。

ご注意

- 予約に有料番組が含まれている場合、その間の時間は録画されません。有料番組は、番組表から予約してください（73ページ）。
- タイトル名が似ている別の番組や、次々回以降の番組が予約リストに表示され、次回の番組が表示されないときは、番組表から次回の録画予約を行ってください。

携帯電話で予約する（リモート録画予約）

HDD 地上アナログ 地上デジタル BS

携帯電話の番組表機能を使って、外出先からかんたんに録画予約できます。予約し忘れた番組や、外出先で急に録画したくなった番組なども、その場で録画予約できます。あらかじめADSLやケーブル（CATV）、FTTHのブロードバンドインターネットサービスに申し込み、常時接続できる環境を整えてください。

リモート録画予約を利用するための準備

リモート録画予約をするには、次の5つの準備が必要です。携帯電話からの予約をする前に、準備を済ませてください。

- 本機をADSLなどの常時接続回線に接続する（59、60ページ）。
- ネットワーク設定の［接続診断］を行う（192ページ）。
- リモート録画予約サービスに対応した携帯電話を用意する。
- リモート録画予約設定を行う（193ページ）。
- 本機のスタンバイモードが［高速起動］の設定になっていることを確認する（189ページ）。

リモート録画予約サービスについて

- リモート録画予約をご利用いただくには、別途リモート録画予約サービス事業者との契約が必要です。

登録方法、携帯機種および機能に関する問合せ先（2007年11月現在）

ホームページ

PC: http://ipg.jp/ra/

携帯: http://ipg.jp/k/

メールでのお問い合わせ

◆ NTTドコモの携帯電話をお使いの方
Gガイド番組表リモコン事務局
E-mail：help@ggmobile.jp

ご注意

- リモート録画予約を行っても、本機の状態や、ネットワーク回線が混雑しているときなどは、録画予約の情報が本機に届くまで時間がかかる場合があります。録画したい番組に間に合うようにご注意ください。
- 本機に登録できる携帯電話は5台までです。
- 次の場合はリモート録画予約を行っても実行されません。
  - ディスクの容量が不足している場合
  - 重複する予約を後から本機や他の携帯電話で行った場合
  - 録画予約に影響する操作を本機で行った場合
  - B-CASカードが挿入されてない場合（BS、地上デジタルの場合）
- 携帯電話で録画予約を行うと、次の費用が発生します。これらの費用はすべてお客様負担となります。
  - 本機がリモート録画予約サービス側のサーバーにアクセスするときのネットワーク使用料
  - 携帯電話からリモート録画予約サービス側のサーバーにアクセスするときの通信料
- 携帯電話からの録画予約は「録画1」で行なわれます（BDZ-L70/BDZ-T70のみ）。
- 携帯電話から登録した予約を、予約修正によって「毎回録画」の設定を「番組名」に設定し予約する場合、手動による延長はできません。

次のページにつづく⇨

◆ ソフトバンクの携帯電話をお使いの方
Gガイドモバイル事務局
E-mail:help-s@ggmobile.jp

ご利用にあたっては、お客様の責任によりサービス登録をお願いいたします。

- リモート録画予約サービス事業者によるサービス内容は、予告なく変更・中止される場合がありますが、ソニーは一切の責任を負わないものとします。
- ソニーは、理由の如何を問わず発生したリモート録画予約サービスの提供の遅延または中断等によりユーザーまたはその他の第三者に生じた損害について、一切の責任を負わないものとします。
- ソニーは、理由の如何を問わず、以下を原因とするリモート録画予約サービスの全部または一部の機能不能に対して、一切の責任を負わないものとします。
  – リモート録画予約サービス事業者が使用している通信回線の障害、切断、停止等
  – ユーザーの利用する通信回線の種別や回線交換機固有の事情
- 本機の修理・交換等によりリモート録画予約サービスの再登録が必要となる場合がありますので、予めご了承ください。

自動で録画する（x-おまかせ・まる録）

HDD 地上アナログ 地上デジタル BS CS

ジャンルやキーワードなどの条件を設定すると、本機が自動でその条件にあった番組を探し、録画します。

1 本機を接続しているテレビの電源を入れる。

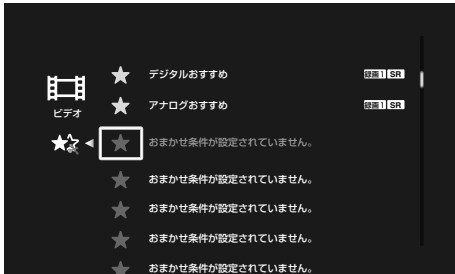
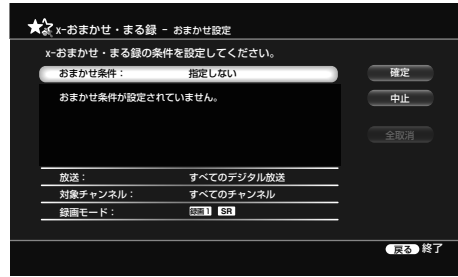
2 テレビの入力切り換えボタンで、本機を接続した入力に切り換える。

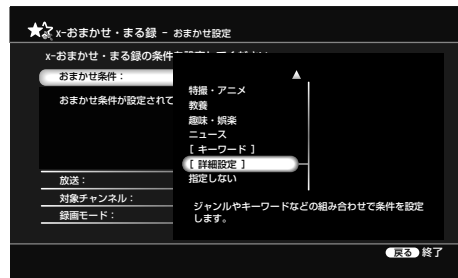
3 ホーム を押す。

4 ←→で ビデオ を選ぶ。

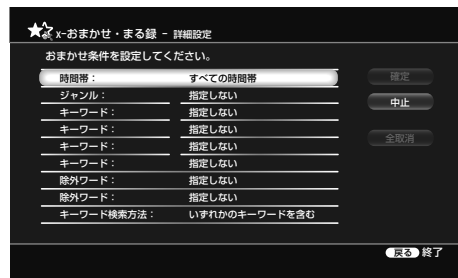
5 ↑↓で（x-おまかせ・まる録）を選び、決定 を押す。

6 ↑↓で ★（灰）のx-おまかせ・まる録の録画条件が設定されていない行を選び、決定 を押す。

x-おまかせ・まる録設定画面が表示されます。

7 ↑↓で［おまかせ条件］を選び、決定 を押す。

好みの番組を自動録画するためのジャンルやキーワードを設定します。自分で設定するには、［詳細設定］を選びます。また、あらかじめ設定されているものから選ぶこともできます(手順**10**へ進む)。

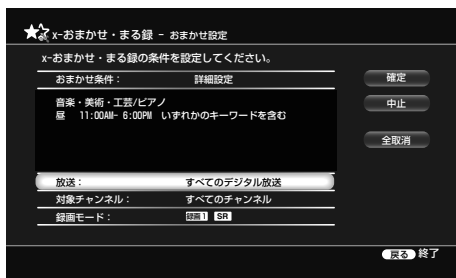
8 ↑↓で［詳細設定］を選び、決定 を押す。

9 ↑↓で［時間帯］や［ジャンル］、［キーワード］、［除外ワード］を選び、それぞれ設定する。

10 ↑↓←→で［確定］を選び、決定 を押す。

録画・予約する

ご注意

- 録画する番組を番組表データから探すため、データが正しく受信されていないと、この機能は働きません。
- テレビ番組を見ているときに、x-おまかせ・まる録が開始したときは、録画するチャンネルに切り換わります。BDZ-L70/BDZ-T70の場合、［録画1］でx-おまかせ・まる録を開始するときのみ録画するチャンネルに切り換わります。
- x-おまかせ・まる録では、無料番組と、契約をしているチャンネルの有料番組が録画されます。契約をしていないチャンネルの有料番組は録画されません。

次のページにつづく⇨

11 ［放送］、［対象チャンネル］、［録画モード］をそれぞれ設定する。

放送：自動録画の対象とする放送の種類を選びます。

対象チャンネル：
自動録画の対象とするチャンネルを選びます。［チャンネル選択］を選ぶと、好みのチャンネルに限定できます。

- **すべてのチャンネル**：
  すべてのチャンネルが対象になります。
- **チャンネル選択**：
  ［放送］で［すべてのデジタル放送］を選択した場合、［放送変更］で放送の種類を変更できます。

録画モード：
自動録画する場合の録画モードを選びます。

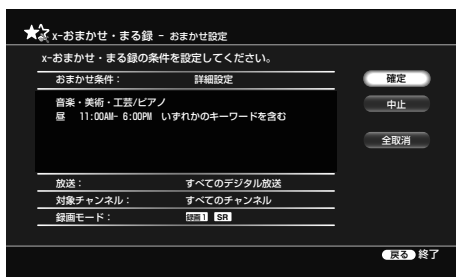
BDZ-L70/BDZ-T70の場合

録画1
DR*/XR/XSR/SR/LSR/LR/ER

録画2
DR

BDZ-T50の場合
DR*/XR/XSR/SR/LSR/LR/ER

* ［放送］で地上アナログ放送を選んでいる場合は、［DR］は選べません。

12 ［確定］を選び、(決定)を押す。

おまかせ条件が設定され、x-おまかせ・まる録一覧画面に戻ります。

x-おまかせ・まる録の録画条件表示中にオプションボタンでできること

項目	できること
おまかせ設定	x-おまかせ・まる録の録画設定画面に切り換えます。
おすすめ設定*	本機がおすすめする番組を録画するための設定ができます。
設定取消	設定した条件を取り消すことができます。

* ［おすすめ設定］は★（緑）のときに表示されます。

使用状況によって表示されるオプションは異なります。

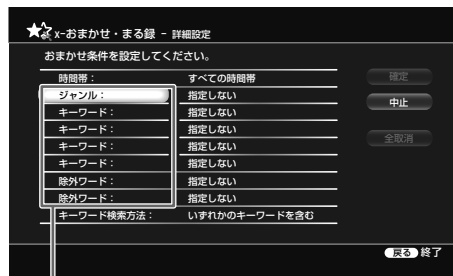
おまかせ条件を変更・削除するには

1 「自動で録画する（x-おまかせ・まる録）」（91ページ）の手順6で変更・削除したい録画条件を選択する。

2 手順7以降を行い修正したい項目を選び再度設定する。
削除したいときは［全取消］を選び、(決定)を押し、さらに［確定］を選び、(決定)を押す。

ジャンルやキーワード、除外ワードの組み合わせを変更するには

おまかせ設定のジャンルとキーワード、除外ワードは合わせて7つまで設定できます。お買い上げ時は、ジャンル設定欄が1つ、キーワード設定欄が4つ、除外ワード設定欄が2つの組み合わせですが、設定したい内容にあわせて、キーワードとジャンルの組み合わせを変えられます。ただし、除外ワードのみの設定の条件は作れません。

1 「自動で録画する（x-おまかせ・まる録）」（91ページ）の手順9で、↑↓←→で［ジャンル］や［キーワード］、［除外ワード］を選び、(決定)を押す。

ちょっと一言

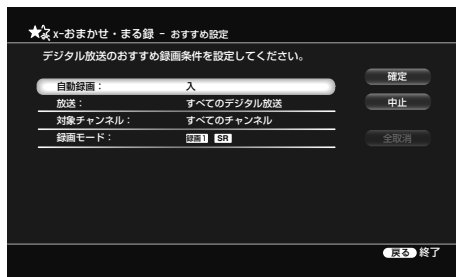
- HDD残量が少なくなった場合にx-おまかせ・まる録で録画したタイトルが自動消去される場合がありますが、消去されないよう保護することができます（133ページ）。
- x-おまかせ・まる録設定の内容を変更/削除しても、変更前のx-おまかせ・まる録が行われることがあります。確実に録画したいときは、番組表からの録画予約をおすすめします。
- x-おまかせ・まる録で録画される番組や番組数は、本機が学習した情報によって変わります。
- 本機が学習した情報は、(ツールボックス)の［出荷時の状態に設定］で初期化することができます（195ページ）。

2 ［ジャンル］、［キーワード］、［除外ワード］を選び、（決定）を押す。

本機がおすすめする番組を自動録画するための設定をする

地上アナログ放送やデジタル放送の番組で、お客様の好みを学習し、本機がおすすめする番組を自動録画する設定を行います。

1 「自動で録画する（x-おまかせ・まる録）」（91ページ）の手順6で、［デジタルおすすめ］または［アナログおすすめ］を選び、（決定）を押す。

例：［デジタルおすすめ］の場合

2 ［自動録画］、［放送］、［対象チャンネル］、［録画モード］を選び、それぞれ設定する。

3 ［確定］を選び、決定する。

x-おまかせ・まる録設定一覧画面の見かた

1 おまかせアイコン
★（緑）
デジタルおすすめ：
本機がおすすめするデジタル放送の番組を自動録画するための設定です。
アナログおすすめ：
本機がおすすめするアナログ放送の番組を自動録画するための設定です。
☆（白）
自分で設定した録画条件：
自分で録画条件やキーワードを登録すると、このアイコンがつきます。
★（青）
プリセットキーワードの録画条件：
あらかじめ本機に登録してあるキーワードを使って録画条件を登録すると、このアイコンがつきます。
★（灰）
条件が設定されていないものです。

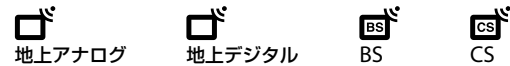
2 おまかせ条件/キーワード

3 放送の種類

4 自動録画・録画モード・録画1/録画2（BDZ-L70/BDZ-T70）

5 時間帯（詳細設定のときのみ）

x-おまかせ・まる録中に録画を停止するには

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で録画中の放送の種類を選ぶ。

地上アナログ　地上デジタル　BS　CS

3 ↑↓で録画中の番組を選び、（オプション）を押す。

4 ［録画停止］を選び（決定）を押し、録画停止確認画面で［はい］を選び（決定）を押す。
録画が停止するまでに十数秒かかることがあります。
録画の状態によっては通常よりも時間がかかる場合があります。

ちょっと一言

おまかせ予約リストの内容は、おまかせ設定が完了した時や、番組情報が更新された場合などにより随時更新されます。40件までのおまかせ予約が表示されます。

ご注意

ｘ-おまかせ･まる録で録画される番組は、おまかせ予約リストに表示され、予約リストには表示されません。

次のページにつづく⇨

自動で録画される番組を確認する

おまかせ予約リストを使うと、自動録画される予定のすべての番組を一覧で確認できます。
自動録画の録画条件で抽出された番組だけでなく、本機が探し出したおすすめ度の高い番組も一覧に表示します。

1 ホーム を押す。

2 ←→で ビデオ を選ぶ。

3 ↑↓で (予約確認)を選び、決定 を押す。

4 ↑↓で (おまかせ予約リスト)を選び、決定 を押す。

おまかせ予約リストが表示されます。
自動録画される予定の番組が一覧で確認できます。

おまかせ予約リスト表示中にオプションボタンでできること

項目		できること
録画予約		確実に録画したい番組を録画予約します。
予約消去	1件消去	1件の予約を取り消します。
	選択消去	複数の予約をまとめて取り消します。
録画延長		録画を延長したいときに設定します(75ページ)。延長した番組は、おまかせ予約リストから予約リストに移動します。
録画停止		録画中の場合、録画を停止します。
情報表示		予約に関する情報を表示します。

おまかせ予約リストの番組を予約リストに登録するには

おまかせ予約リストに表示されていても録画されない番組もあります。
おまかせ予約リストの番組を確実に録画したいときは、オプションから[録画予約]を選んでください。

x-おまかせ・まる録と他の録画予約が重なったら

x-おまかせ・まる録以外の録画予約が優先されるため、x-おまかせ・まる録による録画予約は行われません。

「x-おまかせ・まる録」同士が重なったら

おすすめ度の高い番組を優先して録画します。同じおすすめ度では、録画開始時刻が先のものが優先されます。

設定したおまかせ・まる録が実行されない場合について

次の場合、x-おまかせ・まる録で設定した番組の録画は実行されません。

- タイトルの高速ダビング中(HDD ⇔ BD、AVCHD規格で記録されたDVD → HDD)
- タイトル録画モード変換ダビング中(HDD → BD・DVD、DVD → HDD)
- チャンネルスキャン中
- x-Pict Story HD作成中(BDZ-L70のみ)
- まるごとDVDコピー中
- BDやDVDへのフォト書き出し中(BDZ-L70のみ)
- HDV/DVダビング中(BDZ-L70のみ)
- HDDへのフォト取り込み中(BDZ-L70のみ)
- HDD内でのフォトコピー中(BDZ-L70のみ)
- x-ScrapBook書き出し中(BDZ-L70のみ)

x-おまかせ・まる録の録画制約事項については、「他の機能を実行中の録画について」(70ページ)をご覧ください。

ご注意

- [番組表取得設定]の[取得時刻]で[取得する]に設定している時刻には、x-おまかせ・まる録による録画が実行されません。x-おまかせ・まる録を優先するには、[自動]に設定してください(183ページ)。お買い上げ時の状態では、[取得する]に設定されている時間帯があります。
- HDD初期化中は、x-おまかせ・まる録は実行されません。

予約を確認する・変更する・取り消す（予約リスト）

HDD BD-RE BD-R 地上アナログ 地上デジタル BS CS

予約リストを使って、予約の変更や消去、重複確認、優先順の変更ができます。

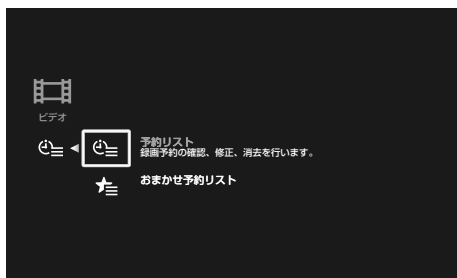
1 本機を接続しているテレビの電源を入れる。

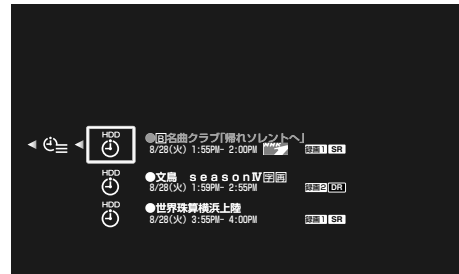
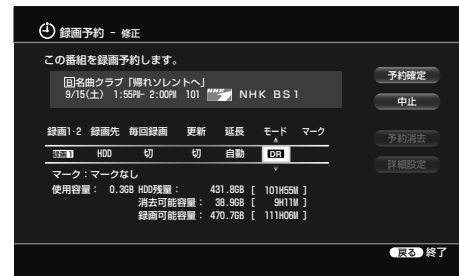
2 テレビの入力切り換えボタンで、本機を接続した入力に切り換える。

3 ホーム を押す。

4 ←→で 🎞 を選ぶ。

5 ↑↓で（予約確認）を選び、決定 を押す。

6 ↑↓で（予約リスト）を選び、決定 を押す。

予約した番組の一覧（予約リスト）が表示されるので、予約内容を確認してください。

7 （予約リスト）から、予約内容を確認・変更・取り消したい番組を選び、決定 を押す。

8 予約内容の確認・変更・取り消しを行う。

予約内容を確認するとき

内容を確認し、戻るボタンを押す。

予約内容を変更するとき

1 ←→で変更したい項目を選ぶ。

2 ↑↓で項目を変更する。
録画予約設定画面の設定項目について詳しくは、「番組表で予約する（番組表（EPG））」（73ページ）の手順6をご覧ください。

3 ↑↓←→で［予約確定］を選び、決定 を押す。

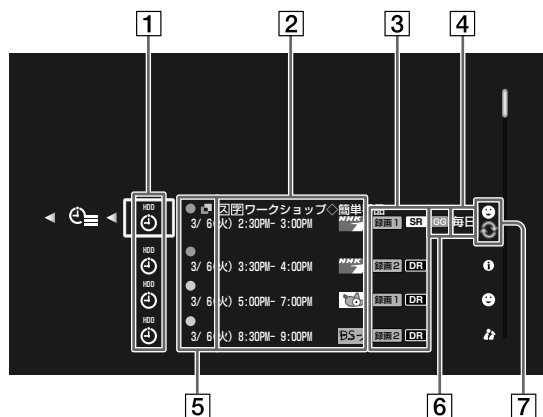
予約を取り消したいとき

↑↓←→で［予約消去］を選び、決定 を押す。

ちょっと一言

録画中の予約を変更することはできませんが、録画時間を延ばすことはできます（75ページ）。

次のページにつづく⇨

予約リストの見かた

1 **録画先**
HDDかBDを表示します。

2 **予約している番組の一覧**

3 **録画先・録画モードマーク**
録画1 録画2 ：[録画1]、[録画2]どちらで録画するのかが表示されます(BDZ-L70/BDZ-T70のみ)。
DR など：録画時の録画モードが表示されます。

4 **毎回録画表示**
毎日、毎週、月–金、番組名など、毎回録画で予約した場合に表示されます。

5 **予約状態マーク**
- ：複数の予約が重なっている場合、優先順が下位の番組に表示されます。
- ●（赤）：録画予約した番組を録画しているときに表示されます。
- ●（青）：録画可
同じ時刻に他の予約と重なっている部分以外はすべて録画できることを示します。
- ●（灰）：録画不可
録画先に設定されたディスクが残量不足、または他の予約と重なっているため、予約された時間すべてを録画できない可能性があることを示します。録画可能にするには、タイトルを削除するなどして容量を空けてください。
録画に対応したディスクが挿入されていない場合にも表示されます。また、番組名予約で該当する番組が見つからなかった場合にも表示されます。
- ⚠：対象番組なし
予約に該当する番組を追跡できない可能性がある場合に表示されます。

6 **番組情報マーク**
GG ：地上アナログの番組表から録画予約した場合に表示されます。
¥：有料番組に表示されます。有料で契約している放送局にも表示されます。

7 **ユーザーマーク**
予約設定時に設定した分類マークを表示します。
（更新）：更新録画予約(99ページ)に設定されている場合に表示されます。

予約リスト表示中にオプションボタンでできること

項目		できること
日付順表示		予約を日付順に表示します。
優先順表示		優先設定されている番組を先に表示します。
予約修正		予約を修正します。
予約消去	1件消去	1件の予約を取り消します。
	選択消去	複数の予約をまとめて取り消します。
録画延長		録画を延長します。
録画停止		録画を停止します。
優先変更		優先順を変更します。
重複確認		重複した予約があれば、重複した予約に対して表示します。
情報表示		設定されている予約を表示します。
番組追跡情報		次の場合に、番組追跡情報を表示します。 • 地上アナログ放送の番組 • 地上デジタル放送、BS/110度CSデジタル放送で毎回録画に設定した番組 • 地上デジタル放送、BS/110度CSデジタル放送で延長を設定した番組
番組名検索情報		毎回録画で[番組名]を選んだときに、番組名の確認や変更ができます。

予約の重複を確認する

予約リストで、予約の重複を確認できます。予約重複マーク は予約の優先順位が低い予約に表示されます。
オプションメニューで[重複確認]を選んで、確認します。
確実に録画したい場合は、オプションメニューの[優先変更]で設定し直してください(97ページ)。

ご注意

- デジタル放送の予約では、番組放送時間が変更になった場合に時間変更に対応して録画しますが、放送の状況によっては時間変更の検出が遅れることがあります。このとき、番組の先頭が録画されない場合があります。
- 先の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ場合、重複確認画面が表示されることがあります(番組表では同じ時刻で表示されても、実際の放送が数秒重複している場合)。
- 予約が重なっている場合は、優先度の低いほうの予約の先頭または最後部は録画されない場合があります。
- 一方の予約の終了時刻と、もう一方の予約の開始時刻が同じ場合、後の予約の優先順位が高くても、後の予約の先頭が録画されない場合があります。

予約の優先順位を変更する

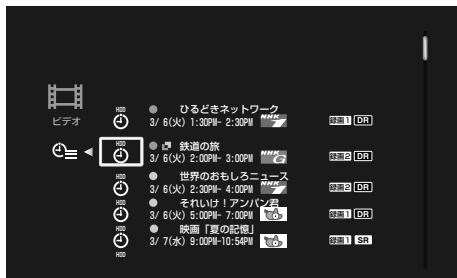
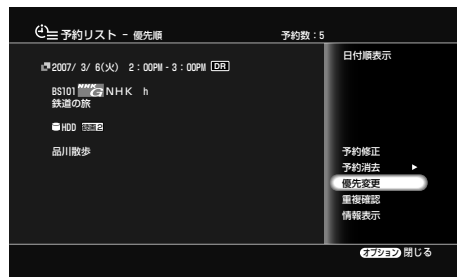
本機では、録画の[優先順位]にしたがって録画します。
[優先順位]は、予約を設定した順番に、新しいものが高くなるように設定されます。
予約が重なった場合、優先順位が高いものが録画され、低いものは録画されなかったり、途中からまたは途中までしか録画されないということが起こります。重要な録画の場合は、予約リストで優先順位を確認し、必要に応じて番組を最優先させてください。

1 ホーム を押す。

2 ←→で を選ぶ。

3 ↑↓で (予約確認)を選び、決定 を押す。

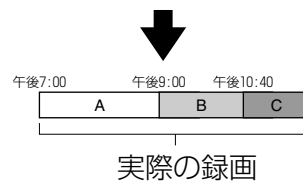
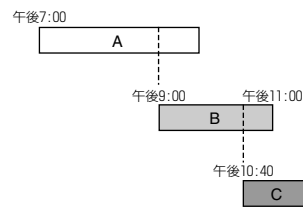
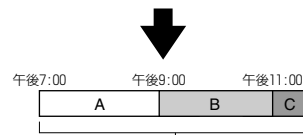
4 ↑↓で (予約リスト)を選び、決定 を押す。

5 予約リストで重複している番組を選んで、オプション を押す。
重複している番組には がついています。

6 [優先変更]を選び、決定 を押す。

優先変更画面が表示されます。

7 [はい]を選び、決定 を押す。
選んだ予約が最優先で録画されます。

予約が重なっているときは

「日時を指定して予約する」(87ページ)の手順**4**の後に重複確認の画面が表示されます。新たに登録された予約と重複し、一部またはすべてが録画されない番組には、予約重複マーク がつきます。
重複予約を確定した場合、後から設定した予約が優先されます。

例：番組[A]、[B]、[C]の順に予約した場合(番組[C]の優先順位が一番高い)

番組[B]の優先順位を番組[C]よりも高くすると、番組[B]は設定した録画終了時間まで録画されます。

予約終了時刻と次の予約開始時刻が同じときは

前の予約録画の最後の約20秒が録画されません。
BDZ-L70/BDZ-T70の場合、前後の録画を[録画1]と[録画2]に分けて予約すると、途切れずに録画されます。

ご注意

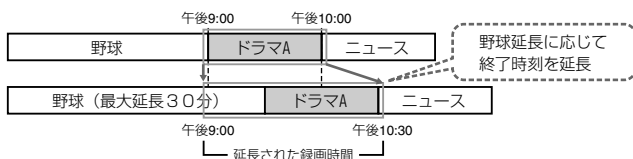
- デジタル放送の予約の場合、番組の延長に自動的に対応して録画されます。また、放送時間内に終わらなかったときに他のチャンネルで放送を継続する番組(イベントリレー)でも、本機が自動的に対応して録画します。ただし、毎回録画に設定して番組追跡しなかった場合や、録画予約の設定の中で[延長]の設定を[自動]以外に設定した場合は、自動で延長されません。
- ペイパービュー番組は毎回録画や延長設定ができません。
- リモート録画予約で[毎回録画]を[番組名]に設定した場合、手動で延長することはできません。
- [見て録]で設定した予約は延長できません。

次のページにつづく⇨

スポーツ番組の放送延長に合わせて録画時間を延長する(スポーツ延長対応)

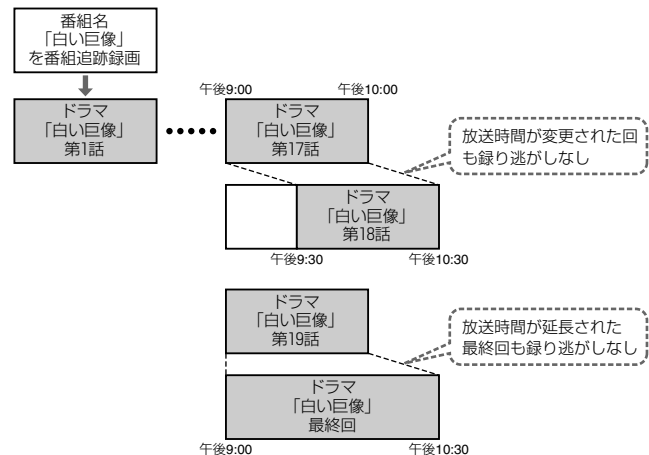
スポーツ中継の放送延長により、予約した番組の放送時刻が変わる可能性がある場合、番組表データから検出された延長時間分(10分単位で最長120分)、検出できない場合は[スポーツ延長対応](184ページ)で設定した時間分延長して録画します。次の条件をすべて満たしている場合、録画終了時刻が延長されます。

- 予約番組の放送開始時刻より前に、ジャンルが「スポーツ」の番組の放送予定が同じチャンネルにある。
- 中継番組の番組説明に「延長」、「試合終了まで」、または「完全中継」という語句がある。
- 中継番組が、午後7：00から午後9：00の間に放送される。
- 予約番組の開始時刻が翌日午前5:00より前である。
- デジタル放送は放送局から、番組の延長情報などが送られてくるため、スポーツ延長の設定をしなくても、自動的に録画を延長します。デジタル放送で自動的に録画を延長させたいときは、延長の設定を[自動]にしてください。

例：午後9:00から午後10:00まで放送予定のドラマAを予約しています。ドラマAの前には野球が放送され、最大30分間の放送延長の可能性があります。延長の情報があると、ドラマAの録画開始時刻はそのままで、終了時刻を30分延長します。

自動延長された結果、他のチャンネルの予約と重なった場合、録画は予約の優先順位にしたがいます(97ページ)。
この機能はお買い上げ時は、[入]に設定されています。
この設定を取り消すには、 の[ビデオ設定]で[スポーツ延長対応]を選び、[切]に設定します。

放送時刻の変更に合わせて録画時間を修正する(番組追跡録画)

連続ドラマなどの番組を毎回予約したとき、最終回だけ放送時間が違う場合に録り逃がすことがあります。番組追跡録画を設定すると、放送時間が違っても、番組名を追跡して予約するため、逃がさず録画できます。また、1回だけの予約の場合でも、録画の前に番組表データの更新があった場合、最新の情報に合わせて録画時間を自動補正します。追跡可能な範囲は、放送開始予定時刻1時間前から放送終了予定時刻1時間後までです。
この機能は、以下の番組で利用できます。

- 毎回録画に設定したデジタル放送の番組
- 録画予約の[延長]の設定を[自動]以外に設定したデジタル放送の番組
- 地上アナログ放送の番組

この機能はお買い上げ時は、[入]に設定されています。
この機能を使わないようにするには、 の[ビデオ設定]で[番組追跡録画]を選び、[切]に設定します。

ちょっと一言

- 予約したスポーツ番組も延長の対象となります。
- 上記の例でドラマAを他の予約より優先させたいときは、予約リストでその予約を選び、オプションボタンを押して、[優先変更]を設定してください。

ご注意

次の場合は、番組の追跡ができなかったり、他の番組を追跡してしまったりするため、録画されないことがあります。
－番組名が変わった場合
－番組名が短い場合
－放送時間が大幅に短くなった場合

番組名を変更して追跡するには

予約リストで番組を選んで、（オプション）を押し、[番組追跡情報]を選びます。追跡情報画面で[番組名変更]を選んで、追跡のための番組名を変更します。指定した番組の録画中は表示されません。

番組追跡情報は番組表からの予約で次の場合のみ表示され、修正できます。

- 地上アナログ放送の番組
- デジタル放送で毎回録画に設定した番組
- デジタル放送で延長を設定した番組

前回録画した番組を消去して録画する（更新録画）

HDD

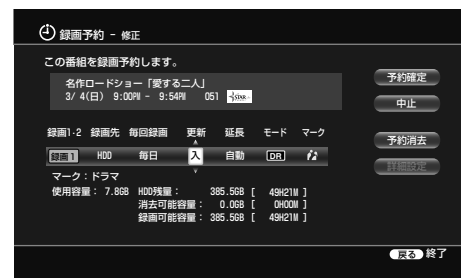
連続ドラマなどの番組を毎回予約したとき、前回録画したタイトルを消去した上で、新しい回を録画します。ただし、録画開始時刻から8時間経っていないタイトルは、更新による消去はされません。

[更新録画]を設定する場合は、[録画予約]で[毎回録画]が設定されているタイトルが対象になります（74ページ）。

1 予約リストで番組を選び、（決定）を押す。

録画予約設定画面が表示されます。

2 ←→で[更新]を選んで、↑↓で[入]に設定し、（決定）を押す。

3 [予約確定]を選んで、（決定）を押す。

本機の電源を切っていても、録画開始時刻になると、録画を行います。

ご注意

見ていないタイトルでも、次回の予約の前に消去されます。ただし、以下の場合は消去されません。

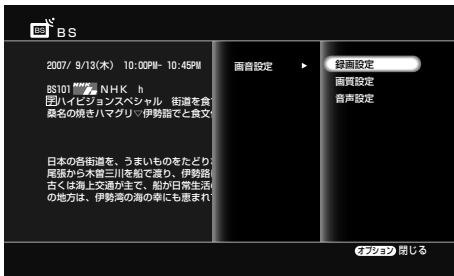
－タイトルがプロテクト設定されたとき
－タイトルが編集されたとき
－プレイリストに加えられたとき
－タイトルを再生中だったとき
－録画開始時刻から8時間経っていないタイトル

録画の画質・映像サイズを設定する

HDD BD-RE BD-R

録画するときの画質や映像サイズを設定することができます。
録画前に行ってください。

1 **本機で放送または外部入力1 ～ 3またはDV入力を視聴中に オプション を押す。**

2 **［画音設定］から［録画設定］を選び、決定 を押す。**
録画設定画面が表示されます。

3 **次の各設定項目を選び、決定 を押す。**

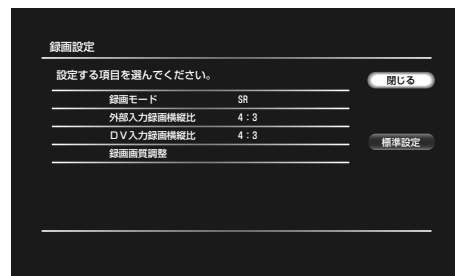
項目	設定
録画モード （テレビ番組選局中のときのみ）	録画先や録画する時間、画質に合わせて録画モードを設定します。「録画モード一覧」（209ページ）をご覧ください。
外部入力録画横縦比 （入力1/入力2/入力3*のみ）	録画する映像に合ったサイズに設定します。 • 16:9：映像サイズを16：9（ワイド画面）に設定します。 • 4:3（初期設定）：映像サイズを4:3に設定します。
DV入力録画横縦比* （DV入力のみ）	録画する映像に合ったサイズに設定します。 • 16:9：映像サイズを16:9（ワイド画面）に設定します。 • 4:3（初期設定）：映像サイズを4:3に設定します。
録画画質調整 （入力1/入力2/入力3*/DV*のみ）	各項目ごとに画質を調整します。調整する項目を選び、決定 を押します。 • コントラスト：コントラストを調整します。 • ブライトネス：全体の明るさを調整します。 • 色の濃さ：色をより濃く、またはより薄く調整します。

［標準設定］を選び、決定 を押すと、すべての設定を標準値に戻せます。
* BDZ-L70のみ

4 **↑↓←→で設定を選び、または調整し、決定 を押す。**
お買い上げ時の設定は、下線の数値です。

項目	設定
録画画質調整	
コントラスト	（弱）-3 ～ 0 ～ 3（強）
ブライトネス	（暗）-3 ～ 0 ～ 3（明）
色の濃さ	（薄）-3 ～ 0 ～ 3（濃）

5 **録画モードや、外部入力録画横縦比、DV入力録画横縦比、録画画質調整を調整するときは、手順3 ～ 4を繰り返す。**

6 **［閉じる］を選び、決定 を押す。**

2番組同時に録画する（2番組同時録画）（BDZ-L70/T70のみ）

HDD BD-RE BD-R 地上アナログ 地上デジタル BS CS

録画したい番組が同じ時間に2つある場合、本機の2番組同時録画機能を利用すれば、両方の番組を録画できます。

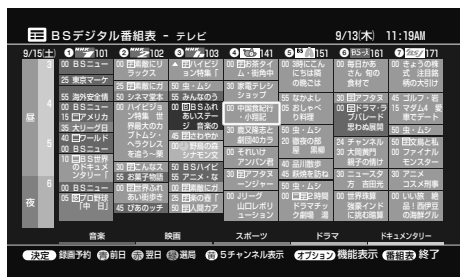
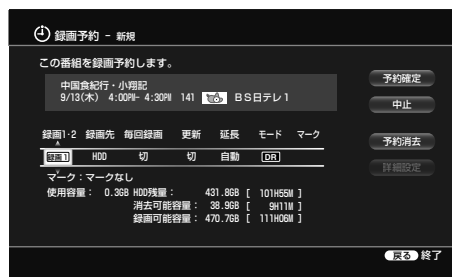
2番組同時録画は、見ている番組を録画する通常の録画（「視聴中の番組を録画する」71ページ）と、番組表予約（「番組表で予約する（番組表（EPG））」73ページ）や日時指定予約（「日時を指定して予約する」87ページ）などの録画予約で利用できます。

ここでは番組表を使った録画方法で2番組同時録画を設定する方法を1例として説明します。まず始めに1つ目の番組を録画予約する方法を説明します。

１つ目の番組を録画、録画予約する

1 予約する を押す。

2 ↑↓で録画したい放送の番組表を選び 決定 を押す。

3 ↑↓←→で録画したい番組を選び、決定 を押す。

4 ←→で［録画1・2］を選び↑↓で［録画1］または［録画2］を選ぶ。

「録画1」と「録画2」では録画できる放送の種類や録画モードが異なります。詳しくは103ページの一覧をご覧ください。

5 ［予約確定］を選び、決定 を押す。

ご注意

- 2番組同時録画の録画先を両方BDにすることはできません。
- 「録画1」で録画中は、録画中のチャンネルのみ視聴できます。
- アナログ放送同士の2番組同時録画はできません。
- 録画ボタンによる録画は、「録画1」でのみ録画されます。
- 「録画1」と「録画2」では、録画先ディスクや録画モード、他機能との同時動作で違いがあります。確認のうえ、録画予約してください（70、103ページ）。

次のページにつづく⇨

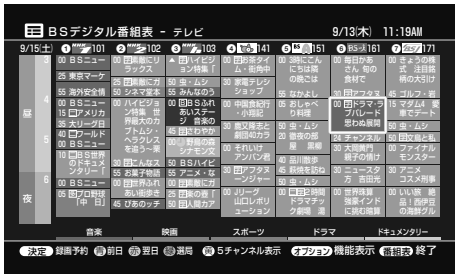
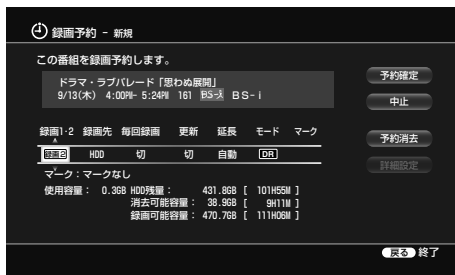
2つ目の番組を録画、録画予約する

次に2つ目の番組を録画するときの設定です。

1 ホーム を押す。

2 予約する を押す。

3 ↑↓で録画したい放送の番組表を選び 決定 を押す。

4 ↑↓←→で録画したい番組を選び、決定 を押す。

5 ←→で［録画1・2］を選び↑↓で1つ目の番組を録画したときに選んだ設定と異なる設定を選ぶ。

1つ目の番組を［録画1］で設定したときは、2つ目の番組は［録画2］で設定してください。

6 ［予約確定］を選び、決定 を押す。

2番組同時録画を停止するには

1 ホーム を押す。

2 ←→で録画中の放送の種類を選ぶ。

3 ↑↓で録画中の番組を選び、オプション を押す。

4 ［録画停止］を選び 決定 を押し、録画停止確認画面で［はい］を選び 決定 を押す。

録画が停止するまでに十数秒かかることがあります。

録画の状態によっては通常よりも時間がかかる場合があります。

同じチャンネルを同時に録画しているときは、［録画1］が停止されます。

2番組とも停止する場合は、ともに手順**2**～**4**を行ってください。

［録画1］と［録画2］の違いについて

［録画1］と［録画2］では以下のように録画できる放送の種類や、利用できる録画モード、録画先、機能などが異なります。
それぞれの特徴をうまく利用して、それぞれの番組の録画設定を行ってください。

録画1・録画2で録画できる放送の種類

録画1	録画2
地上デジタル BSデジタル CSデジタル 地上アナログ 外部入力（入力1 ～ 3/HDV/DV） のいずれか１つ	地上デジタル BSデジタル CSデジタル のいずれか１つ

利用できる録画モード

地上デジタル、BSデジタル、CSデジタル、外部入力（HDV）を録画するとき

録画１	録画2
DR,XR,XSR,SR,LSR,LR,ER	DR

地上アナログ、外部入力（入力1 ～ 3/DV）を録画するとき

録画1
XR,XSR,SR,LSR,LR,ER

録画1・録画2で録画できる録画先

録画1でHDDを選んだとき		録画2の録画先
HDD	➡	HDDまたはBD

録画1でBDを選んだとき		録画2の録画先
BD	➡	HDD

録画2でHDDを選んだとき		録画1の録画先
HDD	➡	HDDまたはBD

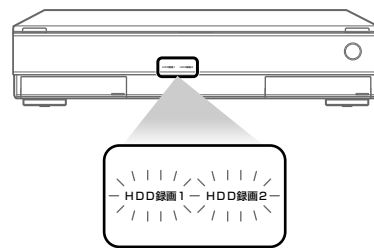
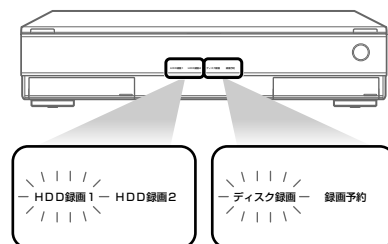
録画2でBDを選んだとき		録画1の録画先
BD	➡	HDD

［録画1］でのみ利用できる機能について

［録画1］で録画した場合のみ、次の機能が働きます。再生やダビング時にこれらの機能を使いたい場合は、必ず、［録画1］で録画してください。

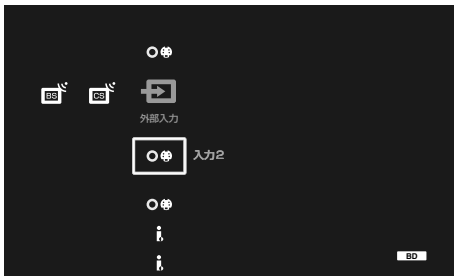
– おまかせチャプター（184ページ）
– ダイジェスト再生（112ページ）

2番組同時録画の本体表示について

本機のHDDで2番組同時録画を行っているとき、本体前面の「HDD録画1」と「HDD録画2」が両方点灯します。

本機のHDDとBDで2番組同時録画を行っているとき、本体前面の「HDD録画1」「HDD録画2」のいずれかと「ディスク録画」が点灯します。

外部チューナーやビデオデッキから録画する HDD BD-RE BD-R

本機につないだチューナー機器やビデオデッキ、デジタルビデオカメラなどから録画することができます。
ビデオカメラをつなぐ場合は、本機前面のHDV1080i/DV IN入力端子や入力2端子をお使いください（BDZ-L70のみ）。
HDV1080i/DV INに接続する場合は、146ページの「映像や写真をワンタッチで取り込む」をご覧ください。

1 ホーム を押す。

2 ←→で ⊡ を選ぶ。

3 ↑↓で外部機器の入力元を選び、決定 を押す。

外部機器を接続した端子に応じて、「入力1」または「入力2」、「入力3」*、[HDV]*、[DV]を選んでください。放送を見ている状態で 入力切換（入力切換）を繰り返し押して、選ぶこともできます。
画面が外部入力の映像に切り換わります。
* BDZ-L70のみ。

4 録画モード（録画モード）を繰り返し押して、録画モードを選ぶ。

録画モードについて詳しくは、「録画モード一覧」（209ページ）をご覧ください。

5 オプション を押し、[画音設定]を選び、決定 を押す。

6 [音声設定]を選び、決定 を押す。

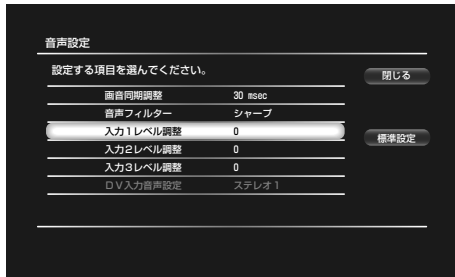
外部入力音声設定画面が表示されます。

ちょっと一言

- 録画をする前に、録画の画質や映像サイズを調整することができます。「録画の画質・映像サイズを設定する」（100ページ）をご覧ください。
- ビデオカメラをつなぐ場合は、本機前面のHDV1080i/DV IN入力端子や入力2端子をお使いください（225ページ）（BDZ-L70のみ）。

ご注意

外部入力から録画する場合、[1回だけ録画可能]の番組は、BDには録画できません。

7 [入力1レベル調整]または[入力2レベル調整]、[入力3レベル調整]*を選び、(決定)を押す。

お買い上げ時は[0]に設定されています。
* BDZ-L70のみ。

8 ←→で調整し、(決定)を押す。

[−2](小)から[2](大)の間で、記録される音量を調整できます。お買い上げ時は、[0]に設定されています。

9 ↑↓←→で[閉じる]を選び、(決定)を押す。

10 録画一時停止(録画一時停止)を押して、本機を録画一時停止状態にする。

11 本機の入力端子につないだ他機を再生一時停止状態にする。

12 本機の録画一時停止と、他機の一時停止または再生ボタンを同時に押す。
録画が始まります。
録画を止めるには、本機の録画停止(録画停止)を押します。

二重(主+副)音声放送を録画したときに記録される音声について

外部チューナーやビデオデッキを使って二重音声放送を記録する場合、外部チューナーやビデオデッキの外部音声出力設定を主音声、または副音声に切り換えてください。外部チューナーやビデオデッキの外部音声出力設定を主音声+副音声に設定して本機で録画すると、主音声、副音声をステレオ音声として記録するため、再生時に両方の音声が再生されます。ステレオ音声として記録された場合、主音声、副音声の切り換えができなくなるのでご注意ください。

外部チューナーの番組を録画予約する

本機につないだ録画予約機能付きのテレビやチューナーからの映像を録画できます。テレビやチューナー側の録画予約設定については、テレビやチューナーに付属の取扱説明書をご覧ください。

1 外部チューナー側の予約録画設定を行う。

2 本機で日時指定予約の設定を行う。
チャンネルは、外部チューナーを接続した入力先(「入力1」、「入力2」など)を選びます。

再生する

再生するでできること

録画した番組やBD、DVDの映像再生

☞ Page 108

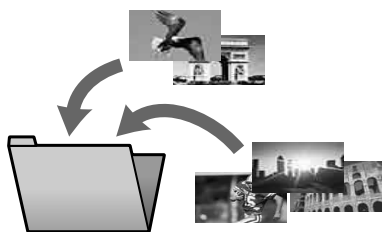
録画した映像(タイトル)やBD、DVDの高画質映像が楽しめます。本機のハードディスクに取り込んだビデオカメラの映像を楽しむこともできます。

ダイジェスト再生

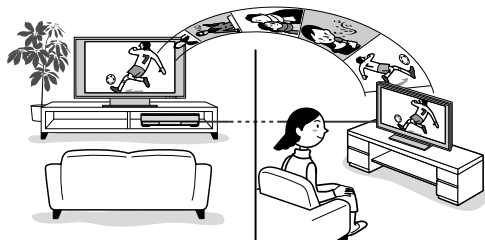
☞ Page 112

番組の盛り上がるシーンを自動検出し見どころを凝縮して再生 します。たとえば、1時間のスポーツ番組をハイライトシーンだけ再生し、数分で見ることができます。スポーツに限らずニュース、音楽など、さまざまなジャンルの番組を効率よく見られます。

オートグルーピング機能

☞ Page 121

ボタンひとつで、本機のハードディスクに録画したたくさんの番組を、ジャンル別や放送別などに分類して表示します。

ホームサーバー機能（BDZ-L70のみ）

☞ Page 128

DLNA対応テレビやパソコンをホームネットワーク（LAN）でつなぐと、本機のハードディスクに録画されている番組を、他の部屋からそのままの画質で再生できます。

録画した映像やBD、DVDを再生する

HDD BD BD-RE BD-R DVD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo AVCHD

1 テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換える。

2 （見る）を押す。

3 ↑↓で見たい映像（タイトル）を選び、（決定）を押す。

BDやDVDの場合は、↑↓で ● を選んで（決定）を押し、さらに、↑↓で見たいタイトルを選んで（決定）を押します。
市販のBD-ROMやDVD-ROMの場合、↑↓で ● を選び、（決定）を押すと、再生が始まります。ディスクを入れると、自動的に再生が始まる場合もあります。
再生中は、本体表示窓に再生経過時間が表示されます。
再生をやめるには、（停止）を押します。

前回停止した位置から再生する

BDやDVDの場合、前回停止した位置から再生することができます。

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で を選ぶ。

3 ↑↓で ● を選び、（再生）を押す。

HDMIコントロールを使って再生する

HDMIコントロール機能のあるソニー製テレビと本機をHDMIケーブルでつなぐと、録画した映像（タイトル）をかんたんに再生できます。
HDMIコントロールの準備方法については、「HDMIコントロール機器をつなぐ」（37ページ）をご覧ください。

1 （見る）を押す。
本機とテレビの電源が入り、テレビの入力が、本機が接続されているHDMIの入力に切り換わります。

2 ホームメニューの が表示されたら、↑↓で見たい映像を選び、（決定）を押す。

ちょっと一言

ホームメニューでタイトルを選び、（再生）または（見る）を押しても再生が始まります。

ご注意

- つないだ機器によっては、HDMIコントロール機能が働かないことがあります。つないだ機器の取扱説明書をご覧ください。
- 録画予約で設定した番組を録画しているときは、タイトルのサムネイルが表示されないことがあります。
- 次のようなときは再生ができません。
  - ディスクダビングをしているとき
  - HDV/DVダビングをしているとき（BDZ-L70のみ）
- HDV1080i/DV IN入力端子に接続した他機の映像を本機で録画しているときは、タイトルの再生ができません（BDZ-L70のみ）。
- 録画中（BDZ-L70/BDZ-T70は「録画1」で録画中）は早見再生できません。
- 「録画1」で録画中はBD-ROMの 再生はできません（BDZ-L70/T70のみ）。
- DRモードで録画中のときのみ、BD-ROMが再生できます（BDZ-T50のみ）。

再生中にオプションボタンでできること

項目	できること
画音設定	画質・音質を調整します(119ページ)。
頭出し	タイトルを始めから再生します。
早見/早見解除	タイトルを早見再生したり、早見再生を解除したりします。
ダイジェスト再生/ダイジェスト解除	タイトルの見どころシーン(盛り上がっている場面)のみを再生したり、ダイジェスト再生を解除したりします(112ページ)。
ダイジェスト時間	ダイジェスト再生の時間を変更します(113ページ)。
トップメニュー	ディスクのメニュー画面を表示します(110ページ)。
メニュー/ポップアップ	DVDビデオのメニューやBD-ROMのポップアップメニューなどを表示します(110ページ)。
再生停止	タイトルやトラックの再生を停止します。
消去	タイトルを消去します(132ページ)。
気になる人名	タイトルの情報に含まれる人名が表示されます。表示されている人名を使って番組を検索できます。
気になるワード	タイトルの情報に含まれるキーワードが表示されます。表示されているキーワードを使って番組を検索できます。
情報表示	タイトルの詳細情報を表示します。*
タイトルサーチ	タイトルを選んで頭出しします(117ページ)。
チャプターサーチ	チャプターを選んで頭出しします(117ページ)。

使用状況によって、表示されるオプションが異なります。

* 表示される情報が多い場合は、⬆⬇で画面をスクロールしてください。

タイトルリストでタイトル選択中にオプションボタンでできること

項目		できること
HDD情報		HDDの情報を表示します(140ページ)。
BD情報		BDの情報を表示します(140ページ)。
DVD情報		DVDの情報を表示します(140ページ)。
並び替え		タイトルを、日付順(新しい順)、日付順(古い順)、未視聴順、タイトル名順に並び替えます。
グループ表示/全タイトル表示		グループごとに分類されます(121ページ)。
再生		再生を停止したところから再生します。
頭出し再生		タイトルを始めから再生します。
ダイジェスト再生		タイトルの見どころシーン(盛り上がっている場面)のみを再生します(112ページ)。
消去	1タイトル消去	1つのタイトルを消去します(132ページ)。
	選択消去	複数のタイトルを選んで消去します(132ページ)。
プロテクト/プロテクト解除		タイトルが消去、編集されないよう保護したり、解除したりします(133ページ)。
次回予約		録画したタイトルの次回の予約をします(88ページ)。
気になる人名		タイトルの情報に含まれる人名が表示されます。表示されている人名を使って番組を検索できます。
気になるワード		タイトルの情報に含まれるキーワードが表示されます。表示されているキーワードを使って番組を検索できます。
ダビング		HDDやディスクにダビングします(168ページ)。
名前変更		タイトルの名前を変更します(139ページ)。
編集	マーク設定	タイトルにマークを設定します(135ページ)。
	サムネイル設定	タイトルのサムネイル画像を変更します(135ページ)。
	ダイジェスト設定	ダイジェスト再生のジャンルや再生時間を設定します(113ページ)。
	チャプター編集	チャプターを結合・分割したり、消去したりします(136ページ)。
	チャプター消去	チャプターを消去します(135ページ)。
	A-B消去	タイトル内の一部分を選んで消去します(136ページ)。
	タイトル分割	タイトルを2つに分割します(137ページ)。
	タイトル結合	2つのタイトルを結合します(137ページ)。
	プレイリスト作成	タイトルから映像の範囲を選び、新しいプレイリストを作成します(138ページ)。
情報表示		タイトルの詳細情報を表示します。*

使用状況によって、表示されるオプションが異なります。

* 表示される情報が多い場合は、⬆⬇で画面をスクロールしてください。

ご注意

- 他のDVD機器で録画したDVDは元のタイトル名が表示されないことがあります。
- サムネイルの表示に時間がかかることがあります。
- DVDに記録されたタイトルや、録画2で録画したタイトルなどで、画面横縦比が4:3の映像を含むタイトルは、サムネイルの縦横比が正しく表示できないことがあります。
- DVDにスクラップブックを書き出した場合、元のタイトル名は表示されません。

次のページにつづく⇨

● を選択中にオプションボタンでできること

項目	できること
ディスクを開く	ディスク内のタイトルなどを表示します。
名前変更	タイトルの名前を変更します(139ページ)。
プロテクト/プロテクト解除	タイトルが消去、編集されないよう保護したり、解除したりします(133ページ)。
ロック	ディスクをロックします(142ページ)。
初期化	BD-REを初期化します(143ページ)。
BDクローズ	BD-Rを録画できないようにします(143ページ)。
ファイナライズ	DVD-RやDVD+Rをファイナライズします(170ページ)。
BD情報	BDの情報を表示します(140ページ)。
DVD情報	DVDの情報を表示します(140ページ)。

使用状況によって、表示されるオプションが異なります。

タイトルリストのアイコンについて

アイコン	意味
●(赤)	録画中
►	再生中
●►	追いかけ再生中
1▪➡	移動(ムーブ)可能なタイトル(コピー制御信号により、HDDまたはBDおよびDVDのCPRM対応ディスクにのみ1回だけ録画できる番組。ダビングすると消去されるタイトルです。)
➡DVD	CPRM対応のDVD-RW(VRモード)、DVD-R(VRモード)にのみ移動(ムーブ)可能なタイトル。
⊘	ダビングできないタイトル
NEW	再生されていないタイトル
PL	プレイリスト(オリジナルタイトルから作られた仮想映像)
☆NEW(金)	x-おまかせ・まる録で録画され、再生されていない番組の中でおすすめ度が高いもの。
☆NEW(青)	x-おまかせ・まる録で録画され、再生されていない番組
★	x-おまかせ・まる録で録画されたタイトル ★の付いたタイトルは、HDDがいっぱいになったときには自動的に消去されます。
DRなど	録画モード(DR/XR/XSR/SR/LSR/LR/ER)
GG	Gガイドの番組情報が含まれている、地上アナログの番組タイトル
(更新)	更新録画対象
(プロテクトマーク)	保護されたタイトル
x-Pict Story	x-Pict Story HDファイルから作成したビデオタイトル(動画)に表示されます。
ユーザーマーク	録画予約時やマーク設定で設定したマークが表示されます。

BD-ROMやDVDビデオでメニューを使うには

BD-ROMの場合

BD-ROMでは、本機の再生を止めることなく、メニューを表示できるポップアップメニューが収録されています。再生中に トップメニュー(トップメニュー)を押して、↑↓←→で項目を選びます。

また、ポップアップメニューのほかに、トップメニューも利用できます。BD-ROM再生中に トップメニュー(トップメニュー)を押すと、ディスクのメニュー画面が表示されます。↑↓←→で項目を選びます。

DVDビデオの場合

DVDビデオやファイナライズされた、DVD+RW、DVD-RW(ビデオモード)、DVD+R、DVD-R(ビデオモード)を再生中に トップメニュー(トップメニュー)、ポップアップ/メニュー(ポップアップ/メニュー)を押すと、ディスクのメニュー画面が表示されます。↑↓←→で項目を選びます。

ロック設定されたBD-REやBD-Rを再生するには

ロック設定されたBD-REやBD-Rを入れると、暗証番号を入力する画面が表示されます。4桁の暗証番号を入力し、[確定]を選ぶと、ロックが解除され再生できるようになります。ディスクを取り出すと、再びロックされます。ロックの設定、解除については「ディスクをロックする」(142ページ)をご覧ください。

ご注意

再生するブルーレイディスクによっては、アナログ出力(D映像出力端子)での解像度が制限される場合や、出力ができない場合があります。

CDを再生する

CD CD-R CD-RW

本機にCDを挿入すると、自動的にMusic Player画面が表示されます。

（再生）を押す。

CDの始めの曲から再生が始まります。

オプションボタンでできること

使用状況によって表示されるオプションが異なります。

項目	できること
再生	トラックを再生します。
頭出し	トラックを始めから再生します。
再生停止	トラックの再生を停止します。

再生中の操作

項目	できること
開/閉（開/閉）	ディスクトレイの開/閉
（早戻し/早送り）	音楽CD（CD-R/-RW含む）の早戻し/早送り
停止（停止）	再生の停止
一時停止（一時停止）	再生の一時停止/一時停止の解除
音声切換（音声切換）	音声チャンネルの切り換え（押すごとに、「ステレオ」→「L（左）チャンネルのみ」→「R（右）チャンネルのみ」→「ステレオ」の順に切り換わります。）
前 次（前/次）	前ボタンを押すと、現在再生中のトラックの先頭に戻ります。（1つ前のトラックの先頭に戻るには、前ボタンを2回続けて押してください。） 次ボタンを押すと、次のトラックの先頭に進みます。

トラックを選ぶには

1 ホーム を押す。

2 ←→で ♫ を選ぶ。

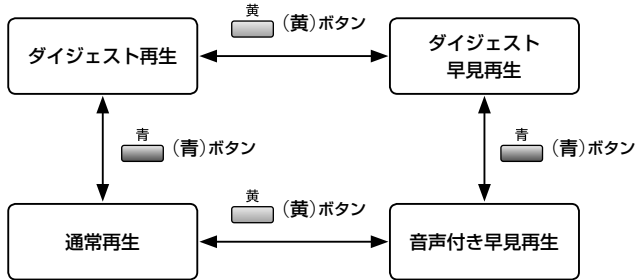
3 ↑↓で ●（音楽CD（CD-R/-RW含む））を選び、決定 を押す。

4 ↑↓で聴きたい曲（トラック）を選んで、決定 を押す。

ご注意

- DTS Digital Surround ™の音声を楽しむには、本機のデジタル出力に5.1 チャンネルのDTS Digital Surround ™デコーダーを接続してください。
- マルチセッションで作成されたCD-Rはシングルセッションのみ再生できます。

時間を短縮して録画した映像を見る

本機のHDDに録画した映像（タイトル）は音声付きの1.5倍速で再生できます（音声付き早見再生）。また、本機が自動で抽出した見どころシーンを中心に絞って再生することもできます（ダイジェスト再生）。
再生中にリモコンのカラーボタンを押すと、再生モードは次のように切り換わります。

音声付きで早送りする（音声付き早見）

HDD

録画した映像（タイトル）を再生中、黄（黄）を押すと音声付きで早送り再生ができます。

見どころシーンを中心に自動で再生する（ダイジェスト再生）

HDD

本機は、録画した映像（タイトル）の音声の盛り上がりや映像の切り換わりなどを検出し、タイトルの中で見どころと思われる場面を中心に自動再生できます。「録画1」（BDZ-L70/T70のみ）で録画したタイトルのみダイジェスト再生できます。

1 **見るを押す。**

2 **↑↓でダイジェスト再生したい映像を選び、決定を押す。**

3 **録画したタイトルを再生中、青（青）を押す。**
ダイジェスト再生が始まります。通常再生に戻すには、再生（再生）または青（青）を押します。
ダイジェスト再生中にダイジェストの再生時間を5段階で変更することもできます（113ページ）。

見たい場面を探すには

ダイジェスト再生中に前/次（前/次）を押すと、再生中の見どころシーンの先頭または、次の見どころシーンの先頭に移動します。1つ前の見どころシーンに移動するには、前（前）を続けて2回押してください。フラッシュ（フラッシュ←/→）を押すと、少し前または先に移動します。

ちょっと一言

音声付き早見再生中/ダイジェスト再生中（一時停止中も含む）やダイジェスト早見再生中に、◀◀/▶▶（早戻し/早送り）、または←→を押すと、通常の早戻し/早送り再生になります。再生（再生）を押すと、通常再生に戻ります。

ご注意

- 録画中（BDZ-L70/BDZ-T70は「録画１」で録画中）は音声付き早見再生はできません。
- 追いかけ再生中の番組（タイトル）はダイジェスト再生できません。
- 「録画2」で録画したタイトルはダイジェスト再生できません（BDZ-L70/T70のみ）。
- DRモードで録画したタイトルはダイジェスト再生できません（BDZ-T50のみ）。

ダイジェスト再生中の画面表示について

ダイジェスト再生中に （画面表示）を押すと、ダイジェスト再生時間画面が表示されます。ダイジェスト再生で再生する場面と再生しない場面を確認したり、ダイジェスト再生の総再生時間を確認できます。

ダイジェスト再生の再生時間を変更するには

1 ダイジェスト再生中に、 を押す。

2 ↑↓で［ダイジェスト時間］を選び、決定 を押す。

3 ←→でダイジェスト再生の再生時間を選び、決定 を押す。
再生時間を選ぶと、画面の中央に表示されている青いグラフも変化し、タイトル全体の中で再生する時間と場所を確認できます。

ダイジェスト再生の設定を変更するには

録画したタイトルごとに、ダイジェスト再生のジャンルや再生時間を設定することができます。

1 ホーム を押す。

2 ←→で を選ぶ。

3 ↑↓でタイトルを選び、 を押す。

4 ↑↓で［編集］を選び、決定 を押す。

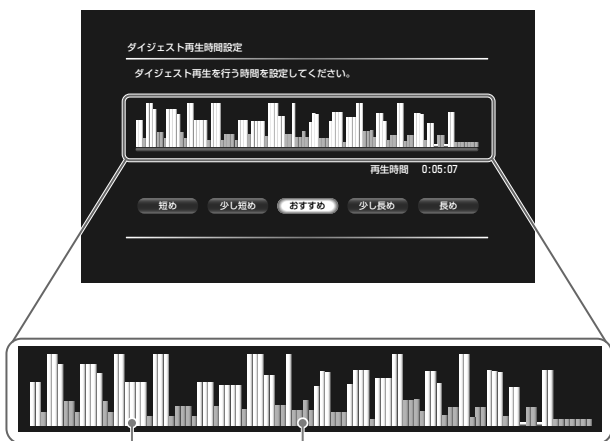
5 ↑↓で［ダイジェスト設定］を選び、決定 を押す。

6 設定を変更したら、↑↓←→で［確定］を選び、決定 を押す。

ダイジェスト再生できる映像について

本機では、HDDに「録画1」で録画したタイトルをダイジェスト再生できます。ただし、プレイリストや、結合されたタイトルはダイジェスト再生できません。
次のタイトルは再生できないことがあります。

- 再生時間が約10分未満のタイトル（編集して短くなったものを含みます）
- 受信状態が悪いときに記録されたタイトル

また、番組内容によってはダイジェスト再生できない場合があります。

ちょっと一言

ジャンルごとのダイジェスト再生の再生時間を設定するには、 の［ビデオ設定］で［ダイジェスト設定］を変更してください（184ページ）。

再生のいろいろな操作

	押すボタン	できることと使えるディスク
❶	開/閉（開/閉）	ディスクの再生が停止し、ディスクトレイが開きます。*4 **すべてのディスク**
❷	黄（黄）	HDDの映像を再生中に押すと音声付き早見再生になり、ダイジェスト再生中に押すとダイジェスト早見再生になります。もう一度押すと元の再生モードに戻ります（112ページ）。 HDD
❸	青（青）	再生中に押すとダイジェスト再生になり、音声付き早見再生中に押すとダイジェスト早見再生になります。もう一度押すと元の再生モードに戻ります（112ページ）。 HDD
❹	戻る（戻る）	BD-ROMやDVDビデオ再生時に使用する場合があります。 BD DVD AVCHD
❺	フラッシュ（フラッシュ）	少し前に戻る、または先に進みます。 **すべてのディスク**
❻	見る（見る）	HDDの映像のタイトルリストまたはディスクを表示します。 HDD BD BD-RE BD-R DVD +RW -RW VR -RW Video +R -R VR -R Video AVCHD
❼	前 次（前/次）	前や次のタイトル/チャプター/トラックの先頭に進みます。 1つ前のトラックの先頭に戻るには、前ボタンを2回続けて押してください。 HDDの場合は、前や次のタイトルの先頭に進めません。 **すべてのディスク**
❽	（早戻し/早送り） 決定 （スロー、コマ戻し/コマ送り）	• 再生中に押すと3段階で早送り再生*5（▶▶1（10倍）、▶▶2（30倍）、▶▶3（120倍））または逆再生（◀）、早戻し再生*5（◀◀1（10倍）、◀◀2（30倍）、◀◀3（120倍））します（CDの場合は15倍速の1段階のみ）。ボタンを押し続けると、はなすまで選んだ速さで再生します。また↔でも同様の操作ができます（CDでは前/次のトラックに進みます）。 • 一時停止中に1秒以上押すと、スロー再生またはスロー逆再生します（CDを除く。また、BD-ROMやDVD、AVCHD規格で記録されたディスクはスロー逆再生できません。）。 一時停止中に軽く押すと、コマ送り再生またはコマ戻し再生します（CDを除く。また、BD-ROMやDVD、AVCHD規格で記録されたディスクはコマ戻し再生できません。）。 通常の再生に戻すには、再生（再生）または決定を押します。 **すべてのディスク**
❾	シーンサーチ（シーンサーチ）	再生中のタイトル内ですばやく場面を移動できる「シーンサーチ」に切り換えます（117ページ）。 **すべてのディスク**
❿	停止（停止） 一時停止（一時停止）	停止や一時停止します。再生中に決定を押しても一時停止できます（BD-ROMを除く）。 **すべてのディスク**
⓫	トップメニュー（トップメニュー） ポップアップ/メニュー（ポップアップ/メニュー）	ディスクのメニューを表示できます。BD-ROMのポップアップメニューを表示するには、ポップアップ/メニュー（ポップアップ/メニュー）を押します（110ページ）。 元の画面に戻るには、トップメニュー（トップメニュー）またはポップアップ/メニュー（ポップアップ/メニュー）を押します。 BD DVD +RW -RW Video +R -R Video AVCHD

ご注意

- 市販のBD-ROMやDVDビデオなどの場合、ディスクの制限により、表のとおりに操作できないことがあります。
- BD-ROM再生時にカラーボタン（青、赤、緑、黄）を使用する場合があります。

	押すボタン	できることと使えるディスク
⓬	字幕（字幕）	繰り返し押して字幕を切り換えます。 HDD*1 BD BD-RE*1 BD-R*1 DVD AVCHD
⓭	音声切換（音声切換）	繰り返し押して音声言語を選びます。 BD DVD 繰り返し押して音声トラックを主音声と副音声から選びます。 HDD*2 BD-RE*2 BD-R*2 -RWVR -RVR
⓮	映像切換（映像切換）	複数の映像が記録されているとき（本体表示窓に（ANGLE）表示）に、繰り返し押して映像（アングル）を切り換えます。 HDD*3 BD BD-RE*3 BD-R*3 DVD
⓯	時間表示（時間表示）	本体の表示窓に再生経過時間/残量時間を表示します。押すたびに再生経過時間と残量時間が切り換わります。 すべてのディスク

*1 DRモードで録画した字幕を含むタイトル
*2 DRモードで録画した複数音声を含むタイトル
*3 DRモードで録画した複数映像を含むタイトル（(ANGLE)は表示されません）
*4 ディスクの再生時にディスクトレイを開くと、つづき再生は解除され、ディスクの最初から再生を開始します。
*5 倍速の値は、おおよその目安です。

再生をやめたところから再生するには（つづき再生）

再生したことがあるタイトルでは、次の場合、前回再生を止めた位置から再生が始まります。

- ホーム画面でタイトルを選び、決定を押した場合
- 再生（再生）を押して再生した場合
- オプションを押して［再生］を選んだ場合

オプションを押して［頭出し再生］を選び決定を押すと、タイトル/トラックの最初から再生できます。

つづき再生が解除される条件について

- ディスクトレイを開けたとき（HDDを除く）
- 他のタイトルを再生したとき（HDDやBD-RE、BD-Rを除く）
- 再生の途中で停止したタイトルを編集したとき
- 新たに録画を追加したとき（HDD、BD-RE、BD-Rを除く）
- つづき再生を禁止しているディスク
- 電源を切ったとき（CD、データCD、データDVD）

視聴年齢制限されたBD/DVDを再生するには

視聴年齢制限されたDVDの場合、再生またはつづき再生を行うとき、「視聴年齢制限を一時的にレベル＊に変えますか？」と表示されたら、［はい］を選ぶと暗証番号を入力する画面が表示されます。4桁の暗証番号を入力し、［確定］を選ぶと再生が始まります。
暗証番号の登録や変更については、から［BD/DVD視聴設定］の［DVD視聴年齢制限］（190ページ）をご覧ください。
視聴年齢制限されたBD-ROMを再生するときは、［BD/DVD視聴設定］－［BD視聴年齢］の設定を変更してください。

録画中の映像を最初から見る（追いかけ再生）

HDD

録画を続けながら、録画終了を待たずに録画済みの部分を再生します。

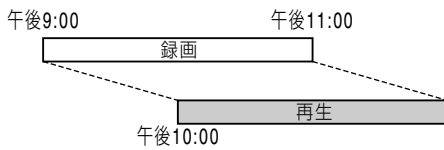
1 ホーム を押す。

2 ←→で [アイコン] を選ぶ。

3 ↑↓で録画中の映像（タイトル）を選び、オプション を押す。

4 ↑↓で［再生］を選び 決定 を押す。

録画中の番組の再生が始まります。

例：午後9時からの番組を録画中、10時に帰宅。録画中の番組を始めから見る。

早送り再生で録画に追いついたときは

早送り再生で録画現在位置に追いつくと、再生一時停止に切り換わります。

録画しながら他の映像や音楽を再生する（同時録画再生）

HDD BD BD-RE BD-R DVD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo DATA DVD AVCHD CD DATA CD

再生中に録画予約で設定した録画が始まっても再生を続けることができます。また、HDDに録画しながらBD、DVD、CDやデータDVD、データCDを再生することもできます。

録画中のディスク	録画中に再生できるディスク
HDD	HDD/BD*/DVD/CD、AVCHD規格で記録されたディスク、データDVD/データCD
BD	HDD

＊「録画１」で録画中のときはBD-ROMは再生できません。

ご注意

- 録画モードにより録画開始直後の1分間ほどは追いかけ再生することはできません。
- 録画中（BDZ-L70/BDZ-T70は「録画1」で録画中）のタイトルを追いかけ再生しているときは、ダイジェスト再生や音声付き早見再生はできません

すばやく見たい場面にとばす（シーンサーチ）

HDD BD BD-RE BD-R DVD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo AVCHD

シーンサーチを使うと、再生中の映像（タイトル内）ですばやく場面を移動できます。

1 再生中または一時停止中に、シーンサーチ（シーンサーチ）を押す。

シーンサーチになり、画面下部にバーとシーンインジケーター（現在位置を表示する四角）が表示されます。再生中の場合、画面は一時停止します。

2 ←→で、見たい場面の位置までシーンインジケーターを動かす。

現在位置　シーンインジケーター

バー上のシーンインジケーターは場面のおおよその位置を表示します。

3 見たい場面の位置まで来たら、ボタン操作をやめる。

シーンインジケーターを止めた位置の場面が、一時停止で表示されます。

場面を選び直すには、←→でシーンインジケーターの位置を動かします。

4 シーンサーチ（シーンサーチ）、決定、再生（再生）、または一時停止（一時停止）を押す。

再生が始まります。

シーンサーチを途中でやめるには

シーンサーチ（シーンサーチ）、決定、再生（再生）、または一時停止（一時停止）を押します。押した場面から再生が始まります。

チャプター番号やタイトル番号で頭出しする

HDD BD BD-RE BD-R DVD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo AVCHD

タイトル内にチャプターマーク（HDD/BD/DVD）がある場合、それを選んで頭出しできます。チャプターマークの付けかたについて詳しくは、「再生中にチャプターマークを付けるには」（118ページ）をご覧ください。

また、市販のBD-ROMやDVDビデオでは、タイトル番号を選んで頭出しできます。

1 再生中または一時停止中に オプション を押して、［チャプターサーチ］または［タイトルサーチ］を選び、決定 を押す。

画面はHDDの場合です。

チャプター番号/タイトル番号入力画面が表示されます。

例：チャプターサーチの場合

チャプター番号入力画面

再生する

ちょっと一言

「すばやく見たい場面にとばす（シーンサーチ）」の手順2で （早戻し/早送り）を押しても、←→と同様の操作ができます。

ご注意

シーンサーチは100秒以上100時間未満のタイトルでのみ有効です。

次のページにつづく⇨

2 ❶～❿ で見たいチャプター番号またはタイトル番号を入力し、(決定) を押す。

数字を間違えた場合は、クリア（クリア）を押してから、もう一度入力し直してください。
場面が少しの間一時停止したあと、再生が始まります。

再生中にチャプターマークを付けるには

HDD BD-RE BD-R

再生/再生一時停止中や録画/録画一時停止中にタイトルをチャプターとして分けたい場面で チャプター書込み（チャプター書込み）を押します。画面上に「チャプターマーク書込み」が表示され、5秒で消えます。
マークの前後のシーンが別々のチャプターになります。
録画中に手動でチャプターを入れる場合は、 の［ビデオ設定］で［自動チャプターマーク］を［切］にしてください（184ページ）。
チャプター編集画面でチャプターマークを消去することができます（136ページ）。前後のチャプターが結合され、1つのチャプターになります。

再生する

ちょっと一言

1つ目のチャプターマークは、自動的にタイトルの先頭に付きます。このチャプターマークは消去できません。

再生の画質や音質を調整する

HDD BD BD-RE BD-R DVD +RW -RW VR -RW Video +R -R VR -R Video AVCHD

画質を調整する

1 再生中に オプション を押して、[画音設定]－[画質設定]を選び、決定 を押す。

画質設定画面が表示されます。

2 各設定項目を選び、決定 を押す。

項目	設定
FNR	画面上にざわざわと発生するランダムなノイズ成分を低減するための調整をします。
BNR	画面上にモザイクのように現れるブロックノイズを低減するための調整をします。 DV入力のとき、アナログチューナーからの入力のとき、入力1/入力2/入力3*[2]端子への入力 のときは使用できません。
MNR	画像の輪郭部に現れる細かいノイズ(モスキートノイズ)を低減するための調整をします。 DV入力のとき、アナログチューナーからの入力のとき、入力1/入力2/入力3*[2]端子への入力 のときは使用できません。
画質調整*[1]	各項目ごとに画質を調整します。調整する項目を選び、決定 を押します。 • コントラスト ⇨ コントラストを調整する。 • ブライトネス ⇨ 全体の明るさを調整する。 • 色の濃さ ⇨ 色をより濃く、またはより薄く調整する。

*[1] 視聴中のテレビ映像と再生中のタイトルにのみ効果があります。
*[2] BDZ-L70のみ

[標準設定]を選び、決定 を押すと、すべての設定を標準値に戻せます。

3 ↑↓←→で設定を選び、または調整し、決定 を押す。

お買い上げ時の設定は、下線の設定や数値です。

項目	設定	
FNR	切	自動
BNR	切	自動
MNR	切	自動
画質調整		
コントラスト	(弱) -3 ～ 0 ～ 3 (強)	
ブライトネス	(暗) -3 ～ 0 ～ 3 (明)	
色の濃さ	(薄) -3 ～ 0 ～ 3 (濃)	

他の項目も調整するときは、手順2 ～ 3を繰り返します。

再生する

ちょっと一言

- 本機には、視聴中のテレビ映像や再生中のタイトルの映像中に含まれるノイズのレベルに応じて、FNR とBNR、MNR の強度を動的に自動調整する「ピュアイメージリアライザー」が搭載されています。
  画像の輪郭がぼやけるときは、FNR、BNR、MNRの設定を[切]にしてください。
- テレビ番組を視聴中のときでも、オプションボタンから[画音設定]ができます。

ご注意

- 再生している場面によっては、FNRやBNR、MNRの効果がわかりにくいことがあります。
- FNRの設定を[自動]にしていても、場合によっては無効となることがあります。

次のページにつづく⇨

音声を調整する

1 **再生中に （オプション）を押して、[画音設定]－[音声設定]を選び、（決定）を押す。**
音声設定画面が表示されます。

2 **各設定項目を選び、（決定）を押す。**
お買い上げ時の設定は、下線の設定や数値です。

項目	設定
画音同期調整	画像と音声のずれを調整するための設定をします。画像に対して音声を遅らせます。 （短）0 ～ 30 ～ 120msec（長）
音声フィルター *	• シャープ ⇨ フラットな音質で明瞭な音像定位が得られます。通常はこの設定にします。 • スロー ⇨ 雰囲気のあるあたたかい音が得られます。

* この機能は、デジタル音声出力には効果がありません。

3 **↑↓←→で設定を選び、または調整し、（決定）を押す。**

ご注意

ディスクの種類や視聴条件によっては、音声フィルターの効果がわかりにくいことがあります。

録画した映像を整理する

録画した映像をグループごとに分類する（オートグルーピング機能）

HDD

録画した映像（タイトル）を指定したグループで分類して、目的のタイトルをすばやく探すことができます。

各グループの中の同じ名前のタイトルは、タイトルごとに1つのフォルダに集約されるため、フォルダ単位でかんたんに探すことができます（タイトル名集約）。また、フォルダの中でまとまったタイトルを簡単に消去、ダビングすることができます。

1 ホーム を押す。

2 ↔で 🎞 を選ぶ。

3 黄（黄）を押す。

タイトルがグループごとに分類されます。

グループの種類

［**ジャンル**］

下記のジャンルで分類します。

ニュース、スポーツ、ワイドショー、ドラマ、音楽、バラエティ、映画、アニメ/特撮、ドキュメンタリー、劇場/公演、趣味/教育、福祉、その他、ジャンルなし

［**予約**］

予約の種類ごとに分類します。

グループ名	グループの説明
予約録画	現在設定されている毎回録画のタイトル名ごとに分類します。予約設定を消去したり、毎回録画を解除すると、［その他の予約録画］のグループに分類されます。
見て録	見て録で録画したタイトルが、このグループに分類されます。
その他の予約録画	その他の予約録画、手動で録画したタイトルが、このグループに分類されます。（入力1や入力3*[1]から録画したタイトル、入力2から録画した「1回だけ録画可能」のタイトル*[2]、BD/DVDからHDDにダビングしたタイトルを含む）。
おまかせ・まる録	x-おまかせ・まる録で録画されたタイトルが、このグループに分類されます。

*[1] BDZ-T70/T50は入力2
*[2] BDZ-L70のみ

［**おまかせ・まる録**］

x-おまかせ・まる録で録画されたタイトルを、以下のグループに分類します。

グループ名	グループの説明
おすすめ	本機のおすすめで録画されたタイトルが、このグループに分類されます。
おまかせ	現在設定されている自動録画条件で分類されます。
その他のおまかせ・まる録	過去に設定した自動録画条件で分類されます。

ちょっと一言

手順2でオプションボタンを押し、［グループ表示］または［全タイトル表示］を選んでもビューを切り換えることができます。

再生する

次のページにつづく⇨

［**マーク**］

下記の29個のマークに分類します。
マークの1から17は名前を変更できます（右記）。

アイコン	名前	アイコン	名前
	マーク1		マーク16
	マーク2		マーク17
	マーク3		ニュース
	マーク4		スポーツ
	マーク5		ワイドショー
	マーク6		ドラマ
	マーク7		音楽
	マーク8		バラエティ
	マーク9		映画
	マーク10		アニメ/特撮
	マーク11		ドキュメンタリー
	マーク12		劇場/公演
	マーク13		趣味/教育
	マーク14		福祉
	マーク15		マークなし

［**x-Pict Story**］

x-Pict Story HDで作成したビデオ作品（または、そのプレイリストタイトル）を表示します。

［**ビデオカメラ映像**］

入力2から録画した「録画制限なし」のタイトル*や8cm DVDからHDDへダビングしたタイトル、HDV1080i/DV IN入力端子*から録画したタイトルやHDV/DVダビング*、AVCHDダビング*で取り込まれたタイトル（ワンタッチダビング*で作成したタイトル、または、それらのプレイリストタイトルを含む）を表示します。

* BDZ-L70のみ

［**プレイリスト**］

プレイリストタイトルを表示します（x-Pict Storyやビデオカメラ映像のプレイリストを除く）。

グループ選択中にオプションボタンでできること

項目		できること
HDD情報		HDDの情報を表示します。
全タイトル表示		全てのタイトルを表示します。
並び替え		タイトルを、日付順（新しい順）、日付順（古い順）、未視聴順、タイトル名順に並び替えます。
グループを開く		グループ内のタイトルを表示します。タイトルの並びを変えたり、BD/DVDへのダビングや編集ができます。
消去	グループ消去	グループのタイトルを一括して消去します（134ページ）
	タイトル選択消去	複数のタイトルを選んで、消去します（132ページ）。
ダビング		HDDやDVDにダビングします。
編集	タイトル結合	2つのタイトルを結合します（137ページ）。
	プレイリスト作成	タイトルから映像の範囲を選び、新しいプレイリストを作成します（138ページ）。
情報表示		フォルダーの詳細情報を表示します。

マークの名前を変更する

マーク1 ～ 17については、マークの名前を変更できます。
次の手順を行う前に、「録画した映像をグループごとに分類する（オートグルーピング機能）」（121ページ）をご覧になり、タイトルをマークごとに分類してください。

1 ホーム を押す。

2 ←→で を選ぶ。

3 ↑↓で （マーク）を選び、決定 を押す。

4 ↑↓で変更したいグループを選び、オプション を押す。

5 ↑↓で［名前変更］を選び、決定 を押す。

6 キーボードが表示されるので、新しいマークの名前を入力する（84ページ）。

録画した映像を好きな順番に並べ換える

HDD BD-RE BD-R +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo AVCHD

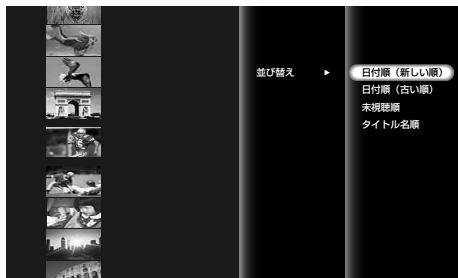
録画した映像(タイトル)の一覧を並べ替えることができます。

1 ホーム を押す。

2 ←→で を選ぶ。

3 ↑↓でタイトルを選び、オプション を押す。

4 ↑↓で[並び替え]を選び、決定 を押す。

5 ↑↓で並び替えの種類を選び、決定 を押す。

お買い上げ時は、[日付順(新しい順)]に設定されています。

種類	設定
日付順(新しい順)	録画開始日時の新しい順に並べます。
日付順(古い順)	録画開始日時の古い順に並べます。
未視聴順	見ていないタイトルから並べます。
タイトル名順	タイトル名順に並べます。
管理番号順	BD/DVDに録画した順に並べます。ディスク中のタイトルを選んでいるときのみ表示されます。

状況によって表示されるオプションが異なります。

デジタルカメラなどの写真を再生する

ディスクに保存されている写真を再生する

HDD BD-RE BD-R DATA DVD DATA CD

1 本機にディスクを入れる。

2 ホーム を押す。

3 ←→で 📷 を選ぶ。

4 ↑↓で ● を選び、決定 を押す。

5 ↑↓←→で再生したい写真が入っているフォルダを選び 決定 を押す。

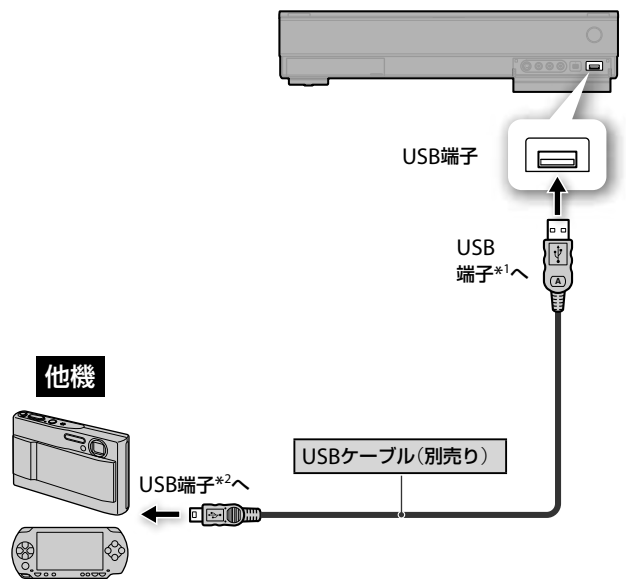
本機ではフォルダのことをアルバムと呼びます。

6 ↑↓で写真を選び 決定 を押す。

表示中に 前 (前)を押すと前の写真を、次 (次)を押すと次の写真を表示します。

USB機器に保存されている写真を再生する(BDZ-L70のみ)

USB機器によっては、USB機器側からデータを送信できるように、モードを切り換える必要があるものもあります。詳しくは、USB機器の取扱説明書をご覧ください。

1 デジタルスチルカメラや"PSP"などのUSB機器を本機前面のUSB端子に接続する。

*1 端子タイプA

*2 端子タイプミニB("PSP")またはB、独自規格(デジタルスチルカメラ)

2 ホーム を押す。

3 ←→で 📷 を選ぶ。

4 ↑↓で接続機器を選び、決定 を押す。

デジタルカメラ　"PSP"　USB機器

ご注意

- パソコンで編集した写真は本機で再生できないことがあります。
- 写真を表示しているときや本機に取り込んでいるときに、デジタルスチルカメラや"PSP"を接続しているUSBケーブルを抜いたりしないでください。
- 本機は、ボイスメモには対応していません。
- 写真によっては、表示に時間がかかることがあります。写真の数(ファイル数)が多いときには、次の動作で時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。また、次の動作中に電源を切ると、故障の原因になることがありますのでご注意ください。
  - サムネイルの表示*
  - スライドショーの再生

  * 写真のサイズや保存されている場所により、表示に時間がかかる場合があります。
- 16：9(HDTVサイズ)で撮影した写真を本機で再生すると、上下、または上下左右に黒帯が表示されることがあります。[テレビタイプ]の設定(185ページ)をご覧になり、本機の出力映像設定を16：9に変更してください。また、ワイドテレビ側のワイド切換で16：9に設定してください。切り換え方法について詳しくはお使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。
- 電源供給のみ行うUSBケーブルは使用できません。

再生する

5 ↑↓←→で再生したい写真が入っているフォルダを選び(決定)を押す。

本機ではフォルダのことをアルバムと呼びます。デジタルカメラや"PSP"はそれぞれ表示できる階層が異なります。

6 写真を選び、(決定)を押す。

表示中に 前(前)を押すと前の写真を、次(次)を押すと次の写真を表示します。

"メモリースティック" USBリーダー /ライター MSAC-US40（別売り）を使って"メモリースティック"のデータを再生したいときは

本機に"メモリースティック" USBリーダー /ライター MSAC-US40（別売り）を接続し、"メモリースティック"を"メモリースティック" USBリーダー / ライター MSAC-US40に挿入してください。

本機のHDDに保存されている写真を再生する（BDZ-L70のみ）

HDD BD-RE BD-R DATA DVD DATA CD

本機に取り込んだ写真を表示することができます。

1 (ホーム)を押す。

2 ←→で(写真)を選ぶ。

3 ↑↓でHDD内のアルバムを選び、(決定)を押す。

4 ↑↓で写真を選び(決定)を押す。

表示中に 前(前)を押すと前の写真を、次(次)を押すと次の写真を表示します。

再生中にオプションボタンでできること

使用状況によって、表示されるオプションが異なります。

項目	できること
スライドショーの速さ	スライドショーの表示の速さ（速い/標準/遅い）を設定します。
ファイルサーチ	指定した写真ファイルを表示します。
停止	スライドショーを停止します。
回転（左）	写真ファイルを左周りに90度回転させます。
回転（右）	写真ファイルを右周りに90度回転させます。

ご注意

- 本機で再生できる写真は、圧縮形式がJPEG形式で、ファイル名形式がDCF形式*のものです。
  - * （社）電子情報技術産業協会にて制定された統一規格"Design rules for Camera Files systems"のことです。
- DCF形式以外のJPEG形式の写真（パソコンで加工した静止画像など）では、一部の機能が正しく動作しないことがあります。
- ファイルサイズが大きい写真は、サムネイルが表示されるまでに時間がかかることがあります。
- 次の写真は画面上の写真一覧には表示されますが、再生するとが表示され再生できません。また、これらのファイルを本機のHDDに取り込むこともできません。
  - 縦または横のいずれかが、8192ドット以上の写真
  - 縦または横のいずれかが、15ドット以下の写真
  - ファイルサイズが32MBを超える写真
  - 横縦のサイズ比が50:1より横長、あるいは1:50より縦長の写真
  - プログレッシブJPEG形式の写真
- BD-RにUDF2.6以外で記録した場合は再生できません。
- BD-REにUDF2.5以外で記録した場合は再生できません。
- ディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- 1つの階層で表示できるファイルやフォルダの総数は500個です。500個を超える場合は、ファイルを優先して表示します。

次のページにつづく⇨

HDDのアルバム一覧表示中にオプションボタンでできること（BDZ-L70のみ）

使用状況によって、表示されるオプションが異なります。

項目	できること
HDD情報	HDDの情報を表示します。
スライドショーの速さ	スライドショーの表示の速さ（速い/標準/遅い）を設定します。
スライドショー	スライドショーで表示します（126ページ）。
x-ScrapBook再生	スクラップブックを再生します（158ページ）。
x-Pict Story作成	x-Pict Story HDを作成します（162ページ）。
消去	アルバムを消去します。
名前変更	アルバムの名前を変更します。
情報表示	アルバムの情報を表示します。

HDDの写真一覧表示中にオプションボタンでできること（BDZ-L70のみ）

使用状況によって、表示されるオプションが異なります。

項目		できること
HDD情報		HDDの情報を表示します。
スライドショーの速さ		スライドショーの表示の速さ（速い/標準/遅い）を設定します。
表示		写真を表示します（124ページ）。
スライドショー		スライドショーで表示します（126ページ）。
回転（左）		写真ファイルを左周りに90度回転させます。
回転（右）		写真ファイルを右周りに90度回転させます。
コピー	1ファイルコピー	1ファイルの写真をコピーします。
	選択コピー	選択した複数の写真をコピーします。
消去	1ファイル消去	1ファイルの写真を消去します。
	選択消去	選択した複数の写真を消去します。
情報表示		写真の情報を表示します。

ディスクや接続機器のアルバムや写真一覧表示中にオプションボタンでできること

使用状況によって、表示されるオプションが異なります。

項目		できること
スライドショーの速さ		スライドショーの表示の速さ（速い/標準/遅い）を設定します。
表示		写真を表示します（124ページ）。
スライドショー		スライドショーで表示します（126ページ）。
コピー	1ファイルコピー	1ファイルの写真をコピーします。
	1アルバムコピー	1つのアルバムをコピーします。
	選択コピー	選択した複数の写真またはアルバムをコピーします。
情報表示		アルバムや写真の情報を表示します。

順番に再生する（スライドショー）

本機のアルバムやBD-RE/BD-R/データDVD/データCD（データCDにはCD-R/CD-RW含む）、USB接続したデジタルスチルカメラや“PSP”、USB機器に保存されている写真を順番に表示します。
アルバム内のすべての写真の表示が終わるとアルバムの先頭から繰り返し再生されます。写真の数（ファイル数）が多いときやファイルサイズが大きいと動作に時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。

1 アルバムを選んで、オプション を押す。

2 ↑↓で［スライドショー］を選び、決定 を押す。

スライドショー中に 前（前）を押すと前の写真を、次（次）を押すと次の写真を表示します。
スライドショーをやめるには、停止（停止）を押します。
スライドショー中に一時停止するには、一時停止（一時停止）を押します。一時停止（一時停止）か 再生（再生）を押すとスライドショーが再開されます。

本機とのUSB接続で、保存されている写真の再生や、写真の取り込みが可能な機種について

2007年9月末日までに日本国内で発売されたソニー製デジタルスチルカメラ/デジタルビデオカメラレコーダー /メモリースティックUSBリーダーライター、および、"PSP"(発売元:ソニーコンピューター・エンタテインメント株式会社)、一部の他社製デジタルスチルカメラ、メモリーカードリーダーライターで動作確認しています。
動作確認機器についての最新の情報は、次のホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/products/Consumer/BD/support/usb.html

より高画質な写真を楽しむ(ブラビア プレミアムフォト)

「ブラビア プレミアムフォト」に対応したソニー製テレビをお使いの場合、以下の接続と設定を行うことで、よりよい画質で写真を見ることができます。

1 **「ブラビア プレミアムフォト」に対応したソニー製テレビと本機をHDMIケーブル(別売り)で接続する**

2 **テレビの映像設定を「ビデオ-A」モードにする**

「ビデオ-A」モードについて詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

ブラビア プレミアムフォトとは
写真らしい高精細で微妙な質感や色合いの表現を可能にする機能です。「ブラビア プレミアムフォト」対応のソニー機器同士の組み合わせで写真を今までになかった感動のFull HD高画質で楽しめます。
また、人肌や花びらの繊細な描写、砂浜の波の質感など、美しいフォト画質を大画面で楽しめます。

別の部屋のテレビやパソコンなどで再生する（ホームサーバー機能）（BDZ-L70のみ）

HDD

本機とDLNAに対応したテレビやパソコンなどをネットワークで接続すると、本機のHDDに保存した映像や写真をテレビやパソコンで再生できます。

ホームサーバー機能を利用するための準備

1 ネットワークに接続する。
この機能を利用するには、ネットワークに接続する必要があります。電話回線を使って本機能を利用することはできません。
ネットワークへの接続設定について詳しくは、「電話回線/ネットワークにつなぐ」（57ページ）をご覧ください。

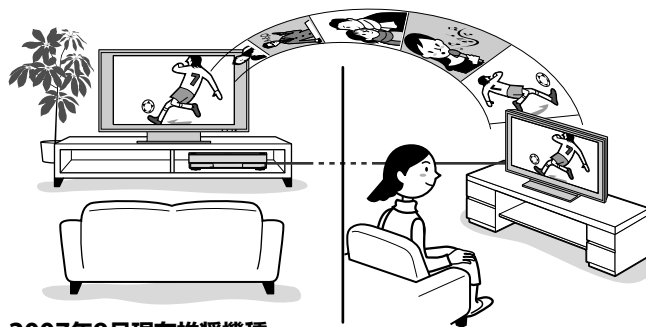
2 ネットワークの設定をする。
本機をネットワークに接続するための設定をします。設定方法は、「ネットワーク設定」（192ページ）をご覧ください。

3 ホームサーバー機能を利用するための設定をする。
本機のHDDの映像や写真を、他機器で再生するための設定をします。
設定方法は、「ホームサーバー設定（BDZ-L70のみ）」（194ページ）をご覧ください。

他機器の準備

本機の映像や写真を再生する他機器でも、ネットワーク接続やホームサーバー機能に対応する設定が必要です。接続と設定については、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
また、他機器でファイアーウォールの設定がされている場合、ホームサーバー機能が使えない場合があります。他機器の取扱説明書をご覧になり、設定を変更してください。

「ホームサーバー機能対応」とは

ホームネットワーク上でデジタルAV機器やパソコンなどを接続し、動画などを相互にやりとりできます。
本機の映像や写真を別の部屋に設置されているテレビで再生できるようになるなど、大変便利な機能です。

2007年9月現在推奨機種

- ハイビジョンテレビ <ブラビア> X1000シリーズ*[1]、J3000シリーズ、J5000シリーズ、X7000/5050/5000シリーズ、W5000シリーズ、V5000/3000シリーズ

［再生対応コンテンツ］
－DRモードで録画したデジタル放送
－HDV映像
－フォト(JPEG)

- 「VAIO Media」Ver.5.0をインストールしたVAIO*[2]

［再生対応コンテンツ］
－DRモードで録画したデジタル放送
－フォト(JPEG)

- プレイステーション®3*[3]

［再生対応コンテンツ］
－MPEG4-AVC映像(コピー制限があるものは除く）
－HDV映像
－フォト(JPEG)

動作推奨機器は、ソニードライブのホームページ（http://www.sony.jp/event/DLNA/）でもご覧いただけます。

*[1] <ブラビア>X1000シリーズは、「DTCP-IP」規格に対応したソフトウェアへのアップデートが必要です。詳しくは、ソニードライブのホームページ
（http://www.sony.jp/products/Consumer/bravia/support/index.html）上でご確認ください。

*[2] 「VAIO Media」Ver.5.0で「１回だけ録画可能」なデジタル放送の番組を閲覧・視聴するためには、「VAIO Media 」Ver.5.0 と「VAIO Media デジタル放送プラグイン」がインストールされている必要があります。詳しくは、VAIOカスタマーリンクのホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）の「VAIO Media」のページにてご確認ください。また、「VAIO Media」Ver.5.0と「VAIO Media デジタル放送プラグイン」をパッケージにしたVAIO用ソフトウェア「ホームネットワークプレーヤー　デジタル放送対応パック for VAIO」（HNPD-VM5）をソニースタイル・ジャパン株式会社（http://www.jp.sonystyle.com/Qnavi/Detail/HNPD-VM5.html）でご購入いただけます。VAIOでの動作対象機種は限定です。

*[3] 「DLNAクライアント機能」に対応したシステムソフトウェア バージョン 1.90以降にアップデートする必要があります。詳しくは、株式会社ソニー・コンピューターエンタテインメントの商品情報ページ(http://www.jp.playstation.com/ps3/update/)をご確認ください。

推奨機種と再生可能な映像・写真

本機の映像ソース	本機での録画モード	DTCP-IP対応	ブラビア	VAIO (VAIO Media)		プレイステーション3
				Ver.5.0	Ver.5.0+デジタル放送プラグイン	
デジタル放送	DR	必要	○	×	○	×
	XR ～ ER	必要	×	×	×	×
地上アナログ放送/入力1 ～ 3/DV入力	XR ～ ER	不要	×	×	×	○
HDV 入力	DR	不要	○	×	×	○
フォト	ー	不要	○	○	○	○

詳しくは、ソニードライブのホームページ(http://www.sony.jp/event/DLNA/)でご確認ください。

本機の映像や写真を他機器で再生する

他機器を操作して本機の映像や写真を再生したり停止したりします。本機や本機のリモコンで操作することはできません。
詳しい操作方法については、お使いの他機器の取扱説明書をご覧ください。
接続機器により再生できないタイトルがあります。詳しくは、http://www.sony.jp/event/DLNA/でご確認ください。
次の映像や写真は他機器で再生できません。

- プレイリスト
- 録画モードなどの異なるタイトルを結合したタイトル
- 録画中のタイトル
- サンプルフォトに保存されている写真
- 写真を本機に取り込んでいるとき

他機器で再生できる映像(タイトル)は、タイトル再生中にオプションボタンを押し、[情報表示]を選んで表示されるタイトル情報画面で [アイコン] が表示されます。

他機器で再生できない場合

次のような場合、他機器で再生できません

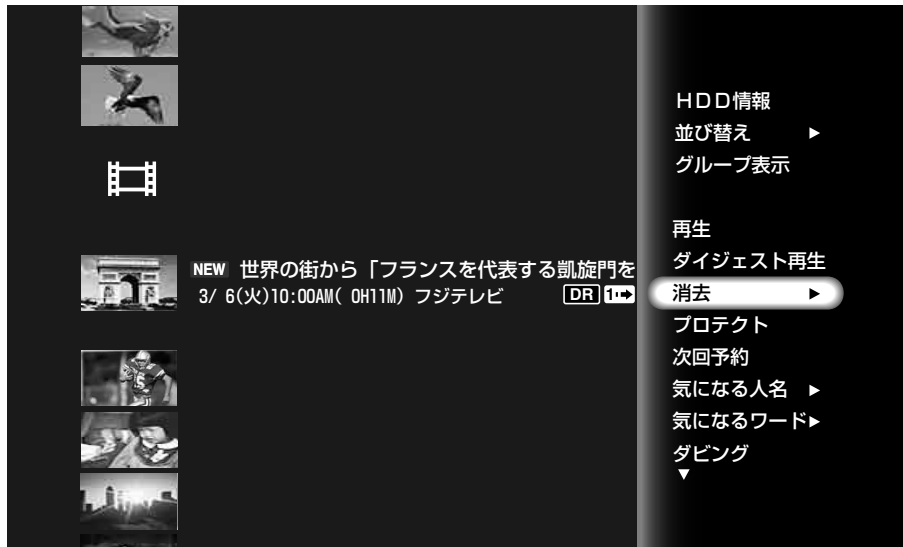
- 本機の設定を変更しているとき
- 再生を伴うタイトル編集をしているとき*1
- タイトルダビングをしているとき*2
- まるごとDVDコピーをしているとき
- x-ScrapBook作成中やx-ScrapBook書き出し中
- x-Pict Storyを作成しているとき
- 写真の取り込み中

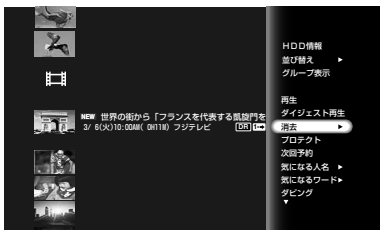
*1 再生を伴うタイトル編集とは、以下の編集内容のことです。
サムネイル設定、チャプター編集、チャプター消去、A-B消去、タイトル分割、プレイリスト作成
*2 HDV/DV ダビングを利用しているときは、他機器で再生できます。

ご注意

- 「ソニールームリンク」対応のテレビや、パソコンとのホームネットワーク(LAN)ケーブル(別売り)による接続が必要です。お使いのホームネットワーク環境によっては、再生中に映像や音声が途切れる場合があります。ホームネットワーク(LAN)経由で同時に2つ以上の機器への配信はできません。本機は、HDDにDRモードで録画したデジタル放送、「1回だけ録画可能」なデジタル放送以外のMPEG4-AVC映像(地上アナログ放送、アナログ入力から録画した映像、AVCHD映像、DV映像)、HDV映像、フォト(JPEG)の配信に対応しています。接続する相手機器によっては、再生できない場合があります。
- 編集した映像(タイトル)は、他機器によって再生できなかったり、映像が乱れることがあります。
- 他機器によっては、映像(タイトル)の名前が正しく表示されない場合があります。
- ホームサーバー機能対応のテレビや、パソコンとのホームネットワーク(LAN)ケーブル(別売り)による接続が必要です。有線LANで接続してください。
- お使いのホームネットワーク環境によっては、再生中に映像や、音声が途切れる場合があります。
- 本機から出力された映像が乱れているような場合、出力を中止することがあります。
- 本機から出力される映像/写真を他機器で再生するときと、本機で再生するときでは、見えかたが若干異なることがあります。
- 一部の他機器では再生できないことがあります。
- 他機器で再生している映像を長時間一時停止していると、本機との通信が切断されることがあります。
- ホームサーバー機能を利用してディスク上の映像や写真を楽しむことはできません。

消去・編集する

消去・編集するでできること

録画した映像を消去

☞ Page 132

オプションメニューを使って録画した映像（タイトル）をかんたんに消去できます。

チャプター編集

☞ Page 135

録画した映像（タイトル）のチャプターを結合したり、チャプターを選択して消去することができます。

プレイリストを作成する

☞ Page 138

好みの場面のみを集めたプレイリストを作成することができます。

編集する前に

HDD BD-RE BD-R

HDD、BDでは編集方法が2つあります。「**オリジナル**」と呼ばれる実際に録画したそのままの映像を編集する方法と、「**プレイリスト**」と呼ばれる仮想映像（オリジナルの映像を元に作る）を編集する方法です。それぞれ性質も長所も異なりますので、以下を読んで、より用途に適した方を選んでください。

（コピー禁止マーク）が付いているタイトルは、編集してもダビングや移動ができません。「1回だけ録画可能」のタイトルでも、作成・編集したプレイリストには が付き、ダビングや移動ができませんので、ご注意ください。

「オリジナル」を編集する

一度編集を行うと、元の状態に戻すことはできません。元の録画内容を全く変えずに保存しておきたいときは、プレイリストを作って編集してください。オリジナルのタイトルでは次の編集ができます。

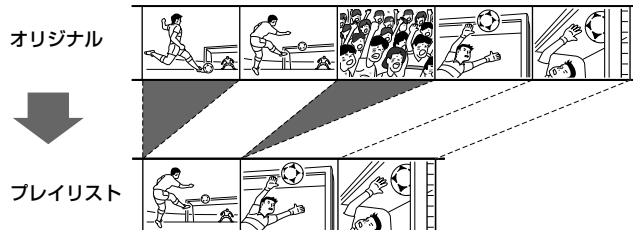
－ 誤消去しないように、タイトルを保護する（133ページ）。
－ タイトルの名前を変更する（139ページ）。
－ タイトルを消去する（132ページ）。
－ チャプター単位で消去する（135ページ）。
－ タイトル内の一部を消去する（A-B消去）（136ページ）。
－ 1つのタイトルを2つのタイトルに分割する（137ページ）。
－ 複数のタイトルを1つのタイトルに結合する（137ページ）。
－ チャプターを結合、分割、消去する（136ページ）。
－ タイトルにマークを設定する（135ページ）。
－ タイトルのサムネイル画像を変更する（135ページ）。
－ タイトルのダイジェスト設定を変更する（113ページ）。

「プレイリスト」を作成・編集する

プレイリストとは、オリジナルのタイトルから編集用に作られた、仮想映像のことです。プレイリストのタイトルを作ると、再生順など、再生に必要な管理情報だけをディスクに保存します。オリジナルのタイトルは元の状態なので、何度でも編集をやり直すことができます。

例：サッカーの決勝トーナメントの数試合を録画した。ゴール場面などの見どころシーンだけを集めた映像を作りたいが、元の録画も残しておきたい。

このような場合、見どころシーンを集めることができます（「お好みの場面を集めた映像を作成する（プレイリスト作成）」、138ページ）。

オリジナル

プレイリスト

このようにして作られたプレイリストのタイトルにはさまざまな編集ができます。

－ 誤消去しないように、タイトルを保護する（133ページ）。
－ タイトルの名前を変更する（139ページ）。
－ タイトルを消去する（132ページ）。
－ チャプター単位で消去する（135ページ）。
－ タイトル内の一部を消去する（A-B消去）（136ページ）。
－ 1つのタイトルを2つのタイトルに分割する（137ページ）。
－ 複数のタイトルを1つのタイトルに結合する（137ページ）。
－ チャプターを結合、分割、消去する（136ページ）。

ご注意

- BD-Rをクローズすると、編集や録画はできなくなります（143ページ）。
- プロテクトされたBD-RE/BD-Rは編集できません。
- データ元のオリジナルのタイトルは消去や編集ができなくなります。
- 「管理情報がいっぱいです」が画面に表示されたら、いらないタイトルを消去してください。

録画した映像を消去する（タイトル選択消去）

HDD BD-RE BD-R

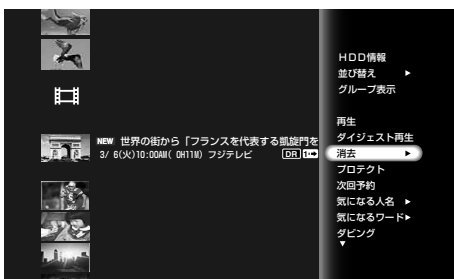
選択した映像（タイトル）を消去します（1タイトル消去）。

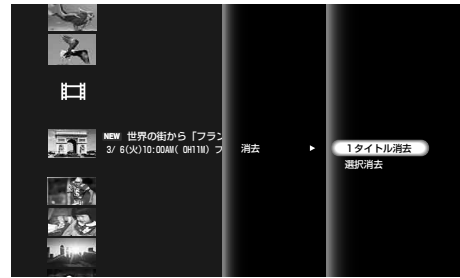
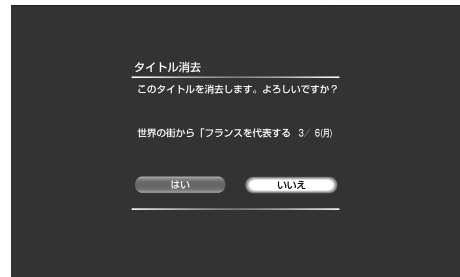
1 テレビの電源を入れる。

2 テレビの入力を本機を接続した入力に切り換える。

3 ホーム を押す。

4 ←→で ビデオ を選ぶ。

5 ↑↓で録画した映像を選び、オプション を押す。
BDの場合は、● を選んで 決定 を押し、さらにタイトルを選んで オプション を押します。

6 ↑↓で［消去］を選び 決定 を押す。

7 ↑↓で［1タイトル消去］を選び 決定 を押す。

8 ←→で［はい］を選び、決定 を押す。

複数の映像を選んで消去する（選択消去）

1 ホーム を押す。

2 ←→で ビデオ を選ぶ。

3 ↑↓で録画したタイトルを選び、オプション を押す。
BDの場合は、● を選んで 決定 を押し、さらにタイトルを選んでオプションボタンを押します。

4 ↑↓で［消去］を選び、決定 を押す。

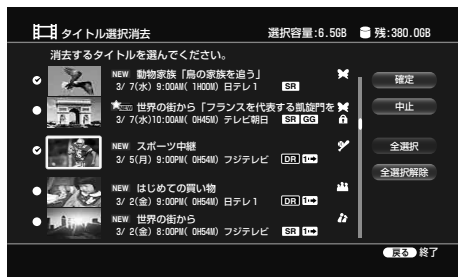
5 ↑↓で［選択消去］を選び、決定 を押す。

6 消去したいタイトルを選び、決定 を押す。
選んだタイトルの横のボックスに、チェックマークが付きます。チェックマークを消すには、もう一度 決定 を押します。

ちょっと一言

手順5でリモコンの クリア （クリア）を押してもタイトルを消去できます。

ご注意

- 消去して増える残量は、タイトル情報の容量を目安にしてください。プレイリストタイトルを消去しても残量は増えません。
- BD-Rでは消去しても録画できる時間は増えません。

次のようなタイトルは選択できません。

- プレイリストから参照されているオリジナルタイトル（タイトル分割したオリジナルタイトルのうち、片方のみがプレイリストから参照されていると、もう一方のオリジナルタイトルも選べなくなります。）
- 録画中のタイトル

［全選択］または［全選択解除］を選ぶと、上記以外のすべてのタイトルにチェックマークを付けたり、消したりできます。

プロテクトが設定されているタイトルを選んだときは

確認画面で［プロテクト解除］を選び、プロテクトを解除してください。

プレイリストから参照されているオリジナルタイトルだけを消去することはできません。このようなタイトルを消去したいときは、プレイリスト（タイトル分割したオリジナルタイトルのうち、片方のみがプレイリストから参照されていると、もう一方のタイトルも選べなくなります。）を先に選択してください。

7 ↑↓←→で［確定］を選び、決定を押す。

8 ←→で［はい］を選び、決定を押す。

誤って消さないようにする（プロテクト）

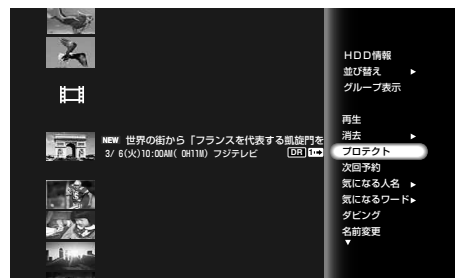
誤ってタイトルを消去しないよう、映像（タイトル）ごとにプロテクト（保護）の設定をします。

1 ホームを押す。

2 ←→でビデオを選ぶ。

3 ↑↓でタイトルを選び、オプションを押す。

BDの場合は、ディスクを選んで決定を押し、さらにタイトルを選んでオプションボタンを押します。

4 ↑↓で［プロテクト］を選び、決定を押す。

タイトルがプロテクトされ、🔒が表示されます。

プロテクトを解除するには

上の手順4で［プロテクト解除］を選び、決定を押します。

タイトルから🔒が消えます。

消去・編集する

次のページにつづく⇨

グループごと消去する

選択したグループに含まれる映像（タイトル）を、一括して消去します（グループ消去）。

1 ホーム を押す。

2 ←→で ビデオアイコン を選ぶ。

3 ↑↓でタイトルを選び、オプション を押す。

4 ↑↓で［グループ表示］を選び 決定 を押す。
タイトルがグループに分類されます。

5 ↑↓でグループを選び、決定 を押す。

6 ↑↓で消去したいグループを選び、オプション を押す。

7 ↑↓で［消去］を選び、決定 を押す。

8 ←→で［はい］を選び、決定 を押す。

ちょっと一言

- 手順7で［はい］を選ぶと、グループ内の映像をすべて消去し、グループもなくなります。
- 手順6で クリア（クリア）を押しても消去できます。

ご注意

- グループ内の、録画中のタイトル、プロテクトされたタイトル、およびプレイリストから参照されているオリジナルタイトルは消去されません。
- ホームサーバー機能で再生中のコンテンツも消去されません（BDZ-L70のみ）。

録画した映像を編集する

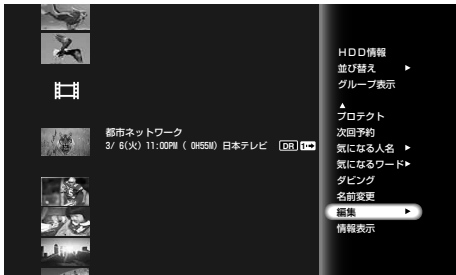
HDD BD-RE BD-R

ここでは基本的な編集について説明します。映像(タイトル)を編集した後は、元の状態に戻すことができないのでご注意ください。

映像にマークをつける

HDD

映像(タイトル)にマークを設定します。29種類のマークから選べます。
マークの種類について、詳しくは122ページをご覧ください。

1 ホーム を押す。
2 ←→で 🎞 を選ぶ。
3 ↑↓でタイトルを選び、オプション を押す。
4 ↑↓で[編集]を選び、決定 を押す。

5 ↑↓で[マーク設定]を選び、決定 を押す。
6 ↑↓←→でマークを選び、決定 を押す。

映像のサムネイルを変更する

HDD BD-RE BD-R

映像(タイトル)のサムネイル画像を変更します。

1 ホーム を押す。
2 ←→で 🎞 を選ぶ。
3 ↑↓でタイトルを選び、オプション を押す。
4 ↑↓で[編集]を選び、決定 を押す。

5 ↑↓で[サムネイル設定]を選び、決定 を押す。
6 ◀◀ / ▶▶(早戻し/早送り)などを使って場面を選ぶ。
7 ↑↓←→で[確定]を選び、決定 を押す。
8 ←→で[はい]を選び、決定 を押す。

映像の一部をチャプター単位で消去する(チャプター消去)

HDD BD-RE BD-R

映像(タイトル)の中のチャプターを選択し、映像を消去できます。オリジナルタイトルのチャプターを消去すると、元に戻せないのでご注意ください。

1 ホーム を押す。
2 ←→で 🎞 を選ぶ。
3 ↑↓でタイトルを選び、オプション を押す。
4 ↑↓で[編集]を選び、決定 を押す。
5 ↑↓で[チャプター消去]を選び、決定 を押す。

ご注意

- 編集する前にディスクの種類を本体表示窓(228ページ)で確認して、編集機能をお選びください。
- 編集中にディスクを取り出したり、録画予約で設定した録画が始まると、編集内容が取り消されることがあります。
- BD-RE Ver.1.0のディスクは、消去を含むすべての編集機能が使えません。ディスクのバージョンは、ディスクラベルまたはディスクのパッケージでご確認ください。
- 元の録画を変えずに編集したいときは、プレイリストを作成してください(138ページ)。
- 録画中のタイトルは編集できません。

次のページにつづく⇨

6 ⬆⬇で消去したいチャプターを選び、決定を押す。

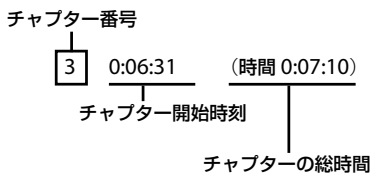
チャプターにカーソルを合わせると、そのチャプター内の画像が背景に表示されます。

選んだチャプターの横のボックスにチェックマークが付きます。消去したいチャプターが複数あるときは、手順6を繰り返し行なってください。チェックマークを消すにはもう一度 決定 を押します。[全選択解除]を選ぶとすべてのチェックマークが消えます。

7 ⬆⬇⬅➡で[確定]を選び、決定を押す。

8 ⬅➡で[はい]を選び、決定を押す。

手順6で選択したチャプターが消去されます。

チャプター消去画面の表示の見かた

チャプターを結合・分割・複数消去する（チャプター編集）

HDD BD-RE BD-R

チャプターを選んで、1つにまとめたり、2つに分けたり、消去したりすることができます。チャプターを消去すると、元に戻せないのでご注意ください。

1 ホーム を押す。

2 ⬅➡で 🎞 を選ぶ。

3 ⬆⬇でタイトルを選び、オプション を押す。

4 ⬆⬇で[編集]を選び、決定を押す。

5 ⬆⬇で[チャプター編集]を選び、決定を押す。

6 ⬅➡で編集したいチャプターを選ぶ。

7 ⬆⬇⬅➡で以下の編集方法を選び、決定を押す。

項目名	説明
分割	現在の再生位置にチャプターマークを入れ、2つのチャプターに分けます。チャプターを再生して、⏪/⏩（早戻し/早送り）などで分けたい場面を選んでから 決定 を押します。
前と結合	チャプターマークを消して、現在のチャプターと前のチャプターをつなぎます。
消去実行	選んだ複数のチャプターを一度に消去します。手順6で 決定 を押し、消したいチャプターをすべて選んでおきます。消去確認画面が表示されたら、[はい]を選びます。

映像の一部を消去する（A-B消去）

HDD BD-RE BD-R

映像（タイトル）内の一部分（シーン）を選んで消去できます。オリジナルタイトルのシーン消去後は元の状態に戻すことができないので、ご注意ください。

1 ホーム を押す。

2 ⬅➡で 🎞 を選ぶ。

ちょっと一言

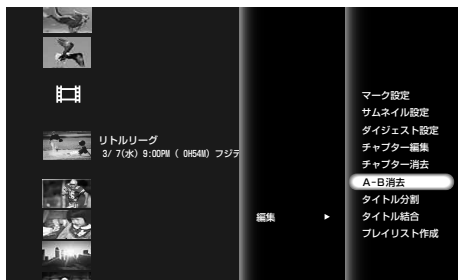
- チャプター編集中に、早送りや早戻しなどもできます。
- 再生中に チャプター書込み （チャプター書込み）を押しても、チャプターの分割ができます（118ページ）。
- A-B消去でシーンを消去した場所にはチャプターマークが入り、前後のシーンはそれぞれ別のチャプターになります。
- A-B消去でA点やB点を設定中に、早送りや早戻しなどもできます。

ご注意

- A-B消去やチャプター消去、チャプター編集で消去した場所の画像や音声が途切れることがあります。
- A-B消去で消去設定したシーンが、若干ずれて消去されることがあります。
- チャプターの時間が短いときは、チャプター消去、チャプター編集で消去ができないことがあります。
- プレイリストを作成すると、編集したシーンを再生するとき、画像が一時停止することがあります。
- ホームサーバー機能を利用して、本機の映像（タイトル）を他機器が再生しているときに、本機でA-B消去やチャプター消去、チャプター編集、タイトル分割、サムネイル変更、プレイリスト作成をしようとすると、他機器の再生が停止します。また、本機でこれらの編集を行っている映像（タイトル）は、ネットワーク上の他機器から再生できません。

3 ⇕でタイトルを選び、[オプション] を押す。

4 ⇕で[編集]を選び、(決定) を押す。

5 ⇕で[A-B消去]を選び、(決定) を押す。

6 ⇕⇔で[A点設定]を選び、消去開始場面(A点)で (決定) を押す。

7 ⇕⇔で[B点設定]を選び、消去終了場面(B点)で (決定) を押す。

A点とB点が表示されます。B点を先に設定することもできます。

8 ⇕⇔で[確定]を選び、(決定) を押す。

9 ⇔で[はい]を選び、(決定) を押す。

A点からB点までのシーンが消去されます。

つづけて同じタイトルの他のシーンを消去するには、手順**6**～**9**を繰り返してください。

10 消去したい場面を全て消去したら、⇕⇔で[終了]を選び、(決定) を押す。

映像を2つに分ける(タイトル分割)

HDD BD-RE BD-R

長時間のタイトルを画質を落とさずにディスクにダビングしたいときなどは、オリジナルタイトルやプレイリストタイトルを2つの映像(タイトル)に分割して、それぞれのタイトルを別々のディスクにダビングできます。

1 [ホーム] を押す。

2 ⇔で [ビデオ] を選ぶ。

3 ⇕でタイトルを選び、[オプション] を押す。

4 ⇕で[編集]を選び、(決定) を押す。

5 ⇕で[タイトル分割]を選び、(決定) を押す。

6 2つに分ける場面で[確定]を選び、(決定) を押す。

7 ⇔で[はい]を選び、(決定) を押す。

8 ⇔で分割した後のタイトル名を変更するか選ぶ。

[はい]を選ぶと、タイトル名を変更します。タイトル名を入力後、タイトルが分割されます。[いいえ]を選ぶと、元のタイトル名を両方のタイトルに使います。

複数の映像を1つにする(タイトル結合)

HDD BD-RE BD-R

HDD内、同一ディスク内で次の映像(タイトル)の結合ができます。

- プレイリストタイトル同士
- オリジナルタイトル同士

1 [ホーム] を押す。

2 ⇔で [ビデオ] を選ぶ。

3 ⇕でタイトルを選び、[オプション] を押す。

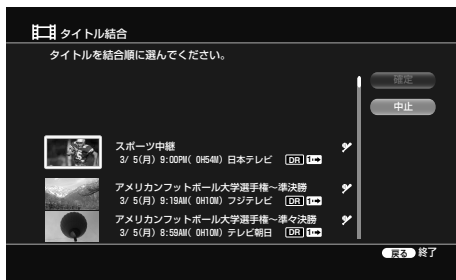
4 ⇕で[編集]を選び、(決定) を押す。

5 ⇕で[タイトル結合]を選び、(決定) を押す。

ご注意

- 結合するタイトル中のチャプター数の合計が上限を超えるときは、後方のチャプターが結合されて1つのチャプターになります。
- 「録画制限なし」のタイトルを「1回だけ録画可能」のタイトルと結合すると、「1回だけ録画可能」となり、このタイトルをダビングするとHDDからは消去されます。

次のページにつづく⇨

6 ↑↓で結合するタイトルを選び、(決定) を押す。

(決定) をもう一度押すと、選択を取り消すことができます。

7 手順6を繰り返して、結合したいタイトルをすべて選ぶ。

タイトルは、選んだ順に結合されます。

8 ↑↓←→で［確定］を選び、(決定) を押す。

選んだタイトルからタイトル名を選ぶ画面が表示されます。

9 ↑↓←→で使いたいタイトル名を選び、(決定) を押す。

［文字入力］を選ぶと、新しくタイトル名を入力できます。
［再選択］を選ぶと、前の画面に戻って再び結合するタイトルを選び直せます。

お好みの場面を集めた映像を作成する（プレイリスト作成）

HDD BD-RE BD-R

オリジナルの映像（タイトル）や他のプレイリストのタイトルから映像の範囲（シーン）を選び、新しいプレイリストのタイトルを作成します。

1 (ホーム) を押す。

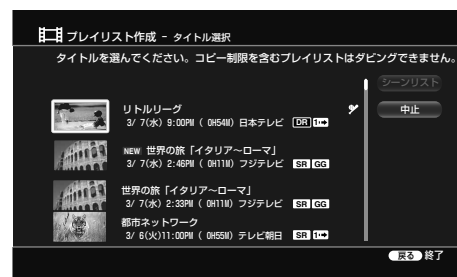
2 ←→で (タイトル) を選ぶ。

3 ↑↓でタイトルを選び、(オプション) を押す。

4 ↑↓で［編集］を選び、(決定) を押す。

5 ↑↓で［プレイリスト作成］を選び、(決定) を押す。

HDDに保存しているシーンリストがある場合は、確認画面が表示されます。

6 プレイリストに含めたいタイトルを選び、(決定) を押す。

選んだタイトルの再生が最初から、または以前に再生したつづきから始まります。

7 開始点（イン点）で［イン点設定］を選び、(決定) を押す。

タイトル全体を1つのシーンとして追加するには、［全切出し］を選びます。

8 終了点（アウト点）で［アウト点設定］を選び、(決定) を押す。

イン点とアウト点が表示されます。アウト点を先に設定することもできます。

ちょっと一言

- プレイリストは、1タイトルにつき最大50シーンまで設定できます。
- オリジナルとプレイリストについては、「編集する前に」(131ページ)をご覧ください。
- プレイリストのタイトルを作成すると、設定したイン点がチャプターマークになります。切出し元のチャプターマークも引き継がれます。
- イン点やアウト点を設定中に、早送りや早戻しなどもできます。

ご注意

「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が付いたタイトルを含むプレイリストは、ダビングできません。

9 ↑↓←→で［確定］を選び、(決定) を押す。

つづけて同じタイトルから他のシーンを設定する場合は、手順**7**～**9**を繰り返します。

10 同じタイトルからシーンを選び終わったら、↑↓で［終了］を選び、(決定) を押す。

それまでに選んだシーンの一覧（シーンリスト）が表示されます。

項目名	説明
シーン追加	同じプレイリストに追加したい別のシーンを選びます。手順**6**～**9**を繰り返します。
シーン移動	シーンの順番を変えます。
全消去	選んだシーンをすべて消去します。

シーンリスト画面でシーンを選んで (決定) を押すと、シーンの消去、またはイン点とアウト点の修正ができます。

11 ↑↓←→で［確定］を選び、(決定) を押す。

タイトル名を入力するためのキーボードが表示されます。文字の入力方法については、「文字を入力する」（84ページ）をご覧ください。

12 タイトル名を入力したら、↑↓で［入力終了］を選び、(決定) を押す。

タイトルの名前を変更する

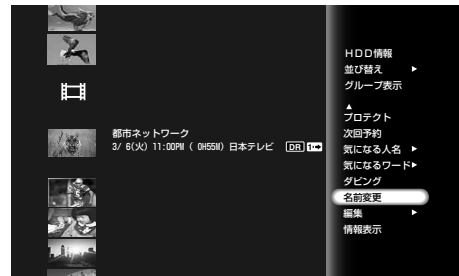
HDD BD-RE BD-R

録画した映像（タイトル）の名前を変更します。

1 (ホーム) を押す。

2 ←→で (タイトルアイコン) を選ぶ。

3 ↑↓でタイトルを選び、(オプション) を押す。

4 ↑↓で［名前変更］を選び、(決定) を押す。

5 名前を変更する。

文字の入力については84ページをご覧ください。

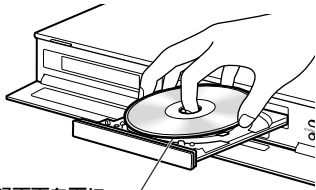
6 タイトル名を入力したら、↑↓で［入力終了］を選び、(決定) を押す。

消去・編集する

ディスク情報を確認する

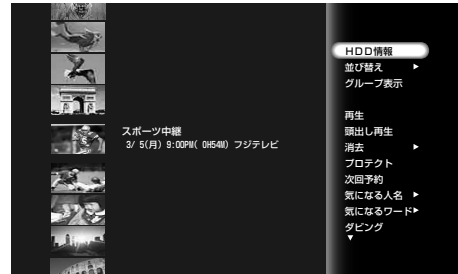
HDD BD-RE BD-R +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo AVCHD

ディスク情報画面では、ディスクの種類や残量を確認できます。

1 (開/閉)を押してディスクトレイを開け、録画済みのBDやDVDを入れる。
もう一度 (開/閉)を押して、ディスクトレイを閉めます。HDDの情報を見たいときは、BDやDVDを挿入する必要はありません。

2 ホーム を押す。

3 ←→で を選ぶ。

4 ↑↓でタイトルを選び、オプションを押す。
BDやDVDの場合は、●を選んで 決定 を押し、さらにタイトルを選んでオプションボタンを押します。

5 ↑↓で[HDD情報]または[BD情報]、[DVD情報]を選び、決定 を押す。

ディスク情報画面が表示されます。
情報画面の項目は、ディスクの種類や記録フォーマットによって異なります。

ディスク情報画面の見かた

例：HDD情報

1 **メディア**
ディスクの種類

2 **タイトル数**
オリジナルタイトルの総数/プレイリストの総数

3 **アルバム数(BDZ-L70のみ)**
写真のアルバムの総数

4 **ファイル数(BDZ-L70のみ)**
写真のファイルの総数

5 **残量(目安)**
- HDDの空きを表すバー表示
- HDDの空き容量/総容量
- HDDの録画可能時間

残量や空き容量は目安です。なお、HDDのDRモードの表示は、ハイビジョン放送(HD)を録画できる時間の目安です。

例：ディスクの情報（BD-REの場合）

例：ディスクの情報（DVD-RWの場合）

1 **ディスク名**
ディスクの名前を表示します。
ディスク名はタイトルリストにも表示されます。

2 **メディア**
ディスクの種類

3 **ディスクのフォーマット**
DVD-RWとDVD-Rでは記録フォーマットがVRモードかビデオモードかを表示します。

4 **タイトル数**
タイトルの総数/プレイリストの総数*
* BD-RE、BD-R、DVD-RW（VRモード）、DVD-R（VRモード）、AVCHD規格で記録されたディスクのみ

5 **プロテクト**
ディスクが保護設定されているかどうかを表示します（142ページ）。（BD-RE、BD-R、DVD-RW（VRモード）、DVD-R（VRモード）のみ）

6 **ロック設定**
ディスクがロック設定されているかどうかを表示します（142ページ）。（BD-REとBD-Rのみ）

7 **録画日**
録画した期間を表示します。

8 **データフォルダ**
フォトなどを含むフォルダがあるかどうかを表示します（BD-REとBD-Rのみ）。

9 **残量（目安）**
- BD/DVDの空きを表すバー表示
- BD/DVDの空き容量/総容量
- BD/DVDの録画可能時間

残量や空き容量は目安です。
他機器で録画したディスクは、ディスクの情報画面で正しく表示されない場合があります。

ちょっと一言
HDDの初期化は、の［設定初期化］－［HDD初期化］でできます（195ページ）。

ディスク情報を変更する

ディスクに名前をつける

BD-RE BD-R

ディスクに名前をつけたり、変更したりできます。DVDにはダビングの手順のなかで名前をつけます（168ページ）。

1 ホーム を押す。

2 ←→で または を選ぶ。

3 ↑↓で を選び、 オプション を押す。

4 ↑↓で［名前変更］を選び、決定 を押す。
ディスク名入力画面が表示されます。

5 ディスク名を入力したら、［入力終了］を選び、決定 を押す。
文字入力について詳しくは「文字を入力する」（84ページ）をご覧ください。

誤って消さないようにする（プロテクト）

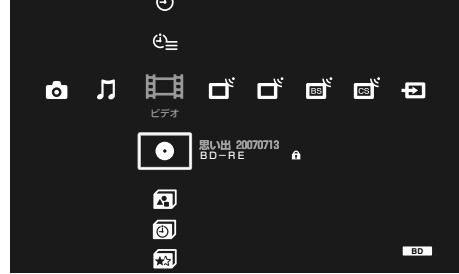
BD-RE BD-R

誤ってディスクを消去したりすることのないように、ディスクをプロテクト（保護）できます。

1 ホーム を押す。

2 ←→で または を選ぶ。

3 ↑↓で を選び、 オプション を押す。

4 ↑↓で［プロテクト］を選び、決定 を押す。
ディスクがプロテクトされます。プロテクトされたディスクには、ホームメニュー上で マークが付きます。

プロテクトを解除するには、オプションボタンを押して［プロテクト解除］を選んでください。

ディスクをロックする

BD-RE BD-R

ディスクに暗証番号を設定して、再生などをできないようにします。

1 ホーム を押す。

2 ←→で または を選ぶ。

3 ↑↓で を選び、 オプション を押す。

4 ↑↓で［ロック］を選び、決定 を押す。
暗証番号設定画面が表示されます。

5 数字ボタンで暗証番号を設定し、［確定］を選び、決定 を押す。
ディスクを取り出すと、次に入れたときに暗証番号を入力しないと再生などができなくなります。
ロックしたディスクを再生するには「ロック設定されたBD-REやBD-Rを再生するには」（110ページ）をご覧ください。

ロックを解除するには

オプション を押して［ロック解除］を選び、ディスクロック設定画面で［はい］を選び 決定 を押します。

ご注意

ディスク名として入力できる文字数は、BDの場合は最大で全角69文字、半角138文字まで、DVDの場合は最大で全角32文字、半角64文字までです。他機で再生した場合、ディスク名が表示されないことがあります。また、一部の文字はタイトルリストで表示されません。

BD-REを初期化する

BD-RE

BD-REの内容をすべて消去して、空きディスクにします。

DVDの初期化はダビングの手順のなかで行います（168ページ）。

1 ホーム を押す。

2 ←→で または を選ぶ。

3 ↑↓で を選び、オプション を押す。

4 ↑↓で［初期化］を選び、決定 を押す。

5 ←→で［はい］を選び、決定 を押す。

ディスクの初期化が始まります。

BD-Rを録画できないようにする（BDクローズ）

BD-R

BD-Rをクローズすることにより、追加記録や編集ができなくなります。誤ってタイトルを削除したり、あらたなタイトルを記録しないようにすることができます。一度クローズしたディスクは解除できません。

1 ホーム を押す。

2 ←→で または を選ぶ。

3 ↑↓で を選び、オプション を押す。

4 ↑↓で［BDクローズ］を選び、決定 を押す。

確認画面が表示されます。

5 ←→で［はい］を選び、決定 を押す。

ご注意

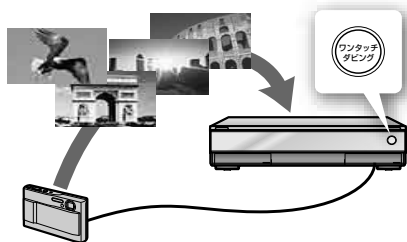
本機にBD-REを入れたときの自動初期化以外の方法で初期化されている場合、「BD-REを初期化する」（143ページ）の手順では初期化できない場合があります。

映像や写真を取り込んで楽しむ

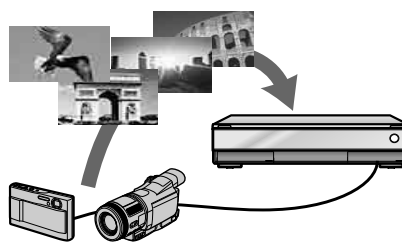
（BDZ-L70のみ）

映像や写真を取り込んで楽しむでできること

ワンタッチで取り込む

☞ Page 146

映像や写真を本機前面のワンタッチボタンでかんたんに取り込むことができます。

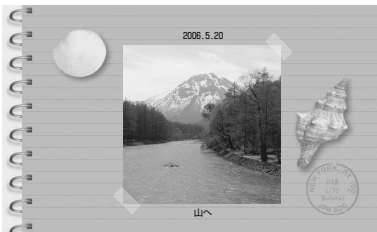
写真や映像の取り込み

☞ Page 150

デジタルビデオカメラから映像を取り込んだり、ディスクやUSB接続したデジタルカメラから写真を本機に取り込むことができます。

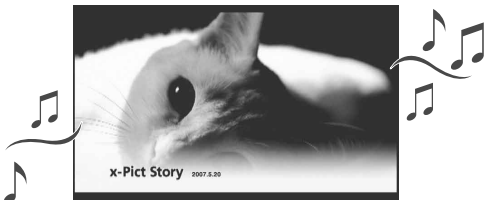
映像や写真を取り込む前に

この章で説明する機能を録画中に使用するときは、制限事項があります。「他の機能を実行中の録画について」(70ページ)をご覧ください。

x-ScrapBook

Page 158

本機に取り込んだ写真やビデオを自動的にレイアウトして、スクラップブックのように楽しめます。

x-Pict Story HD

Page 162

デジタルスチルカメラで撮った写真をHDDに取り込みBGMを選べば、ビデオクリップのようなハイビジョンフォト作品が自動で完成します。思い出の写真などをBGMで演出しながらテレビの大画面で鑑賞できます。

映像や写真をワンタッチで取り込む

ワンタッチ機能を利用するときのご注意

- 本機の他の機能を利用しているときは、ワンタッチ機能が利用できません。
- 設定の2階層目の項目を表示しているときは、ワンタッチ機能が利用できません。
- ワンタッチダビングを利用しているときは、「録画1」で録画できません。
- ワンタッチダビングを中止したり、ダビングできないタイトルがあった場合、自己メールが発行されます。

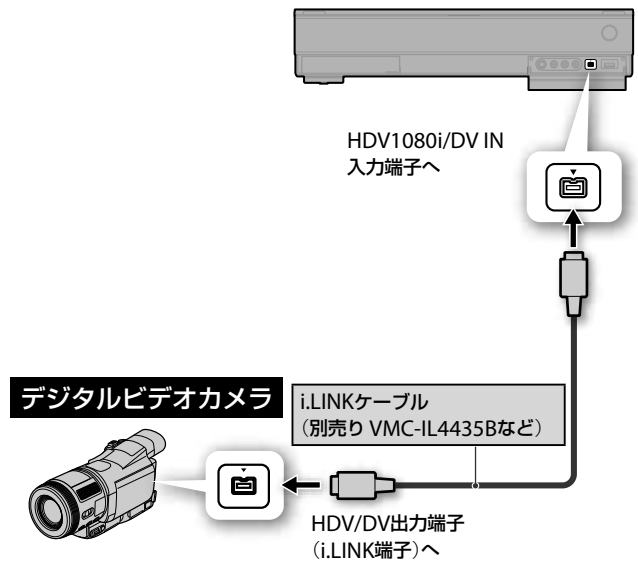
デジタルビデオカメラの映像をワンタッチで取り込む

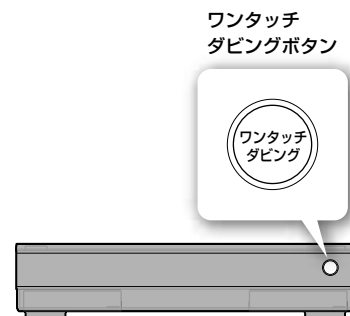
HDD

本機のHDV1080i/DV IN入力端子にデジタルビデオカメラをつないで、HDV/DV方式の映像をボタンひとつでかんたんにダビングできます。

1 **ダビングするHDV/DV方式のテープをデジタルビデオカメラに入れる。**

2 **デジタルビデオカメラの電源と本機の電源を入れる。**

3 **ビデオカメラを本機につなぐ。**
お使いのデジタルビデオカメラやデジタルハイビジョンビデオカメラのHDV/DV出力端子(i.LINK端子)を、本機前面のHDV1080i/DV IN入力端子につないでください。

4 **デジタルビデオカメラをビデオ再生モードに切り換える。**
デジタルビデオカメラ側でテープを巻き戻すなどの操作は必要ありません。

5 **本機前面のワンタッチダビングボタンを押す。**
ワンタッチランプが白く点滅したあと、赤く点灯してダビングが始まります。ビデオカメラに挿入した、テープを丸ごとダビングします。ワンタッチダビング実行中画面が表示され、ダビングが終わると画面は消えます。

ちょっと一言

HDV規格(1080i方式)に対応したデジタルハイビジョンビデオカメラとつなぐと、撮影したハイビジョン映像をそのままの画質で、ダビングできます。

ご注意

- 録画モードやプレイリスト設定、音声設定、マーク設定などの設定はできません。設定を変えてダビングする場合は「i.LINKケーブルを使ってデジタルビデオカメラの映像をまるごとダビングする(HDV/DVダビング)」(150ページ)をご覧ください。
- デジタルビデオカメラにテープが挿入されていない場合は、ワンタッチダビングは実行されません。
- USBケーブルで機器が接続されている場合には、ワンタッチダビングは実行されません。2時間以内に予約録画が設定されている場合もワンタッチダビングは動作しません。
- HDV機器からHDVとDVの信号が出力可能な状態のときは、HDV信号をダビングします。DV信号をダビングしたいときは、HDV/DVダビングから行ってください。

HDV1080i/DV IN入力端子について

本機のHDV1080i/DV IN入力端子はi.LINK標準に準拠していますので、他のi.LINK（DV）端子のある機器とつなぐとデジタル信号を記録できます。
i.LINKについて詳しくは、「i.LINK（アイリンク）について（BDZ-L70のみ）」（215ページ）をご覧ください。
本機は次の方式の信号に対応しています。

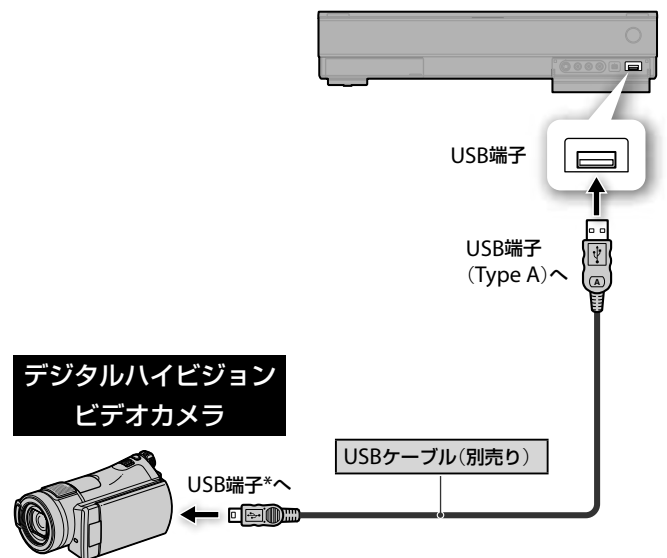
- DV規格
- HDV規格（1080i方式）

デジタルハイビジョンビデオカメラの映像をワンタッチで取り込む（AVCHDダビング）

HDD

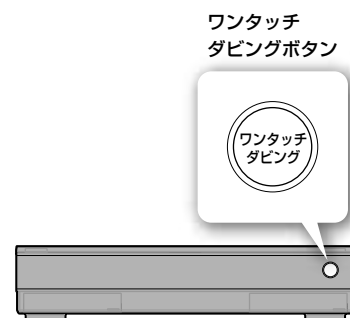
本機のUSB端子にデジタルハイビジョンビデオカメラをつなぐと、AVCHD方式の映像をボタンひとつでかんたんに本機にダビングできます。
8cm DVDで記録するデジタルビデオカメラからUSBケーブル経由で直接取り込むことはできません。8cm DVDを本機に挿入してダビングしてください。

1 **デジタルハイビジョンビデオカメラの電源と本機の電源を入れる。**

2 **デジタルハイビジョンビデオカメラを本機につなぐ。**
お使いのデジタルハイビジョンビデオカメラを、本機前面のUSB端子につないでください。

* 接続する機器によりUSBケーブルの端子の形状は異なります。

3 **デジタルハイビジョンビデオカメラをUSBモードに切り換える。**
USBモードへの切り換え方法について詳しくはお使いのデジタルハイビジョンビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。

4 **本機前面のワンタッチダビングボタンを押す。**
ワンタッチランプが白く点滅したあと、赤く点灯してダビングが始まります。ワンタッチダビング実行中画面が表示され、ダビングが終わると画面は消えます。

ご注意

- 電源供給のみのUSBケーブルは使用できません。
- 録画モードなどの設定はできません。
- HDDの残量が足りない場合や、タイトルがいっぱいの場合は、ダビングできません。
- 1つのタイトルに80個以上のチャプターがある場合、タイトルが分割されます。
- ダビングが、録画予約の時間と重複する場合、録画予約の予約開始時間までにダビング完了できる範囲でダビングします。
- ワンタッチダビングでは、動画、静止画の順にダビングできます。
- ダビングされたタイトルは、日付単位で分割されて本機に取り込まれます。
- ワンタッチダビングでは、前回の続きからのダビングになります。先頭からダビングしたい場合には、「USBケーブルを使ってデジタルハイビジョンビデオカメラの映像をダビングする（AVCHDダビング）」（152ページ）を行ってください。
- HDV1080i/DV IN入力端子に他の機器が接続されていると、ワンタッチダビングは実行されません。
- デジタルハイビジョンビデオカメラに記録されたAVCHD以外の映像は、本機にダビングできません。
- 本機を電源ONにしてからUSBケーブルを接続してください。
- デジタルビデオカメラで記録した字幕は記録されません。

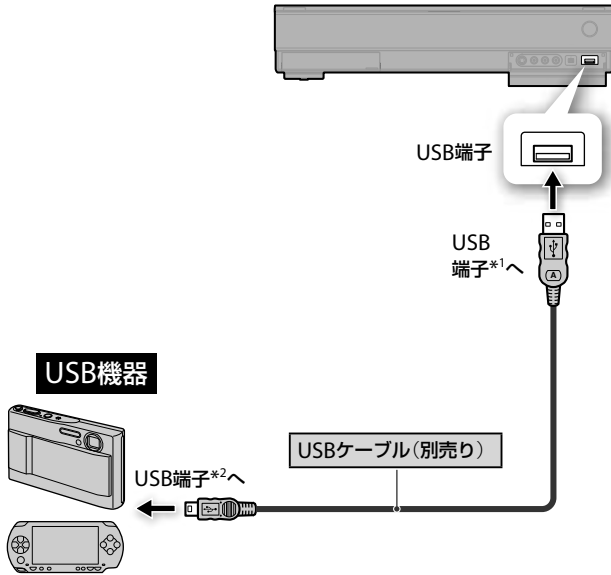
次のページにつづく⇨

デジタルカメラの写真をワンタッチで取り込む

HDD

本機に接続したデジタルカメラ、"PSP"、USB機器から、ボタンひとつで写真をかんたん取り込むことができます。

1 **USB機器を本機につなぐ**

デジタルスチルカメラや"PSP"などのUSB機器を本機前面のUSB端子につないでください。

*1 端子タイプA

*2 接続する機器によりUSBケーブルの端子の形状は異なります。

2 **写真を取り込む機器の電源を入れる。**

USB機器によっては、USB機器側からデータを送信できるように、モードを切り換える必要があるものもあります。詳しくは、USB機器の取扱説明書をご覧ください。

3 **本機前面のワンタッチダビングボタンを押す。**

ワンタッチランプが白く点滅したあと、赤く点灯してダビングが始まります。ワンタッチダビング実行中画面が表示され、ダビングが終わると画面は消えます。

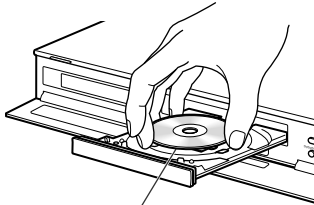
ご注意

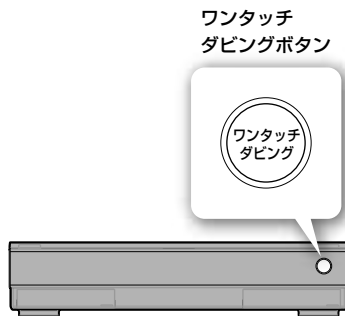
- USB機器と映像をやり取りしている間は、USBケーブルを抜かないでください。
- 電源供給のみ行うUSBケーブルは使用しないでください。
- 本機では1つのフォルダにつき4000個の写真までを一度に取り込むことができます。
- 本機には最大で10,000枚までのファイルが保存できます。
- デジタルビデオカメラから写真を取り込む場合、HDV1080i/DVIN入力端子ではなく、USB端子を使って本機と接続していることを確認してください。
- DCF*準拠のファイルが対象です。DCFで規定されているフォルダ・ファイル形式以外のファイルは取り込みません。(*（社）電子情報技術産業協会にて制定された統一規格"Design rules for Camera Files systems"のことです。)
- 本機で既に取り込まれているファイルは、ワンタッチダビングでは取り込めません。これらのファイルを取り込みする場合には、アルバムコピー、ファイルコピーで行ってください。
- USB機器内にAVCHDフォーマットのビデオファイルが記録されている場合には、ビデオファイルも同時に取り込まれます。
- ダビングが、録画予約の時間と重複する場合、録画予約の予約開始時間までに完了できる範囲でアルバム単位毎に写真を取り込みます。
- 本機では1枚の写真を取り込むのに10秒ほどかかります。また、一度に大量の写真を取り込むと、取り込みが完了するまで30分以上時間がかかることがありますが、本機の故障ではありません。
- 写真の取り込み中に接続機器の電源を切ると、故障の原因となることがありますのでご注意ください。
- コピー先に同じ名前の写真がある場合は、コピーする写真の名前の末尾に(1)、(2)・・・などの数字が付きます。写真につけられる名前の文字数は全角16文字、半角32文字以内になるため、コピーする写真の名前が長いと、すべて同じ名前として判断され、数字が付いてしまうことがあります。
- 写真を取り込むと自動分類して新しいアルバムとして保存します。写真を選択したい場合や、保存先を指定したい場合には、フォトの[アルバムコピー]または[1ファイルコピー]から写真を取り込んでください。詳しくは「写真を本機に取り込む」(154ページ)をご覧ください。

8cmDVDの映像や写真をワンタッチで取り込む

HDD ← DVD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo
DATA DVD AVCHD

8cmDVDに記録されているAVCHD方式のハイビジョン映像や、DVDビデオ、写真（JPEGファイルのみ）をボタン一つで取り込むことができます。

1 **本機に8cmDVDを挿入する。**

2 **ワンタッチボタンを押す。**

ワンタッチランプが白く点滅したあと、赤く点灯してダビングが始まります。
ワンタッチダビング実行中画面が表示され、取り込みが終わると画面は消えます。

ご注意

- 動画と静止画が混在しているディスクの場合は、動画、静止画の順にダビングできます。
- 取り込み可能なDisc種類は8cm DVDのみです。
- 31タイトル以上あるディスクはワンタッチダビングできません。BD/DVD→HDDダビングを行っていください（171ページ）。
- 取り込み実行時間内に同時動作できない予約録画が設定されている場合には、実行できません。
- 取り込み時の録画モードは本機が自動で設定します。録画モードを変更してダビングしたい場合は、BD/DVD→HDDダビングを行ってください（171ページ）。
- HDV1080i/DV INまたはUSBで接続された機器が1台以上あるときは、ディスクから取り込めません。
- すべてのタイトルのダビングが完了するまでの間に、録画予約が入っている場合は、ダビングできません。

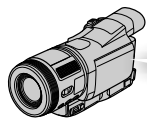
映像や写真をメニュー画面を使って取り込む

i.LINKケーブルを使ってデジタルビデオカメラの映像をまるごとダビングする（HDV/DVダビング）

HDD

本機のHDV1080i/DV IN入力端子にデジタルビデオカメラをつなぐと、HDV/DV方式の映像をかんたんにダビングできます。

1 デジタルビデオカメラを接続する。

デジタルビデオカメラのHDV/DV出力端子（i.LINK端子）と本機前面のHDV1080i/DV IN入力端子をi.LINKケーブルでつなぎます。

2 接続したデジタルビデオカメラの電源を入れる。

本機で録画や編集をするとき、デジタルビデオカメラは必ずビデオ再生モードにします。デジタルビデオカメラ側でテープを巻き戻すなどの操作は必要ありません。

3 本機のリモコンの ホーム を押す。

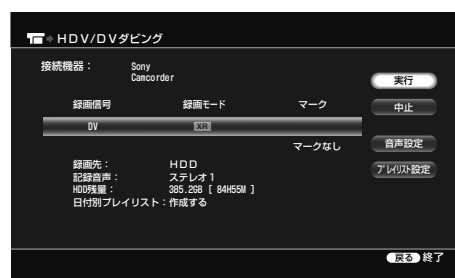
4 ←→で を選ぶ。

5 （ビデオカメラダビング）を選び、決定 を押す。

6 ↑↓で （HDV/DVダビング）を選び、決定 を押す。

HDV/DVダビング画面が表示されます。

7 ←→で次の各設定項目を選び、↑↓で設定する。

各設定項目について詳しくは、151ページをご覧ください。

8 ↑↓←→で［実行］を選び 決定 を押す。

ダビング実行中画面が表示され、ダビングが始まります。ダビングが完了すると、終了します。

ちょっと一言

- ダビング時にHDV1080i/DV IN入力端子を使って録画すると、後で編集できます。
- HDV規格（1080i方式）に対応したデジタルハイビジョンビデオカメラとつなぐと、撮影したハイビジョン映像をそのままの画質で、ダビングできます。

ご注意

- 本機のHDV1080i/DV IN入力端子は入力専用です。信号は出力されません。
- 次の場合、HDV1080i/DV IN入力端子は使えません。
  - デジタルビデオカメラと本機のHDV1080i/DV IN入力端子に互換性がない場合。本機の入力端子につなぎ、「外部チューナーやビデオデッキから録画する」（104ページ）の手順にしたがってください。
  - テープの記録画像がコピー制御信号を含んでいる場合。

手順6で設定できる項目について

項目	設定
録画信号	DV機器を接続した場合、自動的に[DV]に固定されます。 HDV機器を接続した場合は、ダビングしたい信号に合わせて[HDV]または[DV]を手動で選んでください。 ・HDV ⇨ ハイビジョン画質で記録されたHDV信号のみをダビングする場合。 ・DV ⇨ 従来方式のDV信号のみをダビングする場合。
録画モード	録画モードを選びます。ただし、録画信号に[HDV]を選択したときは、自動的に[DR]に固定され、ハイビジョン画質のまま録画できます。録画モードについて詳しくは、「録画モード一覧」(209ページ)をご覧ください。
マーク	タイトルに設定された分類用のマークを表示します。「[マーク]」(122ページ)をご覧ください。
音声設定（DVのみ）	音声入力用の設定を選び、(決定)を押します。お買い上げ時は[ステレオ1]に設定されています。 ・ステレオ1 ⇨ 最初からの記録音声のみをダビングします。DVテープをダビングするときは通常この設定を選びます。 ・ミックス ⇨ ステレオ1、ステレオ2音声の両方をダビングします。 ・ステレオ2 ⇨ あとから追加された音声のみをダビングします。[ミックス]や[ステレオ2]はデジタルビデオカメラで記録したあとから第2音声を加えたときにだけ、選んでください。
プレイリスト設定	デジタルビデオカメラに録画した日付ごとにプレイリストを作成するかどうかを選びます。お買い上げ時は[作成する]に設定されています。 一回のダビングでプレイリストを30まで作成でき、ひとつのプレイリスト内に250のシーンを入れることができます。

ご注意

- ソニー家庭用DV方式、Digital8（デジタルエイト)方式のデジタルビデオカメラ(2007年9月末日までに日本国内で発売した機器。DHR-1000、DCR-VX700/VX1000、DCR-PC7を除く)と、ソニー製デジタルHDビデオカメラ(HDR-FX1/HC1/HC3/HC7、QUALIA 002(Q002-HDR1))でのみ接続動作を確認しています。MICROMV方式のデジタルビデオカメラのi.LINK端子(MICROMV信号)とは信号が異なるため、接続できません。S映像端子または映像・音声端子を使って接続してください。
- 次のときは、HDV/DVダビングはできません。
  －「録画1」で録画しているとき
  －ダビングをしているとき
- 他の機器や本機と同じ機種のレコーダーを使って、本機を操作することはできません。
- テープのカセットメモリーの内容はディスクに記録できません。
- テープに5分以上の無記録部分があると、ダビングは自動的に終了します。HDV機器からのダビングの場合、無記録部分は本機に録画されません。DV機器からのダビングの場合は録画されます。止めるには、録画停止(録画停止)を押してください。
- ダビング元の画像サイズが途中で変わったり無記録部分があったりすると、ダビングされた画像に影響が出る場合があります。
- 撮影の前にデジタルビデオカメラの時計が正しく設定されていることを確認してください。デジタルビデオカメラの時計が正しく設定されていないと、自動チャプター機能(184ページ)や日付ごとのプレイリスト作成機能が正しく働きません。
- テープの途中に無記録部分があるときや、HDV信号とDV信号が混在しているときは、日付ごとのプレイリスト作成機能が正しく働かないことがあります。
- 次のときは、ダビングされた画像と音声が一瞬途切れることがあります。
  －複数の録画モードが記録されているとき
  －画像サイズが途中で切り換わっているとき
  －無記録部分を含むとき
  －HDV信号とDV信号が混在しているとき

次のページにつづく⇨

チャプターの作られかた

テープ上の1回の撮影が自動的に1つのチャプターになります。ダビング中にリモコンのチャプター書込みボタンでチャプターマークを書き込むこともできます。その場合は、の[ビデオ設定]ー[自動チャプターマーク]を[切]にしてください(184ページ)。

ダビングを止めるには

リモコンのふたを開け、赤い 録画停止 (録画停止)を押します。[プレイリスト設定]を[作成する]にしているときは、録画が止まるまでに5分以上かかることがあります。黒い 停止 (停止)を押しても録画は止まりません。
または、オプションボタンを押し、[ダビング停止]を選び、決定を押します。確認画面で、[はい]を選び、決定を押します。

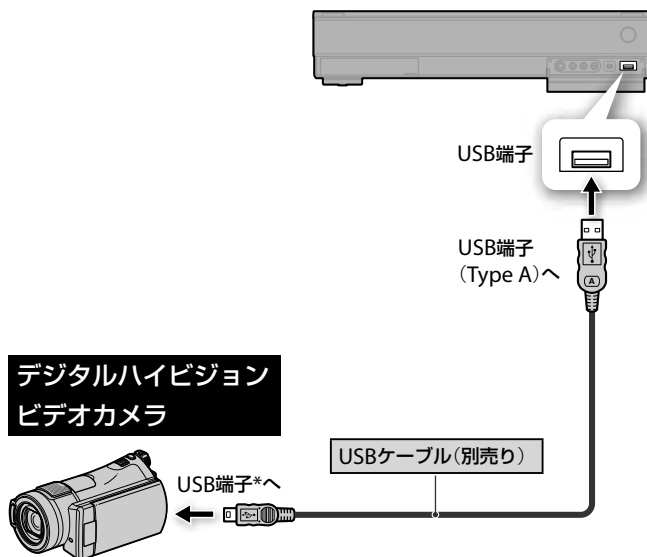
HDV1080i/DV IN入力端子から録画するには

本機のHDV1080i/DV IN入力端子に接続したデジタルビデオカメラの映像を録画することができます。録画方法については、「外部チューナーやビデオデッキから録画する」(104ページ)をご覧ください。

USBケーブルを使ってデジタルハイビジョンビデオカメラの映像をダビングする(AVCHDダビング)

HDD

USB端子のあるデジタルハイビジョンビデオカメラを本機に接続すると、AVCHD方式の映像をかんたんに本機にダビングできます。
8cm DVDで記録するデジタルビデオカメラからUSBケーブル経由で直接取り込むことはできません。8cm DVDを本機に挿入してダビングしてください。

1 デジタルハイビジョンカメラを本機に接続する。
本機前面のUSB端子に接続してください。

* 接続する機器によりUSBケーブルの端子の形状は異なります。

2 ダビングするAVCHD方式のデジタルハイビジョンビデオカメラの電源を入れる。

ちょっと一言

- ダビングの前に、録画の画質を調整できます。「録画の画質・映像サイズを設定する」(100ページ)をご覧ください。
- HDV/DV機器側の停止ボタンを押すとダビングは停止します。
- ダビングした映像をスクラップブックの中に取り込むことができます。「写真とビデオをスクラップブックにして楽しむ(x-ScrapBook)」(158ページ)をご覧ください。
- お気に入りのシーンを静止画にして切り出すことができます(156ページ)。

ご注意

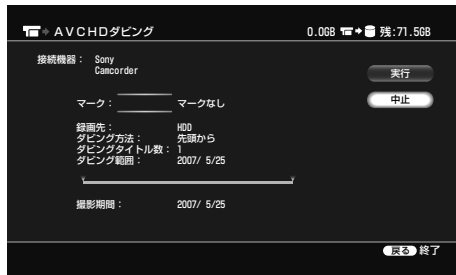
- 電源供給のみのUSBケーブルは使用できません。
- HDDの残量が足りない場合や、タイトルが足りない場合は、ダビングできません。
- ダビングされたものは、日付単位にタイトル分割されて取り込まれます。また、予約開始時間までにダビング完了できる範囲でダビングします。ダビングできなかったタイトルをダビングするには、「前回ダビングした続きからダビングするには」(153ページ)をご覧ください。
- 録画モードなどの設定はできません。
- デジタルビデオカメラで記録した字幕は記録されません。
- デジタルハイビジョンビデオカメラに記録されたAVCHD以外の映像は、本機にダビングできません。

3 **デジタルハイビジョンビデオカメラをUSBモードに切り換える。**
切換え方法について詳しくは、お使いのデジタルハイビジョンビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。

4 **本機のリモコンの ホーム を押す。**

5 **←→で を選ぶ。**

6 **↑↓で （ビデオカメラダビング）を選び、決定 を押す。**

7 **↑↓で （AVCHDダビング）を選び、決定 を押す。**
AVCHDダビング画面が表示されます。

AVCHDダビングの画面でマークの設定を変更することができます。
マークについて詳しくは、122ページをご覧ください。

8 **↑↓←→で〔実行〕を選び、決定 を押す。**
ダビング実行画面が表示され、ダビングが始まります。
ダビングが完了すると、終了します。

前回ダビングした続きからダビングするには

接続したデジタルビデオカメラに記録されている映像を自動で検出し、前回ダビングした映像がある場合、手順7で確認画面が表示されます。続きからダビングするには[続きから]を選びます。

ご注意

- デジタルハイビジョンビデオカメラの状態によっては、取り込み日時の範囲が正しく表示されないことがありますが、本機のHDDには記録順に取り込まれます。
- 1つのタイトルに80個以上のチャプターがある場合、タイトルが分割されます。
- ダビングが、録画予約の時間と重複する場合、録画予約の予約開始時間までにダビング完了できる範囲でダビングします。ダビングできなかったタイトルをダビングするには、「USBケーブルを使ってデジタルハイビジョンビデオカメラの映像をダビングする（AVCHDダビング）」（152ページ）をご覧ください。予約録画完了後にもう一度「AVCHDダビング」を行うと、続きからダビングできます。
- 本機を電源ONにしてからUSBケーブルを接続してください。

次のページにつづく⇨

写真を本機に取り込む

HDD BD-RE BD-R DATA DVD DATA CD

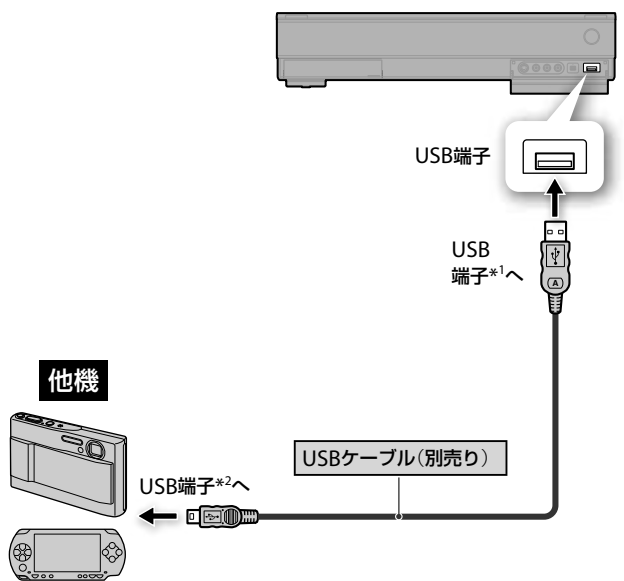
ディスクや本機に接続したデジタルカメラ、"PSP"、USB機器から写真を取り込むことができます。

取り込んだ写真は自動分類して新しいアルバムとして保存します。

画像を選択して取り込みたい場合や、保存先を指定して取り込みたい場合は、アルバムコピーまたは、1ファイルコピーを実行してください（154ページ、155ページ）。

USB機器の接続方法

デジタルスチルカメラや"PSP"などのUSB機器から写真を取り込む場合は、本機前面のUSB端子につなぎます。

USB機器によっては、USB機器側からデータを送信できるように、モードを切り換える必要があるものもあります。詳しくは、USB機器の取扱説明書をご覧ください。

*1 端子タイプA

*2 端子タイプミニB（"PSP"）またはB、独自規格（デジタルスチルカメラ）

アルバムごとHDDに取り込む

1 ホーム を押す。

2 ←→で 📷 を選ぶ。

3 ↑↓でメディア、接続機器を選び、決定 を押す。

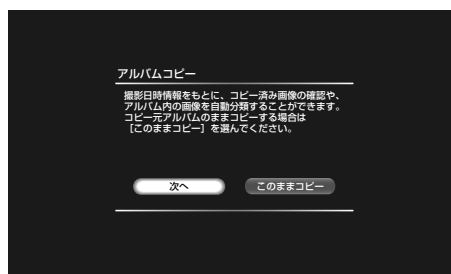
*1 BD-RE/BD-R/データDVD/データCD

4 ↑↓→で取り込みたいアルバムを選び、オプション を押す。

5 ［コピー］から［1アルバムコピー］を選び、決定 を押す。

6 ←→で［はい］を選び、決定 を押す。

7 アルバム内にコピー済みの写真があるか調べたり、アルバム内の写真を自動的に撮影日で分類する場合は、←→で［次へ］を選び、決定 を押す。

コピー済みの写真があるか調べず、撮影日による自動分類もしない場合は、［このままコピー］を選ぶとアルバム内の写真が取り込まれます。

ちょっと一言

「映像の中のお気に入りの場面を写真にする（フォト切出し）」の手順**5**で［選択コピー］を選ぶと複数枚の写真を選択してコピーできます。HDD→HDDのときは自動分類しません。

ご注意

- USB機器と映像をやり取りしている間は、USBケーブルを抜かないでください。
- 電源供給のみ行うUSBケーブルは使用しないでください。
- フォルダごと取り込むときは、取り込もうとしているフォルダの中に入っている写真のみ取り込むことができます。取り込もうとしているフォルダの中に入っているフォルダや、そのフォルダの中に入っている写真を取り込むことはできません。
- 写真以外のファイルが複数記録されているUSB機器の場合、写真（JPEG）を表示することができない場合があります。
- 本機には最大で10,000枚までのファイルが保存できます。
- 本機では1枚の写真を取り込むのに10秒ほどかかります。また、一度に大量の写真を取り込むと、取り込みが完了するまで30分以上時間がかかることがありますが、本機の故障ではありません。
- 写真の取り込み中に接続機器の電源を切ると、故障の原因となることがありますのでご注意ください。
- 本機で再生できる写真は、圧縮形式がJPEG 形式で、ファイル名形式がDCF 形式* のものです。
  - * （社）電子情報技術産業協会にて制定された統一規格"Design rules for Camera Files systems"のことです。

8 ←→で［続きからコピー］を選び、決定 を押す。
コピー済みではないアルバム内の写真が、その撮影頻度や撮影日時の情報からイベント毎に自動分類されて取り込まれます。
［すべてコピー］を選ぶと、アルバム内のすべての写真が自動分類されて取り込まれます。
自動分類された各アルバム名の先頭にはアルバム内に含まれる最も古い日付の写真の撮影年月日がつきます。

写真を選択してHDDに取り込む

1 ホーム を押す。

2 ←→で 📷 を選ぶ。

3 ↑↓でメディア、接続機器を選び、決定 を押す。

*1 BD-RE/BD-R/データDVD/データCD

4 ↑↓でアルバムを選び、決定 を押す。

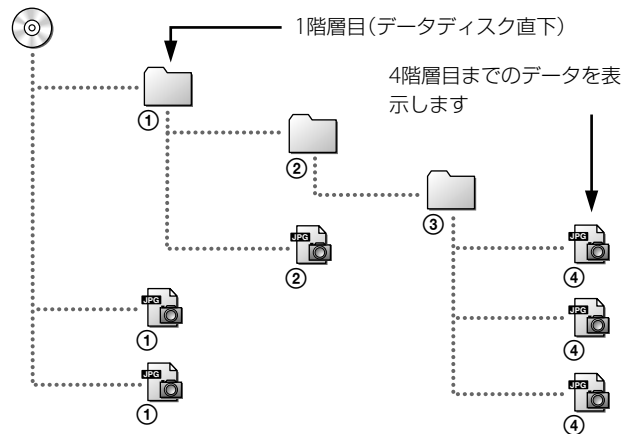
5 取り込む写真を選び、オプション を押す。

6 ［コピー］から［1ファイルコピー］を選び、決定 を押す。

7 ←→で［確定］を選び、決定 を押す。

8 ↑↓でコピー先のアルバムを選び、決定 を押す。
選択した写真が取り込まれます。
新しくアルバムを作成する場合は↑↓←→で［新規作成］を選びます。新しいアルバムの名前入力については「文字を入力する」（84ページ）をご覧ください。

フォルダやファイルの作成・保存場所について

各ディスク直下（ルート）を第1階層とした場合、本機は4階層目までに保存したファイルを認識することができます。

ファイルやフォルダを作成するときのご注意

- 1つのフォルダに501以上のファイルやフォルダを入れると、一部のファイルやフォルダが表示できないことがあります。
- 1枚のDVDやCDに約4,000以上のファイルやフォルダを入れると、一部のファイルが表示できないことがあります（BDを除く）。
- 4階層目のフォルダは表示されません。

* JPEG以外のファイルも含む。

- HDD上のアルバムや写真の名前に登録できる文字数は全角16文字、半角32文字までです。
- 半角の「<」「>」「|」「"」「/」「?」「*」「'」「\」「¥」「:」「・」「.」「 」（スペース）などの文字は使用しないでください。
- ファイル名、フォルダ名はISO9660のレベル1、レベル2、拡張フォーマット（Joliet）に準拠していない場合、正しく表示されない場合があります。
- ビデオカメラ映像からフォト切出ししたファイル（写真）は、HDVからは日付がつきますが、DVからの切出しは本機にダビングした日付になります。
- パソコンで作成されたディスクは再生できない場合があります。

- コピー先に同じ名前の写真がある場合は、コピーする写真の名前の末尾に(1)、(2)・・・などの数字が付きます。写真につけられる名前の文字数は全角16文字、半角32文字以内になるため、コピーする写真の名前が長いと、すべて同じ名前として判断され、数字が付いてしまうことがあります。
- 接続するデジタルカメラによっては一度に100枚以上取り込む場合、100枚ごとに仮想フォルダができます。

ちょっと一言

- 「フォルダごとHDDに取り込む」の手順**5**で［コピー］から［選択コピー］を選ぶと、複数のアルバムを選択して取り込むことができます。
- 次の文字を使ってアルバム名を変更し、これらのアルバムをDVDにコピーした場合、フォルダ名が正しく表示できなくなることがあります。
半角の「<」「>」「|」「"」「/」「?」「*」「'」「\」「¥」「:」「・」「.」「 」（スペース）などの文字。
- 「写真を選択してHDDに取り込む」の手順**6**で［コピー］から［選択コピー］を選ぶと、複数枚の写真を選択して取り込むことができます。

次のページにつづく⇨

映像の中のお気に入りの場面を写真にする（フォト切出し）

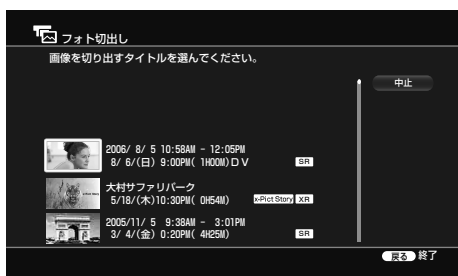
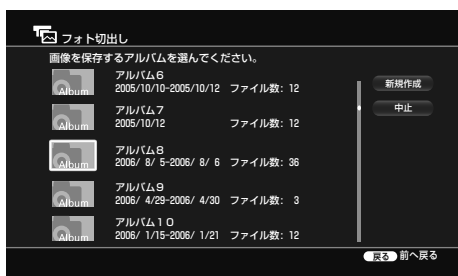
以下の映像の中から、好みの場面を選んで写真にできます。

- HDV/DVダビングしたタイトル
- 入力2端子から録画した「録画制限なし」のタイトルや、HDV/DV端子から録画したタイトル
- 8cm DVDからダビングしたタイトル
- x-Pict Story HDでビデオ作成したタイトル

1 ホーム を押す。

2 ←→で 📷 を選ぶ。

3 ↑↓で （フォト切出し）を選び、決定 を押す。

4 ↑↓で写真にしたい場面を含む映像（タイトル）を選び、決定 を押す。

5 ↑↓で保存先のアルバムを選び、決定 を押す。

新しくアルバムを作成する場合は↑↓←→で［新規作成］を選びます。新しいアルバムの名前入力については「文字を入力する」（84ページ）をご覧ください。

6 再生中の映像を見ながら、切り出すポイントを選び、一時停止（一時停止）を押す。

再生（再生）を押すと映像を再生します。また、◀◀/▶▶（早戻し/早送り）で切り出すポイントを選べます。

7 ↓で［実行］を選び、決定 を押す。

実行後、自動で手順**6**に戻ります。同じタイトルから他の画像を切り出す場合は手順**6**から繰り返します。

8 終了するには→で［終了］を選び、決定 を押す。

本機に取り込んだ写真をコピーする

BDやDVDにコピーする

本機に取り込んだ写真をBDやDVDにコピーできます。

以下のディスクが使用できます。

- BD-RE/BD-R/DVD-RW/DVD+RW（記録済みのDVD-RW/DVD+RWは上書きされて、それまでの記録は消去されますのでご注意ください。）
- 未記録で、未フォーマットまたはビデオフォーマットのDVD-R
- 未記録で未フォーマットのDVD+R

1 ホーム を押す。

2 ←→で 📷 を選ぶ。

3 ↑↓で →●（ディスク書出し）を選び、決定 を押す。

4 ↑↓で （アルバムコピー）を選び 決定（決定）を押す。

5 本機にディスクを入れる。

映像や写真を取り込んで楽しむ（BDZ-L70のみ）

6 コピーするアルバムを選び 決定 を押す。

7 ［実行］を選び、決定 を押す。
ディスクへのコピーがはじまります。

ちょっと一言

本機に取り込んだアルバムを使って作成したx-Pict Story HDをビデオ映像にすると、BDやDVDにダビングできるようになります（163ページ）。

本機の別のアルバムにコピーする

1 ホーム を押す。

2 ←→で を選ぶ。

3 ↑↓でコピーしたいアルバム内の写真を選び、オプション を押す。

4 ↑↓で［コピー］を選び、決定 を押す。

5 ↑↓で［1ファイルコピー］を選び、決定を押す。

6 ［確定］を選び、決定 を押す。

7 コピー先のアルバムを選び、決定 を押す。
HDDに写真がコピーされます。
新しくアルバムを作成する場合は［新規作成］を選びます。新しいアルバムの名前入力については「文字を入力する」（84ページ）をご覧ください。

アルバムや写真を消去する

アルバムを消去するには

1 ホーム を押す。

2 ←→で を選ぶ。

3 ↑↓で消去したいアルバムを選び、オプション を押す。

4 ↑↓で［消去］を選び、決定 を押す。

写真を消去するには

1 ホーム を押す。

2 ←→で を選ぶ。

3 ↑↓でアルバムを選び 決定 を押す。

4 ↑↓で消去したい写真を選び オプション を選ぶ。

5 ↑↓で［消去］を選び、決定 を押す。

6 ↑↓で［1ファイル消去］または［選択消去］を選び 決定 を押す。
［1ファイル消去］を選んだときは手順**5**で 決定 を押すと、ファイルが消去されます。［選択消去］を選んだときは、次の手順に進んでください。

7 ↑↓で消去したい写真を選び 決定 を押す。

8 消去したいすべての写真を選択したら、↑↓←→で［確定］を選び 決定 を押す。

ご注意

- DVD-RWやDVD+RWは、DATAフォーマットで初期化して写真（JPEG）のコピーを行なうため、記録済みデータはすべて消去されます。
- 写真（JPEG）のコピー後、DVDのファイナライズを行うため、写真（JPEG）の追記はできなくなります。BD-RE、BD-Rの場合は追記できます。
- BDへの写真コピーは、既にディスクに書かれているファイルとフォルダを合わせて最大2,000枚です。
- DVDへの写真のコピーは最大4,000枚です。
- ファイル名が全角54文字、半角108文字を超えるアルバムや写真をコピーした場合、そのアルバム以下を正しく表示できなくなります。
- パソコンなどで作成された、写真データを間接的に参照しているファイルは表示できません。

写真とビデオをスクラップブックにして楽しむ（x-ScrapBook） HDD

写真を取り込んでアルバムが作成されると、本機はその中に含まれるすべての写真をレイアウトしたオリジナルのスクラップブックを自動作成します。また、壁紙を変更したり、HDV/DVダビングで取り込んだ映像やx-Pict Story HDで作成したビデオタイトルを追加することもでき、写真とビデオを一緒に楽しめます。

x-ScrapBookには次の機能があります。

- 「スクラップブックを再生する」（158ページ）
  自動作成された内容や編集した内容を、確認できます。
- 「スクラップブックを編集する」（159ページ）
  自動作成されたスクラップブックはビデオを含みません。ビデオカメラから取り込んだビデオやx-Pict Story HD作品のビデオタイトルを追加してオリジナルのスクラップブックを完成させます。表紙や壁紙も変更できます。
- 「スクラップブックをBDやDVDに記録する」（160ページ）
  完成したHDD内のスクラップブックをBDやDVDにコピーします。データの保存に便利です。

スクラップブックを再生する

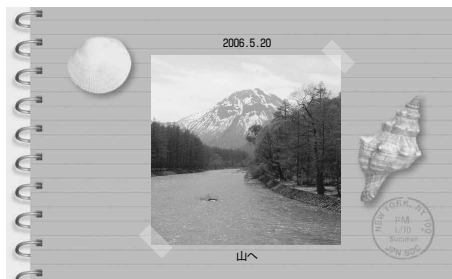
1 ホーム を押す。

2 ←→で 📷 を選ぶ。

3 ↑↓で （x-ScrapBook）を選び、決定 を押す。

4 ↑↓で再生したいスクラップブックを選び、決定 を押す。

スクラップブックの表紙、または前回の続きのページが表示されます。

例：初めから再生するとき

例：途中から再生するとき

画面表示（画面表示）でアルバム名やページ番号を表示できます。

ページ送りについて

黄（黄）でページモードと選択モードを切り換えます。ページモードではアルバムをめくるように全体を再生でき、選択モードでは写真やビデオを個別に選んで、拡大表示や再生ができます。

ご注意

- スクラップブックを編集すると、つづき再生の再生ポイントが解除されます。
- 1つのスクラップブックに同じビデオを複数回追加することはできません。
- スクラップブックに使われているビデオを編集または消去すると、スクラップブックでの表示が編集後の内容に変わったり、再生内容がビデオから写真に変わったり、表示位置が移動したり、削除されたりすることがあります。
- 元になるフォトアルバムや、そのフォトアルバム内のすべての写真がHDDから消去されると、スクラップブックも消去されます。
- x-ScrapBook書出し（160ページ）で作成したディスクでは、HDD内での再生と同じ操作ができません。

ページモード

⬌でページを送ります。（オプション）を押して[ページサーチ]を選び、数字ボタンで見たいページ番号を入力し（決定）を押すと、そのページを表示します。

選択モード

右端や左端の写真/ビデオを選んで⬌を押すとページを送ります。ビデオには、ビデオであることを示すアイコンが表示されます。⬍⬌で写真やビデオを選んで（決定）を押すと、個別に全画面で再生します。再生を停止するには（停止）を押します。

撮影期間が重なるビデオがあるとき

手順4の後、スクラップブックに追加するかどうかの確認画面が表示されます。⬌で[はい]を選んで（決定）を押すとビデオが追加され、スクラップブックが表示されます。
[いいえ]を選んでも、後から手動で追加できます（160ページ）。

スクラップブックを再生中にオプションボタンでできること

表示される項目は状況により異なります。

項目		できること
選択モード		選択モードに切り換えます。
ページモード		ページモードに切り換えます。
表示		スクラップブックを表示します（158ページ）。
表紙へ		表紙ページを表示します。
停止		再生を停止します。
編集	テーマ変更	壁紙のテーマを変更します（160ページ）。
	ビデオ選択追加	スクラップブックにビデオを追加します（160ページ）。
	ビデオ選択解除	スクラップブックからビデオの選択を解除します（160ページ）。
ページサーチ		入力した番号のページを表示します。

スクラップブックを編集する

ビデオの追加や選択解除、壁紙のテーマ変更ができます。写真の追加や削除はできません。スクラップブックの表紙に表示されるタイトル名はホームメニュー上のアルバム名がそのまま入力されます。表紙のタイトル名を変更したいときは、アルバム名を変更することで表紙のタイトル名も変更されます。

1 （ホーム）を押す。
2 ⬌で（写真）を選ぶ。
3 ⬍で（x-ScrapBook）を選び、（決定）を押す。
4 ⬍で編集したいスクラップブックを選び、（オプション）を押す。
5 [編集]を選び、（決定）を押す。

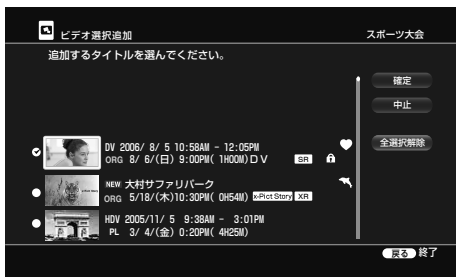
ちょっと一言

- オプションボタンを押してから、[選択モード]または[ページモード]選んでページモードと選択モードを切り換えることができます。
- フォトアルバムの写真が消去された場合やフォトアルバムに写真が追加された場合、スクラップブックも自動更新されます。
- x-Pict Story HDで作成したフォト作品も先にビデオにしておくと（163ページ）、ビデオタイトルとして追加できます。

次のページにつづく⇨

ビデオを追加するには

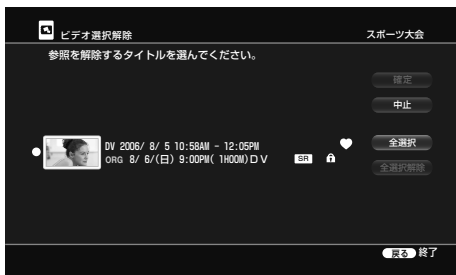
1 手順5の後、[ビデオ選択追加]を選び、(決定)を押す。
ビデオのサムネイル画像を表示しない場合があります。
撮影日を持たないビデオは、後ろに追加されます。

2 ↑↓で追加したいタイトルを選び、(決定)を押す。

3 タイトルをすべて選び終わったら↑↓←→で[確定]を選び、(決定)を押す。

4 ←→で[はい]を選び、(決定)を押す。

ビデオを解除するには

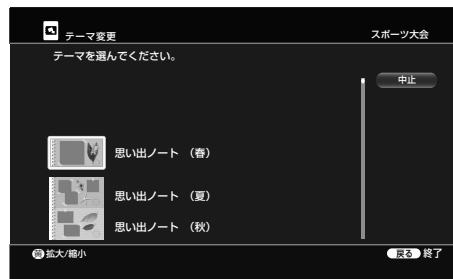
1 手順5の後、[ビデオ選択解除]を選び、(決定)を押す。

2 ↑↓で解除したいタイトルを選び、(決定)を押す。

3 タイトルをすべて選び終わったら↑↓←→で[確定]を選び、(決定)を押す。

4 ←→で[はい]を選び、(決定)を押す。

表紙や壁紙のテーマを変更するには

1 手順5の後、[テーマ変更]を選び、(決定)を押す。

2 ↑↓でテーマを選び、(決定)を押す。

黄（黄）で拡大表示します。

スクラップブックをBDやDVDに記録する

スクラップブックに使った写真・ビデオ、さらにスクラップブック再生画面をページごとに静止画像として保存したものをまとめてBDやDVDに書き出せます。
以下のディスクが使用できます。

- BD-RE/BD-R/DVD-RW/DVD+RW（記録済みのDVD-RW/DVD+RWは上書きされて、それまでの記録は消去されますのでご注意ください。）
- 未記録で、未フォーマットまたはビデオフォーマットのDVD-R
- 未記録で未フォーマットのDVD+R

1 (ホーム)を押す。

2 ←→で(カメラ)を選ぶ。

3 ↑↓で→●（ディスク書出し）を選び、(決定)（決定）を押す。

4 ↑↓で(x-ScrapBook)→(x-ScrapBook書出し)を選び、(決定)を押す。

5 本機にディスクを入れる。

ちょっと一言

- DVD+RやDVD+RWには、ビデオが追加されたスクラップブックは書き出せません。
- DVD+R DLには書き出せません。

6 ↑↓でディスクに書き出したいスクラップブックを選び、(決定) を押す。

書き出したい順番で選びます。

選択順に番号がつきます。

7 ←→で［実行］を選び、(決定) を押す。

8 ダビングが終了したら、←→で［終了］を選び、(決定) を押す。

他に書き出したい画像や映像があるときは［継続］を選び、ディスクを入れ換えて手順6から繰り返します。

BDやDVDに記録したスクラップブックのビデオは から、写真は から再生が可能です。

アルバムの写真を使ってフォト作品にして楽しむ（x-Pict Story HD） HDD

本機のHDDのアルバムに保存されている写真を、30種類のオリジナルサウンドの中から好みの音楽を選ぶだけのかんたん操作で、音楽と顔の位置を捉えたエフェクト（映像処理）がついたハイビジョン画質のフォト作品を自動作成します。
CDからお気に入りの曲を取り込んでBGMにしたり、できあがった作品をビデオ映像にしてデジタルハイビジョン信号でBDにダビングしたり、標準テレビ信号(SD)でDVDにダビングしたりできます。

1 ホーム を押す。

2 ←→で 📷 を選ぶ。

3 ↑↓で（x-Pict Story HD 作成）を選び、決定 を押す。

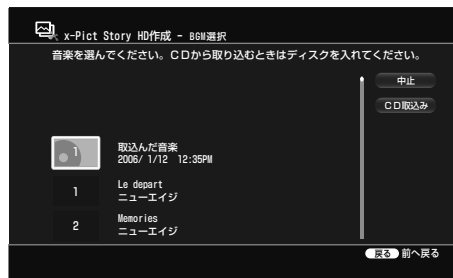
4 ↑↓でx-Pict Story HDを作成したいアルバムを選び、決定 を押す。

曲の選択画面が表示されます。

本機にあらかじめ登録されている曲を利用したいときは、↑↓で曲を選び 決定 を押し、手順**8**に進んでください。

CDの曲をBGMにしたいときは、開/閉（開/閉）を押して、ディスクを入れ、[CD取り込み]を選び、決定 を押してください。
CDの曲を選択する画面が表示されるので、手順**5**に進んでください。

5 CDから取り込みたい曲を選び、決定 を押す。

6 ↑↓でCDから取り込んだ曲を選び、決定 を押す。

リスト上には取り込んだ曲が5曲まで、オリジナルサウンドと一緒に表示されます。

ご注意

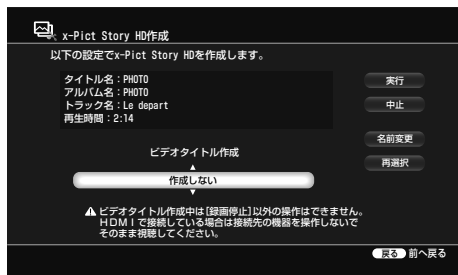
- x-Pict Story HD作品を作成したあとに、作品で使用したアルバムから写真を1枚でも削除するとx-Pict Story HD作品は削除されます。
- CDによっては、完全に取り込めない場合があります。
- BDおよびDVDにダビングした作品を第三者にプレゼントする場合は内蔵BGMをお使いください。あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できませんのでご注意ください。他人の著作物を許可なく特定多数または不特定多数が利用できる家庭外ネットワークに送信すること、また他人の著作物を許可なく特定多数または不特定多数からアクセスできる状態におくことは著作権法上禁止されていますのでご注意ください。

7 ↑↓で曲に合わせたいテーマを選ぶ。

から に向かう●の数が多いほど、エフェクトのテンポが速くなります。
[モード設定]で作成するx-Pict Story HDの再生時間を設定できます。
おまかせ：曲長と使用する写真の枚数を自動的に設定します。
曲長合わせ：取り込んだ曲を最後まで使います。
画像枚数合わせ：選択したアルバム内の写真をすべて使います。

8 決定 を押す。
作品が再生されるので、内容を確認してください。
手順5でオリジナルサウンドを選んだ場合は選んだ曲によりエフェクトが変わります。セピアやモノクロになるエフェクトがありますが、故障ではありません。
また、手順7でCDから取り込んだ曲を選んだ場合は手順8で選んだテーマによってエフェクトが変わります。

9 決定 または 停止 (停止)を押す。
アルバム名がタイトル名として自動的に入力されます。

10 ↑↓でx-Pict Story HDのビデオを作成するかしないかを選ぶ。

作成する：本機が自動的にビデオの映像を作成します。ビデオ作成中はx-Pict Story HDの作品が再生されます。ビデオ作成が終了するまでお待ちください。完成した作品は のタイトルとして表示されます。

作成しない：ビデオの映像として保存しません。作成した作品は の (x-Pict Story HD)内に保存されます。

アルバム名がタイトル名として自動的に入力されます。タイトル名を変更したい場合は[名前変更]を選んで 決定 を押します。文字入力について詳しくは「文字を入力する」(84ページ)をご覧ください。

11 ↑↓←→で[実行]を選び、決定 を押す。

ビデオ作成を途中で止めるには

リモコンのふたを開け、録画停止 (録画停止)を押します。

フォト作品を再生する

1 ホーム を押す。

2 ←→で を選ぶ。

3 ↑↓で (x-Pict Story HD)を選び 決定 を押す。

4 ↑↓で再生したいx-Pict Story HD作品を選び、決定 を押す。

フォト作品をビデオの映像にする

x-Pict Story HD作成を終了した後からでも、ビデオの映像にすることができます。

1 ホーム を押す。

2 ←→で を選ぶ。

3 ↑↓で (x-Pict Story HD)を選び、決定 を押す。

ご注意

- 再生中に次のものを本機から抜き差しすると、作品が正しく再生されないことがあります。
  - B-CASカード
  - USB機器
  - アンテナケーブル
  - HDV/DV接続機器
  - HDMI接続機器
- 出力解像度、x-Pict Storyで使う写真の絵柄、x-Pict Storyのエフェクトによっては、作品の一部分が震えて見える場合があります。
- ビデオ作成中は、リモコンの 録画停止 (録画停止)以外働きません。
- 次の場合、x-Pict Story HD作品を保存、再生できません。
  - 録画実行中の場合
  - 録画予約の開始時間が重なる場合
- [モード設定]が[おまかせ]または[曲長合わせ]の場合、選択したアルバム内の写真の数が多い場合などは、すべての写真が表示されないことがあります。
- x-おまかせ・まる録とx-Pict Story HDが重なるときは、x-おまかせ・まる録は実行されません。

次のページにつづく⇨

4 ↑↓でビデオの映像にしたいx-Pict Story HDを選び、 (オプション) を押す。

5 ［ビデオ作成］を選び、(決定) を押す。

ビデオ作成開始画面が表示されます。

6 ［実行］を選び、(決定) を押す。

ビデオ作成が開始されます。ビデオ作成中はx-Pict Story HDの作品が再生されます。ビデオ作成中はリモコンの (録画停止)以外働きません。ビデオ作成が終了するまでお待ちください。完成した作品は のタイトルとして表示されます。

ビデオ作成を途中で止めるには

リモコンのふたを開け、 (録画停止)を押します。ビデオ作成を途中で中止すると、中止した時点までのビデオが作成されます。

フォト作品を消去する

1 (ホーム) を押す。

2 ←→で を選ぶ。

3 ↑↓で (x-Pict Story HD)を選び (決定) を押す。

4 ↑↓で消去したいx-Pict Story HD作品を選び (オプション) を押す。

5 ↑↓で［消去］を選び (決定) を押す。

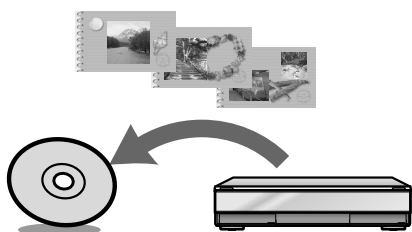
ちょっと一言

1曲が70分以上の曲を取り込んで［曲長合わせ］を選んだ場合、作品が正しく再生されない場合があります。

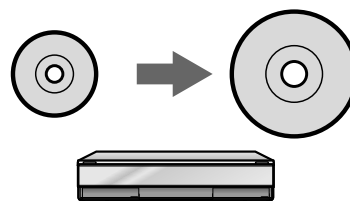
ディスクに残す（ダビング）

ディスクに残す（ダビング）でできること

タイトルダビング

☞ Page 168

録画した映像（タイトル）や、x-Pict Story HDなどで作成した映像などをBDやDVDにダビングできます。

まるごとDVDコピー

☞ Page 175

DVDビデオカメラで撮影した映像が記録された8cm DVDや、お気に入りの映像を記録した12cmDVDを高速でかんたんに12cm DVDにコピーできます。

ダビングをする前に

- 本機ではいろいろな種類のディスクにダビングできます。目的に合ったディスクを選んでください（207ページ）。
- HDDに録画した「1回だけ録画可能」なデジタル放送をDVDにダビングするときは、必ずパッケージに「CPRM対応」と記載されたDVD-RWまたはDVD-Rをお使いください。なお、「1回だけ録画可能」の番組をダビングすると、HDD内の番組は消去されます（17ページ）。
- DRモード以外のモードでは二か国語放送をBDに記録できません。
- DVD+RW、DVD-RW（ビデオモード）、DVD+R、DVD-R（ビデオモード）でダビングするときやDVD-RW(VRモード)やDVD-R(VRモード)で録画モード変換ダビングを行うときは二か国語放送を記録できません。二か国語放送のタイトルをダビングするときは、音声の種類（[主音声]または[副音声]）を選んでください（[二重音声記録]、184ページ）。
- ダビング中は、他の操作ができません。
- ダビングの前にまもなく始まる予約がないかを予約リストで確認してください。
- 「録画2」で録画中のときは、ダビングを開始できません（BDZ-L70/T70のみ）。
- 「録画1」で録画中のときは、高速ダビングモードのみ利用可能です（BDZ-L70/T70のみ）。
- 録画中のときは、高速ダビングモードのみ利用可能です（BDZ-T50のみ）。
- HDDからBDやDVD（DVD+R DLを除く）へダビングする場合は、元タイトルのチャプターマークが書き込まれます。HDDからDVD+R DLへダビングする場合は、 から[ビデオ設定]—[自動チャプターマーク]の設定（入/切）に合わせて、チャプターマークが書き込まれます。
- BDやDVDからHDDへダビングする場合は、元タイトルのチャプターマークが書き込まれます。
- 画面横縦比（16:9と4:3）が混在しているタイトルでは、HDDからDVD-RW（ビデオモード）、DVD-R（ビデオモード）にダビングする場合、LPまたはEPモードの時は4:3でダビングされます。それ以外のモードではタイトルの情報がもつ固定の映像サイズでダビングされます。HDDからDVD+RW、DVD+Rにダビングする場合は、常に4:3でダビングされます。BDに高速ダビングした場合、元の映像サイズのままダビングされます。BDに録画モード変換ダビングする場合は、タイトルの情報がもつ固定の映像サイズでダビングされます。
- ホームサーバー機能対応のクライアント機器で再生中にダビングをしようとすると、再生が停止します（BDZ-L70のみ）。
- HDDとBD間のダビングで、複数のタイトルを選択して合計12時間を超える場合はダビングできません。
- DRモード以外の録画モードでBD-RE、BD-Rに録画した場合、BD-RE2.1規格に対応したプレーヤーでのみ再生できます。

ダビングの制限について

本機では次のダビングと移動ができます。

映画などの市販ソフトはHDDにダビングできません。また、DVDからHDDへのダビングで、コピー制御信号を含むシーンがある場合、録画一時停止になりダビングされません。

コピー制御信号	ダビング
録画制限なし 地上アナログ放送など（コピー制御信号なし）	HDD ⇄ BD-RE、BD-R、+RW、-RW VR、-RW Video、+R、-R VR、-R Video
1回だけ録画可能 地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル放送など	HDD → 移動 → BD-RE、BD-R、-RW VR（CPRM対応）、-R VR（CPRM対応）
録画制限なし パーソナル映像など	

録画した映像をBDやDVDにダビングする（タイトルダビング）

HDD BD-RE BD-R +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo

1 本機にディスクを入れる。

2 ホーム を押す。

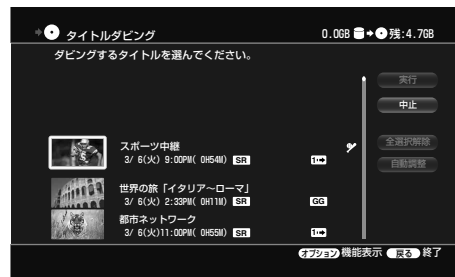
3 ←→で ビデオ を選ぶ。

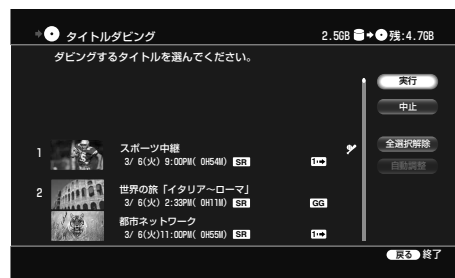
4 ↑↓で （ディスクダビング）を選び、決定 を押す。

5 ↑↓で （HDD→BD/DVDダビング）を選び、決定 を押す。

ここで、初期化やDVDのモードを選択する画面が表示されます。ダビングするディスクにより、表示される画面が以下のように異なります。

- **DVD-R/-RW 未初期化ディスクの場合**
  VRモードとビデオモードのどちらで初期化するかを選択する画面が表示されます。どちらかのモードを選ぶと、初期化が始まります。
- **DVD+R/+RW 未初期化ディスクの場合**
  自動的に初期化が開始されます。
- **DVD-RW（ビデオモード/VRモード）やDVD+RWの初期化済み/記録済みディスクの場合**
  データを追記するか初期化するかを選択する画面が表示されます。
- **DVD-RW、DVD+RW のデータディスクや、ビデオとデータが混在しているディスク、DVD Unknown フォーマットディスクの場合**
  ダビングを行うと記録済みデータが全て消去されることを確認する画面が表示されます。

6 ↑↓でダビングしたいタイトルを選び、決定 を押す。

一度のダビングで最大30個までタイトルを選ぶことができます。ダビングモードは元の録画モードと同じ設定になります（高速ダビング可能なタイトルは「高速ダビング」に設定されます）。なお、ダビングモードは変更できます（「タイトルごとにダビングモードを変更するには」、173ページ）。

7 ↑↓←→で［実行］を選び、決定 を押す。

ちょっと一言

- HDDのプレイリストタイトルはオリジナルタイトルとしてダビングされます。
- タイトルダビング中に本機の電源を切ることができます。電源を切ってもダビングは続きます。
- 下記の文字を使用したタイトルをDVDにダビングすると、ダビング時にこれらの文字は消去されてしまいます。
  「①」「②」「③」「④」「⑤」「⑥」「⑦」「⑧」「⑨」「⑩」
  「Ⅰ」「Ⅱ」「Ⅲ」「Ⅳ」「Ⅴ」「Ⅵ」「Ⅶ」「Ⅷ」「Ⅸ」「Ⅹ」「　」（スペース）
  その他特殊文字は削除される可能性があります。
- HDDに録画したタイトルをDVDにダビングする場合は、自動的にXPモードや他のモードに設定されます。また、XR、XSR、SR、LSR、LR、ERモードは、それぞれXP、XSP、SP、LSP、LP、EPモードに設定されます。
- DVD（AVCHD）→HDDにダビングした場合、日付単位でタイトル分割されて取り込まれます。

ご注意

- ダビング中は本機の電源コードを絶対に抜かないでください。
- HDD→DVDダビング時は高速ダビングできません。

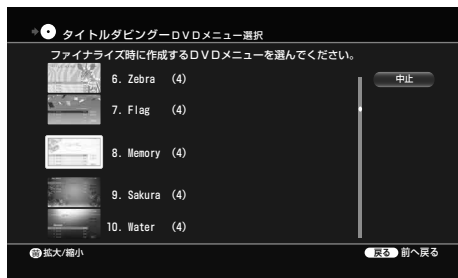
BDの場合はダビングが開始されます。DVD-RやDVD+Rの場合、ファイナライズ選択画面が表示されます。手順8に進んでください。

DVD-RW（ビデオモード）やDVD+RWの場合、DVDメニュー選択画面が表示されます。手順9に進んでください。

DVD-RW(VRモード)の場合、手順10に進んでください。

8 ファイナライズ選択画面が表示されたら、[ファイナライズする]を選び、決定 を押す。
[しないで実行]を選ぶと、そのままダビングが開始されます。手順10に進んでください。

DVD-R（VRモード）で[ファイナライズする]を選んだ場合、手順10に進んでください。

9 ↑↓でDVDメニューを選び、決定 を押す。

DVDメニューは24種類の中から選べます。
黄（黄）を押すと、背景画面を拡大表示し、背景画面のデザインを確認できます。

10 ↑↓←→で[ダビング実行]または[名前変更]を選び、決定 を押す。
[名前変更]を選ぶと、ディスクの名前を変更することができます。ディスクの名前を変更せずにダビングするときは、[ダビング実行]を選んでください。
[ダビング実行]を選ぶと、ダビングが開始されます。ダビングが終了すると、自動的にファイナライズを行います。ファイナライズ終了後、手順5の画面に戻ります。

ダビングを途中でやめたり、手順8で[しないで実行]を選んだときは、ファイナライズされません。後でファイナライズのみ行うことができます。詳しくは「ファイナライズについて」(170ページ)をご覧ください。

ディスクに残す（ダビング）

ちょっと一言

BD-REとBD-Rでは、ファイナライズすることなく、他のBD機器で再生できます。

ご注意

- 「録画1」で録画中のときは、高速ダビングモードのみ利用可能です(BDZ-L70/T70のみ)。
- 録画中のときは、高速ダビングモードのみ利用可能です(BDZ-T50のみ)。
- 「録画2」で録画中のときは、ダビングを開始できません。(BDZ-L70/T70のみ)
- HDDやBD、DVDの状態などにより、手順どおりに動作しない場合があります。画面のメッセージにしたがって操作してください。
- 「管理情報がいっぱいです」と画面に表示されたら、ディスク内のタイトルを消去してください(132ページ)。編集回数が多いタイトルの場合もダビングできないことがありますが、そのタイトルを分割すればダビングが可能になる場合があります。
- 8時間を超えるタイトルはダビングできません。
- 録画時間の短いタイトルはダビングできないことがあります。
- 本機で録画したタイトルであっても、ダビングできないことがあります。
- 5.1chの音声が含まれているデジタル放送を、本機のHDDに録画すると5.1chの音声で記録されますが、DVDへダビングすると5.1ch音声では記録できません。
- DVD+RW、DVD-RW（ビデオモード）、DVD+R、DVD-R（ビデオモード）にダビングする場合は、元タイトルのサムネイル画像は引き継がれません。
- DVD機器によっては、正しくファイナライズしても再生できないことがあります。
- 他のDVD機器で録画したDVDを本機でファイナライズすることはできません。

次のページにつづく⇨

タイトルダビング画面の見かた

1 **ダビングする全タイトル容量**

2 **ダビングの方向**

3 **ダビング先の残量（目安）**

4 **ダビングする順番**

5 **タイトルの種類/マーク**

NEW ：再生したことがないタイトルに表示されます。

PL ：プレイリスト（オリジナルタイトルから作られた仮想映像）

DRなど：録画モード（DR/XR/XSR/SR/LSR/LR/ER）（HDD/BD の場合）
録画モード（XP/XSP/SP/LSP/LP/EP）（DVD の場合）

GG ：Gガイド

1→（ムーブ）：BD-REやBD-R、CPRM対応のDVD-RW（VRモード）、DVD-R（VRモード）にのみダビングできるタイトル。ダビングすると元のメディアからはなくなります。

DVD：CPRM対応のDVD-RW（VRモード）、DVD-R（VRモード）にのみ移動（ムーブ）可能なタイトル。

（ムーブ不可）：他のメディアにダビングできないタイトル

（更新）：更新録画したタイトル

（プロテクト）：保護されているタイトル

6 **ボタン**

実行：タイトルダビングを実行します。

中止：タイトルダビング画面を中止します。

全選択解除：ダビング対象に選んだタイトルをすべて取り消します。

自動調整：ディスクの残量に応じてダビングモードを調整します。

移動（ムーブ）について

HDD ➡ BD-RE/BD-R/-RW VR/-R VR

「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が含まれている映像（デジタル放送）は、HDDからBD-RE、BD-R、DVD-RW（VRモード）、DVD-R（VRモード）*へのみ移動させることができます（移動が終了すると、HDD内の元の映像は消去されます）。「移動」はダビングと同じ手順で行います（168ページ）。「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が含まれているタイトルには1→マークが付いています。また、DVD-RW（VRモード）、DVD-R（VRモード）にのみ移動できるタイトルには DVD が付いています。

- HDD内の次のタイトルは移動できません。
  －保護されているタイトル
  －プレイリストタイトル
  －プレイリストから参照されているオリジナルタイトル
- BD/DVDに移動したタイトルをHDDに戻すことはできません。
- 外部入力からHDDに録画した「1回だけ録画可能」の番組は、CPRM対応のDVD-RW（VRモード）とDVD-R（VRモード）にのみムーブできます。BD-REやBD-Rにはムーブできません。
- 移動（ムーブ）を途中で停止した場合、タイトルはHDDに残り、BD/DVDには残りません。ただし、BD-R/DVD-R（VRモード）のときは、BD/DVDの残量が減りますのでご注意ください。

* CPRM対応のDVD-RW（VRモード）、DVD-R（VRモード）のみ。
CPRM（Content Protection for Recordable Media）とは、著作権を保護するために映像素材を暗号化する技術です。

ファイナライズについて

+RW -RW VR -RW Video +R -R VR -R Video

ファイナライズとは、本機で録画したDVD を他のDVD 機器で再生可能なデータ配列にすることです。DVD+RWやDVD-RWでダビングを行うと自動的にファイナライズを行います。
ダビング時にファイナライズしなかったディスクは後でファイナライズのみ行うことができます。

1 ホーム を押す。

2 を選ぶ。

3 ↑↓で を選び、オプション を押す、

4 ↑↓で[ファイナライズ]を選び 決定 を押す。

ファイナライズの解除について

-RW Video

ファイナライズされているDVD-RW（ビデオモード）に映像を追記しようとした場合、ファイナライズ解除作業が自動的に行われます。

ちょっと一言

- DVDのオプションに[ファイナライズ]が選べる状態であれば、DVDはまだファイナライズされません。
- ファイナライズされていないディスクは、ディスクのオプションで[ファイナライズ]が表示されます。

BDやDVDの映像を本機に取り込む

HDD BD-RE BD-R +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo AVCHD

BDやDVDに記録されている映像を、本機のHDDに取り込むことができます。

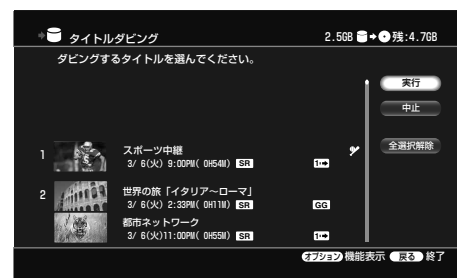
1 本機にディスクを入れる。

2 ホーム を押す。

3 ←→で ビデオ を選ぶ。

4 ↑↓で （ディスクダビング）を選び、決定 を押す。

5 ↑↓で （BD/DVD→HDDダビング）を選び、決定 を押す。

6 ↑↓でダビングしたいタイトルを選び、決定 を押す。

7 ↑↓←→で［実行］を選び、決定 を押す。
ダビングが開始されます。

ちょっと一言

- BD-RE、BD-R、DVD-RW（VRモード）、DVD-R（VRモード)のプレイリストタイトルは、オリジナルタイトルとしてダビングされます。
- BDやDVDからHDDにダビングする場合、BDやDVDの映像サイズはそのままダビングされます。DVDの音声で第1音声、第2音声があるときは、第1音声のみダビングされることがあります。
- 市販のBD-ROMやDVDビデオから本機のHDDにダビングすることはできません。

ダビングモードについて

本機はダビング時の録画モードを「ダビングモード」と表示します。以下を読んで所要時間やディスク容量、画質に合わせてお選びください。

すばやくダビングする(高速ダビング)

HDD ⇔ BD-RE/BD-R

HDDとBDの間で録画モードを変えずに高速でダビングできます。また、AVCHDで記録されたDVDからHDDに高速でダビングできます。

タイトルダビングやタイトルダビング時の[ダビングモード]で、[高速]を選んで実行します(173ページ)。ダビングの所要時間は209ページをご覧ください。

録画モードを変えてダビングする(録画モード変換ダビング)

HDD → BD-RE/BD-R

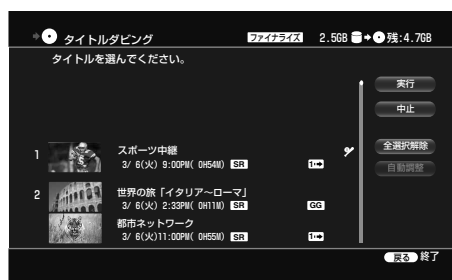
HDD ⇔ +RW/-RW VR/-RW Video/+R/-R VR/-R Video

HDDからDVDやBD、またはDVDからHDDへ、ダビング元とは異なる録画モードを設定してダビングします。たとえば、高画質でデータ量の多いXRで録画したタイトルを、データ量の少ないSPに設定して変換ダビングすると、少ないディスク容量でたくさん保存できます。

ディスクの残量に応じてダビングモードを自動調整する

HDD → BD-RE/BD-R/+RW/-RW VR/-RW Video/+R/-R VR/-R Video

ディスク残量が不足しているときのみ、[自動調整]が選べます。

「録画した映像をBDやDVDにダビングする(タイトルダビング)」(168ページ)の手順6を終えたあと、↑↓←→で[自動調整]を選び、(決定)を押す。

ディスクの残量に応じて本機がダビングモードを自動的に調整します。変更後のダビングモードが画面に表示されます。

ちょっと一言

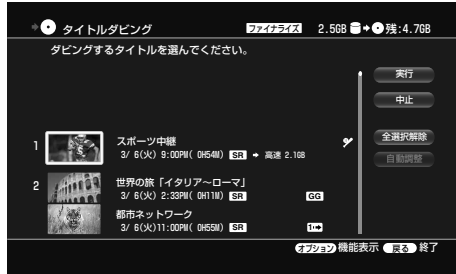
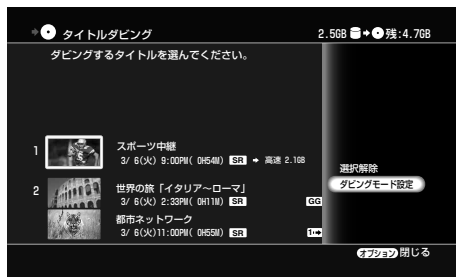
- BDやDVD-RW(VRモード)、DVD-R(VRモード)ではDVDメニューが作成されません。
- 編集後のタイトルを高速ダビングすると、消去した画像が残ることがあります。
- AVCHD で記録されたDVD からHDD へのダビングでは、録画モードを変更できません。
- HDDにDRモードで録画したデジタル放送の字幕をダビングしてBD/DVDに焼きこむには、[ビデオ設定]の[字幕焼きこみ]を[入]にして、ダビングしてください(185ページ)。なお、字幕を焼きこんだ映像から字幕を削除することはできません。

ご注意

- 高速ダビング中にダビングを途中で停止した場合、タイトルはHDDに残り、BDには残りません。ただし、BD-Rのときは残量が減りますのでご注意ください。
- 録画モード変換ダビングで、ダビング元の録画モードより高画質の録画モードに変換しても画質は良くなりません。
- 再生時間が短いタイトルを録画モード変換ダビングすると、正しくダビングされないことがあります。
- DVD(AVCHD以外)→HDDダビング時は、高速ダビングできません。

タイトルごとにダビングモードを変更するには

HDD ➡ BD-RE/BD-R
HDD ➡ +RW/-RW VR/-RW Video/+R/-R VR/-R Video

1 「録画した映像をBDやDVDにダビングする（タイトルダビング）」（168ページ）の手順6を終えたあと、オプションを押す。

2 ↑↓で［ダビングモード設定］を選び、決定を押す。

3 ↑↓でダビングモードを選ぶ。

高速*/XR/XSR/SR/LSR/LR/ERから好みのダビングモードを選びます。HDDからDVDへダビングするときは、XP/XSP/SP/LSP/LP/EPから選びます。

* HDDからBDへのダビング時のみ表示されます。

4 ←→で［設定］を選び、決定を押す。

5 ←→で［実行］を選び、決定を押す。

デジタル放送の「1回だけ録画可能」の映像（タイトル）を選んだ場合は、確認画面が表示されます。［はい］を選び、決定を押します。

ダビングする信号を設定するには

複数の映像または音声が記録されているタイトルのみ設定できます。DRモードで録画したタイトルを、録画モード変換ダビングするときに行います。

1 「録画した映像をBDやDVDにダビングする（タイトルダビング）」（168ページ）の手順6を終えたあと、オプションを押す。

2 ↑↓で［ダビングモード設定］を選び、決定を押す。

3 ダビングモードを［高速］以外のモードにして、↑↓←→で［設定］を選び、決定を押す。

4 ↑↓で［信号選択］を選び、決定を押す。

信号選択画面に切り換わります。

5 ←→で［映像］または［音声］を、↑↓でダビングする信号を選び、決定を押す。

6 ←→で［確定］を選び、決定を押す。

7 ←→で［実行］を選び、決定を押す。

デジタル放送の「1回だけ録画可能」の映像（タイトル）を選んだ場合は、確認画面が表示されます。［はい］を選び、決定を押します。

ダビングを途中でやめるときは

ダビング進捗画面で［停止］を選び決定を押し、確認画面で［はい］を選び、決定を押します。ダビングが止まるまでに数十秒かかることがあります。

ダビングの状態によっては通常よりも時間がかかる場合があります。

ダビングを途中でやめると、DVD-R、DVD+R、DVD-RW（ビデオモード）ではファイナライズされません。必要に応じて、オプションメニューからファイナライズを実行してください。

ちょっと一言

- ダビング先の残量や管理情報が不足しているときは、ダビング実行時に「残量が足りないためダビングできません。」と画面に表示されます。
- ダビングモードを調整することによりダビングが可能になる場合は、「ダビングモードを自動調整して実行しますか？」と表示されます。この画面で［はい］を選ぶと、ダビング先の残量に合わせてダビングモードの設定を自動で変更してダビングします。タイトルダビング画面で［自動調整］を選んで決定を押しても、ダビングモードの自動調整ができます。
- 編集して作られたタイトルで録画モード変換ダビングをすると、シーンの継ぎ目がなめらかになります。

次のページにつづく⇨

タイトルダビング画面でオプションボタンを押したときにできること

使用状況によって表示されるオプションが異なります。

項目	できること
ダビングモード設定	ダビングモードを設定します（173ページ）。
信号選択	録画モードをDRモードから変換するときにダビングする信号を設定します。
選択解除	タイトルの選択を解除し、ダビング選択リストから消去します。
選択	タイトルを選択します。

DVDをまるごとコピーする（まるごとDVDコピー）

+RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo AVCHD

DVDビデオカメラで撮影した映像が記録された8cm DVDや、お気に入りの映像を記録した12cm DVDを高速で、かんたんに12cm DVDにコピーできます。

1 開/閉（開/閉）を押してディスクトレイを開け、コピーしたい録画済みのDVD（ファイナライズ済みのディスク）を入れる。
もう一度 開/閉（開/閉）を押して、ディスクトレイを閉めます。

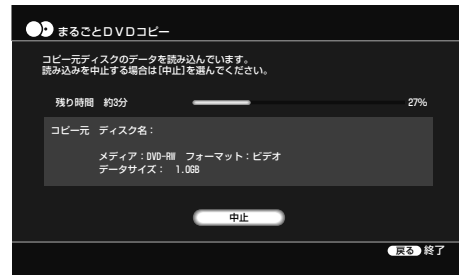
2 ホーム を押す。

3 ←→で を選ぶ。

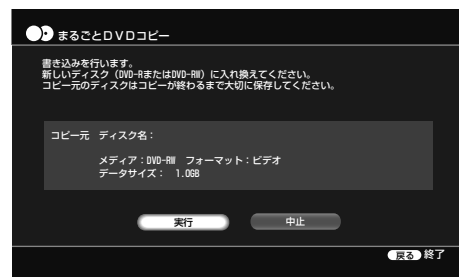
4 ↑↓で （ディスクダビング）を選び、決定 を押す。

5 ↑↓で （まるごとDVDコピー）を選び、決定 を押す。

まるごとDVDコピー読込画面が表示されます。

6 ←→で[実行]を選び、決定 を押す。
まるごとDVDコピー読込実行中画面が表示され、ディスクの読み込みが始まります。

読み込みが終わると、メッセージが表示されます。

7 コピー元のDVDを取り出して新しいDVDを入れる。
新しいディスクが認識されるとディスク認識のメッセージが表示されます。
DVD-RWの記録済みディスクを入れると、記録されているデータがすべて消去されるというメッセージが表示されます。

8 ←→で[実行]を選び、決定 を押す。

まるごとDVDコピー書込実行中画面が表示され、ディスクへのコピーが始まります。
コピーが完了すると、終了確認画面が表示されます。

ちょっと一言

DVDビデオカメラで記録した写真や5.1ch音声をそのままコピーできます。

ご注意

- 次の場合、DVDをコピーすることはできません。
  - HDDの空き容量がコピーしたいDVDの容量より少ない場合
  - 録画実行中の場合
  - 映画などの市販ソフト
  - 「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が含まれている映像（デジタル放送など）を録画したことがあるDVD
  - ファイナライズされていないDVD
- コピーするDVDのメディアの種類が異なる場合、容量が微妙に異なることがあるため、コピーできないことがあります。
- コピー先のDVDがDVD+R/-Rの場合、書き出しを途中で中止するとそのディスクは使えなくなります。

次のページにつづく⇨

複数のDVDにコピーするときは

まるごとDVDコピーの終了確認画面で［継続］を選び、(決定) を押します。新しいディスクに入れ換えて、「DVDをまるごとコピーする（まるごとDVDコピー）」の手順7を行ってください。

本機でコピーできるDVDについて

DVDコピーは読み込み元のディスクの種類により、書き込み先のディスクが異なります。次の表をご覧になり、最適なディスクを選んでください。
書き込み先のディスクにDVD-RまたはDVD+Rを使う場合、必ず新品（未フォーマット）のディスクを使用してください。

コピー可能なDVDの種類

読み込み元	書き込み先
DVD-R	DVD-R
DVD-RW	DVD-R または DVD-RW
DVD+R	DVD+R
DVD+R DL	DVD+R DL
DVD+RW	DVD+R または DVD+RW

また、ディスクのサイズによって書き込み先のディスクが異なります。
次の表をご覧になり、最適なディスク*[1]を選んでください。

読み込み元のディスクサイズ	書き込み先のディスクサイズ
12cm　シングルレイヤー	12cm　シングルレイヤー
12cm　デュアルレイヤー	12cm　デュアルレイヤー *[2]
8cm　シングルレイヤー	12cm　シングルレイヤー
8cm　デュアルレイヤー	12cm　シングルレイヤー 12cm　デュアルレイヤー *[2]

*[1] 読み込み元と書き込み先ディスクのメーカーが異なるとコピーできない場合があります。
*[2] DVD+Rのみ

「まるごとDVDコピー」は、本機で記録したDVDおよび、ソニー製DVDデジタルビデオカメラレコーダーで記録したDVDでのみ行えます。
他の機器で記録したDVDがデータディスクの場合、「まるごとDVDコピー」ができない場合もあります。
他の機器で記録したDVDで本機能が動作しない場合は、タイトルダビングを行ってください。

本機の設定を変更する

設定画面でチャンネルや画質・音質などのさまざまな設定ができます。

1 テレビの入力を本機を接続した入力に切り換える。

2 ホーム を押す。

3 ←→で 設定 を選ぶ。

4 ↑↓で設定したい項目を選び、決定 を押す。

各設定項目の詳細については、右の設定カテゴリー一覧に記載されているページをご覧ください。

設定カテゴリー一覧

アイコン	説明
	お問い合わせ（178ページ） 商品の修理やお取り扱い方法などの問い合わせ先が表示されます。
	お知らせ（178ページ） 本機や放送局からのお知らせメールや有料番組の購入概算額などをご確認いただけます。
	放送受信設定（179ページ） 受信設定やチャンネル設定などを行います。
	ビデオ設定（184ページ） 録画の詳細設定を行います。
	映像設定（185ページ） 接続した端子にあわせた映像設定などを行います。
	音声設定（187ページ） 接続した端子にあわせた音声設定などを行います。
	フォト設定（188ページ） スライドショーの効果などを設定します。
	本体設定（189ページ） 本体全般の設定を行います。
	BD/DVD視聴設定（190ページ） BDやDVDを視聴するときの詳細設定を行います。
	通信設定（191ページ） 電話回線やネットワークなど通信の詳細設定を行います。
1·2·3	**かんたん設定**（40ページ） 基本的な設定を順に行います。
	設定初期化（195ページ） 出荷時の状態に戻します。

設定を変更する

次のページにつづく⇨

お問い合わせ

お問い合わせ	商品の修理やお取り扱い方法などの問い合わせ先が表示されます。

お知らせを見る（お知らせ）

メール **放送メール**	放送局からお客様へのお知らせのメールを見ることができます。 **ご注意** 受信してから14日以上経ったメールは、未開封でも自動的に削除されます。 **メールマークの意味** （既読）：すでに読んだメール （未読）：まだ読んでいないメール メールはお客様自身で削除できません。
メール **自己メール**	予約や録画、ダビングから結果、ダウンロードのお知らせなど、本機が発行したメールを見ることができます。
ボード	110度CSデジタル放送から利用者全員への共通のお知らせや番組案内などを見ることができます。
購入合計	先月分と今月分の有料番組の購入概算額を確認できます。
ルートCA証明書	見たいルートCA証明書を選び、決定 を押すと、詳細が表示されます。 選んだルートCA証明書を削除するには、[削除]を選び、決定 を押します。

受信する放送の設定を行う（放送受信設定）

お買い上げ時の設定は、下線がついている項目です。

ご注意

チャンネル設定を変更すると、変更前に登録した録画予約が正しく行われないことがあります。チャンネル設定を変更した場合は、録画予約を登録し直してください。

項目	設定内容
地上デジタルチャンネル設定 受信している地上デジタル放送の選局方法などが設定できます。	［**アップダウン選局**］ リモコンのチャンネル＋/－ボタンで選局できるようにします。 **必ず選局**：［ワンタッチ選局］が選ばれているときに設定されます。チャンネル＋/－で選局できます。 **選局する**：チャンネル＋/－で選局できるようになります。 **選局しない**：チャンネル＋/－で選局できません。［選局しない］を選んだチャンネルは番組表にも表示されません。 ［臨時チャンネル］と表示されているときは、［選局する］や［選局しない］に変更することができません。 すべてのチャンネルを選局したいときや全く選局したくないときは、画面右側の［全選択］や［全選択解除］を選んでください。 ［全選択］を選ぶと、［ワンタッチ選局］の設定は工場出荷時の状態に戻ります。また、［全選択解除］を選ぶと、［ワンタッチ選局］の設定も全て解除されます。 ［**ワンタッチ選局**］ リモコンの数字ボタンに、お好みのチャンネルを登録することができます。 **1 ↑↓で登録したいチャンネルの行を選び、決定 を押す。** **2 ←→で［ワンタッチ選局］を選ぶ。** **3 ↑↓または数字ボタンで登録したい番号を選び、決定 を押す。** ワンタッチ選局を登録すると、［アップダウン選局］の設定が［必ず選局］になります。
地上デジタルチャンネルスキャン かんたん設定（40ページ）を行うと地上デジタル放送のチャンネルが設定されます。ただし、県域が変わった場合や、他にも受信できるチャンネルがある場合には、チャンネルスキャンをやり直してください。	**1 県域に変更があるときは、↑↓で［県域］にお住まいの地域を選び、→を押す。** **2 ［初期スキャン］または［再スキャン］を選び、決定 を押す。** **初期スキャン**：全チャンネルを再設定します。 **再スキャン**：新しく受信できたチャンネルが追加されます。県域を変更した場合は選べません。 チャンネルスキャンが終わると、スキャン結果画面が表示されます。 **ちょっと一言** 地上デジタル放送のチャンネルが増減した場合、チャンネルの再スキャンが必要になります。電源を入れたときに表示される指示にしたがってください。スキャンを行った後は、録画予約が正しく行われないことがありますので、予約を設定し直してください。
地上デジタル受信方法 地上デジタル放送をUHFアンテナまたはケーブルテレビのどちらの放送経由で受信するかを設定します。	<u>UHF</u>：地上デジタル放送対応のUHFアンテナをつないでいるときに選びます。 CATV：ケーブルテレビ経由で地上デジタル放送を受信するときに選びます。
地上デジタルアンテナレベル 地上デジタル放送の受信状態を確認できます。	**1 決定 を押す。** **2 ↑↓で受信状態を見たいチャンネルを選ぶ。** **3 受信状態を確認しながら、アンテナの向きを調整する。**

次のページにつづく⇨

BSデジタルチャンネル設定 受信しているBSデジタル放送の選局方法などが設定できます。	［**アップダウン選局**］ リモコンのチャンネル＋/－ボタンで選局できるようにします。 **必ず選局**：［ワンタッチ選局］が選ばれているときに設定されます。チャンネル＋/－で選局できます。 **選局する**：チャンネル＋/－で選局できるようになります。 **選局しない**：チャンネル＋/－で選局できません。［選局しない］を選んだチャンネルは番組表にも表示されません。 「臨時チャンネル」と表示されているときは、［選局する］や［選局しない］に変更することができません。 すべてのチャンネルを選局したいときや全く選局したくないときは、画面右側の［全選択］や［全選択解除］を選んでください。 ［全選択］を選ぶと、［ワンタッチ選局］の設定は工場出荷時の状態に戻ります。また、［全選択解除］を選ぶと、［ワンタッチ選局］の設定も全て解除されます。 ［**ワンタッチ選局**］ リモコンの数字ボタンに、お好みのチャンネルを登録することができます。 **1 ↑↓で登録したいチャンネルの行を選び、決定 を押す。** **2 ←→で［ワンタッチ選局］を選ぶ。** **3 ↑↓または数字ボタンで登録したい番号を選び、決定 を押す。** ワンタッチ選局を登録すると、［アップダウン選局］の設定が［必ず選局］になります。
CSデジタルチャンネル設定 受信している110度CSデジタル放送の選局方法などが設定できます。	［**アップダウン選局**］ リモコンのチャンネル＋/－ボタンで選局できるようにします。 **必ず選局**：［ワンタッチ選局］が選ばれているときに設定されます。チャンネル＋/－で選局できます。 **選局する**：チャンネル＋/－で選局できるようになります。 **選局しない**：チャンネル＋/－で選局できません。［選局しない］を選んだチャンネルは番組表にも表示されません。 ［臨時チャンネル］と表示されているときは、［選局する］や［選局しない］に変更することができません。 すべてのチャンネルを選局したいときや全く選局したくないときは、画面右側の［全選択］や［全選択解除］を選んでください。 ［全選択］を選ぶと、［ワンタッチ選局］の設定は工場出荷時の状態に戻ります。また、［全選択解除］を選ぶと、［ワンタッチ選局］の設定も全て解除されます。 ［**ワンタッチ選局**］ リモコンの数字ボタンに、お好みのチャンネルを登録することができます。 **1 ↑↓で登録したいチャンネルの行を選び、決定 を押す。** **2 ←→で［ワンタッチ選局］を選ぶ。** **3 ↑↓または数字ボタンで登録したい番号を選び、決定 を押す。** ワンタッチ選局を登録すると、［アップダウン選局］の設定が［必ず選局］になります。
BS/CSデジタルアンテナレベル 受信中のBS・110度CSデジタル放送の受信状態を確認できます。アンテナレベルができる限り最大値に近くなるように、アンテナの向きを調整してください。	BS・110度CSデジタル放送の画像がテレビに映った状態で、必要に応じて［最大値］の数字がより大きくなるようにBS・110度CSアンテナを動かして固定します。 **ちょっと一言** • 「BS/CSデジタルアンテナレベル」は、アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信C/Nの換算値を表します。 • リモコンの BS、CS を使って、BS/CSのアンテナレベルの表示を切り換えることができます。

設定を変更する

BS/CSデジタルアンテナ電源 BS・110度CSアンテナへの電源供給を設定します。	**自動**：本機の電源を入れたときに、本機が衛星アンテナに電源を供給します。本機の電源が切れているときは供給しません。 **切**：電源を供給しません。 **ちょっと一言** [自動]に設定しているときに、接続したアンテナのショートを検出すると電源供給を停止します。再度[自動]に設定するには、本機の電源を入れ直してください。
BS/CSデジタル視聴年齢制限 視聴年齢制限付き番組の年齢制限を設定します。制限した放送は、[暗証番号設定](190ページ)で設定した暗証番号を入力しないと、視聴できません。	**1 [暗証番号設定]で設定した4桁の暗証番号を入力し、決定 を押す。** **2 制限年齢を選び、決定 を押す。** 暗証番号を忘れたときは[BD/DVD視聴設定]の[DVD視聴年齢制限]または[BD視聴年齢](190ページ)をご覧ください。 **ちょっと一言** 暗証番号はBDまたはDVDの視聴制限用の番号と同じですが、BS・110度CSデジタル放送、BD、DVDそれぞれに制限レベルを設定することができます。BDまたはDVDの視聴制限を設定するには、190ページをご覧ください。
デジタル放送地域設定 地域特有の放送を受信できるように、郵便番号と県域を設定します。	**1 [郵便番号]を選び、決定 を押す。** **2 ↑↓←→または 1～10 で7桁の郵便番号を入力し、決定 を押す。** **3 [県域]を選び、決定 を押す。** **4 ↑↓でお住まいの地域を選び、決定 を押す。** **ご注意** お住まいの地域の郵便番号7桁を正しく入力してください。間違った郵便番号を入れると、お住まいの地域に密着した情報が受信できなかったり、お住まいでない地域の番組情報を誤って受信してしまいます。
文字スーパー表示 地域情報や速報など、映像に連動しない文字情報を「文字スーパー」と呼びます。文字スーパー放送は最大2言語の放送が行われます。	**切**：文字スーパーを表示しません。 **第一言語**：文字スーパー放送が行われているときに、第一言語の文字スーパーを表示します。 **第二言語**：文字スーパー放送が行われているときに、第二言語の文字スーパーを表示します。 **ご注意** 放送局側で文字スーパーを消せない設定にしている番組では、[切]に設定しても文字スーパーを消せません。
地上アナログチャンネル設定 地上アナログのチャンネル設定では右の6項目が設定できます。	[表示CH](表示チャンネル) 受信している放送のチャンネル番号表示を、お使いのテレビや新聞のテレビ欄などの表示に合わせることができます。 **1 ↑↓で変更したい放送の行を選び、決定 を押す。** **2 ←→で[表示CH]を選ぶ。** **3 ↑↓で番号を選び、決定 を押す。** 選んだ番号が放送のチャンネル番号表示になります。 **ご注意** • 録画予約が設定されているときに、表示チャンネルを変更しないでください。変更すると、録画予約が正しく行われないことがあります。 • 表示CHを--に設定すると、そのCHが受信できなくなります。 [受信CH](受信チャンネル) 本機で受信する放送を変更することができます。 **1 ↑↓で変更したい放送の行を選び、決定 を押す。** **2 ←→で[受信CH]を選ぶ。** **3 ↑↓で受信したいチャンネル番号を選び、決定 を押す。**

設定を変更する

次のページにつづく⇨

<table>
<tr><td>地上アナログチャンネル設定
（つづき）</td><td>［放送局］
受信している放送の放送局名を設定することができます。放送局名を正しく設定しない場合合、アナログ番組表が正しく表示されなくなります。「Gガイド地域番号・放送局表」（47ページ）をご覧になり、正しい放送局名を設定してください。
1 ↑↓で変更したい放送の行を選び、決定 を押す。
2 ←→で［放送局］を選ぶ。
3 ↑↓で放送局名を選び、決定 を押す。
放送局名は「Gガイド地域番号・放送局表」（47ページ）をご覧になり、お住まいの地域にあった放送局名を必ず選んでください。
［番号入力］を選ぶと、ガイドチャンネルの番号を直接入力することができます。

［アップダウン選局］
リモコンのチャンネル＋/－ボタンで選局できるようにします。Gガイドのホスト局（「Gガイド地域番号・放送局表」（47ページ）の●の付いている放送局）を［しない］にすると、番組表データが正しく表示できなくなります。
1 ↑↓で変更したい放送の行を選び、決定 を押す。
2 ←→で［アップダウン選局］を選ぶ。
3 ↑↓で項目を選び、決定 を押す。
<u>する</u>：リモコンのチャンネル＋/－で選局できるようになります。
しない：チャンネル＋/－で選局できません。［しない］を選んだチャンネルは番組表にも表示されません。
［全選択］を選ぶと、［ワンタッチ選局］の設定は工場出荷時の状態に戻ります。また、［全選択解除］を選ぶと、［ワンタッチ選局］の設定も全て解除されます。

［ワンタッチ選局］
リモコンの数字ボタンに、お好みのチャンネルを登録することができます。
1 ↑↓で変更したい放送の行を選び、決定 を押す。
2 ←→で［ワンタッチ選局］を選ぶ。
3 ↑↓または数字ボタンで登録したい番号を選び、決定 を押す。

［微調整］
受信している画像を見ながら、受信状態を微調整することができます。
1 ↑↓で微調整したい放送の行を選び、決定 を押す。
2 ←→で［微調整］を選ぶ。
3 ↑↓で項目を選び、決定 を押す。
<u>自動</u>：画像を自動的に調整します。
手動：受信状態の微調整を手動で行います。地上アナログ微調整画面が表示されますので、←→で画面を見ながら画像がきれいに映るように調整し、決定 を押します。</td></tr>
<tr><td>地上アナログチャンネルスキャン</td><td>［実行］を選び 決定 を押すと、［地域番号設定］（183ページ）で設定した地域のチャンネルを自動で設定します。</td></tr>
<tr><td>地上アナログ自動ステレオ受信
ステレオ放送を受信したときに、自動的にステレオ音声に切り換えるための設定です。</td><td><u>入</u>：ステレオ放送をステレオで出力します。通常はこの設定にします。
切：ステレオ放送でもモノラルで出力します。雑音が多いときにこの設定にします。</td></tr>
</table>

Gガイド設定 Gガイド(地上アナログ番組表)の設定をします。	[地域番号設定] 本機の地上アナログ番組表を利用するには、お住まいの地域の地域番号を設定して、その地域の番組表を表示させる必要があります。 どの地域番号を選べばよいかわからなくなったときは、お住まいの地域の放送局をより多く含んでいる地域番号(「Gガイド地域番号・放送局表」、47ページ)を選んでください。お住まいの地域の放送局は新聞のテレビ欄などで確認できます。 **1** ↑↓で[地域番号設定]を選び、決定 を押す。 **2** ↑↓でお住まいの地域に近い地域を選び、決定 を押す。 [番組表取得設定] お住まいの地域により、地上アナログ番組表データの取得チャンネルと取得時刻が異なります。かんたん設定を行うと、自動的に地域ごとの取得チャンネルと取得時刻が設定されます。 誤った放送局(ホスト局)を指定すると、番組情報を正しく受信できなくなりますので、放送局からのお知らせがない限り、変更しないでください。 **1** ↑↓で[番号表取得設定]を選び、決定 を押す。 **2** ↑↓で[取得チャンネル]または[取得時刻1]、[取得時刻2]、[取得時刻3]、[取得時刻4]、[取得時刻5]を選び、決定 を押す。 **3** ↑↓でチャンネル番号または項目を選び、決定 を押す。 **自動**:取得時刻にx-おまかせ・まる録があるときは、x-おまかせ・まる録を優先し、番組表データを取得しません。 **取得する**:取得時刻にx-おまかせ・まる録があっても、番組表データを取得します。x-おまかせ・まる録は実行されません。 **ご注意** • 電源を「切」にしておかないと地上アナログ番組表が取得できません。 • [取得チャンネル]は、ホスト局の都合でデータを送信する放送局(ホスト局)が変更になったとき以外は、手動で変更しないでください。誤って変更すると、番組表を取得できなくなります。 • 本機ではじめて地上アナログ番組表データを受信するまでは、電源を切った状態で1日(24時間)程度かかります。電源コードは抜かないでください。いったん地上アナログ番組表を受信した後は、1日数回ホスト局から送られてくる地上アナログ番組表データを受信するたびに、地上アナログ番組表を更新します。1回の地上アナログ番組表データの受信には、数十分ほどかかります。 • 電波状況によっては、地上アナログ番組表データを受信できない場合があります。また、気象条件などにより、地上アナログ番組表データを受信/更新できないこともあります。これらの場合、地上アナログ番組表は空欄になります。地上アナログ番組表について詳しくは、80ページをご覧ください。 • 本機の日付と時刻が正しく設定されていないと、地上アナログ番組表データを受信/更新できません。時刻の設定について詳しくは189ページをご覧下さい。 • 放送局側の都合により、地上アナログ番組の内容や放送時間が変更になることがあります。本機での予約は、放送局側の都合による変更には対応できません。 • 引越した場合は、受信する放送局が同じであっても、最適な地上アナログ番組表データの受信のためにかんたん設定をやり直すことをおすすめします(40ページ)。

次のページにつづく⇨

録画・再生の設定をする（ビデオ設定）

お買い上げ時の設定は、下線がついている項目です。

項目	設定
自動チャプターマーク 録画やダビング中に自動でチャプターを区切るかどうかを設定します。	**入**： BDZ-L70/T70の場合 「録画1」で録画したときは、画面と音声の変化を捉えて自動的にチャプターを区切ります。「録画2」で録画したときは、約6 分間隔でチャプターを区切ります。 BDZ-T50の場合 DRモード以外で録画したときは、画面と音声の変化を捉えて自動的にチャプターを区切ります。DRモードで録画したときは、約6分間隔でチャプターを区切ります。 **おまかせチャプターのみ**： BDZ-L70/T70の場合 「録画1」で録画したときは、画面と音声の変化を捉えて自動的にチャプターを区切ります。その他の場合では、自動でチャプターを区切りません。 BDZ-T50の場合 DRモード以外で録画したときは、画面と音声の変化を捉えて自動的にチャプターを区切ります。DRモードで録画したときは、自働でチャプターを区切りません。 **切**：録画時に、自動でチャプターを区切りません。 **ご注意** • 録画する動画の情報量によっては、実際に区切られるチャプターの間隔が異なることがあります。 • この設定が[入]または[おまかせチャプターのみ]の場合、HDDへのHDV/DVダビングでは、テープ上の１回の撮影ごとに、その先頭にチャプターマークが自動的に入ります（150ページ）*。 • DVDへのダビングの場合、ハードディスクからDVD+R DLのディスクのみ対応しています。
スポーツ延長対応 スポーツ延長対応（98ページ）で延長時間の情報が番組表にないときの録画延長時間を設定します。	**30分**：30分延長します。 **60分**：60分延長します。 **120分**：120分延長します。 **切**：録画時間を延長しません。
番組追跡録画 番組放送の開始時刻や終了時刻が変更になった場合、時刻変更に合わせて録画時間を自動で修正します。	**入**：録画時間を自動的に修正します。 **切**：録画時間を自動的に修正しません。
ダイジェスト設定 ダイジェスト再生の再生時間を映像（タイトル）のジャンルごとに設定できます。 タイトルのダイジェスト再生の設定を変更したいときは、[ダイジェスト設定]画面から行ってください（113ページ）。	**1** ↑↓で再生時間を変更したいジャンルを選び、決定 を押す。 **2** ↑↓で再生時間を選び、決定 を押す。 **長め**：ダイジェストをじっくり見たいときに設定します。 **少し長め**：通常よりも少し長めのダイジェストが再生されます。 **おすすめ**：適度な長さのダイジェストが再生されます。 **少し短め**：通常よりも少し短めのダイジェストが再生されます。 **短め**：短時間でダイジェストを再生したいときに設定します。 **ご注意** ダイジェスト再生を利用するときは、DRモード以外の録画モードで録画してください（BDZ-T50のみ）。
二重音声記録 DRモード以外でHDD/BDへ録画するときの音声を設定します。HDD内のDRモードのタイトルを、BDやDVDに録画モード変換ダビングするときの音声も設定します。	**主音声**：主音声で録音します。 **副音声**：副音声で録音します。 **ちょっと一言** 外部入力音声を録画するときは、「外部チューナーやビデオデッキから録画する」（104ページ）をご覧ください。

* BDZ-L70のみ

外部入力録画横縦比 外部入力(入力1/入力2/入力3*)録画時の映像サイズを設定します。	16：9：16：9の横縦比で録画します。 4：3：4：3の横縦比で録画します。
DV入力録画横縦比 (BDZ-L70のみ) DV入力録画時の映像サイズを設定します。	16：9：16：9の横縦比で録画します。 4：3：4：3の横縦比で録画します。
字幕焼きこみ デジタル放送の字幕放送をDR以外の録画モードで録画やダビングするときに、字幕(第一言語)を映像の中に焼きこむかどうかを設定します。字幕を焼きこんだ映像から字幕を削除することはできません。	入：字幕(第一言語)を焼きこみます。 切：字幕を焼きこみません。

* BDZ-L70のみ

映像の設定をする(映像設定)

お買い上げ時の設定は、下線がついている項目です。

テレビタイプ お使いのテレビの横縦比を選びます。	16：9：16：9のテレビとつなぐときに選びます。 4：3：4：3のテレビとつなぐときに選びます。
画面モード 画面の横縦比を維持して映像を表示するか、画面いっぱいに映像を表示するか設定します。	オリジナル：ワイドモード機能が搭載されているテレビとつなぐときに選びます。ワイドテレビでも4：3映像を常に16：9で表示します。 横縦比固定：映像の横縦比は維持したまま、映像サイズを変更します。
DVDワイド映像表示 16:9サイズの映像を記録したDVDを4:3画面のテレビで再生するときの画面サイズを設定します。 [映像設定]の[テレビタイプ]が[4：3]で、同時に[画面モード]が[横縦比固定]のときに有効な設定です。 横縦比が16：9のワイド映像を見るときに調整してください。	レターボックス：ワイド映像を横長のまま表示し、画面の上下は黒く表示します。 パンスキャン：ワイド映像の左右を自動的にカットしてテレビ画面全体に表示します。 **ご注意** DVDによっては[レターボックス]または[パンスキャン]に設定していても、自動的にどちらかで再生されるものがあります。
映像入力1 入力1端子からの入力映像信号の種類を選びます。	映像：映像端子でつないだときに選びます。 S映像：S映像端子でつないだときに選びます。
映像入力2(BDZ-T70/BDZ-T50のみ) 入力2端子からの入力映像信号の種類を選びます。	映像：映像端子でつないだときに選びます。 S映像：S映像端子でつないだときに選びます。
映像入力3(BDZ-L70のみ) 入力3端子からの入力映像信号の種類を選びます。	映像：映像端子でつないだときに選びます。 S映像：S映像端子でつないだときに選びます。

次のページにつづく⇨

シネマ変換モード HDMI出力端子またはD映像出力端子で接続していて、525p（480p）や750p（720p）、1125i（1080i）の信号を出力しているときに（30ページ）、映像の変換方法を設定します。映像にはビデオ素材（テレビドラマやアニメーション）とフィルム素材（映画フィルム）があり、ご覧になる映像に合わせて設定します。	**自動**：通常はこの設定にします。ビデオ素材とフィルム素材の違いを本機が検出し、自動的に素材に合わせた変換方法に切り換えます。 **ビデオ**：記録されている映像素材にかかわらず、常にビデオ素材用の変換方法で映像を変換します。
出力映像解像度設定 HDMI出力端子とD映像出力端子を同時に使う場合に、設定します。	**HDMI解像度優先**：HDMI出力端子とD映像出力端子を同時に使うときに、HDMI解像度設定に従って映像信号を出力します。 **D1/2/3/4設定優先**：HDMI出力端子とD映像出力端子を同時に使うときに、D1/2/3/4設定に従って、映像信号を出力します。この設定を選んだ場合、［HDMI解像度］は［自動］（お買い上げ時の設定）に設定されます（下記）。
HDMI解像度 HDMI出力端子からの映像信号の種類を選びます。	**自動**：通常はこの設定にします。また、［出力映像解像度設定］（上記）で［D1/2/3/4設定優先］を選んだ場合はこの設定になります。 テレビ側で受けられる最大の解像度で映像信号を 1125i（1080i）→750p（720p）→525p（480p）→525i（480i）の優先順位で出力します。 画像が乱れたときや不自然なとき、お好みに合わないときは、ディスクやお持ちのテレビ/プロジェクターなどに合わせて他の設定を試してください。詳しくは、テレビ/プロジェクターなどの取扱説明書もご覧ください。 HDMIケーブルで接続されたテレビの電源が入っているときに設定できる解像度だけが表示されます。 **525i（480i）**：525i（480i）の映像信号を出力します。 **525p（480p）**：525p（480p）の映像信号を出力します。 **1125i（1080i）**：1125i（1080i）の映像信号を出力します。 **750p（720p）**：750p（720p）の映像信号を出力します。
BD-ROM 1125（1080）/24p出力 お使いのテレビが1125（1080）/24pの映像信号に対応している場合に、設定します。	**自動**：1125（1080）/24pの映像信号を自動で出力します。 **切**：1125（1080）/24pの映像信号を出力しません。
HDMI映像出力フォーマット HDMI 出力端子からの映像信号の色空間変換を設定します。HDMI 出力を DVI 端子へ変換して PC モニター等へ接続した場合や、PC モニターの HDMI 出力端子に接続した際に色が不自然に見える場合に設定を変更してください。	**自動**：通常はこの設定にします。 **Y Cb Cr（4：2：2）**：Y Cb Cr を 4：2：2 の比率で色変換を行います。 **Y Cb Cr（4：4：4）**：Y Cb Cr を 4：4：4 の比率で色変換を行います。 **RGB（16-235）**：出力信号を RGB 16 ～ 235 の範囲で色変換を行います。 **RGB（0-255）**：出力信号を RGB 0 ～ 255 の範囲で色変換を行います。
x.v.Color情報出力 xvYCC 情報を接続したテレビやプロジェクターに送るかを設定します。 xvYCC に準拠した映像と x.v.Color 表示に対応したテレビやプロジェクターの組み合わせることで、自然界に存在する物体色をより忠実に再現することができます。	**自動**：通常はこの設定にします。 **切**：画像が乱れたときや色が不自然なとき設定します。
一時停止モード 一時停止にしたときの画像のモードを設定します。BD-ROMやAVCHD規格で記録されたディスクを再生する場合は、常に［自動］になります。	**自動**：通常はこの設定にします。動きの大きい被写体の画像がぶれずに表示されます。 **フレーム**：動きの少ない被写体の画像が高い解像度で表示されます。

音声の設定をする（音声設定）

お買い上げ時の設定は、下線がついている項目です。

項目	設定
HDMI音声出力 HDMIの音声信号の出力を設定します。	<u>自動</u>：通常はこの設定にします。［音声デジタル出力］の設定を基に、テレビやAVアンプで受けられる最適な音声信号を出力します。 PCM：音声信号を常に2チャンネルのリニアPCM信号にダウンミックスし、HDMI出力端子から出力します。 **ご注意** ドルビーデジタルやDTS、AACに対応しないテレビやAVアンプに本機をつないで［自動］を選ぶと、音が出ないことがあります。その場合は［PCM］を選んでください。
BD-ROM HD音声出力 HDMIからのドルビーデジタルプラス、ドルビー True HD、DTS-HDの音声信号の出力を設定します。	<u>自動</u>：ドルビーデジタルプラス、ドルビー True HD、DTS-HDの出力をする設定です。 切：「BD-ROM HD音声出力」を行いません。 **ご注意** • 「BD-ROM HD音声出力」に対応しているBD-ROMの再生時のみ、出力します。 • HDオーディオ*対応機器に接続している時のみ、出力します。 • HDオーディオ出力時は、デジタル音声出力、アナログ音声出力からは出力されません。 • HDMI画像解像度が1125i（1080i）/ 750p（720p）のときのみ、効果があります。 • ［HDMI音声出力］を［自動］に設定しているときのみ、効果があります。 * HDオーディオとはドルビーデジタルプラス、ドルビー True HD、DTS-HDです。
音声出力ATT 音声出力レベルを低くして、音の歪みを防ぎます。	入：音が歪まないように音声の出力レベルを低くします。 <u>切</u>：通常はこの設定にします。 **ご注意** デジタル音声出力、HDMI音声出力には効果がありません。
ドルビーデジタル ドルビーデジタル信号の出力方式を設定します。デジタル音声出力端子からの音声信号の出力を設定します。	<u>ダウンミックスPCM</u>：ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続しているときに選びます。5.1ch のサラウンド情報も付加されます。 ドルビーデジタル：ドルビーデジタルデコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選びます。
AAC AAC信号の出力方式を設定します。 デジタル音声出力端子からの音声信号の出力を設定します。	<u>ダウンミックスPCM</u>：AACデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続しているときに選びます。5.1ch のサラウンド情報も付加されます。 AAC：AACデコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選びます。
DTS DTS信号の出力方式を設定します。 デジタル音声出力端子からの音声信号の出力を設定します。	<u>ダウンミックスPCM</u>：DTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続したときに選びます。5.1ch のサラウンド情報も付加されます。 DTS：DTSデコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選びます。
48kHz/96kHz PCM デジタル音声出力端子からの音声信号の出力を設定します。	<u>48kHz/16bit</u>：96kHzPCMの音声を48kHz16bitで出力します。 96kHz/24bit：96kHzPCMの音声を96kHz24bitで出力します。ただし、著作権保護のための信号が含まれているときは、48kHz16bitで出力されます。 **ご注意** • 96kHzに対応していないアンプなどをつないでいるときに［96kHz/24bit］を選ぶと、音が出なかったり、突然大音量が出たりすることがあります。 • 音声信号が音声出力（左/右）端子から出力されるときは、この設定は影響しません。サンプリング周波数は96kHzなら96kHzのままアナログ信号に変換されて出力されます。

次のページにつづく⇨

オーディオDRC（BD/DVDのみ） [オーディオDRC]（Dynamic Range Control）では、オーディオDRC対応のBDやDVDの音量を下げて聞くときに、小さい音までよく聞こえるようにします。	**スタンダード**：通常はこの設定にします。 **テレビ**：小さい音までよく聞こえるようにします。特に、テレビのスピーカーを使って音を聞いているときに効果があります。 **ワイドレンジ**：迫力のある音になります。Hi-Fiのスピーカーを使うとさらに効果があります。 **ご注意** • オーディオDRC機能のないBDやDVDを再生しているときは効果がありません。 • [音声設定]の[ドルビーデジタル]が[ドルビーデジタル]に設定されている場合（187ページ）、デジタル音声出力 光端子から出力される音声には[オーディオDRC]の効果はありません。ただし、BDの場合[BD音声デジタル出力]を[ミックス]に設定してある場合は除きます。
ダウンミックス [ダウンミックス]では、左右リア信号やモノラルリア信号などのリアスピーカーの音声信号成分（チャンネル）を含むドルビーデジタルで記録されているタイトルを再生するとき、ダウンミックスの方式を切り換えます。	**ドルビーサラウンド**：ドルビーサラウンド（プロロジック）に対応しているオーディオ機器に接続しているときに選びます。ドルビーサラウンド（プロロジック）効果のかかった音声信号を2チャンネルに処理して出力します。 **ノーマル**：ドルビーサラウンド（プロロジック）に対応していないオーディオ機器に接続しているときに選びます。ドルビーサラウンド（プロロジック）効果のかかっていない音声信号を出力します。 **ご注意** [音声設定]の[ドルビーデジタル]が[ドルビーデジタル]に設定されている場合（187ページ）、デジタル音声出力 光端子から出力される音声には[ダウンミックス]の効果はありません。
BD音声デジタル出力 ドルビーデジタルまたはDTSで記録されてセカンダリーオーディオ・インタラクティブオーディオを含むBDを再生するとき、セカンダリーオーディオ・インタラクティブオーディオをミキシングしてドルビーデジタル出力またはDTS出力するか、記録されている音声ストリームをそのまま出力するかを選択します。	**ダイレクト**：セカンダリーオーディオ・インタラクティブオーディオが含まれるBDを再生する場合、それらをミキシングせずに記録されている音声ストリームをそのまま出力します。 **ミックス**：セカンダリーオーディオ・インタラクティブオーディオが含まれるBDを再生する場合、それらをミキシングして出力します。デジタル音声出力には、ドルビーデジタル出力またはDTS出力します。 **ご注意** • アナログ音声出力、PCMデジタル音声出力には効果がありません。(常にセカンダリーオーディオ・インタラクティブオーディオをミキシングします。) • [ミックス]に設定時、HDオーディオ*に対応していない機器とHDMI接続している場合は、PCM出力となります。 * HDオーディオとはドルビーデジタルプラス、ドルビー True HD、DTS-HDです。

フォトの設定をする（フォト設定）

お買い上げ時の設定は、下線がついている項目です。

スライドショーの速さ スライドショーの速さを設定します。	**速い**：[標準]より速い再生速度です。 **標準**：基本の再生速度です。 **遅い**：[標準]より遅い再生速度です。
スライドショー効果設定 フォトスライドショーの効果を設定します。	**入**：効果をつけて次の写真に切り換わります。 **切**：効果をつけずに、スライドショーを再生します。
x-Pict Story HD日時情報表示（BDZ-L70のみ）	**入**：x-Pict Story作品の効果として日時情報を表示します。 **切**：x-Pict Story作品の効果として日時情報を表示しません。
サンプル表示（BDZ-L70のみ）	**入**：のサンプルアルバムを表示します。 **切**：のサンプルアルバムを表示しません。

本体の設定をする（本体設定）

お買い上げ時の設定は、下線がついている項目です。

項目	設定内容
現在時刻/時刻設定	地上デジタル放送やBS・110度CSデジタル放送を正しく受信している場合は、正しい時刻を自動的に設定し、表示します。 時刻を自動で設定できなかった場合に、手動で設定を行います。 **ご注意** 手動で設定しても、地上デジタル放送やBS・110度CSデジタル放送を受信できた時点で、時刻が自動的に再設定されます（オートクロック）。
本体表示の明るさ	**明**：表示窓とランプは常に明るく点灯します。 **暗**：表示窓とランプは常に暗く点灯します。 **消灯**：表示窓は電源「切」時に消灯し、電源「入」時は暗く点灯します。ただし、ビデオや静止画の再生時には表示窓は消灯します。 ランプは常に暗く点灯します。 **ご注意** ［消灯］に設定しても、本体のランプは消えません。
HDMIコントロール HDMIコントロール機能を設定します。	**入**：HDMIコントロール機能を使うときに選びます。自動的にスタンバイモードが高速起動になります。 **切**：HDMIコントロール機能を使わないときに選びます。 **ご注意** ［入］に設定すると［スタンバイモード］が［高速起動］に設定されます。
スタンバイモード 電源「切」（待機状態）時からの起動時間を短縮する［高速起動］モードの設定をします。 ホームサーバー機能（BDZ-L70のみ）を利用して他機器で本機の映像（タイトル）を再生したり（128ページ）、リモート録画予約を利用したり（89ページ）、HDMIコントロール機能を利用するときは（37ページ）［高速起動］に設定されていることをご確認ください。	**高速起動**：電源「切」（待機状態）からの起動後、素早くチャンネル切換えや入力切換えなどの操作が行えます。 ホームサーバー機能（BDZ-L70のみ）や、リモート録画予約、HDMIコントロール機能を利用するように設定すると、自動的に［高速起動］に設定されます。 **標準**：お買い上げ時に設定されているモードです。 **ご注意** • ［高速起動］モードに設定した場合、内部の制御部が電源「切」（待機状態）のときでも通電状態になるため、［標準］モードに比べて待機時消費電力が増えたり、ファンが動作し続けたりします。 • ［スタンバイモード］を［標準］に設定すると、ホームサーバー機能やリモート録画予約が正しく動作しません。［HDMIコントロール］の設定は「切」に設定されます。
自動画面表示 番組を切り換えたときにタイトルを表示したり、映像モードや音声モードが切り換わるときに、画面上で自動的にその情報を表示することができます。	**入**：画面表示を自動で表示します。 **切**：画面表示を自動で表示しません。
リモコンモード 「複数のソニー製BD機器を操作できるようにする」（53ページ）をご覧ください。	BD1 BD2 BD3
ソフトウェアアップデート 地上デジタル放送やBS・110度CSデジタル放送を受信できる場合、ソフトウェアのバージョンアップデータを自動的に受信し、本機のソフトウェアを更新します。	**自動**：アップデートデータを自動で更新します。通常はこの設定にしてください。 **切**：アップデートデータを自動で更新しません。

次のページにつづく⇨

暗証番号設定 暗証番号を設定すると、次の場合に視聴や再生を制限できます。 － 視聴制限があるBS・110度CSデジタルの番組を見るとき － 視聴制限があるBS・110度CSデジタルの番組を録画するとき － 視聴制限があるBDやDVDを再生するとき 暗証番号はBS・110度CSデジタルおよびBD、DVDの視聴制限用の番号と同じですが、BS・110度CSデジタル（181ページ）とBD、DVD（190ページ）それぞれに違う制限レベルを設定することができます。	**1 暗証番号を入力する。** **2 ［確定］を選び、(決定) を押す。** **暗証番号を変更するには** ［暗証番号設定］を選んだときに表示される画面で現在の暗証番号を入力し、その後で新しい暗証番号を入力します。
カード情報	カードID番号などを表示します。カードを本体から取り出さなくても、カードID番号を確かめることができます。
本体情報	本機ソフトウェアのバージョンと、MACアドレスを確認できます。

BDやDVDの設定をする（BD/DVD視聴設定）

ご注意

BDやDVD、タイトルによっては、再生の設定があらかじめ決められていることがあります。その場合、設定した機能は働きません。

BD/DVDメニュー言語 BD/DVDメニューに表示する言語を設定します。	［言語コード指定］を選んだときは、言語コードを入力する画面が表示されます。「言語コード一覧」（211ページ）を参照して、言語コードを入力します。
音声言語 BDやDVD再生時の音声の言語を設定します。	［言語コード指定］を選んだときは、言語コードを入力する画面が表示されます。「言語コード一覧」（211ページ）を参照して、言語コードを入力します。 **ちょっと一言** ［オリジナル］を選ぶとディスクに記録されている優先言語が選ばれます。
字幕言語 BDやDVDに記録されている字幕の言語を設定します。	［言語コード指定］を選んだときは、言語コードを入力する画面が表示されます。「言語コード一覧」（211ページ）を参照して、言語コードを入力します。
DVD視聴年齢制限 DVDビデオには、地域ごとに設けられたレベル（見る人の年齢など）によって、シーンの視聴を制限できるものがあります。制限されたシーンをカットしたり、別のシーンに差し換えて再生します。	**1 暗証番号を入力して［確定］を選び、(決定) を押す。** **2 制限するレベルを選び、(決定) を押す。** レベルの数字が小さいほど制限が厳しくなります。［制限しない］を選ぶと、視聴年齢制限が解除されます。 **ちょっと一言** 暗証番号を変更するときは、「暗証番号設定」（190ページ）をご覧ください。暗証番号設定画面で新しい番号を入力し、［確定］を選びます。 **ご注意** • 暗証番号が登録されていないときは、暗証番号設定の画面が表示されます。 • 登録した暗証番号を忘れてしまったときは、ホームを押して (ツールボックス) から［設定初期化］を選び、［出荷時の状態に設定］の［本体設定］を選びます（195ページ）。［実行］を選ぶと以前の暗証番号が削除されます。「暗証番号設定」（190ページ）で設定し直してください。 • 視聴制限機能がないディスクを再生するときは、本機で視聴制限をしても再生は制限できません。 • ディスクによっては、再生中に視聴設定の変更を要求される場合があります。その場合、暗証番号を入力し、レベルを変更してください。

BD視聴年齢 BD-ROMには、見る人の年齢によって、シーンの視聴を制限できるものがあります。制限されたシーンをカットしたり、別のシーンに差し換えて再生します。	**1 暗証番号を入力して[確定]を選び、決定 を押す。** **2 制限する年齢を選び、決定 を押す。** 年齢の数字が小さいほど制限が厳しくなります。[制限しない]を選ぶと、視聴年齢制限が解除されます。[年齢指定]を選ぶと、0歳から255歳までの年齢を↑↓←→と数字ボタンで入力できます。 **ちょっと一言** 暗証番号を変更するときは、「暗証番号設定」(190ページ)をご覧ください。暗証番号設定画面で新しい番号を入力し、[確定]を選びます。 **ご注意** ● 暗証番号が登録されていないときは、暗証番号設定の画面が表示されます。 ● 登録した暗証番号を忘れてしまったときは、ホームを押して から[設定初期化]を選び、[出荷時の状態に設定]の[本体設定]を選びます(195ページ)。[実行]を選ぶと以前の暗証番号が削除されます。「暗証番号設定」(190ページ)で設定し直してください。 ● 視聴制限機能がないディスクを再生するときは、本機で視聴制限をしても再生は制限できません。 ● ディスクによっては、再生中に視聴設定の変更を要求される場合があります。その場合、暗証番号を入力し、年齢を変更してください。

通信の設定をする(通信設定)

お買い上げ時の設定は、下線がついている項目です。

項目	設定
データ放送通信設定 **セキュリティサイト自動接続**	**入**：セキュリティ保護されたサイトを表示しようとしたときや、セキュリティ保護されていないサイトへ移るとき、確認ダイアログを表示しないで、自動接続します。 **切**：セキュリティサイト表示の確認ダイアログを表示します。
データ放送通信設定 **証明書のダウンロード確認**	**入**：放送局から新しい証明書が発行されたとき、ダウンロードの確認ダイアログを表示します。 **切**：ダウンロードの確認ダイアログを表示しません。
データ放送通信設定 **証明書の自動ダウンロード**	[証明書の自動ダウンロード]項目は、[証明書のダウンロード確認](上記)が[切]の場合に選択できます。 **入**：放送局から発行された新しい証明書を自動的にダウンロードします。 **切**：放送局から新しい証明書が発行されても、自動的にはダウンロードしません。 **ちょっと一言** [入]を選び直すと、それまで受信されていなかった証明書が自動的にダウンロードされます。
電話回線設定 **回線** 電話回線の種類を設定します。	**自動**：回線の種類を自動的に選びます。ADSL回線(60ページ)を使っているときはこの設定にします。 **トーン**：NTTの料金明細書で「プッシュホン回線使用料」が請求されているときや、ISDN回線を使っているときに選びます。 **20pps**：NTTの料金明細書で「プッシュホン回線使用料」が請求されていないときに選びます。 **10pps**：NTTの料金明細書で「プッシュホン回線使用料」が請求されていないときで、[20pps]で正常に接続できない場合に選びます。
電話回線設定 **発信** 発信方法を設定します。	**通常**：外線に電話するときに、相手の電話番号にそのままかけるときに選びます。 **0発信**：外線に電話するときに、電話番号の頭に「0」を付けるときに選びます。 **9発信**：外線に電話するときに、電話番号の頭に「9」を付けるときに選びます。

次のページにつづく⇨

電話回線設定 **発信詳細設定** [電話番号通知]、[電話会社の指定]、または[マイラインプラス契約]を選んで、設定します。	[**電話番号通知**] **通知しない**:電話番号の先頭に「184」を付けます。相手先にこちらの電話番号を知らせません。 **通知する**:電話番号の先頭に「186」を付けます。相手先にこちらの電話番号を知らせます。 **指定しない**:電話番号の先頭になにも付けません。 [**電話会社の指定**] 必要に応じて、電話会社の事業者識別番号を設定します。 [**マイラインプラス契約**] **している**:マイラインプラスの契約をしているときに選びます。 **していない**:マイラインプラスの契約をしていないときに選びます。
電話回線設定 **接続診断**	電話回線と物理的に接続されているかをテストします。テストがうまくいっても正常につながらないときは、[回線]の設定が正しいか確認してください。 **ご注意** ● BS・110度CSデジタルの放送局へ登録などができないときは、NTTに問い合わせて、「回線ごと非通知設定」を解除してください。 ● データ放送によっては、マイラインプラスの契約どおりに通信できないことがあります。
ネットワーク設定 LANケーブルを接続し、インターネット経由で、放送局から提供される双方向サービスを楽しんだり、リモート録画予約を利用したり、ホームサーバー機能を利用したいときに設定します。設定する項目は、状況によって異なります。インターネットプロバイダーからの資料などを参考に設定してください。	**1** [**IPアドレス取得方法**]**を選び、**(決定)**を押す。** **2** **項目を選び、**(決定)**を押す。** **DHCPを利用**:ルータやプロバイダーのDHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)サーバー機能により、自動でネットワークの設定を割り当てます。 **固定IPアドレスを指定**:ルータの使用状況にあわせた値やプロバイダーが指定する値があるときの設定です。手動でネットワークの設定を入力する必要があります。 次の項目にプロバイダー指定の値を手動で入力してください。 ● IPアドレス ● サブネットマスク ● デフォルトゲートウェイ ● DNSサーバー自動取得*1 ● DNSサーバー(プライマリ)/(セカンダリ)*2 *1 自動取得は、DHCP利用時のみ有効となります。IPアドレスの値を手動で入力したときはDNSの値も手動で入力する必要があります。 *2 [DNSサーバー自動取得]を[切]に設定すると、DNSサーバー(プライマリ)とDNSサーバー(セカンダリ)のアドレスを手動で設定することができます。この場合、必ずDNSサーバー(プライマリ)は入力してください。入力しない場合にネットワークが正しく設定されません。 **3** **必要な項目を入力する。** インターネットプロバイダーからプロキシサーバーの指定があるときは、[プロキシ設定]を選んで設定をしてください。 **4** [**接続診断**]**を選び、**(決定)**を押す。** **5** [**実行**]**を選び、**(決定)**を押す。** ネットワークに正常に接続できるか確認をします。正しく接続できなかった場合は、画面のメッセージにしたがってください。 **ちょっと一言** LAN ケーブルを別のネットワークに切り換えた場合、ネットワークにつながらなくなることがありますので、切り換えたときは「接続診断」を行ってください。

リモート録画予約設定 リモート録画予約を利用するには、本機をネットワークに接続する必要があります。詳しくは57ページをご覧ください。	［リモート機器登録］ リモート録画予約で利用する携帯電話を本機に登録します。 **↑↓で［リモート機器登録］を選び、(決定) を押す。** 登録パスワード入力画面が表示されます。登録パスワードの入力方法には、手動による入力と携帯電話の赤外線を利用した入力の2種類があります。 登録パスワードは携帯電話に表示されます。 詳しくはリモート録画予約サービス事業者にご確認ください（89ページ）。 **携帯電話の赤外線を利用して入力する場合** **1 携帯電話で登録パスワード送信画面を表示させる。** **2 携帯電話の赤外線発光部を本機のリモコン受光部に向け、登録パスワードを本機に発信する。** **手動で入力する場合** **1 ←→で入力欄を選ぶ。** **2 ↑↓や数字ボタンで数値を入力する。** **3 すべての数値を入力したら、↑↓←→で［確定］を選び、(決定) を押す。** **ご注意** 本製品内のメモリーにはリモート録画予約の使用のためにお客様が設定された携帯電話の「ニックネーム」や「機器名」が記録されます。 ［登録済みリモート機器一覧］ 本機に登録されている携帯電話を一覧で確認できます。登録した携帯電話の削除なども行えます。 **1 ↑↓で［登録済みリモート機器一覧］を選び、(決定) を押す。** ［設定クリア］を選ぶと、［登録済みリモート機器一覧］に表示されている登録機器をすべて削除できます。 **2 ↑↓で詳細を確認したい携帯電話を選び、(決定) を押す。** 選んだ携帯電話の詳細が表示されます。 ここで［機器削除］を選び (決定) を押すと、選んだ携帯電話が登録機器一覧から削除されます。

次のページにつづく⇨

ホームサーバー設定（BDZ-L70のみ）	
本機をホームサーバーとして登録すると、ホームサーバー機能対応機器から本機の映像を再生することができるようになります。登録には、右記の設定が必要です。 ホームサーバー機能対応機器からの再生方法は、対応機器の取扱説明書をご覧ください。 ホームサーバー機能を利用するには、本機をネットワークに接続する必要があります。詳しくは59ページをご覧ください。	［**サーバー機能**］ 本機のホームサーバー機能を入/切します。 **1** **↑↓で［サーバー機能］を選び、決定 を押す。** **2** **↑↓で設定項目を選び、決定 を押す。** **入**：本機のホームサーバー機能を有効にします。 ［入］に設定すると［スタンバイモード］の設定（189ページ）が自動的に［高速起動］に設定されます。 __切__：本機のホームサーバー機能を無効にします。 ［**サーバー名**］ 本機の機器名称を設定します。ホームサーバー機能対応機器から本機にアクセスしたときに、ホームサーバー機能対応機器側でこの名前が表示されます。 **1** **↑↓で［サーバー名］を選び、決定 を押す。** **2** **画面上のキーボードで本機のサーバー名を入力する。** ［**クライアント機器登録方法**］ 本機の映像を再生することができるホームサーバー機能対応機器のことをクライアント機器と呼びます。本機にクライアント機器が登録されていないと、クライアント機器側から本機の映像を再生することができません。 ここではクライアント機器の登録方法を設定することができます。 **1** **↑↓で［クライアント機器登録方法］を選び、決定 を押す。** **2** **↑↓で項目を選び、決定 を押す。** **自動**：本機にアクセスしてきたクライアント機器を自動的に登録します。 ［未登録機器一覧］に表示されているホームサーバー機能対応機器があるときは、［自動］を選ぶと、［未登録機器一覧］で表示されている未登録機器を削除できます。 __手動__：本機にアクセスできるクライアント機器を手動で登録します。 ［**登録機器一覧**］ 本機に登録されているクライアント機器を一覧で表示します。 **1** **↑↓で［登録機器一覧］を選び、決定 を押す。** ［設定クリア］を選ぶと、表示されている登録機器を一覧から削除できます。 確認したい機器が登録機器一覧に表示されないときは、［未登録機器一覧］をご覧ください。 **2** **↑↓で詳細を確認したい機器を選び、決定 を押す。** 選んだ機器の詳細が表示されます。 ここで［機器削除］を選び 決定 を押すと、選んだ機器が機器登録一覧から削除されます。 ［**未登録機器一覧**］ 本機に登録されていないホームネットワーク上のホームサーバー機能対応機器を一覧で表示し、本機のクライアント機器として登録することができます。 **1** **↑↓で［未登録機器一覧］を選び、決定 を押す。** ［設定クリア］を選ぶと、表示されている未登録機器を一覧から削除できます。 **2** **↑↓で詳細を確認したい機器を選び、決定 を押す。** 選んだ機器の詳細が表示されます。 ここで［機器登録］を選び 決定 を押すと、選んだ機器が本機のクライアント機器として登録され、本機の映像を再生できるようになります。

基本的な設定を行う（かんたん設定）

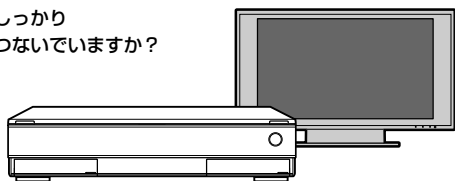
かんたん初期設定 本機を使うための基本的な設定をします。本機を使う前に必ずかんたん初期設定を行なってください。	かんたん設定について詳しくは、「接続と準備」の「[準備7]かんたん設定をする」（40ページ）をご覧ください。
かんたん機能設定 本機をさらに便利に使うための設定をします。	x-おまかせ・まる録とお気に入り番組表に登録するジャンルの設定、おすすめ自動録画、スタンバイモード、HDMIコントロールの設定を行います。

お買い上げ時の設定に戻す（設定初期化）

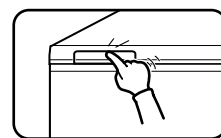
出荷時の状態に設定 各設定ごとに、出荷時の状態（お買い上げ時の設定）に戻すことができます。選んだ設定のすべての項目がお買い上げ時の設定に戻るので、ご注意ください。	**1 お買い上げ時の設定に戻したい設定を選び、決定 を押す。** **2 確認画面で[実行]を選び、決定 を押す。** **ご注意** [本体設定]、または[すべての設定の内容]を出荷時の状態に設定すると、[HDMIコントロール]の設定が[切]に戻り、ブラビアリンクに対応しているソニー製テレビの一部機種に付属しているマルチリモコンも使えなくなります。
個人情報の初期化 本製品を廃棄、譲渡等するときは、本製品内のHDD、メモリーに記録されているデータを消去することを強くお勧めします。	本機を廃棄したり譲渡したりするときに、次の個人的な情報を本機から削除します。 • データ放送で登録した個人情報やポイントなど • 視聴年齢制限レベルと暗証番号 • ペイ・パー・ビューの購入履歴 • メール • すべてのルートCA証明書 暗証番号を設定しているときは、暗証番号の入力画面が出ます。 **ご注意** • [通信設定]で入力したIPアドレスを始めとする通信接続情報や、[放送受信設定]で入力した県域、郵便番号などの情報は、消去されません。[出荷時の状態に設定]でそれぞれの設定を選んで消去してください。 • 個人情報は項目ごとに消去することはできません。1度消去すると、すべての個人情報が消去されます。 • 本機を廃棄したり、譲渡するときは[リモート録画予約設定]（193ページ）の設定内容を消去しておくことをおすすめします。
HDD初期化	HDDを初期化します。初期化すると以下が削除され、元に戻すことができません。 • 録画したタイトル • 写真（BDZ-L70のみ） • x-Pict Story HD作品（BDZ-L70のみ） • x-ScrapBook作品（BDZ-L70のみ）
BD-ROMデータ初期化	BD-Jの機能を利用するときに、本機のHDDに作成される記憶領域を初期化します。 BD-ROM再生時に本機の記憶領域（ローカルストレージ）が不足していることを知らせるメッセージが表示されたときに、BDデータ初期化を実行してください。 BDデータ初期化を実行すると、Javaゲームのスコアや BD-ROMのブックマークなどが消去されます。

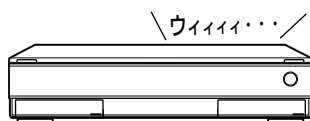
故障かな？と思ったら

まず確認してください

各種コード・ケーブル

テレビの入力切換

本機の映像が映るよう、テレビの入力は切り換わっていますか？

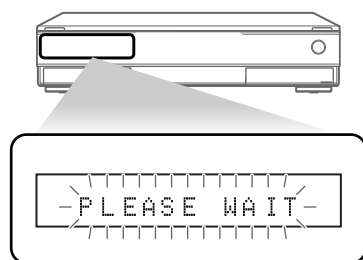
本機の電源

こんなときは・・・

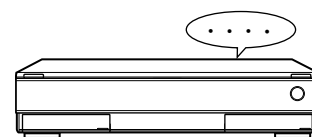
電源を切っているのにファンの音がする

電源が「切」でも、以下のような場合、本機が動作を行うことがあります。

- 番組表データの取得時
- 録画中
- ダビング中
- 予約録画実行時
- リモート録画予約やHDMIコントロールの利用時

など

このような場合、本機のファンが動作します。

「PLEASE WAIT」と点滅表示され、なかなか起動しない

本機の起動中は、本体表示窓に「PLEASE WAIT」が点滅表示されます。
本機の起動には数十秒かかりますので、そのままお待ちください。
起動時間を短くできる機能（高速起動モード）もあります（189ページ）。

動作を受け付けない/動いていない

明らかに本機が操作を受け付けない状態になった場合は、電源ボタンを10秒以上押し続けてください。本機が再起動します。

➡ 症状に当てはまらない場合は、次ページ以降をご覧になり、当てはまる症状を探してください。

修理に出す前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お客様ご相談センターへお問い合わせください（➡裏表紙）。

電源

電源が入らない。

➔ 電源コードがしっかり差し込まれているか確認してください。

画像

映像が出ない、乱れる。

➔ 電源コードがしっかり差し込まれているか確認してください。
➔ 接続コードのプラグがしっかり差し込まれているか確認してください。
➔ 接続コードが断線していませんか？
➔ テレビを本機に接続している入力（「ビデオ」など）に切り換えてください。
➔ プログレッシブ方式に対応していないテレビとD映像コードでつないでいるときに、本機をプログレッシブ方式に設定していませんか？ D1/D2/D3/D4切換ボタンを押して、設定をD1に切り換えてください。
➔ プログレッシブ方式に対応しているテレビとD映像コードでつないでいても、プログレッシブを設定していると映像が乱れることがあります。D1/D2/D3/D4切換ボタンを押して、設定をD1に切り換えてください。
➔ 本機の映像出力をビデオデッキを経由してテレビに接続したり、ビデオ一体型テレビに接続していると、一部のDVDプログラムやデジタル放送に使用されているコピー制御信号が画質に悪影響をおよぼす可能性があります。
本機をテレビに直接接続していても画質に問題が生じる場合は、テレビのS映像入力端子へ接続してください。
➔ HDDの特性上、ごくまれに画像が乱れることがあります。故障ではありません。
➔ 2層DVDを再生する場合、レイヤー（層）が切り換わるときに映像/音声が一瞬途切れることがあります。
➔ DVD再生時などでプログレッシブ画像に切り換わるときに一瞬画像が乱れることがあります。
➔ 24p True Cinema に対応したBD-ROMや、x-Pict Storyやx-ScrapBookの再生をすると、再生前後で映像や画像が乱れることがあります。

D映像出力端子で接続したとき、画像が出ない。

➔ 🧰の［映像設定］から［出力映像解像度設定］を［D1/2/3/4設定優先］に設定してください（186ページ）。

HDMI接続したとき、画像が出ない。

➔ DVI機器に接続していませんか？
➔ DVIアダプターを使っている場合、接続機器はDVIアダプターに対応していますか？
➔ 🧰の［映像設定］で［HDMI映像出力フォーマット］の設定を変更すると、画像が表示されることがあります。
➔ 🧰の［映像設定］から［HDMI解像度］の設定を変えると解消される場合があります（186ページ）。テレビと本機をHDMI出力端子以外の映像出力端子で接続し、テレビの入力を本機につないだ映像入力に切り換えて、設定画面をテレビ画面に表示させてください。🧰の［映像設定］から［出力映像解像度設定］を［HDMI解像度優先］に設定してください。次に🧰の［映像設定］から［HDMI解像度］の設定を変え、テレビ側の入力をHDMIに戻してください。それでも画像が出ない場合は、この手順を繰り返して他の解像度を試してください。
➔ 🧰の［映像設定］で［出力映像解像度設定］で［HDMI解像度優先］に設定しているときに、🧰の［映像設定］から［HDMI解像度］の設定項目が［自動］しか選べない場合は、正しく接続されていない場合があるので、その場合はケーブルを差し直すか本体の電源を入れ直してください。
➔ 本体のD1/D2/D3/D4切換ボタンを押して、［D2］以上にしてみてください。

本機のテレビチャンネルを切り換えることができない。

➔ ［録画1］で録画中は、本機のテレビチャンネルを切り換えることができません。テレビの入力切換ボタンなどを押して、テレビ側で見たいチャンネルに切り換えてください。
➔ 本機の入力切換ボタンを押して映像が映るように入力をBS放送か地上波放送に合わせてください。
➔ チャンネルをとばすよう設定している場合は、チャンネル＋/－ボタンでは選局できません（179、180、182ページ）。

本機の入力端子につないだ機器の画像が映らない。

➔ 入力切換ボタンを押して、つないでいる入力端子を本体表示窓に表示させてください。
例）入力1のときは「LINE1」
➔ S映像端子を使って本機の入力1または入力2*1または入力3*2端子につないだ場合は、🧰から［映像設定］を選び、つないでいる端子にあわせて［映像入力1］または［映像入力2］*1、［映像入力3］ *2を［S映像］に設定してください（185ページ）。

*1 BDZ-T70/T50
*2 BDZ-L70

［映像設定］の［DVDワイド映像表示］で設定した画像の形で再生できない。

➔ 画像の形が固定されているタイトルを再生していませんか？

画面の横縦比がおかしい。

➔ テレビの横縦比に画像を合わせてください（205ページ）。
➔ 録画時に設定が間違っていませんか？信号の横縦比に合わせて設定してください（100ページ）。

次のページにつづく⇨

サムネイルが表示されない。

→ 動作モード、または録画内容によってはサムネイルを作成できない場合があります。

HDV1080i/DV IN入力端子にデジタルビデオカメラを接続しても画像が表示されない(BDZ-L70のみ)。

→ デジタルビデオカメラとの接続に使用しているi.LINKケーブルを抜き、もう一度差し込んでください。
→ 接続したデジタルビデオカメラの電源を切り、もう一度入れ直してください。
→ 本機の電源を切り、もう一度入れ直してください。

テレビの受信

本機で受信しているテレビ放送が映らない。

→ アンテナケーブルをアンテナ出力端子につないでいませんか？アンテナケーブルをアンテナ入力端子につないでください。
→ の[放送受信設定]から[地上アナログチャンネル設定]を選び、手動でチャンネルを合わせてください(181ページ)。
→ テレビの入力切換ボタンで正しい外部入力を選んでください。または、本機のチャンネル+/－ボタンで他のテレビ局を選んでください。
→ 地上デジタル放送の開始にともない、「アナログ周波数変更」が行われた地域では、変更前のチャンネルは停波され、番組が見られません。変更後のチャンネルに手動で合わせてください(181ページ)。
→ 地上デジタルが受信できなくなった場合は、再スキャンして受信設定してください(179ページ)。

本機で受信しているテレビ放送の画像が汚い。

→ アンテナの向きを調節してください。
→ アンテナケーブルをアンテナ出力端子につないでいませんか？アンテナケーブルをアンテナ入力端子につないでください。
→ 画像を手動微調整してください(182ページ)。
→ 本機とテレビを離して設置してください。
→ 本機から離してアンテナ線をたばねてください。
→ 電波が弱くありませんか？別売りアンテナブースターで電波を増幅してください。

本機でアナログ放送のチャンネルだけ選べない。

→ 「録画1」で録画中はアナログ放送のチャンネルに切り換えられません(BDZ-L70/T70のみ)。

本機につないだ他機で再生・受信している画像がゆがむ。

→ DVDプレーヤーやビデオデッキなどで再生しているソフトや、別売りの外部チューナーなどで受信している信号に、著作権保護のための信号が含まれていませんか？プレーヤーやチューナーなどの機器を本機からはずして、テレビに直接つないでください。

BSデジタル放送や110度CSデジタル放送の番組が映らない。

→ BSアンテナを本機に正しくつないでください(26ページ)。
→ BSアンテナの向きを調整してください(180ページ)。
→ BSアンテナからゴミや雪を取り除いてください。

地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送の番組が映らない。

→ 本機のB-CASカード挿入口にデジタル放送用ICカード(B-CASカード)は挿入されていますか？デジタル放送用ICカード(B-CASカード)を挿入してください(38ページ)。

WOWOWが映らない。

→ 受信契約をしてください(51ページ)。

スター・チャンネルが映らない。

→ 受信契約をしてください(51ページ)。

110度CSデジタルの有料放送が映らない。

→ 受信契約をしてください(51ページ)。

番組表

アナログ放送の番組表が表示されない。

→ ❶接続と[かんたん設定]が終了しても、番組表データを受信するまでは表示されません。❷受信が終わるまで電源を切ってしばらくお待ちください。❸受信までに、1日程度かかることもあります(183ページ)。
→ 日付や時刻が正しく設定されていますか(189ページ)？
→ 番組表データを送信している放送局(47ページ)の受信状態が悪い場合、番組表は表示できません。
→ 間違った地域番号が設定されていませんか？ から[かんたん設定]を選び、正しい地域番号でかんたん設定をやり直してください(40ページ)。
→ 番組表データを送信している放送局が変わっていませんか？正しい放送局や時刻を設定してください(183ページ)。
→ 番組表の取得時刻をすべて[自動]に設定していませんか(183ページ)？
→ 番組表データを送信している放送局が誤った設定になっていませんか？ の[設定初期化]から[出荷時の状態に設定]を選び(195ページ)、初期状態に戻してから[かんたん設定]を選び直してください(40ページ)。
→ 番組表の取得時刻に本機の電源が入っている場合、番組表データを取得できません。
→ ケーブルテレビの送信チャンネルが元のチャンネルと異なっていませんか？手動でチャンネル設定をしてください(179ページ)。
→ お住まいの地域によっては、番組表データを受信できない場合があります。

デジタル放送の番組表が表示されない。

→ チャンネルを切り換えて各放送局をひととおり選局してから、番組表を表示してください。

番組表に表示されない放送局がある。

- ➔ [アップダウン選局]が[しない]に設定されていませんか（地上アナログ（182ページ））？
- ➔ [アップダウン選局]が[選局しない]に設定されていませんか（デジタル放送（179、180ページ））？
- ➔ 間違った地域番号が設定されていませんか？ から[かんたん設定]を選び、正しい地域番号でかんたん設定をやり直してください（40ページ）。
- ➔ 番組表データに含まれない放送局は表示されません。

番組表が更新されない。

- ➔ 更新時の受信状態が悪いと、最新の番組表データを受信できない場合があります。
- ➔ 番組表データを送信している放送局が変わっていませんか？正しい放送局や時刻を設定してください（183ページ）。
- ➔ アナログ放送の番組表の取得時刻に本機の電源が入っている場合、番組表データは受信・更新されません。

番組表に表示されない番組がある。

- ➔ 受信状態が悪いと、一部の番組表データを受信できない場合があります。
- ➔ 時刻別番組表には、短い番組（5分間の番組など）は表示されません。チャンネル別番組表を使ってください（80ページ）。デジタル放送の場合、黄ボタンで番組表を拡大表示すると表示されることがあります。

間違った放送局名が表示される。

- ➔ 間違った地域番号が設定されていませんか？ から[かんたん設定]を選び、正しい地域番号でかんたん設定をやり直してください（40ページ）。
- ➔ 引越して番組表データを受信できない場合などに、前に受信していた放送局名が表示されることがあります。 の[設定初期化]から[出荷時の状態に設定]（195ページ）を行うと、消すことができます。

録画・予約・ダビング

録画中、テレビのチャンネルを変えられない。

- ➔ [録画1]で録画中は、本機では録画中のチャンネルしか見ることができません。他のチャンネルを見たい場合は、テレビ本体側で見たいチャンネルに切り換えてください。

録画中に 録画停止（録画停止）を押してもすぐに録画が止まらない。

- ➔ 録画が止まる前にHDDやBDにデータを記録するため、止まるまでに十数秒かかります。録画の状態によっては、録画が停止するまでに通常よりも時間がかかる場合があります。
- ➔ 録画先のメディアと現在選択されているメディアが異なっていませんか？

予約したのに録画されていない。

- ➔ 自己メールを確認してください（178ページ）。
- ➔ 録画中に停電がありませんでしたか？
- ➔ 1時間以上の停電があり、時計が止まっていませんか？時計を合わせ直してください（189ページ）。
- ➔ コピー制御信号が含まれている映像を録画、または録画予約しませんでしたか？
- ➔ 後から設定した予約、または優先設定や延長設定をした予約が重なっていませんでしたか（97ページ）？
- ➔ デジタル放送で、番組が中止になりませんでしたか？
- ➔ ダビング中ではありませんでしたか？
- ➔ BDは入っていましたか？
- ➔ HDDやBDの残量は足りていましたか？
- ➔ タイトル数が上限に達していると録画できません。各メディアの最大タイトル数は以下のとおりです。
  - －HDD
    オリジナル＋プレイリスト：300タイトル
  - －BD-R/BD-RE
    オリジナル＋プレイリスト：200タイトル
- ➔ HDV/DVダビング中ではありませんでしたか？（BDZ-L70のみ）
- ➔ まるごとDVDコピー中ではありませんでしたか？
- ➔ x-Pict Story HD実行中ではありませんでしたか？
- ➔ 静止画コピー中ではありませんでしたか？（「録画2」の場合）
- ➔ 視聴年齢制限を超えた番組を予約していませんでしたか？
- ➔ 録画できるディスクでしたか？
- ➔ 有料番組がありませんでしたか？
- ➔ B-CASカードは入っていましたか？

予約した内容が途中で切れている。

- ➔ 後から設定した予約、または優先設定や延長設定をした予約が重なっていませんでしたか（97ページ）？
- ➔ デジタル放送で、番組の中断がありませんでしたか？
- ➔ コピー制御信号が含まれている映像が途中から始まりませんでしたか？
- ➔ HDDやBDの残量は足りていましたか？
- ➔ 録画中に停電がありませんでしたか？
- ➔ 録画終了時刻から開始する別の録画予約がありませんでしたか？
- ➔ 受信状態が悪かった場合も途切れます。

以前録画した内容がなくなっている。

- ➔ 更新録画が行われていませんか（99ページ）？
- ➔ HDDの容量がなくなると、x-おまかせ・まる録で録画されたタイトルが自動的に消去されます。

ダビングできない。

- ➔ 本機の電源を入れてからデジタルハイビジョンビデオカメラを接続しましたか？
- ➔ デジタルビデオカメラにテープを挿入しましたか？
- ➔ デジタルビデオカメラをビデオ再生モードにしましたか？
- ➔ デジタルハイビジョンビデオカメラをUSBモードにしましたか？

次のページにつづく⇨

勝手に録画されている。

➔ 本機には、お客様の好みを学習し、おすすめの番組を自動で録画する機能があります(自動で録画したタイトルには、☆が付きます)。この機能を解除するには、「本機がおすすめする番組を自動録画するための設定をする」(93ページ)の手順2で[自動録画]を[切]に設定してください。

ディスクをコピーできない。

➔「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が含まれている映像(デジタル放送)を録画したことがありませんか?

リモート録画予約ができない。

➔ リモート録画予約の設定を行います(193ページ)。
➔ 本機の電源が「切」のときにリモート録画予約するには、[本体設定]の[スタンバイモード]を[高速起動]にします(189ページ)。
➔ x-Pict Story作成中やx-Pict Storyのビデオ作成中はリモート録画予約できません。
➔ ネットワークに接続されているか確認してください(192ページ)。

USB機器を認識しない(BDZ-L70のみ)。

➔ ソニー製デジタルスチルカメラにつなぐ場合、USB接続設定は標準(Mass Storageモード)になっていますか? 詳しくはデジタルスチルカメラの取扱説明書を見てください。
➔ デジタルハイビジョンビデオカメラやデジタルスチルカメラ、"PSP"はUSBモードになっていますか?
➔ USBケーブルは正しく接続されていますか?
➔ 本機とのUSB接続に対応している機器かどうか、次のホームページで最新情報を確認してください。
http://www.sony.jp/products/Consumer/BD/support/usb.html

再生

再生が始まらない。

➔ BDやDVD、CDは入っていますか?
➔ 録画されていないBDやDVDが入っていませんか?
➔ BDやDVD、CDが裏返しに入っていませんか?再生面を下にしてください。
➔ BDやDVD、CDが斜めにずれて入っていませんか?
➔ CD-ROMなどの再生できないディスクを入れていませんか(207ページ)?
➔ 本機で再生できない地域番号(リージョンコード)のBDやDVDを入れていませんか(208ページ)?
➔ 結露していませんか(18ページ)?
➔ 他機で記録したDVDやCDを本機で再生する場合、ファイナライズされていないDVDやCDは再生することができません。

再生がHDDやBD、DVDの最初から始まらない。

➔ つづき再生になっていませんか(115ページ)?タイトル選択時に、オプションから[頭出し再生]を選んでください。
➔ 自動的にタイトルメニュー、BDまたはDVDメニューの画面が出るディスクを入れていませんか?

再生が自動的に始まる。

➔ 自動的に再生が始まるBDやDVDを入れていませんか?
➔ BDやDVDによってはオートポーズ信号が記録されているものがあります。このようなディスクを再生すると、オートポーズ信号のところで自動的に再生が止まります。

停止、早送り/早戻し、スロー再生などの操作ができない。

➔ 操作を禁止しているBDやDVDを再生していませんか?ディスクに付属の説明書もあわせて見てください。

音声言語を変更できない。

➔ 再生しているBDやDVDに複数の音声言語が記録されていますか?
➔ 音声言語の切り換えを禁止しているBDやDVDを再生していませんか?
➔ BDまたはDVDメニューからの操作を試してください。

字幕を変更できない。

➔ 再生しているBDやDVDに複数の字幕が記録されていますか?
➔ 字幕の変更や消去を禁止しているBDやDVDを再生していませんか?
➔ BDまたはDVDメニューからの操作を試してください。
➔ 本機で録画したタイトルでは変更できません。

アングルを変更して見ることができない。

- ➔ 再生しているBDやDVDに複数のアングルが記録されていますか？
- ➔ 本体表示窓に (ANGLE)と表示されていない場面で、アングルを切り換えていませんか(114ページ) ？
- ➔ アングルの変更を禁止しているBDやDVDを再生していませんか？
- ➔ BDまたはDVDメニューからの操作を試してください。
- ➔ 本機で録画したタイトルでは変更できません。

タイトルのサムネイルが表示されない。

- ➔ 一度再生して停止してください。

追いかけ再生できない(DRモードで録画中の場合)。

- ➔ アンテナの受信状態が悪かったり、アンテナ線が抜けていると、追いかけ再生できないことがあります。
- ➔ 録画中の番組の途中からスクランブル解除できない信号が入った場合、追いかけ再生できません。

音声

音が出ない。

- ➔ 接続コードのプラグがしっかり差し込まれているか確認してください。
- ➔ 接続コードが断線していませんか？
- ➔ アンプの入力端子を確認してください。
- ➔ アンプの入力切換で本機の音声が出るようにしていますか？
- ➔ 一時停止、スロー再生になっていませんか？
- ➔ 早送りまたは早戻しになっていませんか？

HDMI接続したとき、音声が出ない。

- ➔ DVI機器の場合、音声は出力されません。
- ➔ HDMI出力端子につないだ機器は、音声信号のフォーマットに対応していますか？ の[音声設定]から[HDMI音声出力]で[切]を選んでください(187ページ)。

音がひずむ。

- ➔ の[音声設定]から[音声出力ATT]を[入]に設定してください(187ページ)。

音が小さい。

- ➔ DVDによっては、再生時の音量が小さい場合があります。 の[音声設定]から[オーディオDRC]を[テレビ]に設定すると、改善されることがあります(188ページ)。
- ➔ の[音声設定]から[音声出力ATT]を[切]に設定してください(187ページ)。

二か国語放送の音声が切り換えられない。

- ➔ 二か国語放送(主音声および副音声)の音声をHDD (DRモード)、BD (DRモード)以外に記録することは出来ません。録画やダビングする前に、 の[ビデオ設定]から[二重音声設定]を[主音声]または[副音声]に設定してください(184ページ)。
- ➔ 主音声と副音声の両方を記録するには、HDD (DRモード)やBD (DRモード)にダビングしてください。
- ➔ 電波が弱いためモノラルまたは主音声だけで録画されている場合、アンテナの向きを調節するか、別売りのアンテナブースターで電波を増幅してください。
- ➔ デジタル音声出力端子にアンプをつないでいる場合、HDDやBDまたはDVD-RW/R (VRモード)で音声を切り換えるには、 の[音声設定]から[ドルビーデジタル]または[AAC]を[ダウンミックスPCM]に設定してください(187ページ)。
- ➔ 外部チューナーやビデオデッキを使って二重音声放送を記録する場合、外部チューナーやビデオデッキの外部音声出力設定を主音声、または副音声に切り換えてください。外部チューナーやビデオデッキの外部音声出力設定を主音声＋副音声に設定して本機で録画すると、主音声、副音声をステレオ音声として記録するため、再生時に両方の音声が再生されます。ステレオ音声として記録された場合、主音声、副音声の切換えができなくなるのでご注意ください。

表示

本体の録画予約ランプが点滅している。

- ➔ HDDやBDに空きがありますか？
- ➔ 本機に録画可能なBDが入っていますか？
- ➔ BDが保護(プロテクト)されていませんか(142ページ) ？

録画モードが正しく表示されない。

- ➔ 10分未満の録画やダビングをしたときや、10分以上でも静止画などの動きの少ない映像では、録画モードを正しく表示できないことがあります。設定した録画モードで録画やダビングはされますが、表示が変わることがあります。

本機の表示窓に時計が表示されない。

- ➔ の[本体設定]から[本体表示の明るさ]を[暗]または[消灯]に設定していませんか(189ページ) ？

本体の表示窓にエラーメッセージ『E5001』が表示されている。

- ➔ 本機の内部温度が上昇していることをお知らせするメッセージです。本機を涼しいところに設置し内部温度が上昇しないようにしてください。

次のページにつづく⇨

リモコン

リモコンが働かない。

➔ 乾電池が消耗していませんか？
➔ 乾電池を交換すると、メーカー番号がお買い上げ時の設定に戻る場合があります。リモコンのメーカー指定ボタンを合わせ直してください(52ページ)。
➔ 操作する機器の操作機器切換用ボタンを押してください(52ページ)。
➔ 本体とリモコンのリモコンモードが違っていませんか？同じリモコンモードにしてください(52、53ページ)。
➔ リモコンを本体に向けて操作してください。
➔ リモコンを本体から遠いところで操作していませんか？

本機のリモコンで操作したら、本機と他のソニー製のBD対応機器が同時に動いてしまった。

➔ 本機と他機のリモコンモードが同じになっていませんか？本機のリモコンモードを変えてください(53ページ)。お買い上げ時は[BD3]になっています。

リモコンの数字ボタンでチャンネルを選ぶことができない。(ソニー製、アイワ製の対応機種を除く)

➔ チャンネルは、チャンネル+/−ボタンで選んでください。

「ブラビアリンクに対応しているソニー製テレビの一部機種に付属しているマルチリモコン」が働かない。

➔ HDMIコントロールは「入」になっていますか？（189ページ)
➔ マルチリモコンに本機は正しく登録されていますか？(56ページ)
登録できている場合、リモコンのボタンを押すと登録済みの機能ボタン(リモコン上にある)が光ります。ただし、リモコン上のすべてのボタンが効くわけではありませんので、ホームボタンを押すなどして動作するか確認してください(お使いのリモコンの取扱説明書もご覧ください)。

その他

電源が「切」のときに本機のファンの音がする。

➔ 電源「切」時に番組表の番組データを取得する際、本機のファンが動作することがあります(15ページ)。
➔ [スタンバイモード]が[高速起動]モードに設定されている場合、電源が「切」の時でもファンが動作し続けます(189ページ)。
➔ 本機のホームサーバー機能(BDZ-L70のみ)やリモート録画予約、HDMIコントロール機能を利用しているときは、電源が「切」でもファンが動作し続けます(196ページ)。
➔ 本機に挿入したB-CASカードが契約切れで本機が確認の通信動作を行っている場合、ファンは動作し続けます。
➔ ソフトウェアアップデート中は本機が待機状態になるため、ファンが回り続けます。
➔ 録画中のときやダビング中のときはファンが動作し続けます。

HDMIコントロール機能が働かない。

➔ HDMIコントロールの設定は、「入」になっていますか？
➔ 接続機器がHDMIコントロール機能に対応していることを確認してください(接続機器の取扱説明書をご覧ください)。
➔ 接続機器の電源コード・HDMIケーブルがしっかりと接続されているか確認してください。
➔ 接続機器の、HDMIコントロール機能の設定を確認してください(接続機器の取扱説明書をご覧ください)。
➔ AVアンプ を通してTVにつないだ場合に、HDMI接続を変更したり、電源コードの抜き差しをしたり、停電があった場合は、本機の再生映像がテレビに映るようにAVアンプの入力を切り換えてください。次に、本機のHDMIコントロールの設定を一度[切]にし、その後[入]に再設定してください(お使いのAVアンプの取扱説明書もご覧ください)。
➔ HDMIコントロール機能について詳しくは、206ページをご覧ください。
➔ HDMIコントロールに対応していないAVアンプを通してテレビにつなぐと、HDMIコントロールが正しく機能しません。

ホームサーバー対応の他機器から本機の映像を再生できない。または、他機器から本機が見つからない(BDZ-L70のみ)。

➔ ホームサーバー機能対応の他機器が本機の未登録機器一覧に入っていませんか？機器登録を行ってください(194ページ)。
➔ ホームサーバー機能対応の他機器側で正しく再生されていない場合、機器の取扱説明書を参照してください。
➔ 本機の電源が「切」のときに他機器から本機の映像を再生するには、[本体設定]の[スタンバイモード]を[高速起動]にしてください(189ページ)。
➔ 以下の場合は他機器から本機の映像を再生できません。
− 本機の設定を変更しているとき
− 再生を伴うタイトル編集をしているとき*1
− タイトルダビングをしているとき*2
− まるごとDVD コピーをしているとき
− x-ScrapBook 作成中やx-ScrapBook 書き出し中
− x-Pict Story を作成しているとき
➔ 本機がホームネットワークに接続されているか確認してください(192、194ページ)。

*1 再生を伴うタイトル編集とは、以下の編集内容のことです。
サムネイル設定、チャプター編集、チャプター消去、A-B 消去、タイトル分割、プレイリスト作成
*2 HDV/DV ダビングを利用しているときは、他機器で再生できます。

正常に動作しない。

➔ 本体の電源ボタンを10秒以上押し続け、本機を再起動させてください。
➔ 静電気などの影響で正常に動作しなくなったときは、電源を切って本体表示窓に時計が表示されてから電源コードを抜いてください。しばらく置いてから再び電源コードをつなぎ、電源を入れてください。

自動的に再起動する。

➔ 本機に不具合が生じたときに、本機が自動的に再起動することがあります。

チャンネルを切り換えたとき画像が出るまで時間がかかる。

➔ 番組表データの受信後、画像が出るまでに時間がかかることがあります。

アルファベットと数字で5桁の番号が本体表示窓に出ている。

➔ 自己診断機能が働いています（204ページ）。

開/閉（開/閉）を押してもディスクトレイが開かない。

➔ BDやDVDに録画や編集をしたとき、ディスクトレイが開くのに時間がかかることがあります。これは、本機がBDやDVDにディスク情報を追加しているためです。

➔ 電源を切って電源コードを抜きます。本体の開/閉ボタンを押しながら電源コードをつなぎ直し、ディスクトレイが出たら開/閉ボタンをはなしてください。ディスクを取り出した後、本体の電源ボタンを10秒以上押し続け、本機を再起動させてください。

➔ 録画した後のディスク取り出し時に、ディスクが出てくるまで数十秒かかることがあります。

電話回線に接続できない。

➔ 電話回線用無線通信ユニットを使用していませんか？無線通信ユニットは使いません。

本体の表示窓/ランプについて

表示窓のメッセージ

本機の異常を未然に防ぐため、自己診断機能が働くと、表示窓にアルファベットと数字で5桁のサービス番号が表示されます。その際は次のように対応してください。

表示窓にアルファベットで始まる表示が出たら（自己診断機能）

サービス番号の最初の3桁	原因と対策
EXX （XXは任意の数）	異常を未然に防ぐため自己診断機能が働いている。 ➡ お客様ご相談センターへお問い合わせください（➧裏表紙）。その際はサービス番号の5桁すべてをお知らせください。 例：E 61 10

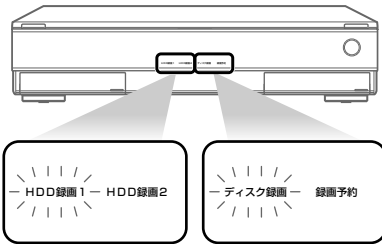
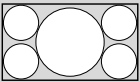
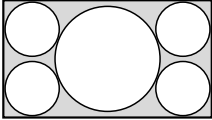
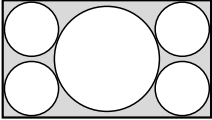
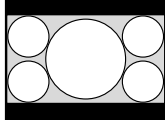
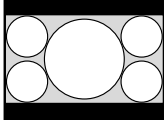
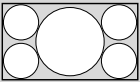
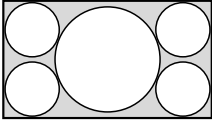
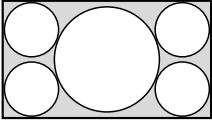
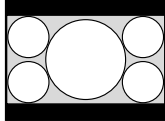
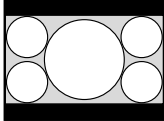
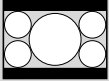
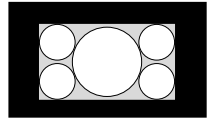
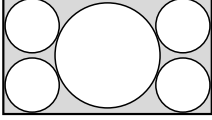
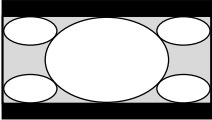
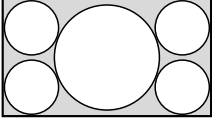
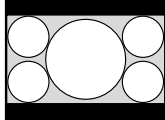
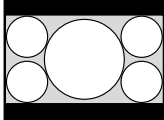
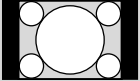
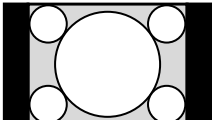
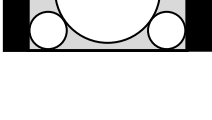
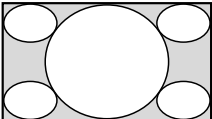
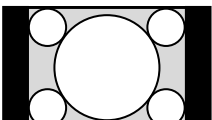
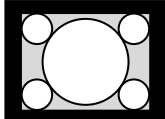
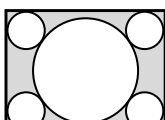
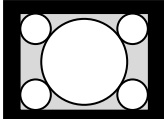
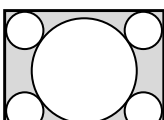
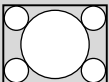
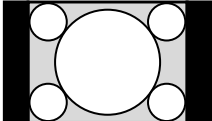
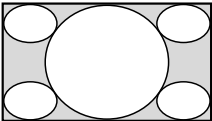
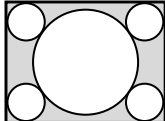
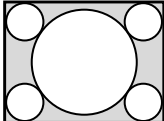
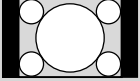
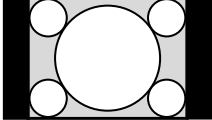
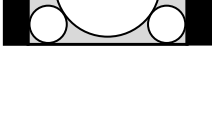
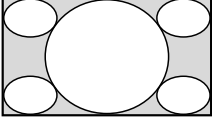
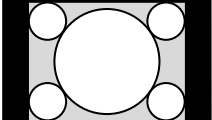
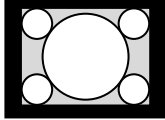
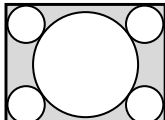
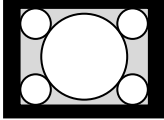
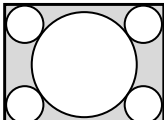
本体前面のランプ

本体前面のランプで、本機のメッセージを確認できます。

本体中央の青いランプが点滅しているとき

➔ 本機のバージョンアップを行っているときに点滅します。表示窓に「VERSION UP」と「PLEASE WAIT」が交互に表示されます。

録画予約ランプが点滅しているとき

➔ 録画予約が登録されているとき、以下の理由で録画できません。
- 直近の予約に対してHDDやBDの容量が不足している場合
- 直近の予約が BDへの録画予約であるときに、録画できないディスクが入っている、または、ディスクが入っていない場合

テレビ画面での画像の見えかたについて

ワイドテレビやワイドモード付きのテレビのときは、テレビ側のワイドモード設定によって表示のされ方が異なります。テレビの取扱説明書もあわせてご覧になり、ワイドモードの設定もご覧ください。

デジタル放送の画質（HDとSD）については、「画像方式について」（30ページ）をご覧ください。

テレビ画面での画像の見えかた一覧

オリジナルの映像	［テレビタイプ］と「画面モード」の設定によるテレビ画面での画像の見えかた			
	16:9のテレビ画面		4:3のテレビ画面	
	［テレビタイプ］を［16：9］、［画面モード］を［横縦比固定］に設定したとき	［オリジナル］を選んだときテレビのワイドモード設定で「オートワイド」が「入」のとき	［オリジナル］を選んだときテレビのワイドモード設定で「オートワイド」が「入」のとき	［テレビタイプ］を［4：3］、［画面モード］を［横縦比固定］に設定したとき
デジタルハイビジョン信号 HD の16:9映像				
標準テレビ信号 SD の16:9映像				
標準テレビ信号 SD のレターボックス4:3映像（画面上下の黒帯を除いた映像部分は16:9）	または	または		
デジタルハイビジョン信号 HD のサイドパネル16:9映像（画面左右の黒帯を除いた映像部分は4:3）		または	または	または
標準テレビ信号 SD の4:3映像				
標準テレビ信号 SD のサイドパネル16:9映像（画面左右の黒帯を除いた映像部分は4:3）		または	または	または

ちょっと一言

放送される信号の種類により、見え方が2通りある場合があります。

HDMIコントロールについて

HDMIコントロールとは

HDMI コントロールは、HDMI で規格化されている HDMI CEC（Consumer Electronics Control）を使った機器間相互制御の機能です。
ソニーのHDMIコントロール対応のテレビやAV アンプなどをHDMI ケーブルでつなぐと、それぞれの機器間で連動した操作ができるようになります。

HDMIコントロール機能を使うには

それぞれの対象機器で、正しい接続・設定を行ってください。

対応機器をつなぐ

HDMIケーブルでつなぎます。接続にはHDMIロゴがついているものをお使いください。

動作推奨機器 (2007年10月現在)
- <ブラビア> X7000/5050/5000シリーズ、W5000シリーズ、V5000/3000シリーズ、J5000/3000シリーズ

また、HDMI CEC（Consumer Electronics Control）に準拠している一部の他社製テレビで動作します。（ただし、保証するものではありません）

HDMIコントロールの設定をする

HDMI コントロールを使うには、本機とつないだ機器側でそれぞれ設定が必要です。本機側の設定については、189ページをご覧ください。つないだ機器の設定はそれぞれの取扱説明書をご覧ください。

なお、「HDMI コントロール設定連動」に対応しているソニー製テレビをつないでいるときは、テレビのHDMIコントロール設定を有効にすると、本機のHDMIコントロール設定も有効になります。
「ＨＤＭＩコントロール設定連動」対応テレビ（2007年10月現在）
- <ブラビア> X7000/5050/5000シリーズ、W5000シリーズ、V5000/3000シリーズ

HDMIコントロールでできること（37ページ）

- テレビの電源を切ると、連動して本機の電源も切ることができます。
- 本機で下記ボタンを押すと、テレビの電源が自動的に入り、テレビの入力が本機を接続している入力に自動的に切り換わります。
  - 電源
  - ホーム
  - 見る
  - 予約する
  - 再生
  - 番組表
- テレビの入力を選ぶだけで、本機の電源が入ります。

また、「ブラビアリンク」に対応したテレビのリモコンからも本機を操作することができます。詳しくは、56ページをご覧ください。

ご注意

録画機器などを4台以上接続すると、HDMIコントロールは動作しません。

利用できるディスク一覧

本機で録画・再生できるディスク

本機で録画したDVD-RW（VRモード）またはDVD-R（VRモード）は、DVD-RW（VRモード）またはDVD-R（VRモード）対応プレーヤーでのみ再生可能です。通常のDVDプレーヤーでは再生できませんのでご注意ください。

	HDD（本機内蔵）	12cmにのみ対応							
		BD-RE	BD-R	DVD-RW（VR）	DVD-RW（Video）	DVD-R（VR）	DVD-R（Video）	DVD+RW	DVD+R DVD+R DL
本機で利用できるバージョン	–	Ver.2.1（1層および2層）に対応した2倍速メディアまで（Ver.1.0（1層）は再生のみ可）	Ver1.1,Ver.1.2（1層および2層）に対応した4倍速メディアまで（LTH*[12]は1層のみ対応）	Ver.1.1, Ver.1.1 CPRM, Ver.1.2, Ver.1.2 CPRMに対応した6倍速メディアまで		Ver.2.0, Ver.2.0 CPRM, Ver.2.1, Ver.2.1CPRMに対応した16倍速メディアまで		8倍速メディアまで	16倍速メディアまで（DVD+R DLは8倍速まで）
最大録画時間	315時間（BDZ-L70/T70）242時間（BDZ-T50）	24時間25分（1層）48時間50分（2層）		約6時間*[10]	約6時間*[10]	約6時間*[10]	約6時間*[10]	約6時間*[10]	約6時間*[10]（DVD+R　DLは約10時間51分）
番組の録画	○	○	○	×*[10]	×*[10]	×*[10]	×*[10]	×*[10]	×*[10]
1回だけ録画可能の番組の録画	○	○	○	×*[10]（要CPRM対応）	×	×*[10]（要CPRM対応）	×	×	×
書き換え	○	○	×	○	○	×	×	○	×
チャプター設定	自動/手動	自動/手動	自動/手動	×	×	×	×	×	×
静止画の保存（取り込み）*[13]	○	○	○	○	○	○	○	○	○
二か国語放送の両音声を録画	○*[2]	○*[2]	○*[2]	×	×	×	×	×	×
文字放送の字幕を録画*[1]	○	○	○	×*[10]	×*[10]	×*[10]	×*[10]	×*[10]	×*[10]
16：9番組・映像を録画	○	○	○	×*[10]	×*[10]*[11]	×*[10]	×*[10]*[11]	×	×
16:9/4:3の番組・映像を混在して録画	○*[3]	○*[3]	○*[3]	×*[10]	×	×*[10]	×	全てを4：3でダビング	全てを4：3でダビング
タイトル名入力	○	○	○	×	×	×	×	×	×
タイトル消去	○	○	○*[4]	×	×	×	×	×	×
A-B消去	○	○	○*[4]	×	×	×	×	×	×
タイトル分割	○	○	○	×	×	×	×	×	×
タイトル結合*[5]	○	○	○	×	×	×	×	×	×
プレイリスト作成	○	○	○	×	×	×	×	×	×
ディスクの初期化*[6]	不要	自動的に初期化	自動的に初期化	VRモードで初期化	ビデオモードで初期化	VRモードで初期化	ビデオモードで初期化	+VRで自動的に初期化	+VRで自動的に初期化
録画番組・映像の再生	○	○	○	○	○	○	○	○	○
静止画（JPEG）の再生	○*[13]	○	○	○	○	○	○	○	○
動画・静止画混在しているとき	○	○	○	再生のみ	再生のみ*[7]	再生のみ	再生のみ*[7]	再生のみ	再生のみ*[7]
静止画のHDD→DISCへのコピー *[13]	–	○	○	○*[8]	○*[8]	新品のディスクのみ	新品のディスクのみ	○*[8]	新品ディスクのみ（DVD+R DLは不可）
互換性（再生互換）	–	多くのBD機器で再生可能*[9]	多くのBD機器で再生可能*[9]	VRモード対応の機器で再生可能	多くのDVD機器で再生可能（要ファイナライズ）	-R VRモード対応の機器で再生可能（要ファイナライズ）	多くのDVD機器で再生可能（要ファイナライズ）	多くのDVD機器で再生可能	多くのDVD機器で再生可能（要ファイナライズ）

*[1] 録画モードDRモード以外で字幕を録画するときは、[字幕焼きこみ]（185ページ）の設定が必要です。

*[2] 録画モードがDRモードのときのみ。

*[3] 1つのタイトルに16:9/4:3の番組・映像を混在して録画できるのはDRモードのみです。

*[4] タイトルを消去してもディスクに空き容量は発生しません。

*[5] HDD、BDの場合はオリジナルタイトル同士またはプレイリストタイトル同士。

*[6] 未使用のディスクはDVD へのダビングを行うときに、自動的に初期化されます。

*[7] ファイナライズ済のディスク。

*[8] 静止画をコピーすると、今までに入っていたデータが消去されます。

*[9] DR モード以外の録画モードでBD-RE、BD-R に録画した場合、BD-RE2.1規格に対応したレコーダーやプレーヤーでのみ再生できます。

*[10] ダビングのみできます。録画は出来ません。

*[11] ダビングモードがLP、EPでは4：3のみ。

*[12] Low to High：有機色素系BD-Rに対応した記録方式。

*[13] BDZ-L70のみ。

その他

次のページにつづく⇨

市販品および他機器録画ディスクの再生

本機は12cmと8cmの両方のディスクに対応しています。

	市販のBD-ROM	他機による録画 BD-RE BD-R*[1]（1層/2層）	市販のDVDビデオ	他機による録画 DVD-RW	他機による録画 DVD-R/DVD-R DL	他機による録画 DVD+RW DVD+R/+R DL	他機による録画 ファイナライズ済みのDVD-R DLの8cmディスク	市販のCD*[2]	他機による録画 CD-R/CD-RW	Super Audio CD
本機への動画保存（取り込み）	×	○*[3]	×	○*[3]/*[4]	○*[3]/*[4]	○*[3]/*[4]	×	×	×	×
本機への静止画保存（取り込み）*[5]	×	○	○	○*[4]	○*[4]	○*[4]	○	○	○	×
動画の再生	○	○	○	○*[4]	○*[4]	○*[4]	○	×	×	×
音楽の再生（CD-DAのみ）	×	×	×	×	×	×	×	○	○	CDレイヤーのみ
静止画の再生	○	○	○	○*[4]	○*[4]	○*[4]	○	○	○	×

*[1] BD-REはVer.2.1またはVer.1.0、BD-RはVer1.2またはVer.1.1に対応。ただし、LTH（Low to High：有機色素系BD-Rに対応した記録方式）は1層のみ対応。

*[2] 音楽用のCDのロゴ COMPACT disc DIGITAL AUDIO が付いているもののみ対応。

*[3]「1回だけ録画可能」の番組は本機へ取り込めません。

*[4] ファイナライズ済みのディスク。

*[5] BDZ-L70のみ。

ご注意

- 地域番号（リージョンコード）が「A」を含まないBD-ROMは再生できません。
- 地域番号（リージョンコード）が「2」または「ALL」以外のDVDは再生できません。
- NTSC以外のカラーテレビ方式で記録されたディスクは再生できません。

AVCHD規格で録画したディスクの再生について

本機で再生できるAVCHD規格で記録したディスクは次のとおりです。ただし、下表のすべてのディスクを動作保証するものではありません。

DVD-RW	DVD-R/DVD-R DL	DVD+RW	DVD+R/DVD+R DL	DVD-RAM
○*[1]	○*[1]	○*[1]	○*[1]	×

*[1] ファイナライズ済みのディスク。

録画モード一覧

HDD/BDの録画モードと録画可能時間

録画モード		HDDへの録画可能時間*[1]（目安）		BDへの録画可能時間*[1]（目安）	
				BDの種類	
		BDZ-L70/T70	BDZ-T50	1層（25GB）	2層（50GB）
DR（デジタル放送画質*[2]）					
	地上デジタル（HD）放送録画時	約39時間	約30時間	約3時間	約6時間
	BS・110度CS（HD）放送録画時	約28時間	約21時間	約2時間10分	約4時間20分
	標準テレビ信号（SD）放送録画時	約61時間	約46時間	約4時間44分	約9時間28分
	HDV INの映像録画時*[3]	約24時間	―	約1時間55分	約3時間50分
XR（AVC15M）	（高画質）	約41時間	約31時間	約3時間10分	約6時間20分
XSR（AVC12M）	↑	約52時間	約40時間	約4時間	約8時間
SR（AVC8M）	（標準）	約78時間	約60時間	約6時間5分	約12時間10分
LSR（AVC6M）		約105時間	約80時間	約8時間5分	約16時間10分
LR（AVC4M）	↓	約157時間	約121時間	約12時間10分	約24時間20分
ER（AVC2M）	（長時間録画）	約315時間	約242時間	約24時間25分	約48時間50分

*[1] 次のようなときに録画時間が異なることがあります（XSR ～ ERのみ対象）。
- 受信状態が悪いテレビ放送など画質が悪い番組を録画する場合
- 編集されたBDに追加して録画する場合
- 静止画像や音声のみを録画し続けた場合

*[2] デジタル放送をそのままの画質で録画できます（標準テレビ放送（SD）の番組は、そのままのSD画質で録画されます）。また、「録画2」へは、DRモードでのみ録画できます。

*[3] BDZ-L70のみ

HDDからDVDへのダビングモードと記録可能時間

ダビングモード		DVDへの記録可能時間*[1]（目安）	
		DVDの種類	
		DVD+R DL以外	DVD+R DL
XP	（高画質）	約1時間	約1時間48分
XSP	↑	約1時間30分	約2時間42分
SP	（標準）	約2時間	約3時間37分
LSP		約2時間30分	約4時間31分
LP	↓	約4時間	約7時間14分
EP	（長時間録画）	約6時間	約10時間5 1分

*[1] 次のようなときに記録時間が異なることがあります（XSP ～ EPのみ対象）。
- 受信状態が悪いテレビ放送など画質が悪い番組をダビングする場合
- 編集されたDVDに追加してダビングする場合
- 静止画像や音声のみのタイトルをダビングした場合

HDDからBDへの高速ダビング所要時間一覧（60分番組の場合）*[1]

録画モード		BD-RE（２倍速メディア使用時）		BD-R（4倍速メディア使用時）	
		ダビング倍速	ダビング所要時間	ダビング倍速	ダビング所要時間
DR	地上デジタル（HD）放送	約4倍速	約15分	約8倍速	約7分30秒
	BS・110度CS（HD）放送	約2.8倍速	約21分	約5.7倍速	約10分30秒
	標準テレビ信号（SD）放送	約6倍速	約10分	約12倍速	約5分
	HDV IN*[2]	約2.5倍速	約24分	約5倍速	約12分
XR	（高画質）	約4.2倍速	約14分15秒	約8.2倍速	約7分15秒
XSR	↑	約5.3倍速	約11分15秒	約10倍速	約5分45秒
SR	（標準）	約7.9倍速	約7分35秒	約15倍速	約3分55秒
LSR		約10倍速	約5分45秒	約20倍速	約3分
LR	↓	約15倍速	約4分	約26倍速	約2分15秒
ER	（長時間録画）	約28倍速	約2分5秒	約51倍速	約1分10秒

*[1] 表中の速度・所要時間は目安です。実際には、ディスク管理情報の作成時間も加わります。

*[2] BDZ-L70のみ

次のページにつづく⇨

HDD/BDの録画モードと記録されるデータ

録画モード		放送番組の情報				
		映像	映像横縦比	音声	二重音声	字幕データ
DR	地上デジタル（HD）放送	HD/SD/混在	16:9/4:3/混在	5.1ch/2ch/混在	二重音声	字幕データ
	BS・110度CS（HD）放送					
	標準テレビ信号（SD）放送					
	HDV IN					
XR	（高画質）	HD/SD	16:9/4:3 *1	5.1ch/2ch	主または副 *2	字幕焼きこみ可能 *3
XSR	↑	HD/SD	16:9/4:3 *1	5.1ch/2ch	主または副 *2	字幕焼きこみ可能 *3
SR	（標準）	HD/SD	16:9/4:3 *1	5.1ch/2ch	主または副 *2	字幕焼きこみ可能 *3
LSR		HD/SD	16:9/4:3 *1	5.1ch/2ch	主または副 *2	字幕焼きこみ可能 *3
LR	↓	SD	16:9/4:3	2ch	主または副 *2	字幕焼きこみ可能 *3
ER	（長時間録画）	SD	16:9/4:3	2ch	主または副 *2	字幕焼きこみ可能 *3

*1 HDの場合には、16:9 のみ。

*2 [設定]→[ビデオ設定]→[二重音声記録]にて設定した音声（主音声または副音声）のみが記録されます。

*3 [設定]→[ビデオ設定]→[字幕焼きこみ]の設定を「入」にすると、字幕を映像の一部として焼きこむことができます。

言語コード一覧

詳しくは、190ページをご覧ください。

コード	言語
1027	Afar
1028	Abkhazian
1032	Afrikaans
1039	Amharic
1044	Arabic
1045	Assamese
1051	Aymara
1052	Azerbaijani
1053	Bashkir
1057	Belarusian
1059	Bulgarian
1060	Bihari
1061	Bislama
1066	Bengali; Bangla
1067	Tibetan
1070	Breton
1079	Catalan
1093	Corsican
1097	Czech
1103	Welsh
1105	Danish
1109	German
1130	Bhutani
1142	Greek
1144	English
1145	Esperanto
1149	Spanish
1150	Estonian
1151	Basque
1157	Persian
1165	Finnish
1166	Fiji
1171	Faroese
1174	French

コード	言語
1239	Interlingue
1245	Inupiak
1248	Indonesian
1253	Icelandic
1254	Italian
1257	Hebrew
1261	Japanese
1269	Yiddish
1283	Javanese
1287	Georgian
1297	Kazakh
1298	Greenlandic
1299	Cambodian
1300	Kannada
1301	Korean
1305	Kashmiri
1307	Kurdish
1311	Kirghiz
1313	Latin
1326	Lingala
1327	Laothian
1332	Lithuanian
1334	Latvian; Lettish
1345	Malagasy
1347	Maori
1349	Macedonian
1350	Malayalam
1352	Mongolian
1353	Moldavian
1356	Marathi
1357	Malay
1358	Maltese
1363	Burmese
1365	Nauru

コード	言語
1482	Kirundi
1483	Romanian
1489	Russian
1491	Kinyarwanda
1495	Sanskrit
1498	Sindhi
1501	Sangho
1503	Singhalese
1505	Slovak
1506	Slovenian
1507	Samoan
1508	Shona
1509	Somali
1511	Albanian
1512	Serbian
1513	Siswati
1514	Sesotho
1515	Sundanese
1516	Swedish
1517	Swahili
1521	Tamil
1525	Telugu
1527	Tajik
1528	Thai
1529	Tigrinya
1531	Turkmen
1532	Tagalog
1534	Setswana
1535	Tonga
1538	Turkish
1539	Tsonga
1540	Tatar
1543	Twi
1557	Ukrainian

コード	言語
1181	Frisian
1183	Irish
1186	Scots Gaelic
1194	Galician
1196	Guarani
1203	Gujarati
1209	Hausa
1217	Hindi
1226	Croatian
1229	Hungarian
1233	Armenian
1235	Interlingua

コード	言語
1369	Nepali
1376	Dutch
1379	Norwegian
1393	Occitan
1403	(Afan)Oromo
1408	Oriya
1417	Punjabi
1428	Polish
1435	Pashto; Pushto
1436	Portuguese
1463	Quechua
1481	Rhaeto-Romance

コード	言語
1564	Urdu
1572	Uzbek
1581	Vietnamese
1587	Volapük
1613	Wolof
1632	Xhosa
1665	Yoruba
1684	Chinese
1697	Zulu
1703	無指定

言語名表記はISO639:1988 (E/F)に準拠

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 記録内容（コンテンツ）については、保証の対象外です。
- 当社にて記録内容（コンテンツ）の修復、復元、複製などは行いません。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックとご相談を

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

それでも具合が悪いときはお客様ご相談センターへ

お客様ご相談センター（➡裏表紙）へご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名：BDZ-L70、BDZ-T70、BDZ-T50
- ディスクの種類：BD-RE、BD-R、DVD-RW、DVD-Rなど
- 接続しているアンテナ：VHF/UHF、VHF/UHF/BS・110度CS混合アンテナ、CATV
- つないでいるテレビやアンプのメーカーと型名
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日：

リモート録画予約について

リモート録画予約についてはリモート録画予約サービス事業者にお問い合わせください（89ページ）。なお、お客様からのお問い合わせに対応するために、事業者側のサーバーにアクセスし、お客様の情報（サービス登録番号や携帯電話ニックネーム、本機に関する情報*）を確認することがあります。

*・本機に付与されるサーバー側システム上の管理ID
・機種名
・MACアドレスの下4桁
・ネットワーク接続状況
・契約しているサービス情報

BSデジタル、110度CSデジタルの放送局との受信契約や番組について

ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターや衛星サービス会社、B-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）に問い合わせてください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではBDレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

型名		BDZ-L70	BDZ-T70	BDZ-T50
システム	形式	BD/DVD/HDDレコーダー		
	受信チャンネル	地上デジタルチューナー：UHF、CATV 地上アナログチューナー（CATVチューナー一体型）：VHF：1 ～ 12ch、UHF：13 ～ 62ch、CATV：13 ～ 63ch BS・110度CSデジタルチューナー：1032 ～ 2071MHz		
	映像受信方式	周波数シンセサイザー方式		
	音声受信方式	スプリットキャリア方式		
	アンテナ入出力	地上デジタル/VHF/UHF：75ΩF型コネクター BS/110度CS IF：75Ω F 型コネクター （コンバーター用電源出力DC15V/11V 最大4W、芯線側＋、メニューにて自動/切を切り換え）		
	タイマー	時計方式：クォーツクロック、12時間デジタル表示 停電補償時間：約1時間		
	映像記録方式	MPEG4-AVC（HDD/BD）、MPEG2（HDD/BD）（DRモード時）、MPEG1,2（DVD）		
	音声記録方式/ビットレート	Dolby Digital (2ch 256kbps / 5.1ch 448kbps) MPEG-2 AAC（DRモード時） MPEG-1 Layer2（DRモードでHDVダビング時）		
入・出力端子	映像入力	入力1、入力2（前面）、入力3の3系統、ピンジャック、1.0 Vp-p/75 Ω	入力1、入力2の2系統、ピンジャック、1.0 Vp-p/75 Ω	
	映像出力	出力1、ピンジャック、1.0 Vp-p/75 Ω		
	S映像入力	入力1、入力2（前面）、入力3の3系統、4ピンミニDIN 輝度信号：1.0 Vp-p/75 Ω 色信号：0.286 Vp-p/75 Ω	入力1、入力2の2系統、4ピンミニDIN 輝度信号：1.0 Vp-p/75 Ω 色信号：0.286 Vp-p/75 Ω	
	S1映像出力	出力1、4ピンミニDIN 輝度信号：1.0 Vp-p/75 Ω 色信号：0.286 Vp-p/75 Ω		
	音声入力	入力1、入力2（前面）、入力3の3系統、ピンジャック 入力レベル：2 Vrms（入力インピーダンス：22 kΩ以上）	入力1、入力2の2系統、ピンジャック 入力レベル：2 Vrms（入力インピーダンス：22 kΩ以上）	
	音声出力	出力1、音声出力の2系統、ピンジャック 出力レベル：2 Vrms（負荷インピーダンス：10 kΩ）		
	デジタル音声出力	光：角型光ジャック1系統/-18 dBm（発光波長660 nm）		
	D1/D2/D3/D4映像出力	D映像出力端子 Y：1.0 Vp-p/75 Ω、PB/CB：0.7 Vp-p/75 Ω、PR/CR：0.7 Vp-p/75 Ω		
	HDMI出力	19ピン標準コネクタ		
	HDV/DV入力	i.LINK 4ピン HDV1080i/DV IN 1系統		
	USB端子	Hi-Speed USB (USB 2.0準拠）1系統 （デジタルビデオカメラ/デジタルスチルカメラ/メモリースティックUSBリーダーライターおよび“PSP”（発売元：ソニーコンピューター・エンタテインメント株式会社）接続用）		
	電話回線端子	モジュラージャック		
	LAN端子	10BASE-T/100BASE-TX（ネットワークの使用環境により、通信速度に差が生じることがあります。本機は10BASE-T/100BASE-TXの通信速度や通信品質を保証するものではありません。）		
電源・その他	電源	AC100 V、50/60 Hz		
	消費電力	65 W	62 W	59 W
	許容動作温度	5 ℃～ 35 ℃		
	許容動作湿度	25 %～ 80 %		
	最大外形寸法	430×95×334 mm（幅×高さ×奥行き）最大突起含む		
	HDD容量	320ギガバイト	320ギガバイト	250ギガバイト
	本体質量	約6.5kg	約6.4kg	約6.3kg
	付属品	「［準備1］付属品を確認する」（23ページ）をご覧ください。		

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

次のページにつづく⇨

商標について

- Blu-ray DiscおよびBlu-ray Discロゴは商標です。
- Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.またはその関連会社の日本国内における登録商標です。
  Gガイドは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。
  米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。
  また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー、ProLogic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTSはDTS,Inc.の登録商標です。そして、DTS-HD Advanced Digital OutはDTS,Inc.の商標です。
- i.LINKは、IEEE1394を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ " " はソニーの商標です。
- " "、"xross media bar" および "XMB" は、ソニー株式会社および株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標です。
- PSP®「プレイステーション・ポータブル」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商品です。また、「PSP」および「プレイステーション」は同社の登録商標です。
- HDVおよびHDVロゴはソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- AVCHDおよびAVCHDロゴは松下電器産業株式会社とソニー株式会社の商標です。
- " " はソニー株式会社の商標です。
- "x.v.Color" および "x.v.Color" は、ソニー株式会社の商標です。
- 本製品に搭載されているフォントの内、新ゴR、新丸ゴR、新丸ゴBの各書体は株式会社モリサワより提供を受けており、これらの名称は同社の登録商標または商標であり、フォントの著作権も同社に帰属します。
- JavaおよびすべてのJava関連のマークは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems,Inc.の商標または登録商標です。
- DCS－人名辞書データ (著作権者・提供者:日外アソシエーツ株式会社)
- DCS－ニュース・シソーラス 第四版
  ー 新聞・放送ニュース検索のための主題14000語 :著編者・廣木守雄, 服部信司〔編〕/提供:日外アソシエーツ株式会社

Gガイドについて

本機のアナログ放送の電子番組表は、米Gemstar-TV Guide International, Inc.が開発した「Gガイド」を採用しています。Gガイドを利用した番組表は、特定の放送局（ホスト局）の地上アナログテレビ放送とともに送信されています。本機は、そのデータを1日数回自動的に受信して、テレビ画面に番組表を表示しています。
ホスト局からの放送を受信できる地域にお住まいの場合は、かんたん設定を行うだけで、この番組情報サービスを無料にてご利用いただけます。

* 当社では、Gガイドを利用した番組表のサービス内容には関与していません。

ご注意

お住まいの地域や電波状況によっては、ご利用いただけない場合があります。

Gガイドとは

Gガイドは、（株）インタラクティブ・プログラム・ガイドがサービス主体となり、特定の放送局の放送波を利用して番組表データを送信するサービスです。
番組表のデータ送信は（株）インタラクティブ・プログラム・ガイドと、データ送信を行う放送局側で行われているため、都合によりデータが送信されない場合もあります。

Gガイドのサービス地域について

Gガイドを利用した番組表データは、次の放送局より送信されています（2007年9月現在）。

- 北海道地域ー北海道放送（HBC）
- 東北地域ー青森テレビ（ATV）、秋田テレビ（AKT）、IBC岩手放送（IBC）、テレビユー山形（TUY）、東北放送（TBC）、テレビユー福島（TUF）
- 関東地域ー東京放送（TBS）
- 中部地域ー新潟放送（BSN）、信越放送（SBC）、静岡放送（SBS）、中部日本放送（CBC）、テレビ山梨（UTY）、チューリップテレビ（TUT）、北陸放送（MRO）、福井テレビ（FTB）
- 近畿地域ー毎日放送（MBS）
- 中国・四国地域ー山陽放送（RSK）、中国放送（RCC）、テレビ山口（TYS）、山陰放送（BSS）、あいテレビ（ITV）、テレビ高知（KUTV）
- 九州・沖縄地域ー RKB毎日放送（RKB）、長崎放送（NBC）、大分放送（OBS）、熊本放送（RKK）、宮崎放送（MRT）、南日本放送（MBC）、琉球放送（RBC）

i.LINK（アイリンク）について（BDZ-L70のみ）

本機のデジタルビデオカメラ用i.LINK端子はi.LINKに準拠したデジタルビデオカメラ用HDV1080i/DV IN入力端子です。ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。

i.LINKとは？

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。
i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。
複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。
ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

ちょっと一言

i.LINK（アイリンク）はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。
IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

ご注意

- i.LINKは、すべての対応機器での接続動作を保証するものではありません。i.LINK対応機器間でデータやコントロール信号がやりとりできるかどうかは、それぞれの機器の機能によって異なります。
- i.LINKケーブル（DVケーブル）で本機と接続できる機器は通常1台だけです。複数接続できるDV対応機器と接続するときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- ソニー家庭用DV方式、Digital8（デジタルエイト）方式のデジタルビデオカメラ（2007年9月末日までに日本国内で発売した機器。DHR-1000、DCR-VX700/VX1000、DCR-PC7を除く）と、ソニー製デジタルHDビデオカメラ（HDR-FX1/HC1/HC3/HC7、QUALIA 002（Q002-HDR1））でのみ接続動作を確認しています。
- ソニー製以外のHDV/DVビデオカメラレコーダーは接続できません。

i.LINKの転送速度について

i.LINKの最大データ転送速度は機器によって違い、次の3種類があります。
　S100（最大転送速度　約100Mbps*）
　S200（最大転送速度　約200Mbps）
　S400（最大転送速度　約400Mbps）
転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によってはi.LINK端子周辺に表記されています。
本機の最大転送速度は「S100」です。
最大データ転送速度が異なる機器と接続した場合、転送速度が表記と異なることがあります。

* Mbpsとは？
「Mega bits per second」の略で「メガビーピーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。100Mbpsならば100メガビットのデータを送ることができます。

本機でのi.LINK操作は

本機のi.LINK端子は入力専用です。また、本機のi.LINK端子（HDV1080i/DV IN入力端子）は、MICROMV方式のデジタルビデオカメラのi.LINK端子（MICROMV信号）、および地上デジタルハイビジョンテレビ、地上デジタルチューナー、BSデジタルハイビジョンテレビ、BSデジタルチューナー、デジタルCSチューナーやD-VHSデッキのi.LINK端子（MPEG-TS信号）とは信号が異なるため、接続できません。使用方法については150ページをご覧ください。
接続の際のご注意および、本機に対応したアプリケーションの有無などについては、接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

必要なi.LINKケーブル

ソニーのi.LINKケーブルをお使いください。
4ピン ←→ 4ピン（HDV/DVダビング時）

本機器はIEEE1394-1995とIEEE1394a-2000規格に準拠しています。

次のページにつづく⇨

ソフトウェア等に関する重要なお知らせ

この度は弊社製品（以下「本製品」）をお買い上げいただきありがとうございます。
本製品のご使用を開始される前に必ず、本製品に含まれるソフトウェア等に関するこのお知らせをお読みください。
お客様による本製品の使用開始をもって、このお知らせの内容をご確認の上、ご同意いただけたものとさせていただきます。

ソフトウェア使用許諾契約書

本製品に含まれるソフトウェア（以下「許諾ソフトウェア」とします）につきまして、下記のソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。
なお、本製品にはGNU General Public LicenseまたはGNU Lesser General Public Licenseの適用を受けるソフトウェアが含まれていますが、かかるソフトウェアは「許諾ソフトウェア」には含まれず、下記ソフトウェア使用許諾契約書の対象とはなりませんのでご注意ください。GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアの使用許諾条件については、「GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ」をご覧ください。
また、同様に、本製品には「OpenSSL（「Original SSLeay」ライブラリを含む）」および「NetBSD」、「JPEG」、「fdlibm」、「Root Certificate」が含まれていますが、下記ソフトウェア使用許諾契約書と、各ソフトウェアに関する「お知らせ」に記載されておりますソフトウェアの使用許諾条件に矛盾又は齟齬がある場合には、各「お知らせ」にかかるソフトウェアの範囲において、各「お知らせ」に記載されております使用許諾条件が優先いたします。

ソフトウェア使用許諾契約書

本契約は、お客様（以下「使用者」とします）と弊社（以下「ソニー」とします）との間での許諾ソフトウェアの使用許諾に関する条件を規定しております。

第1条（総則）
許諾ソフトウェアは、日本国内外の著作権法並びに著作者の権利およびこれに隣接する権利に関する諸条約その他知的財産権に関する法律によって保護されています。許諾ソフトウェアは、本契約の条件に従いソニーから使用者に対しての使用許諾されるもので、許諾ソフトウェアの著作権等の知的財産権は使用者に移転いたしません。

第2条（使用権）
1．ソニーは、許諾ソフトウェアの日本国内における非独占的な使用権を使用者に許諾します。
2．本契約によって生ずる許諾ソフトウェアの使用権とは、本製品上においてのみ、使用者が許諾ソフトウェアを使用する権利をいいます。
3．許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアを営利目的を含むいかなる目的でも貸与または頒布する事はできません。

第3条（許諾条件）
1．使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書に記載の使用方法に沿って使用するものとします。
2．使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類等の一部または全部を複製、複写もしくは修正、追加等の改変をしてはならないものとします。
3．使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類等を日本国外に輸出、移送をしてはならないものとします。
4．使用者は、許諾ソフトウェアに関しリバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。
5．使用者は、許諾ソフトウェアの一部を許諾ソフトウェアから切り離して単独のソフトウェアとして使用してはならないものとします。
6．使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類等を再使用許諾、貸与またはリースその他の方法で第三者に使用させてはならないものとします。
7．使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類等を使用して、ソニーを含む第三者の著作権、特許権その他の知的財産権を侵害するような行為を行ってはならないものとします。
8．使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類の著作権もしくは商標にかかる表示等の一部または全部を除去、変更、追加してはならないものとします。
9．使用者は、本製品と共に許諾ソフトウェアの一切（全ての構成部分、マニュアルなどの関連書類、電子文書および本契約書を含みます）を譲受人に譲渡し、かつ当該譲受人が本契約の全条項に同意することを条件とし、許諾ソフトウェアおよび前条に規定するその使用権を第三者に譲渡することが出来るものとします。なお、許諾ソフトウェアの一切が譲受人に譲渡され、かつ当該譲受人が本契約の全条項に同意した時点をもって、当該譲受人とソニーとの間で本契約の内容を条件とする契約が成立し、かつ、元の使用者とソニーとの間での本契約は解除されるものとします。

第4条（許諾ソフトウェアの権利）
許諾ソフトウェアおよびその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ソニーまたはソニーが許諾ソフトウェアの再許諾権を許諾された原権利者（以下原権利者とします）に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェアおよびその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第5条（ソニーおよび原権利者の免責）
ソニーおよび原権利者は、許諾ソフトウェアについて何等の保証を行うものではなく、使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。

第6条（第三者に対する責任）
使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争を生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ソニーおよび原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第7条（自動アップデート）
1．許諾ソフトウェアにはソニーまたはソニーの指定する第三者のサーバーに本製品を接続した際に許諾ソフトウェアが自動的にアップデートされる機能を有するものがあります。使用者が、この自動アップデートの機能を用いない旨設定した場合、または、アップデートをするか否かを問わせる設定にした場合で且つ使用者がアップデートの実行を拒否した場合、使用者による許諾ソフトウェアの使用に関してソニーは何等の責任を負わないものとします。
2．使用者は、前項に従い自動アップデートの機能を有効にした場合、（A）許諾ソフトウェアのセキュリティ機能の向上、エラーの修正、アップデート機能の向上等の目的で許諾ソフトウェアが適宜自動的にアップデートされること、および（B）当該許諾ソフトウェアのアップデートに伴い、許諾ソフトウェアの機能が追加、変更または削除されることがあることに同意するものとします。

第8条（秘密保持）
使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報および本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ソニーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

第9条（契約の解除）
ソニーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。
（1）　本契約に定める条項に違反したとき
（2）　差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第10条（許諾ソフトウェアの廃棄）
前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から2週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類およびその複製物を廃棄するものとします。ソニーが要求した場合、使用者は許諾ソフトウェア、関連書類およびその複製物を廃棄した旨を証明する文書をソニーに差し入れるものとします。

第11条（許諾ソフトウェアの更新）
1．使用者が、ネットワークからのダウンロード（第7条に定める自動アップデートを含む）あるいはソニーが提供または販売する更新用CDにより許諾ソフトウェアの更新を行う場合、更新後のソフトウェアについても本契約が適用されるものとします。ただし、ソニーより別の契約条件が提示される場合はこの限りではありません。なお、使用者は、更新用CDを許諾ソフトウェアの更新以外の目的で使用しないものとします。
2．前項に定める更新を行った結果、本製品に何らかの不都合が生じた場合には、お客様ご相談センターへお問い合わせください（▶裏表紙）。

第12条（その他）
1．本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2．本契約に定めなき事項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ソニー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License（以下「GPL」とします）またはGNU Lesser General Public License（以下「LGPL」とします）の適用を受けるソフトウェアが含まれております。
お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

パッケージリスト

linux-kernel.tar.gz
pump
lrzsz
busybox
gcc
glibc
netbase
diffutils
dosfstools
lzo
mkcramfs

これらのソースコードは、Webでご提供しております。ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスしてください。
http://www.sony.net/Products/Linux
なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。
以下、GNU GENERAL PUBLIC LICENSE の原文を記載します。

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.
59 Temple Place - Suite 330, Boston, MA 02111-1307, USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The Licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR

次のページにつづく⇨

AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and an idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place - Suite 330, Boston, MA 02111-1307, USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details
type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright
interest in the program `Gnomovision'
(which makes passes at compilers) written
by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999
Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.
59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.
To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
   a) The modified work must itself be a software library.
   b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
   c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
   d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its

purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and assessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

   a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
   b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and an idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

signature of Ty Coon, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

NetBSDソフトウェアに関するお知らせ

BSD License

Copyright (c) 1994-2004 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
   This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
4. Neither the name of The NetBSD Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The following notices are required to satisfy the license terms of the software that we have mentioned in this document:

This product includes software developed by Adam Glass.
This product includes software developed by Bill Paul.
This product includes software developed by Charles M. Hannum.
This product includes software developed by Christian E. Hopps.
This product includes software developed by Christopher G. Demetriou.
This product includes software developed by Christopher G. Demetriou for the NetBSD Project.
This product includes software developed by Christos Zoulas.
This product includes software developed by Gardner Buchanan.
This product includes software developed by Gordon W. Ross
This product includes software developed by Jonathan Stone for the NetBSD Project.
This product includes software developed by Manuel Bouyer.
This product includes software developed by Rolf Grossmann.
This product includes software developed by TooLs GmbH.
This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory and its contributors.
This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory.
This product includes software developed for the NetBSD Project by Wasabi Systems, Inc.
This product includes software developed for the NetBSD Project by Matthias Drochner..

OpenSSLソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアである「OpenSSL（「Original SSLeay」と称するライブラリーを含む）」が搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者の要求に基づき、弊社は、以下の内容をお客様に通知する義務があります。

下記内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。
パッケージ名 sony-target-grel-openssl-0.9.7l-020202.src.rpm

<OpenSSL>
Copyright (c) 1998-2006 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
   "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
   "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Original SSLeay

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.
If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.
This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above

copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

FreeType

The FreeType Project is copyright (C) 1996-2000 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg. All rights reserved except as specified below.

THE FREETYPE PROJECT IS PROVIDED 'AS IS' WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. IN NO EVENT WILL ANY OF THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY DAMAGES CAUSED BY THE USE OR THE INABILITY TO USE, OF THE FREETYPE PROJECT.

JPEGに関するお知らせ

本製品の一部には、Independent JPEG Groupの研究成果を使用しています。
パッケージファイル名 sony-target-grel-libjpeg-6b-020201.src.rpm

以上

In plain English:

1. We don't promise that this software works. (But if you find any bugs, please let us know!)
2. You can use this software for whatever you want. You don't have to pay us.
3. You may not pretend that you wrote this software. If you use it in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you've used the IJG code.

In legalese:
The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (c) 1991-1998, Thomas G. Lane.
All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:
(1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.
(2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".
(3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

PuTTYソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、PuTTYソフトウェアの一部のコードが搭載されております。
ソースパッケージ：putty-0.58.tar.gz
ライセンス条文：http://www.chiark.greenend.org.uk/~sgtatham/putty/licence.html

PuTTY is copyright 1997-2006 Simon Tatham.

Portions copyright Robert de Bath, Joris van Rantwijk, Delian Delchev, Andreas Schultz, Jeroen Massar, Wez Furlong, Nicolas Barry, Justin Bradford, Ben Harris, Malcolm Smith, Ahmad Khalifa, Markus Kuhn, and CORE SDI S.A.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL SIMON TATHAM BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

fdlibmソフトウェアに関するお知らせ

@(#)fdlibm.h 1.5 95/01/18
Copyright (C) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

Developed at SunSoft, a Sun Microsystems, Inc. business.
Permission to use, copy, modify, and distribute this software is freely granted,provided that this notice is preserved.

Root Cetificatesに関するお知らせ

In addition, the Runtimes and Runtime Components may contain one or more root certificates (herein referred to as "Root Certificates"). You may not modify the Root Certificates.

Nano-XMLに関するお知らせ

Copyright (C) 2000-2002 Marc De Scheemaecker, All Rights Reserved.
This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.

2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.

3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

用語集

五十音順

インターレース（飛び越し走査）（30）
映像の1フレーム（コマ）を2つのフィールド画像で半分ずつ表示する方式で、従来のテレビの表示方法。奇数フィールドでは奇数番号の走査線、偶数フィールドでは偶数番号の走査線を交互に表示します。

オリジナルタイトル（131）
HDDやBD-RE、BD-Rに実際に録画したそのままのタイトル。オリジナルのタイトルを消去するとHDDやBD-RE、DVD-RWの空きが増えます。

ガイドチャンネル（47）
ジェムスター社が各放送局に割り当てている識別番号。

緊急警報放送
地上デジタル、BSデジタルの標準テレビ信号のマルチ放送を利用した放送。
緊急警報放送には、地震などの災害時に放送される緊急ニュース番組などがあります。

ケーブルテレビ（CATV）
契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送。地上アナログのテレビ番組や地上デジタル、BSアナログに加え、スポーツや映画の専門チャンネル、地域情報番組や文字放送などを見ることができます。

降雨対応放送
激しい雨による映像・音声の遮断を防ぐために、通常の放送に並行して、降雨に強い方式で同じ番組を送るもの。
本機では、お買い上げ時、番組によって降雨対応放送に自動的に切り換わるように設定されています。
降雨対応放送は、画質や音質が通常の放送に比べ低下します。

コピー制御信号（17）
複製防止機能のこと。著作権者などによって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトや放送番組を録画することはできません。

視聴年齢制限（190）
国・地域ごとの規制レベルに合わせて、視聴年齢制限に対応したディスクの再生を制限するBD-ROM/DVDの機能。
制限のしかたはBD-ROM/DVDによって異なり、まったく再生できない場合や、過激な場面をとばしたり、別の場面に差し換えて再生する場合などがあります。

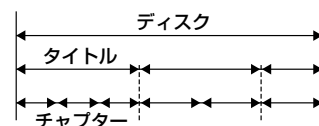
字幕放送（65、77）
画面上に、セリフなどの字幕を表示できる放送。本機では、字幕を入/切したり、字幕の言語を切り換えたりできます。

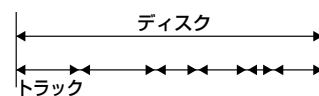
受信チャンネル（181）
本機が放送局を受信したときのチャンネル。通常は新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されている各放送局の番号と同じです。本機では、チャンネルの設定を自動で行ったときに設定されます。

ソニールームリンク（BDZ-L70のみ）（128）
DLNAなどのホームネットワークを介してさまざまな機器をつなぎ、動画・音楽・写真などの楽しみ方を広げるソニー商品の機能名称です。
本機には「ソニールームリンク」対応の「ホームサーバー機能」が搭載されています。「ソニールームリンク」対応しているテレビやパソコンとホームネットワーク経由で接続すると、HDDに記録した映像や写真を他の部屋からでも楽しめます。

タイトル（108）
HDDやBD、DVDに記録されている映像や曲のいちばん大きな単位。
通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚（または1曲）にあたります。本機で録画された番組などの映像のこともタイトルと呼んでいます。

ダウンミックス（188）
サラウンド音声を、オリジナルのチャンネル数以下に変換して再生することです。

チャプター （117）
HDDやBD、DVDに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルよりも小さい単位。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成されます。チャプターが記録されていないタイトルもあります。

デジタルハイビジョン信号（HD）（30）
デジタル放送の画像方式。1125iと750pがあり、大画面になっても走査線（テレビ画面を水平に走る線）が目立たなく、35mm映画なみの臨場感あふれる高精細画質を楽しめます。

トラック（111）
CDに記録されている曲の区切り（1曲分）。

トランスモジュレーション方式（29）
ケーブルテレビ事業者側で受信した地上デジタル放送を変調方式を変更して、ケーブルテレビへ再送信する方式。

ドルビーデジタル（36）
ドルビーラボラトリーズの開発した音声の圧縮技術。マルチチャンネル・サラウンドに対応しています。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力されます。高水準のデジタル音声をマルチチャンネルで楽しむことができます。

パススルー方式（28）
ケーブルテレビ事業者側で受信した地上デジタル放送を変調方式を変更せずに、ケーブルテレビへ再送信する方式。パススルー方式には周波数を変換するものとそのままのものがあります。

ハードディスク（HDD）**（15）**
大容量データ記憶装置のひとつ。表面に磁性体を塗った平らな円盤（ディスク）を回転させ、それに磁気ヘッドを近づけてデータを記憶します。
大量のデータの保存に適し、高速で読み書きすることが出来ます。

表示チャンネル（181）
本機で放送局を選ぶとき表示されるチャンネル。変更することもできます。

標準テレビ信号(SD)(30)
デジタル放送の画像方式。525pと525iがあり、525iは地上アナログと同等の画質です。

ブラビアプレミアムフォト(127)
写真らしい高精細で微妙な質感や色あいの表現を可能にする機能です。「ブラビアプレミアムフォト」に対応したソニー製機器同士の組み合わせで、写真をフルハイビジョン高画質でお楽しみいただけます。人肌や花びらの繊細な描写、砂浜や波の質感など、美しいフォト画質を大画面でお楽しみいただけます。

ブラビアリンク(55)
ハイビジョンテレビ<ブラビア>付属のリモコンで、本機を簡単に操作することができます。また、2.4GHzの無線通信による「マルチリモコン」からの操作にも対応しているので、リモコンをブルーレイディスクレコーダー本体に向けずに操作できます。

フレーム
映像を構成する1コマ1コマのこと。映像は1秒間に30枚の静止画で構成されています。

プレイリストタイトル(131)
HDDやBD-RE、BD-Rに録画したタイトルをもとに作る仮想映像。オリジナルのタイトルはそのままで、再生順をコントロールするための情報のみを持ちます。プレイリストを消去してもオリジナルに影響はなく、HDDやBD、DVDの残量が少ないときでも新しくタイトルを作って、編集を楽しむことができます。

プログレッシブ(順次走査)(30)
映像の1フレーム(コマ)を2つのフィールド画像で半分ずつ表示するインターレース方式に対して、1フレームを1つの画像で表示する方法。
従来のインターレース方式が1秒を30フレーム(60フィールド)で構成するのに対して、はじめから1秒を60フレームで構成することで高品質な映像を再現できます。

分配器(34)
入力の信号を複数に分ける機器。ただし信号を分けることにより信号のレベルが小さくなります。

分波器(26)
VHF/UHF、BSなどが合成された信号を入力すると、それぞれの異なる信号に分けて出力する機器。

ポップアップメニュー(110)
BD-ROMを再生中に、再生を継続させながらメニューを表示させる機能のことです。再生画面を見ながら、チャプターや音声、字幕の変更や設定などが行えます。

リニアPCM(187)
音声信号の符号化方式のひとつで、圧縮と伸張による音声劣化が発生しない方式です。

臨時放送
地上デジタルやBSデジタルの標準テレビ信号のマルチチャンネル放送を利用した放送。
同じ放送局の別のチャンネルで、臨時放送を行います。

録画モード(209)
ビデオカセットレコーダーの録画モード(標準録画や3倍録画)などと同じように、本機には複数の録画モードがあります。
高画質になればなるほど、録画に使用するデータ量が多くなるため、記録時間が短くなります。ERやLRなどのモードを選ぶと、録画に使用するデータ量が少ないため長時間録画できます。

数字順/アルファベット順

AAC(36)
デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式。「アドバンスド・オーディオ・コーディング(Advanced Audio Coding)」の略で、高い圧縮率で音楽CD並みの音質を実現します。

AACS(17)
著作権保護技術のひとつで、「アドバンスド・アクセス・コンテント・システム(Advanced Access Content System)」の略。この技術により、デジタル放送の「1回だけ録画可能」の番組もBD-REやBD-Rに記録できます。

AVCHD(14)
HD (ハイビジョン)信号をMPEG-4 AVC/H.264方式を用いて記録するハイビジョンデジタルビデオカメラの規格です。従来のMPEG-2に比べて2倍以上の圧縮符号化効率を持ちます。

B-CASカード(デジタル放送用ICカード)(38)
プラスチック・カードに集積回路を埋め込んだもの。チャンネルの契約、購入内容などの情報がB-CASカードに記憶される。記憶された情報は、電話回線を通じて放送局に送信されます。

BD (Blu-ray Disc)(14)
大容量データの保存やハイビジョン映像の記録・再生を目的として開発されたディスクフォーマット。BDは片面1層のディスクで25GBまでのデータを記録できます。

BD-J(195)
双方向操作を可能とするためにBD-ROMフォーマットではJavaをサポートしています。
"BD-J"と呼ばれるJavaアプリケーションは、コンテンツ制作者がBD-ROMタイトル用に双方向コンテンツを作る上で自由度の高い機能を提供しています。

BD-R (Blu-ray Disc Recordable)(14)
一度だけ記録可能なBD。記録したコンテンツは上書きできないため、大切なデータの保存や映像素材の保管・配布に使用できます。

BD-RE (Blu-ray Disc Rewritable)(14)
何度も書き換えが可能なBD。上書き可能なため、さまざまな編集や、テレビ番組の予約録画などに適しています。

BD-ROM (Blu-ray Disc Read-Only)(14)
映画などの映像を記録して市販される読み込み専用のBD。映画などの映像素材をハイビジョン画質で収録できることに加え、双方向性コンテンツ、ポップアップメニューによるメニュー操作、字幕のさまざまな表示方法や、スライドショーなどの拡張機能があります。画像の記録はMPEG2に加えて、新世代コーデックMPEG4 AVCやSMPTE VC-1に対応。また音声では最大8chのサラウンド音声を収録可能で、今までにない迫力の映像と音声をお楽しみいただけます。

次のページにつづく⇨

D映像信号（33）
D映像出力端子付きテレビと1本のケーブルでかんたんにコンポーネント映像信号を接続できるため、より高画質な画像となる。D映像出力端子には対応する信号フォーマットによってD1、D2、D3、D4端子があります。
- D1端子：525i（480i）の信号
- D2端子：525i（480i）と525p（480p）の信号
- D3端子：525i（480i）と525p（480p）、1125i（1080i）の信号
- D4端子：525i（480i）と525p（480p）、1125i（1080i）、750p（720p）の信号

* iはインターレース、pはプログレッシブの略。カッコ内の数字は有効走査線数で数えたときの別称です。

DTCP-IP (Digital Transmission Content Protection - Internet Protocol)（17）
デジタル伝送時に使用する著作権保護技術のこと。これに対応した機器同士でないと著作権者などによって複製を制限されているタイトルをネットワーク上に流すことができない。

DTS（36）
デジタルシアターシステムズ社の開発した音声のデジタル圧縮技術。マルチチャンネル・サラウンドに対応しています。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力されます。高水準のデジタル音声をマルチチャンネルで楽しむことができます。

DVDビデオ（14）
CDと同じ直径で最大6時間までの動画が記録できるディスク。片面1層で4.7GB（Giga Byte）とCDの7倍の情報が記録でき、片面2層で8.5GB、両面1層では9.4GB、両面2層では17GBが記録できます。

DVD-RW（14）
DVDビデオと同じサイズで、記録や書き換えができるディスク。DVD-RWには、ビデオモード、VRモードという2つの記録モードがあります。ビデオモードは、DVDビデオフォーマットと互換性があるモード。VR（ビデオレコーディング）モードは、ビデオモードではできない様々な編集や録画が可能です。

DVD+RW（14）
DVDビデオと同じサイズで、記録や書き換えができるディスク。DVD+RWは、DVDビデオフォーマットと互換性のとれる記録方式を採用しています。

EPG（73）
「エレクトロニック・プログラム・ガイド（Electronic Program Guide）」の略で、放送局から送信される番組表（タイトルや番組説明、放映時間など）のこと。

GB（140）
ギガバイトと読みます。HDDやBD、DVDの容量を表す単位で、数値が大きいほど大容量になります。

HDMI（High-Definition Multimedia Interface）（32）
パソコン用ディスプレイなどで使用されているDVI（Digital Visual Interface）規格を拡張した次世代テレビ向けのデジタルインターフェース規格。
映像と音声を1つのケーブルで、信号がデジタルのまま、劣化することなく伝送できます。デジタル画像信号の暗号化記述を使用した著作権保護技術であるHDCP*にも対応しています。

* HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）：デジタル画像信号の暗号化方式で、HDMIを経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムです。

HDV（HDV規格）（150）
DVテープにハイビジョン映像の記録・再生ができるように開発されたビデオ方式。本機は、有効走査線数1080本のインターレース方式（1080i方式）の信号に対応しています。
HDV規格の記録機能を搭載したデジタルビデオカメラとi.LINKで接続すれば、撮影したハイビジョン映像を、そのままの画質で、HDDにダビングすることができます。

IPアドレス（アイピーアドレス）（192）
TCP/IP（伝送制御プロトコル/インターネットプロトコル）ネットワークで使用される識別情報。通常は、3桁の数字4組を点で区切って表示されます。
例：「192.168.139.105」など

LTH（Low to High）（207）
有機色素系BD-Rに対応した記録方式

MACアドレス（マックアドレス）（190）
LAN上につながっている機器を識別するために各機器ごとに割り当てられている番号。ケーブルテレビ会社によっては、本機のMACアドレスの届出が必要な場合があります。本機のMACアドレスは、[本体設定]の[本体情報]で確認できます。

PCM（187）
アナログ音声をデジタル音声に変換する方式。「パルス・コード・モジュレーション（Pulse Code Modulation）」の略で、手軽にデジタル音声を楽しめます。

PPV（ペイ・パー・ビュー）（38、65）
「見るたびに支払う」という意味で、1回視聴するごとに購入する番組のこと。

VRモード（207）
DVDフォーラムが動画像のリアルタイム記録用として策定したもの。DVD-RW, DVD-R, DVD-RAMで用いられており、記録したデータを任意の位置で分割できるという特長があります。これにより、記録したコンテンツの多彩な編集が可能になり、そのほかにもテレビ録画のための様々な機能があります。

x.v.Color（186）
動画色空間規格の国際規格のひとつ「xvYCC」に対応した機器に付す名称としてソニーが提案している商標です。従来より広い色域を再現でき、赤、青、緑はもちろん、赤紫の花の色や、複雑に変化する美しい海の青色など、自然界の色を鮮やかに、リアルに再現します。

各部の名前

本体のボタンはリモコンの同じ名前のボタンと同じ働きをします。*のボタンには凸(突起)がついています(チャンネル+/ーボタンは「+」のみ)。操作の目印としてお使いください。
各部の説明は(　)内のページをご覧ください。

本体前面
BDZ-L70

1 I/⏻(電源)ボタン(40)
2 表示窓(228)
3 リモコン受光部(23)
4 ディスクトレイ(140)

5 ▷(再生)*ボタン(108)
■(停止)ボタン(108)
録画●ボタン(71)
録画停止■ボタン(72)
D1/D2/D3/D4切換ボタン(31)
録画モードボタン(71)
チャンネルー/+*ボタン(64)
入力切換ボタン(29)
ワンタッチダビングボタン(146)

6 ≜(開/閉)ボタン(140)
7 USB端子(124)
8 HDV1080i/DV IN入力端子(146)
9 入力2端子(104)
10 録画予約ランプ(73)
11 ディスク録画ランプ(103)
12 HDD録画2ランプ(103)
13 HDD録画1ランプ(103)
14 B-CASカード挿入口(38)

本体後面
BDZ-L70

1 BS/110度CS-IF入力/出力端子(26)
2 地上デジタル/VHF/UHF入力/出力端子(27)
3 入力1 音声/映像/S映像端子(34)
入力3 音声/映像/S映像端子(34)
出力1 音声/映像/S1映像端子(33)

4 音声出力 右/左端子(36)
D1/2/3/4 映像出力端子(33)
5 電源入力端子(39)
6 電話回線端子(58)

7 デジタル音声出力 光端子(36)
8 HDMI出力端子(32)
9 LAN(10/100)端子(59)

次のページにつづく⇨

本体前面

BDZ-T70

1 I/⏻（電源）ボタン（40）
2 表示窓（228）
3 リモコン受光部（23）
4 ディスクトレイ（140）
5 ▷（再生）*ボタン（108）
■（停止）ボタン（108）
録画●ボタン（71）
録画停止■ボタン（72）
D1/D2/D3/D4切換ボタン（31）
録画モードボタン（71）
チャンネル－/＋*ボタン（64）
入力切換ボタン（29）
6 ≜（開/閉）ボタン（140）
7 録画予約ランプ（73）
8 ディスク録画ランプ（103）
9 HDD録画2ランプ（103）
10 HDD録画1ランプ（103）
11 B-CASカード挿入口（38）

本体後面

BDZ-T70

1 BS/110度CS-IF入力/出力端子（26）
2 地上デジタル/VHF/UHF入力/出力端子（27）
3 入力1 音声/映像/S映像端子（34）
入力2 音声/映像/S映像端子（34）
出力1 音声/映像/S1映像端子（33）
4 音声出力 右/左端子（36）
D1/2/3/4 映像出力端子（33）
5 電源入力端子（39）
6 電話回線端子（58）
7 デジタル音声出力 光端子（36）
8 HDMI出力端子（32）
9 LAN（10/100）端子（59）

本体前面
BDZ-T50

1 I/⏻（電源）ボタン（40）
2 表示窓（228）
3 リモコン受光部（23）
4 ディスクトレイ（140）
5 ▷（再生）*ボタン（108）
■（停止）ボタン（108）
録画●ボタン（71）
録画停止■ボタン（72）
D1/D2/D3/D4切換ボタン（31）
録画モードボタン（71）
チャンネル－/＋*ボタン（64）
入力切換ボタン（29）
6 ≙（開/閉）ボタン（140）
7 録画予約ランプ（73）
8 ディスク録画ランプ（103）
9 HDD録画ランプ（103）
10 B-CASカード挿入口（38）

本体後面
BDZ-T50

1 BS/110度CS-IF入力/出力端子（26）
2 地上デジタル/VHF/UHF入力/出力端子（27）
3 入力1 音声/映像/S映像端子（34）
入力2 音声/映像/S映像端子（34）
出力1 音声/映像/S1映像端子（33）
4 音声出力 右/左端子（36）
D1/2/3/4 映像出力端子（33）
5 電源入力端子（39）
6 電話回線端子（58）
7 デジタル音声出力 光端子（36）
8 HDMI出力端子（32）
9 LAN（10/100）端子（59）

その他

次のページにつづく⇨

本体表示窓

1 BD/DVD/CD表示(種類、記録フォーマット)(14)
BDとDVD（またはCD)のハイブリッドディスクの場合は、BDを表示します。

2 通信表示
LANや電話回線で通信中であることを表示します。

3 HDD/BD/DVD再生記録表示(71、108)
それぞれのディスクの再生/記録動作を表示します。

4 USB表示
USB機器接続時に点灯、ダビング時に点滅します。

5 ダビング表示
ダビング中に点灯します。

6 ANGLE（アングル)表示

7 お知らせ(メール)表示(178)
未読メールがあるときに点灯します。

8 番組表受信表示

9 D映像出力表示(33)

10 主に次の情報を表示します。
タイトル/チャプター/トラック番号表示(117)
再生経過時間/残量時間表示(108)
録画経過時間表示(71)
録画モード(71)
ダビング進捗状況表示(168)
現在日時
BS/CS/チャンネル/外部入力表示
BD/DVD/CD表示
各種メッセージ表示

11 HDMI表示(32)

ちょっと一言

表示窓の明るさを設定することができます。
の[本体設定] – [本体表示の明るさ]で設定してください(189ページ)。

表示窓の表示文字

使用状況によって表示される内容は異なります。下記は表示窓に表示される文字の一例です。

ビデオカテゴリーを選択したとき
HOME VIDEO

ディスク読み込み中のとき
LOAD

起動などの処理中のとき
PLEASE WAIT

再生停止中のとき
RESUME

ディスクが入っていないとき
NO DISC

録画終了処理中のとき
INFO WRITE

ディスクフォーマット中のとき
FORMAT

ディスクがエラーで読み込めないとき
DISC ERROR

バージョンアップ実行中のとき
VERSION UP

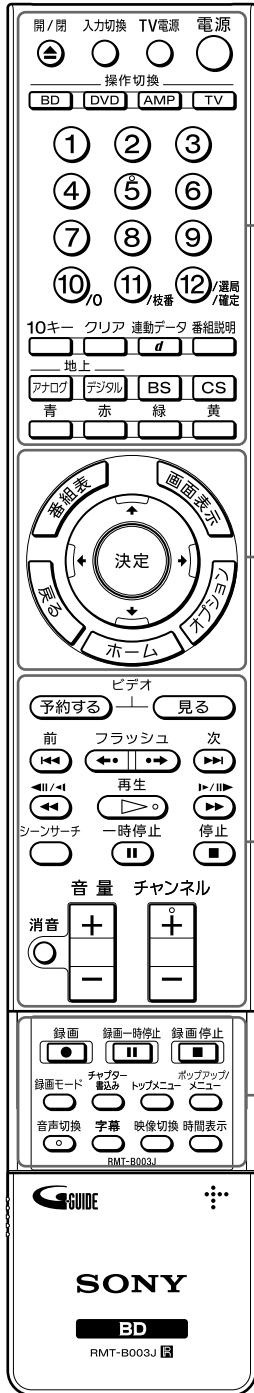
ファイナライズ中のとき
FINALIZE

ディスクのデータが一杯のとき
DISC FULL

BDクローズ中のとき
BD CLOSE

リモコン

リモコンのボタンは本体の同じ名前のボタンと同じ働きをします。

＊のボタンには凸(突起)がついています。(数字ボタンは「5」のみ、チャンネル＋/－ボタンは「＋」のみ)。操作の目印としてお使いください。

A 表示切り換え・テレビ操作部

ボタン	機能
開/閉	トレイ開/閉 (114)
入力切換	入力切換 (29)
TV電源	TV電源 (64)
電源	電源 (40)
BD DVD AMP TV	操作機器切換用ボタン (52)
1～12	数字ボタン* (40、52、64、65、59)
10キー	10キー (64)
クリア	クリア
連動データ	連動データ (66)
番組説明	番組説明 (77、77)
青 赤 緑 黄	カラーボタン (76、80、84、112)
アナログ デジタル BS CS	放送切換 (地上アナログ/地上デジタル/BSデジタル/110度CSデジタル) (64)

B 画面操作部

ボタン	機能
番組表	番組表 (76)
画面表示	画面表示 (52、113)
戻る	戻る (40)
↑↓←→/決定	↑↓←→/決定 (40)
オプション	オプション (64)
ホーム	ホーム(40)

C 再生操作部

ボタン	機能
予約する	予約する
見る	見る
フラッシュ	フラッシュ ←/→ (114)
前 次	前/次 (114)
◀II/◀I I▶/II▶	早戻し/早送り、コマ戻し/コマ送り、スロー (114)
再生	再生* (108)
シーンサーチ	シーンサーチ (117)
一時停止	一時停止 (114)
停止	停止 (108)
チャンネル ＋/－	チャンネル＋*/－ (52、179)
音 量 ＋/－	音量＋/－(54)
消音	消音

D 録画・BD・テレビ操作部

ボタン	機能
録画	録画 (71)
録画一時停止	録画一時停止 (105)
録画停止	録画停止 (72)
録画モード	録画モード (71)
チャプター書込み	チャプターマーク書込み (117)
トップメニュー	トップメニュー (114)
ポップアップ/メニュー	ポップアップ/メニュー (114)
音声切換	音声切換* (65)
字幕	字幕 (65)
映像切換	映像切換 (65)
時間表示	時間表示 (115)

ソフトウェアアップデートについて

本機には、内部ソフトウェアを自動的にアップデートして更新する機能が搭載されています。ソフトウェアはデジタル放送電波の中に含まれて送信されます。
お買い上げ時は、本機がアップデートを自動で行う設定になっているため、お客様が操作や設定をすることなく、常に最新版に書き換えられたソフトウェアで、本機をお使いいただけます。

次の2つの条件を満たしていれば、アップデートが行われます

条件1：BSデジタルのアンテナレベルの受信レベル（180ページ）が「20以上」になっている。または地上デジタルを安定して受信できている（179ページ）。
条件2：[ソフトウェアアップデート]が[自動]（お買い上げ時の設定）になっている（189ページ）。

データのダウンロードの実行

データのダウンロードは自動で行われます。

アップデート（ソフトウェア更新）の実行

ソフトウェア更新用のデータが正常に取得された状態で、本機の電源を切ったときにソフトウェアの更新が自動的に開始されます。
アップデート中は、表示窓に「VERSION UP」が点灯し、すべてのランプが点滅します。

アップデートが正常に終了すると

「アップデート終了のお知らせ」のメールが届きます。

ソフトウェアアップデートについて

- お客様が設定した内容は書き換えられることなく、保持されます。
- ソフトウェア更新用のデータ信号は、一定の期間内に何回も送信されます。1回目の信号で正しくダウンロードできなくても次回以降でダウンロードできます。
- 電源コードが抜かれていた場合は、アップデートは行われません。
- アップデート中は、電源コードを抜かないでください。アップデートの中断により、ソフトウェアの更新が途中で終了し、誤動作を起こす場合があります。

アップデート中のご注意

ソフトウェア更新用データをダウンロードするときは、本機が待機状態に入るため、本機の電源が「切」でもファンが回り続けることがあります。
待機中に録画予約などが重なると、録画予約が優先されるため、次のダウンロード時刻までファンが回り続けます。

索引

五十音順

あ行

か行

さ行

た行

その他

次のページにつづく⇨

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

数字

アルファベット

その他

ブルーレイディスクレコーダーホームページ
本機に関する様々な情報が確認できます。
操作情報などについて知りたいときは、以下のホームページの「ファーストステップガイド」をご覧ください。
http://www.sony.co.jp/BD/

「接続ガイド」ホームページ
本機の接続などに関する情報を、以下のホームページでも確認できます。
http://www.sony.co.jp/im/

「Q&A」ホームページ
お客様からよくあるお問い合わせと解決法に関する情報を、以下のホームページで確認できます。
http://www.sony.co.jp/faq/BD/

ブルーレイディスクレコーダーに関する情報を携帯電話からもご覧いただけます。
右記QRコードからアクセスしてください。

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口
フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「100」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389　受付時間 月～金：9:00～20:00　土・日・祝日：9:00～17:00
ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

この説明書は、古紙70%以上の再生紙を使用しています。

Printed in Japan

x.v.Color

3-279-847-**04** (1)